演　習　林　年　報

2014年度活動報告等

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

2015.6

はじめに

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林は、森林や樹木、林業に関する基礎的・応用的研究を行うとともに、森林を学習する学生たちに教育の場を提供することを目的として設置されています。大学演習林は、森林科学分野の講座を持つ大学に設置することが定められており、今から 120 年前の 1894 年 11 月 29 日に、当時の帝国大学（現在の東京大学）に千葉演習林が設置されて以来その歴史を刻んできました。現在、東京大学の演習林は全国 7 ヶ所の地方演習林と弥生キャンパス内の企画部および教育研究センターから構成されており、その総面積は 32,300 ha におよび、東京山手線内面積の 5 つ分に相当します。各地方演習林には、それぞれの地域の気候、地質と地形、歴史を背景とした特徴ある森林が生育しています。東京大学の演習林は林業・森林教育の実践の場として農学教育の発展に貢献するとともに、木材生産、国土保全、温暖化防止、生物多様性保全など多くの森林研究の場として学術的にも成果をあげてきました。東京大学の演習林は、大学関係者だけでなく一般の方が森に親しみ、森林に関する最新の知識を学ぶことのできる場を提供しており、近年その役割は大きくなっています。

森林の管理運営を含めた東京大学演習林の活動は長期的な視野を必要とするため、従来から 10 年を 1 期とする試験研究計画のもとで進められてきました。国立大学法人の中期計画の 1 期 6 年と比較すると、その長さが分かります。東京大学演習林は、2011 年度から新たな 10 年計画「演習林教育研究計画 2011～2020」の下で活動を行っています。

この「年報」は 2014 年度を対象としています。2014 年度は「演習林教育研究計画 2011～2020」の 4 年目に当たり、10 年計画前半の成果が問われ始める時期にあたります。新たな 10 年計画の開始とともに、特定テーマへの個性化を図るために改称された生態水文学研究所、富士癒しの森研究所の名称も次第になじまれてきています。しかしながら、大学関係の予算縮減と教職員定数削減の中にあって、高い研究倫理を保持し、森林内での教育研究活動と森林管理作業の安全を確保しつつ、学術的な成果を蓄積し、「演習林教育研究計画」がめざす成果を達成するためには、更に真摯な取り組みが必要です。

本冊子は「演習林教育研究計画」にそって着実な活動がなされているかを振り返るための基礎資料として作成しています。東京大学の内外の学生・院生の研究フィールドや実習、東京大学前期課程教育の全学体験ゼミナールでの利用をはじめ、附属演習林全体の活動、記録を掲載しました。有効な利用を期待しています。

2015 年 5 月

東京大学大学院　農学生命科学研究科
演習林長　富樫 一巳

目次

はじめに

演習林の概要 …… 1

組織図 …… 3

演習林の活動

各地方演習林活動

千葉演習林 …… 6
北海道演習林 …… 8
秩父演習林 …… 10
田無演習林 …… 12
生態水文学研究所 …… 14
富士癒しの森研究所 …… 16
樹芸研究所 …… 18
教育研究センター …… 20

各委員会活動

各常置委員会報告 …… 22
演習林規則に則って開催さ:れた委員会・会議報告 …… 36
その他委員会報告 …… 37

演習林活動の統計 …… 38

資料

教育活動

大学院講義等 …… 42
学部講義等 …… 44
他大学の非常勤講師 …… 47
小中高等学校への対応 …… 48
その他の講義・実習対応 …… 50
森林生態圏管理学大講座ゼミ …… 51
演習林教育研究センターゼミ …… 52
実習等 …… 53

研究活動

演習林技術職員等試験研究・研修会議 …… 55
教職員の論文等 …… 57
学会発表等 …… 60
著書 …… 64
外部資金によって行われた研究 …… 65
学外各種委員会等委員 …… 69

社会連携

公開講座・セミナー等 …… 71
講師の派遣等 …… 73

国際交流

交流事業・国際シンポジウム・共同研究 …… 76
海外渡航 …… 77

出版広報活動

演習林報告・演習林 …… 78
科学の森ニュース …… 79
演習林出版物 …… 80
新聞・雑誌・放送等 …… 81

利用状況
演習林を利用して行った論文等 …… *83*
全利用者 …… *85*

研修
技術職員 …… *125*

安全衛生
安全・防災のための講習会等 …… *126*
資格取得のための講習等 …… *127*
災害統計・山火事予防活動 …… *128*

人事異動 …… *129*

予算配分と収入
予算配分・収入 …… *130*
演習林林産収入細分表 …… *130*

組織図
企画部・教育研究センター …… *131*
千葉演習林 …… *132*
北海道演習林 …… *133*
秩父演習林 …… *134*
田無演習林 …… *134*
生態水文学研究所 …… *135*
富士癒しの森研究所 …… *135*
樹芸研究所 …… *135*

管理
管理業務実行位置図 …… *138*
管理面積集計表・林相別蓄積集計表・植栽樹種 …… *141*
立木伐採量 …… *142*
育林実行量 …… *143*
素材生産総括表・土木実行総括表・道路現況 …… *145*
各演習林所在地及び連絡先 …… *146*

東京大学演習林の概要

1890年に東京農林学校が帝国大学に併合されて農科大学となり，1894年にはその附属施設として日本で初めての大学演習林が房総半島の南東部に位置する清澄に設けられた。これが，今日の東京大学千葉演習林の始まりである。引き続いて，教育研究目的や森林の生態的な特性を考慮しながら，北海道演習林（1899年），秩父演習林（1916年），生態水文学研究所（1922年），富士癒しの森研究所（1925年），樹芸研究所（1943年），田無演習林（1929年（演習林への移管は1982年））が設置され，さまざまな森林帯にわたる約32,000haの広大な面積の，世界的にも貴重で多様な森林資源を守り育ててきた。さらに，2000年度には大学院重点化が行われ，従来から関係の深い森林科学専攻ならびに関連分野の研究者との教育・研究協力関係を一段と発展させながら，大学院農学生命科学研究科の他の附属施設（農場，牧場，水産実験所，動物医療センター，緑地植物実験所）とともに生圏システム学専攻の協力講座として新たなスタートを切り，大学院教育にも主体的に参画している。現在，東京大学演習林は7つの地方演習林と企画部・教育研究センター（旧研究部）を中心に演習林全体としての共通理念に立脚しつつ，各地方演習林独自の試験研究計画にもとづいて多くの教職員等が共同で管理する森林や多数の試験地によって教育研究および社会連携を進めている。

千葉演習林は暖温帯に位置する総面積約2,200haの日本で最初の大学演習林である。スギ，ヒノキ，マツ類などの主要造林木の育成技術と持続的森林施業に関する試験を120年余にわたって実施してきた。また，モミ，ツガや広葉樹からなる貴重な天然林を有し，学内外のさまざまな分野の研究・教育に大きく貢献している。近年では，特に自然史や生態系に関する調査，研究を幅広く行っている。

北海道演習林は亜寒帯に位置する総面積約23,000haの，日本では2番目に古い演習林である。択伐施業の実証的・理論的研究によって，林学と北方林業の発展に寄与してきた。各種の試験林が造成される一方，奥地天然林には11,000haの鳥獣保護区が設けられるなど北海道の森林動植物に関する各種の調査・研究に利用されている。特に1958年以降，北海道演習林の天然林全域を対象として，北方林の持つ環境保全機能と木材生産機能との調和を図る一大森林施業実験「林分施業法」を実施しており，その成果は国内外から高い評価を受けている。

秩父演習林は冷温帯に位置し，総面積約5,800haと東京大学では2番目，青森県以南の大学演習林では最大の面積を有する演習林である。険しく多様な山岳地形の中にあり，森林植生は変化に富み，生物相も多様である。大面積にわたる貴重な天然林を対象に森林生態系に関する調査・研究を数多く行っている。また，急傾斜の山岳林における人工林施業法，映像情報による森林情報の収集・蓄積・利用などに関する研究も行っている。

田無演習林は本学農学部キャンパスに近い西東京市に設けられている総面積約9haの演習林である。大学に近いことや，土地が平坦なことから造林学，森林植物学，森林動物学などの生物系の

圃場実習や室内実験に多く利用されている。

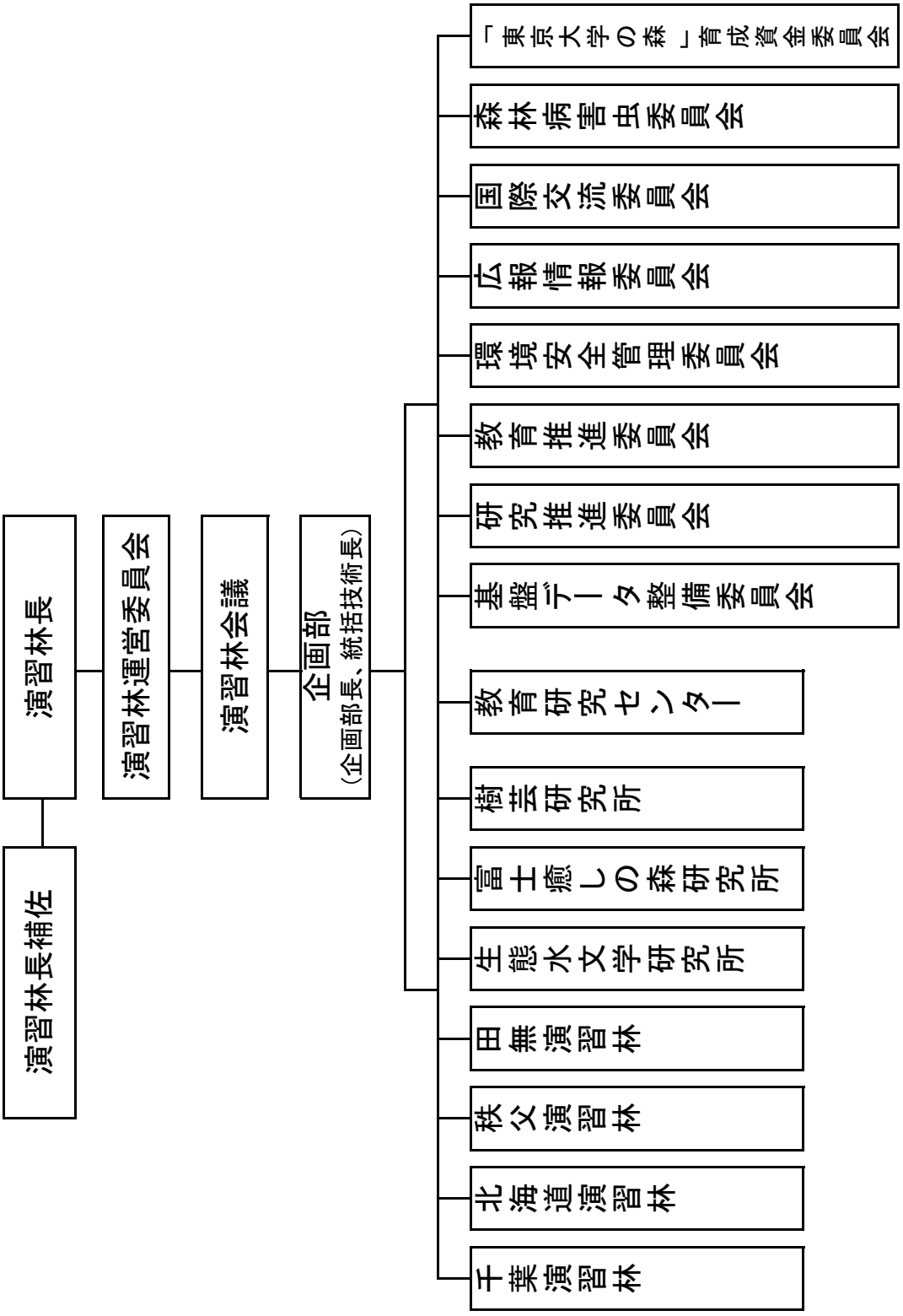
生態水文学研究所は崩壊の起きやすい花崗岩地域に設けられた総面積約1,300haの演習林である。生産性の低い立地における森林水文ならびに森林植生回復に関する研究を主に行っている。70年にわたる量水観測は，わが国における土壌保全，水文研究の科学的，技術的発展に重要な役割を果たしてきた。また今日では，都市近郊林としての保健休養・環境保全機能や，河川の不安定化，洪水の増大などで苦しんでいる熱帯地域への国際協力面でも貢献が出来ると考えている。

富士癒しの森研究所は富士山麓山中湖畔に位置する総面積約40haの演習林である。立地条件を生かして森林の保健休養機能の解析や景観評価，環境教育に関する研究を行っている。また，演習林の一部には東京大学の学生・教職員の休養施設が設置され活用されている。

樹芸研究所は伊豆半島南端の温暖な地にある総面積約250haの演習林である。特用樹木の利用と育成に関する基礎研究や演習林内に泉源を持つ温泉熱を利用した温室における熱帯・亜熱帯産樹木の育成と展示を行っている。

農学部（弥生）キャンパスに設置されている企画部・教育研究センターは東京大学演習林の教育研究活動の中心であり，演習林全体の試験研究計画の円滑な実行を支援している。さらに，多方面の演習林利用希望者の便宜をはかること，共同研究の企画調整，各演習林の気象等観測結果のデータベース化と観測・研究成果の公表の場としての「演習林報告」および「演習林」の編集・発行，森林科学関連学術雑誌の図書館機能，インターネット等を利用した情報公開促進・広報等，東京大学演習林全体に関わるさまざまな役割を担っている。

組織図


演習林長
演習林長補佐
演習林運営委員会
演習林会議
企画部
（企画部長、統括技術長）
「東京大学の森」育成資金委員会
森林病害虫委員会
国際交流委員会
広報情報委員会
環境安全管理委員会
教育推進委員会
研究推進委員会
基盤データ整備委員会
教育研究センター
樹芸研究所
富士癒しの森研究所
生態水文学研究所
田無演習林
秩父演習林
北海道演習林
千葉演習林

■演習林の活動■

■各地方演習林活動■

千葉演習林

【教育】

東京大学における専門教育として、農学部対象の 5 科目（造林学実験、森林植物学実験、森林経理学実習、森圏管理学実習、森林計測学実習）と理学部対象の 1 科目（地球惑星環境学野外調査Ⅰ）、および大学院農学生命科学研究科対象の 2 科目（持続的森林圏管理論、生圏システム学特論）のべ 414 人日の利用を受け入れた。また全学体験ゼミナール 4 科目（危険生物の知識、野生動物の保護管理、危険生物の知識（秋編）、房総の森林と生業を学ぶ）のべ 223 人日、また他大学の実習 8 科目（宇都宮大学：樹木学実習、京都大学：課題演習Ｅ2（地質調査法野外実習）、千葉大学：地史古生物学実験Ⅰ・地質学野外実験Ⅱ・地殻構造学野外実験Ⅰ・野外生態学実験、静岡大学 : 地質調査法実習Ⅱ、東京学芸大学 : 地質学調査法実習）のべ 558 人日の利用を受け入れた。

【研究】

研究課題のうち①「持続可能な人工林経営を実践する理論と技術の高度化」では、作業道＋車両系機械による高齢人工林 搬出間伐跡地における針広混交化プロセスをモニタリングするため、今澄 40 林班 C6 小班に、作業道上／隣接林内、シカ柵有／無、2 繰り返しで構成される計 8 個の 10m×10m 方形プロットを設置した。今後 20 年間を目処に定期的に植生調査を実施し（第 1 回は次年度 7 月の予定）、上木密度、地面の攪乱度、シカ食害の差違が、針広混交化に与える影響を調査する。また、急傾斜再造林地における簡易的な表土保全工試験地を設定しており、簡易的な筋工を密に設定した区では植生を中心とする地表被覆が確保され、土砂生産を抑制している様子が観察された。②「林木の育種と増殖技術の開発」では、抵抗性クロマツ選抜試験の一次検定に 3 系統が合格した。非赤枯性溝腐病について少雄花スギ家系の成木への接種試験したものを割材し菌糸の成長を測定した。ヒノキ漏脂病について微気象・環境条件の異なるヒノキ林分における気象データから発生要因を検証した。キヨスミミツバツツジのさし木試験では、発根促進剤の処理条件を変え樹齢の異なる母樹を用いて発根率の最適条件を調べた。スギ・ヒノキのポットさし木試験では、遮光率および施肥の有無による発根の違いを検証するとともに、前年に植栽した苗の生存・成長調査を行った。③「絶滅危惧植物の保全に関する研究」では、ヒメコマツのさし木増殖で遮光率の違いが発根率に顕著に影響することを示した。また、遺伝的多様性とマツ材線虫病抵抗性の検証を行った。④「房総丘陵における暖温帯林生態系の保全・管理」では共同研究の成果として開発・発売されたヤマビル駆除剤の植生に対する影響を検証するとともに、新たな忌避剤の装着試験を行った。また、楢ノ木台長期生態系プロットにおける 5 年ごとの調査年であったため毎木調査を実施した。この他、千葉演習林の過去の林相図や帳簿の電子化を推進して研究利用するとともに、かつての主力産業であった製炭の実態把握調査を実施した。

「基盤データ整備」として、気象部門では、札郷・清澄・新田観測所において観測を実施した。水文・水質部門では、袋山沢・新田観測点において水質サンプルを回収し、袋山沢観測点で水位データを収集した。生物部門の植物分野では、森林博物資料館収蔵の旧植物標本の画像撮影とリスト作成を進めた。保護樹について、樹種・位置情報をデータベース化するとともに、案内板の再設置を進めた。脊椎動物分野では、4 月から開始したセンサーカメラによる定点観察で哺乳類 5 種を、両生類・爬虫類および魚類調査で 17 種を確認した。鳥類分野では、調査区のある本沢林道が 2014 年 2 月の雪害により通行不可能になった為、ポイントセンサスは実施できなかった。代わりに急遽場所を変更しラインセンサスを 4～5 月に 3 回実施した。また、年間を通して目撃や調

査捕獲の情報を集め、54 種を確認した。さらに巣箱の定点観察を前年度 3 月から 6 月に計 19 回実施し、シジュウカラの産卵から巣立ちまでの営巣状況を確認した。昆虫分野では、千葉県立中央博物館と共同で任意採集を月 1～2 回実施し、新たに千葉県初記録 8 種、県内 2 例目（県南初記録）3 種を確認した。また、オサムシ科昆虫調査（ピットフォールトラップ）を定期的に実施した。GIS 部門では、当部門の全演的な支援のため田無演習林への技術支援をおこなった。新たな試みとして森林立体視システムの試験導入を行った。また新規 GIS オペレータを養成した。

【社会連携】

毎年好評を得ている一般公開を開催した。春の新緑時期は、林道崩壊があり防護柵の修理が間に合わず中止とした。秋の紅葉時期の一般公開は 11 月と 12 月の 4 日間の開催のうち、12 月の 2 日間を林道崩壊のために中止したが、入口までの来演者を含め合計 2,927 名が来演した。また清澄寺の節分会に合わせて森林博物資料館の公開を実施し 32 名が来館した。さらに地域交流協定を結んでいる鴨川市とは「野鳥の巣箱をかけよう」、「東大キャンパスツアー」を開催した他、鴨川市立天津小学校 5 年生を対象として実施した「緑の教室」では、子供たちは木登りや丸太切り体験、また森林散策などを通して森林の役割と生活への関わりについて学んだ。同じく地域交流協定を結んでいる君津市とは「スクールミュージアム」と題し、君津市立坂畑小学校 5、6 年生を対象に猪ノ川林道において水生生物や地層の観察、郷台作業所構内の見学を行った。その他ボランティア団体と連携して数多くの観察会を実施した。トピックとしては、研究科長、鴨川、君津両市長をはじめ研究・地域の関係者を招いて創立 120 周年記念式典を実施した他、天津神明宮の 20 年毎の「式年鳥居木曳祭」のためのスギを伐採する「神木斧始祭」が行われた。

【施業管理】

伐採：主伐は下馬不動下（44 林班 C11 小班）で実施した(表 - 1)。今年度販売契約はしなかった。また、2015 年度まで収入間伐予定は無い。

育林：新植、下刈り、除伐、保育間伐に関しては、直営により実施中で（表 - 2)、新植地では地拵えを実施し、周囲（332.3m）に防獣柵を設置した。

（表-1）主伐実行量

伐採面積（ha）	1.39
伐採材積（㎥）	866.3

（表-2）2014年度育林実行量（2015年2月現在）

作業種	地拵え・新植	下刈り	除伐	保育間伐
林齢	-	2～3	12～17	24～27
面積（ha）	1.64	3.33	3.08	5.16

【安全衛生】

3 件の災害が発生し、内 2 件は骨折を伴う事故災害であった。その事故はチェーンソーを使用する作業で発生したので、作業に携わる職員で作業手順書の再確認、作業現場のリスクの全体像を明確にするためリスクアセスメントを実施した。残りの 1 件はハチ刺されによる災害であった。林内作業中は事前にハチの巣等を見つけることは困難なため、刺された後の対処をしっかりと行い重症化を防ぐため処置用具の準備を怠らないよう促した。昨年度はマダニに咬まれる災害が 2 件あったが、今年度は無かった。マダニに対する注意力が上がってきたと思われる。5 月の全職員参加の研修会では、「平成 26 年度マネジメントシステム取り進め上の重点項目」、「震度 5 弱以上の地震における初動の行動指針」、「千葉演習林防災用品備蓄品の紹介」等を行った。12 月の研修会では、安房消防署員の指導の元、清澄学生宿舎（特定防火対象物）を中心とした総合消防訓練（通報・消火・避難）と人工呼吸や心臓マッサージ、AED の取扱いについての講習を行った。

北海道演習林

【教育】

学部・大学院の専門教育として、農学部授業科目「森林科学総合実習」を担当実施し、全演協の公開森林実習科目として他大学（北海道大、信州大）の学生も受け入れた。大学院の授業科目2件（農学生命科学研究科、新領域創成科学研究科）を受け入れた。また、卒業論文研究3件（帯広畜産大2件、玉川大1件)、修士論文研究6件（東京大4件、北海道大1件、帯広畜産大1件)、博士論文研究1件（東京大）を受け入れこれらの実行を支援した。この中から、卒業論文2篇（帯広畜産大)、修士論文4篇（東京大2篇、北海道大1篇、帯広畜産大1篇）が作製された。その他、他大学の授業科目1件（同志社女子大）を受け入れ指導を行った。教養教育として、教養学部授業科目「全学体験ゼミナール：雪の森林に学ぶ～北海道演習林」を開講するとともに、1件の全学体験ゼミナールを受け入れ実施を支援した。ICTを活用したフィールド遠隔教育の取り組みを開始し、弥生キャンパスとの間で試行授業を行った。

初等・中等教育支援として、科学技術振興機構との共同主催によりサマー・サイエンスキャンプ「森林の未来は？～森を知り、持続的な取り扱いを考える～」を開催した。また、文部科学省スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業による校外研修（札幌啓成高)、教育学部附属中等教育学校の宿泊研修を受け入れ、それぞれプログラムを作成・提供するとともに指導を行った。帯広農業高（森林科学科)、とわの森三愛高（獣医進学コース)、山梨県立農林高の3件の研修、および富良野市内小学校の総合的な学習の時間（1件2回）を受け入れ、指導を行った。

技術者教育として、国際協力機構（JICA)、韓国山林庁をはじめ、山林所有者団体、林業会社等の研修会計7件を受け入れ指導を行った。また、本学の教室系技術職員研修「フィールドワークのための高精度ポジショニングと3Dスキャニング／プロファイリング」を開催した。

【研究】

「汎針広混交林帯における森林生態系の持続的・順応的管理」を課題として掲げ、森林生態、森林経営、森林生態系保全の3分野のもと活動を行った。主なトピックは以下の通りである。

森林生態分野では、大面積長期森林生態系観測に関して岩魚沢プロット5年間隔測定区の定期測定を行った。微生物・昆虫の生態と生物間相互作用に関して、ヤツバキクイムシが伝播するエゾマツ青変病の萎凋機構に関する実験を継続するほか、一斉二次林を中心とするウダイカンバ林においてクスサンの食害による枝枯れ被害とキクイムシ類の穿孔加害状況を調査した。野生動物の生態に関して、エゾシカのライトセンサスとナキウサギの自動撮影装置によるモニタリングを継続実施した。大規模自然攪乱後の森林回復過程に関して、1981年の台風被害後に倒木を放置した風害試験地の一斉測定を行った。施業に伴う撹乱と森林構造の変化に関して、天然林施業試験地の測定を継続した。森林生態系の基礎情報の収集に関して、基盤データ整備委員会の活動とも連携しながら、気象観測、水文・水質観測、主要樹種のフェノロジー観測、および動植物の生物相・分布域など生物情報の収集を継続した。

森林経営分野では、林分施業法の科学的・技術的基盤の強化に関して、空中写真を用いた林種判別を試験的に導入して林種区分測量の省力可能性について検証するとともにUAVを導入してリモートセンシングの活用に備えた。また、VRS-RTK方式による高精度GNSS測量の精度試験を実施した。更新保育施業による天然林再生技術の確立に関して、帯状皆伐跡地における天然更新状況と植栽木の生存・成長状況を調査した。また、択伐天然林の更新補助を目的とした精密植栽技術の開発に向けた予備的な実証試験を行った。山火再生林における広葉樹高品質大径木育成技術に関して、ウダイカンバ密度試験地と優良木化試験地の測定を行った。広葉樹優良木の管理・

育成手法の開発に関して、ミズナラ個体管理システムの見直しを行うとともに材質評価手法の検討を開始した。エゾマツ苗生産システムに関して、苗畑病害（リゾクトニア苗立枯病および暗色雪腐病）に対する農薬製剤の適用登録拡大申請を薬効・薬害試験の成績に基づいて行った。

【社会連携】

一般公開事業として、公開セミナー「森林環境の保全と持続的な木材生産を学ぶ」、大麓山ハイキング登山会、および神社山自然観察路一般公開（春季・秋季に各 1 日）を開催した。また、5 年目で最終回となる富良野地区合同ワークショップ「富良野地方の美しい農山村景観維持のために」を占冠村において開催した。北海道林木育種協会による現地研究会を受け入れた。その他、富良野市教育委員会による生涯学習事業 1 件を受け入れた。

【施業管理】

立木伐採は資材量にして 31,582 m^3（天然林 22,109 m^3、人工林 7,962 m^3、冠雪被害木処理 1,510 m^3）を実行した。伐採量のうち 1,523 m^3 については素材生産・販売を行った（直営 874 m^3、再生林請負 478 m^3、委託販売 91 m^3、立木補償関連 80 m^3）。立木および素材の販売額は合計 85,911,104 円で、立木が 46,440,246 円、素材（委託販売を除く）が 14,835,000 円、委託販売（銘木市売）が 24,635,858 円であった。銘木市に出品したハリギリのうち 1 本に単価 815,000 円/m^3、総額 3,300,750 円の値が付き、同樹種の過去最高額となった。山出苗生産本数は 26.0 千本（トドマツ 8.3、エゾマツ 14.1、アカエゾマツ 3.6 千本）、地拵、植付、下刈の実行面積はそれぞれ 24.2、33.2、91.5 ha で、林道の改良距離は 63.0 km であった。なお、昨年度の冠雪害に伴う倒伏・折損木により通行不能のままとなっていた延長 191.5 km の林道路線の伐開を請負で行い、全路線の一応の復旧を完了した。森林保護に関して、春期に山火予消防活動（監視および啓発）を、春と秋に野鼠発生予察調査を、冬期に北海道猟友会富良野支部および富良野市と共同でエゾシカの有害獣駆除（2 回）をそれぞれ実施した。また、森林被害巡林調査を計 3 回実施した。特定試験林（試験地）の測定を計画に則って実行した。その他、東山地区の 74 林班 Y 小班で土砂流出復旧のための治山工事が開始され、末無沢における北海道による治山工事（床固工）が終了した。

土地資産に関して、今年度の不動産（土地）の売却はなかった。立木補償は 4 件で計 578 本、263,715 円であった。平成 24 年度より開始された国土調査法に基づく地籍調査事業は、平沢地区と老節布地区の一部を対象とする第 1 期分の表題登記を完了し、管理下にない所有地 9 箇所（面積計 54,140 m^2）が周辺農地内に存することを確認した。老節布地区の一部を対象とする第 2 期分は立会確認を終了した。境界確定に伴って農地の越境が数多く判明しており、現在これらの解消に向けてエゾシカ侵入防止柵の移設とともに個別具体的に協議を行っている。その他、不動産（構築物）の岩屋橋梁 1 号橋を富良野市に無償譲渡した。東郷ダムの湛水敷地減少に伴って発生する未利用地（約 280,000 m^2）の取り扱い、および岩屋地区の道道 544 号線（麓郷街道）未改良区間（1.3 km）の線形設計について、協議を継続している。

【その他】

環境安全管理について、今年度の事故災害発生件数は 9 件で、ハチ刺され災害（2 件）の大幅な減少を受けて昨年度の半分以下であった。一方で慣れによる安全確認（装備・環境・行動）の不徹底に起因すると考えられる事故災害の発生が多く（6 件）、引き続き基本動作の確認と励行の徹底が必要である。車両系木材伐出機械に係る安衛則改正に向けた対応、および各種作業の方法と手順の見直しを重点的に実行し、作業計画書様式やマニュアル等の作成・改訂を推進した。

秩父演習林

【教育】

（１）学位研究の受け入れ

本学の学部課程 3 名，修士課程 6 名，博士課程 0 名，他大学の学部課程 5 名，修士課程 2 名，博士課程 1 名が学位取得のための研究を行った。秩父演習林は研究計画の助言, 研究地への送迎, 野外調査の補助，試験地の維持管理などの協力を行った。

（２）大学実習の受け入れ

本年度，秩父演習林で実施された本学の実習は，森林科学専攻等の実習 4 件，他専攻の実習 3 件，他研究科の実習 3 件，教養学部の全学体験ゼミナール 3 件，総合科目 1 件であった。他大学の実習として，早稲田大学秩父演習林シカプロジェクト，首都大学東京動物系統学野外実習，東邦大学野外生態学実習、東京都市大学野外実習が行われた。川俣学生宿舎ののべ利用人数は 668 人，のべ利用日数は 49 日間であった。

（３）K-12（幼稚園～高校）活動の受け入れ

K-12 活動として，埼玉県立秩父農工科学高校樹木採取，東京都立墨田川高校生物実習・埼玉県立熊谷高校 SSH 講義・野外実習への講師派遣および実習地提供，秩父市立秩父第一中学校・秩父第二中学校・影森中学校の職場体験の実習生受け入れを行った。

【研究】

（１）冷温帯森林生態系に関する研究

成果として，ケヤキ人工林試験地（1 林班い 17 小班）の成長データ（1932 年～2013 年）と、原生林固定試験地（11 林班ろ 1 小班）のシオジ・サワグルミの種子豊凶・生産性データ（1995 年～2012 年）を発表した。定期調査として，人工林固定試験地（12 箇所）・大面積プロット・ウダイカンバ試験地の毎木調査・ライトセンサス・気象水文観測を実施した。前年度に引き続き，大面積プロットの立木位置測定を実施した。また，民間企業との連携によって，シカ排除試験地（60 箇所）の下層植生調査・土壌調査を行い，シカ排除柵（18 基）を設置した。関連して，シカ行動圏・哺乳類相・鳥類相・昆虫相の調査，土壌微生物相の分析を実施し，植生保護に向けた実証研究を進めた。さらに，埼玉県との連携によって，入川流域・大血川流域でシカの管理捕獲を実施した。滝川流域を対照区とすることによって，シカ密度管理に関する流域スケールの野外実験として，森林生態系の機能回復へ向けた実証研究を開始した。

（２）情報工学分野との融合研究

前年度に続き，ロボットカメラによる森林景観と樹木フェノロジーの映像・音声記録，鳥類相の遠隔調査，環境教育教材の開発に関する研究が行われた。

（３）山村社会に関する研究

前年度に続き，山村社会の変化と資源，山村振興に関する研究が行われた。

（４）基盤データ整備

引き続き各部門分野の情報収集が進められた。生物部門脊椎動物分野では，コウモリ類・両生類の捕獲調査を実施した。GIS 部門では，GIS データの整備・充実や栃本作業所での GIS 活用手法の検討とともに, 生態水文学研究所の GIS 技術指導研修に講師を派遣した。水文水質部門では，バケモノ沢量水堰堤の量水観測方法を成果として発表した。

【社会連携】

公開講座・セミナー等として，公開講座を「東大の森林で昆虫採集」（7 月，参加者 14 名)、「水源の山を訪ねて～森林と水の研究～」（11 月，参加者 20 名）を行った。この他に，自由見学は、豪雪による歩道等の損壊のためガイドツアーに変更して開催した（5,10 月，参加者 34 名），寄付者イベント（10 月，参加者 18 名）を実施した。また，秩父市木材加工業者主催の「木が香る秩父フェスティバル」（5,11 月，道の駅ちちぶ）に参加，秩父演習林の恒例行事となっている「影森祭」（12 月，来場者約 80 名）を秩父演習林ボランティア「しおじの会」の協力を得て実施した。

学外各種員会など委員は，埼玉県森林審議会委員，特別天然記念物カモシカ保護対策事業通常調査指導委員，埼玉県特定鳥獣保護管理検討委員会，秩父地域獣害対策協議会幹事会（以上、埼玉県)，関東山地ニホンジカ広域協議会，モニタリングサイト 1000 検討会（以上、環境省)，兼六園マツ等樹木保全対策指導者（石川県)，技術部会（日本樹木医会)，ナラ枯れ被害防止技術開発事業」（林野庁補助事業）にかかる検討委員会委員，JaLTER 運営委員会委員などをはじめ様々な活動を実施した。

【施業管理】

植伐実行量は，立木伐採，植栽ともに実施しなかった。

育林実行量は下刈り 0.22ha，除伐 1.18ha，撫育間伐 9.70ha，木起こし 0.22ha であった。この他に，獣害対策として，シカ防護柵（52 箇所，5,471.40ha）とクマ剥皮防除樹皮ガード（82 箇所，13.91ha)，の保守管理を実施した。同様に，天然林に関しても，防獣柵（樹木園：業務委託）の保守管理と剥皮防除樹皮ガード（一部の作業道沿いの立木）の設置を実施した。

土木実行量は車道維持 13,859m，歩道維持 40,587m，モノレール維持 3,067m（3 路線）であった。また，民間企業との間で締結した森林整備に関連して作業道 1 路線を 236.9m延長した。工事は東谷林道が拡幅工事に伴う改良工事を 1 か所実施した。

災害関連では，昨年 2 月 14-15 日の豪雪による被害の復旧工事を実施した。残雪の影響で被害の全容が明らかになったのは 4 月中旬であった。被害は，演習林内の構造物（獣害防止柵・ガードレール・木橋・仮設橋・排水設備・モノレールなど）が倒壊するなど多大であった。被害の件数と総額は，10 件，14,008 千円であった。国立大学法人総合損害保険の適用により 12,483 千円が措置され復旧工事が行われたが，中山沢モノレールの修繕工事は，平成 27 年度に繰り越さざるを得なくなった。当該工事は，東谷林道 750m地点の拡幅工事終了（12 月）に伴い着手する予定であったが，積雪等の影響により着手することができず，年度内工事完了は厳しいと判断し，次年度に繰り越すこととした。

土地資産に関しては，特に変動はなかった。

田無演習林

【教育】

農学部の実習を 7 件、教養学部の実習（全学体験ゼミナール）を 2 件、他大学実習を 1 件実施した。農学部実習のうち 2 件は連携する生態調和農学機構によるものである。全学体験ゼミナールの 1 件は田無演の教職員が主体的に関わって実施した、小中学生に対する指導体験を通じて樹木に関する知識とコミュニケーション力の向上を図ることを目標とする「都市の緑のインタープリター」である。なお、本講義は東京大学が実施する「グローバルリーダー育成プログラム（ＧＬＰ）」の 2015 年度指定科目に選定された。

卒業論文研究等では卒業論文 1 件（うち本学 1 件)、修士論文 6 件（うち本学 6 件)、博士論文 2 件（うち本学 1 件）の利用があった。

【研究】

単回・通年利用を含め 42 件の申請があり、延べ 1,147 人の研究利用があった。内容別には生物の生態的特性に関する研究が約 4 割、樹木の生理に関する研究が約 4 割、物質の動態に関する研究が 1 割、その他が 1 割となっている。

分野の異なる利用者との交流を深め、研究可能性をさらに広げることを目的とした研究利用者交流会を 6 月 10 日に開催し、6 題の口頭報告のほか、10 件の要旨による報告がなされた。

研究教育インフラの整備として、9ha の演習林内に無線 LAN 網を構築し、散策路上 7 箇所に電源を配置した。これによりフィールドにおいても、情報通信技術を用いた研究教育が可能となった。

各演習林並びに生態調和農学機構からの応援も得て、2009 年度以来となる全木調査を 12 月に実施した。この結果、針葉樹 75 種 1,757 本、広葉樹 192 種 3,242 本、合計 267 種 4,999 本の樹木が確認された。

【社会連携】

小中学生向け講座を 2 件、休日公開を 5 件実施した。近隣の中学校から 3 件延べ 9 日間職場体験を受け入れたほか、演習林資源を有効活用できるように学内教職員向けのリース作り講習会を 1 件実施した。地元小中学校による校外学習を 5 件指導したほか、地元公民館による利用 1 件に対応した。

樹木剪定作業により生じた枝葉を園芸資材として試行販売した。

【施業管理】

実習及び研究用としてアカマツ、クロマツ、スギ、ヒノキの実生苗の育成を行った。その他に、研究者から委託された苗木育成のための苗畑管理（潅水や除草）を技術職員と技能補佐員で行った。また、試験地として実験用に植栽されたフィールドの適切な管理を行うため、下草刈り等の作業を行った。

田無演習林は、年間を通して多数の一般利用者が来演するため、一般利用者の安全を考え、散策路沿いの枯損木等の伐採を、小径木については直営で、大径木については請負(クマノミズキ 2 本、コナラ 1 本)で行い、その他枯損枝、掛り枝の処理を、スローラインや高所作業車を用いて直営で実施した。また、敷地境界からはみ出した枝の処理や境界沿いの小径木の伐採を直営で適宜行った。特に新築住宅建設予定地に接する境界は重点的に整備した。第 4 期教育研究計画で示した、隣接する民地にかかる支障樹木の伐採を請負で 12 本行った。

その他、散策路柵の修繕を定期的に行い、苗畑の生垣の剪定作業は、今後の業務軽減のため管理しやすい高さにした。

【その他】

6 月に開催した利用者交流会において、田無演から環境安全管理についての情報提供を行い、利用者の安全管理に努めた。6 月に非常時設備の確認を兼ねた環境整備をアジアセンターと共同で実施し、あわせて消防署員を招いて止血法講習を実施した。研究での丸のこ盤の利用が増加したことから、技術職員 1 名が「携帯用丸のこ盤を使用して作業を行うものに対する安全教育」を受講した。さらに当該職員を講師とする、内部向け丸のこ講習会を生態調和農学機構の教職員も対象にして 10 月に実施した。機構と防災訓練を共同で 11 月に実施し、AED 使用訓練などを行った。一般利用者が多いことから 12 月に AED を設置した。

「東京大学の森」育成資金に 2 名の方からご寄付いただいた。「武蔵野に大学の森をたずねて～東京大学田無試験地の 80 年～」を 20 冊、「“森たび”東京大学演習林のみどころ 100」を 25 冊販売した。

写真：9 小班内に設置された無線 LAN アクセスポイント

生態水文学研究所

【教育】

農学部森林生物科学専修・森林環境資源科学専修の森林保全学実習、測量学実習をそれぞれ 6 月 3～5 日、8 月 25～29 日に田中延亮助教、蔵治光一郎准教授らが行い、9 名、5 名の農学部生と引率教員が参加した。教養学部前期課程夏学期総合科目 D「人間・環境一般（ダムと森林)」のフィールドワーク、冬学期主題科目「全学体験ゼミナール（ダムと土砂と海)」を蔵治、田中らがそれぞれ 6 月 7～8 日、2 月 27～3 月 2 日に行い、それぞれ 20 名の教養学部前期課程の学部生が参加した。「ダムと土砂と海」は水産実験所の菊池准教授にもご参加いただいた。南山大学（5 月 24～25 日、13 名)、名古屋大学（11 月 27 日、37 名）の講義、実習を受け入れ、技術職員が対応した。田中が森林科学専攻の博士課程の学生 1 名の博士論文研究を指導した。

【研究】

6 月 1 日付で学振 PD・森林総合研究所所属の農学共同研究員であった五名美江の受入教員が蔵治に変更となり、生態水文学研究所所属の学振 PD（東京大学特別研究員）となった。10 月 31 日付で特任研究員の今村直広が退職し、その後任として平成 27 年 4 月 1 日付で佐藤貴紀を雇用することとした。首都大学東京所属の畑憲治が農学共同研究員として所属した。12 月 31 日に特任専門職員の五名美恵が退職し、その後任として 11 月 15 日付で学術支援職員として黒木里香を雇用した。

白坂・穴の宮・東山・犬山にて気象、水文観測、雨水・渓流水サンプリング、水質分析を継続した。長期生態系プロットにおける毎木調査、リター調査、種子調査、地上徘徊性昆虫調査、鳥類調査を継続し、その結果の一部を環境省モニタリング 1000 事務局に提出した。2008 年以降 6 年ぶりに白坂小流域長期生態系プロット 2.67ha 全体の毎木調査、一部の樹高調査を行った。
過去の記録紙の読み取り、マイクロフィルム化されていない最近の記録紙の PDF 化、過去のデジタルデータを CD-R と紙媒体で永久保存する作業を進めた。東山試験流域における 1977～1990 年までの 14 年間の日降水量再計算結果報告、2004～2011 年および 2013 年のリタートラップ調査手順記録が「演習林」に掲載された。白坂の 2012 年の日降水量・日流出量、降水と渓流水の水質データが、基盤データ整備委員会水文水質部門によって「演習林」に掲載された。昨年度、岩井らによって「演習林」に掲載された戦前の樹木フェノロジー観測データに誤りが多数見つかり、修正版が「演習林」に掲載された。1997～2012 年度の白坂試験流域の降水および渓流水の水質分析結果報告が五名らによって「演習林」に掲載された。

水文・水資源学会 2014 年度研究発表会にて、小流域全体のリター剥ぎ取りが流出量に及ぼす影響を五名らが、緑のダムづくりとは何かについて蔵治が発表した。中部森林学会にて、ナラ枯れが渓流水質に及ぼす影響について今村らが発表し、同学会シンポジウムのポスターセッションで生態水文学研究所の紹介ポスターを掲示した。第 126 回日本森林学会にて、斜面ライシメータ上のヒノキ林の間伐が蒸発散量に及ぼす影響を蔵治が、小流域のリターが水収支および洪水時流出量に及ぼす影響を五名らが発表した。スウェーデン農科大学で行われた Global Challenges University Alliance ワークショップ「未来の森林」において蔵治が森林の環境サービス支払について発表した。米国ソルトレークシティで行われた国際森林研究機関連合（IUFRO）第 14 回世界大会において、穴の宮の水収支を蔵治ら、穴の宮のピーク流出量の変化を五名らがそれぞれ発表した。技術職員等研究・研修会議にて、生態水文学研究所での学生実習における技術職員の役割について井上が、リター・シードトラップ調査手順の変遷について松井がそれぞれ発表した。農学生命科学研究科技術職員研修会にて、生態水文学研究所での学生実習における技術職員の役

割について井上が、生長期生態系プロットにおける落葉落枝量と種子生産量の年変動について松井がそれぞれ発表した。2014 年度第 2 回分析技術グループ研修「pH 測定技術」に松井が参加した。

データ利用規則に基づき、東京大学のティラック氏、森林総合研究所の今村直広氏、立命館大学の糸数哲氏、名古屋大学の岩下幸平氏のデータ利用申請を許可した。これらのデータを用いた研究成果が砂防学会、Interprevent2014、第 126 回日本森林学会で発表された。5 月 9 日に利用者研究集会・尾張東部丘陵自然環境研究者の会を開催し、昨年度の 17 件を上回る 25 件のポスター発表があった。ユネスコ国際水文学計画のトレーニングコース（名古屋大学主催）のフィールドワークショップが 12 月 2 日に行われ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、中国、タイ、インドネシア、エジプト、カンボジア、英国、米国からの参加者計 13 名に対して、白坂・穴の宮・犬山で計 11 枚のフィールドポスター発表を行った。11 月 23 日はアドバイザーの鷲谷教授にもご参加いただき「湧水湿地保全ワークショップ」を関係者のみで開催した。

8 月 1～8 日に体験活動プログラム「森林・水・土砂の長期モニタリング調査と森林環境教育体験」を企画したが、学生の応募がなく実施されなかった。

【社会連携】

武蔵中学・高校の地学部の生徒、引率教員等 9 名が 8 月 6 日に量水堰の堆積土砂量測定と排土作業を体験した。愛知淑徳大学附属中学・高校の生徒 73 名が 8 月 4 日に森の健康診断を体験した。犬山市立今井小学校・城東小学校の探鳥会に松井がそれぞれ 4 回・3 回、講師をつとめた。東京大学赤津研究林サポーターズクラブ「シデコブシの会」、犬山研究林利用者協議会による赤津研究林、犬山研究林での主催行事や見学団体ガイドがそれぞれ 12 件、33 件行われた。11 月 5～7 日、瀬戸市光陵中学校の生徒 1 名の職場体験を受け入れた。瀬戸市との共催で、せと環境塾 2014 講座「森と水のエネルギー」を 9 月 20～21 日に開催し、12 名が宿泊した。犬山市民総合大学環境学部の連続講座を 9 月 6 日、10 月 18 日、11 月 29 日に蔵治らが担当し、48 名が参加した。この講座の受講生を対象として案内人補助者認定試験を行い、17 名中 16 名が合格した。74 林班のクロマツ植栽地間伐体験公開講座を 12 月 14 日に行い、9 名が参加した。瀬戸市環境審議会、「せと環境塾」運営委員会、犬山市環境審議会に蔵治が委員として参加した。ローカル FM 局「尾張東部放送」の生放送番組「蔵治先生の環境講座」に蔵治が毎月一回出演した。

【施業管理】

第 5 期生態水文学研究所教育研究計画において 4 つにゾーニングした研究林を、それぞれの施業方針に従って管理した。危険の未然防止の観点から、瀬戸市と犬山市の公道沿いに発生したナラ枯れ木を伐採した。74 林班においてマツ枯れ対策として湖西市と協働で地上からの予防散布（5 月 24 日）、年越し枯死木調査（4 月 16 日、被害本数 12 本、うち今年度被害 7 本、材積 2.40m^3）、静岡県によるマツ枯れ被害木の伐採搬出（材積 13.38m^3）、枯死木調査（11 月 6 日、被害本数 8 本、うち今年度被害 8 本、材積 3.13m^3）を行った。教職員・利用者の危険を未然防止する観点から、犬山猟友会、犬山市農林治水課、愛知県尾張県民事務所環境保全課の合意により、東海自然歩道・ライシメータ隣接地である 23 林班の約半分が新たに特定猟具禁止区域（銃）に指定された。

【その他】

6 月 18 日に演習林交歓会を行い、36 名が参加した。予算節約の観点から 8 月 11～15 日を休業状態とした。

富士癒しの森研究所

平成 26 年度は、第 4 期教育研究計画の 4 年度目として、「癒しの森プロジェクト」に基づく研究、社会貢献事業を計画通り実施した。昨年度までに引き続き、「癒しの森」をテーマとした教育プログラムを実施した。

【教育】

大学の実習として、農学部の実習 3 件、大学院の実習 2 件、教養学部 6 件、工学部 1 件、教育学研究科 1 件、他大学 2 件を受け入れた。学生体験活動プログラムとして「癒しの森の落ち葉たき」を実施した。「癒しの森プロジェクト」にもとづく教養学部開講科目として、全学体験ゼミ「癒しの森を創る（夏）（冬）」を開講・実施した。同様に、関連科目として、森林圏生態社会学研究室提供による総合科目「癒しの森を考える」の現地講義を実施した。これまでに引き続き、ゼミ合宿を誘致した。運動会学生との共同作業として、カラマツ間伐材を用いて、山中寮駐車場の整備を行った。当研究所を利用して 3 件の卒業・修士論文研究が行われた。

【研究】

実証林の基礎的データを再整備し、弱度間伐区・強度間伐区を決定のうえ、選木・間伐を実施した。同時に、間伐区それぞれの選木方法を開発した。山中湖村内の薪需要について、現地踏査・アンケート調査を通じて把握した。実証林の間伐木を現地で薪需要者に販売する社会実験を実施した。整備森林と未整備森林について、それぞれの森林景観の座観による生理的・心理的影響を検証する実験を、地域住民の協力を得て行った。富士山科学研究所との共同研究として、林内活動の安全に関する研究を開始し、ヘルメットの安全基準について情報収集を行った。定例的に住民との共同勉強会を開催し、先進地の中心メンバーを招いての現地検討会に 2 度参加した。特別ガイドにおいてアンケート調査を 3 回実施した。教育活動における電動工具の安全管理について、技術職員等試験研究・研修会議で発表を行った。Ⅰ林班での気象データの回収、蓄積について、作業の流れを確立した。キノコ放射性物質調査に参加し、サンプリングを行った。昨年度の研究呼びかけに応じた研究者によるサンプリングを完了した上で、ブナ産地別試験地を廃止した。モニタリング 1000 サイトの定期調査を行った。計画外の研究事業は行わなかった。

【社会連携】

保健休養機能に関する研究、および、薪需要に関する研究の成果を公開講座として発信した。やまなしバイオマス協議会、山梨県美しい県土づくり推進協議会の一員として会議等に参加した。地域住民と連携してフットパスに関する勉強会等を実施した。寄付者に対し年賀状の送付、イベント等のお知らせを行った。東京大学の森育成資金を通じて、新規の寄付申し出が 1 件あった。ウェブサイトおよびブログを活用し、イベントの通知ほか情報発信を行った。英語のウェブサイト構築は実施できなかった。

【施業管理】

森林整備では、刈払いは一部を除き、おおむね計画通り実施した。除伐はすべての予定区で実施できなかった。境界危険木処理は、市町村交付金相当額予算で外注により実施した。枯損木伐採は、気象条件が整わず予定区では実施できなかったが、整備の緊急性にかんがみ予定外の区や大風や台風被害による風倒木処理作業を各所で行った。小班界の杭打ち作業を予定していたが実

施できなかった。埋没標石の確認を、富士癒しの森研究所ＧＩＳ技術研修にて秩父演習林技術職員の指導のもと行った。Ⅰ林班境界柵改修を市町村交付金相当額予算で外注により実施した。

施設整備では、歩道、車道共に全線の整備を行った。特に車道については、市町村交付金相当額予算で砂利敷設整備を外注により実施した。Ⅱ林班野外トイレの防犯対策として、扉の改修を市町村交付金相当額予算で外注により実施した。事務所の外壁補修を市町村交付金相当額予算で外注により実施した。湖畔広場四阿の壁材丸太の入れ替えを行った。

実証林整備は、刈払い、整理伐、伐採木搬出を行った。整理伐作業では、企画部、秩父演習林、樹芸研究所から計 4 名の技術職員の作業協力を得て完了することができた。名称変更に伴うパネル式看板の設置は、国道沿いの看板について設置を完了した。

【その他】

計画通り、東大教職員向け特別ガイドを春・秋・冬の 3 回実施した。間伐作業および癒しの森管理を研修内容とした実務研修を実施し、2 名の参加があった。木パネル式看板が美しい県土づくり大賞奨励賞を受賞した。

癒しの森プロジェクトにおける実証林整備を他演からの協力を得て行った。

社会実験として薪原木販売会を開催した。見学者も含め 36 名の参加があり、活気のある競り会となった。

樹芸研究所報告

第 4 期教育研究計画において樹芸研究所では教育分野にエフォートを大きく割くこととした。特に 2006 年度に開始した前期教養課程の主題科目・全学体験ゼミナールの実施に大きなエフォートを割いている。体験ゼミ「伊豆に学ぶ」シリーズは、人と自然のつながりや、人と人のつながり、そして現代社会においては見えにくい「プロセス」を、体験を通して気付かせる仕掛けであることを基本としながら、大学受験を終えたばかりの学部 1，2 年生に「学ぶ」ということの原点を問うことに重きを置く講義である。構想から 8 年越しとなる今年度にようやく体験ゼミナール「伊豆に学ぶ－熱帯植物編－」の実施に漕ぎ着けた。その中のカカオノキからカカオを収穫してチョコレートを製造するというアクティビティーを発展させる格好でチョコレート会社と共同研究を展開する運びとなり、その記者会見を 3 月 19 日に行った。今後もより一層教育内容の充実と実施体制の効率化を計る。温室では、カカオ以外にも原料植物の現物を用いる教育プログラム開発に意欲的に取り組んでいる。その他、研究ではユーカリ適応試験等の財産を活かしてユーカリを林業樹種として検討する事業を展開している。

【教育】

・農学部　国際開発農学専修 3 年生
　「森林実習」（他大学生に開放し、全演協「公開森林実習」とした。）
・教養学部前期課程１，２年生　総合科目　人間・環境一般 D
　「伊豆に学ぶプラス１」
　「伊豆に学ぶプラス２」
・教養学部前期課程１，２年生　主題科目　全学体験ゼミナール
　「伊豆に学ぶ１」
　「伊豆に学ぶ２」
　「伊豆に学ぶ―熱帯植物編―」
　「夏版伊豆に学ぶ１」
　「夏版伊豆に学ぶ２」
　「森に学ぶ（伊豆）」
　「企画系さらに伊豆に学ぶ１」
　「企画系さらに伊豆に学ぶ２」
・東京大学体験活動　「南伊豆という一地域との連携に学ぶ」
　南伊豆地域で竹林や獣害問題に向き合う NPO の方々と連携して実際の問題に当たる

【研究】

（１）適応試験で選抜されたユーカリ 10 種を林業樹種として再検討

・E. *smithii, maidenii, bicostata, radiata* を伐採し、製材加工特性の試験を行った。（森林総合研究所と共同研究）
・2013 年 6 月、12 月に実生苗を植栽した E. saligna の成長調査を継続して実施した。（王子製紙と共同研究）
・樹芸に生育した E. *elata, piperita* の株からクローン苗を作り、試験地を造成した。（日本製紙と共同研究）
・E. *smithii* の実生苗を作り、試験地を造成した。

（２）油糧植物の植栽地整備と利用方法の検討
・アブラギリ植栽地 0.21ha を間伐して試験地を造成した。（伝統工芸木炭生産技術保存会と共同研究）
（３）シカ等野生生物の調査とその影響を定点観測
・糞粒法と区画法によるシカ生息数の調査を行った。
（４）２つある長期生態系プロットのうち１つの毎木調査を実施した。
（５）初めて発生が観察されたカシナガキクイムシの被害調査および対策を実施した(山口育英奨学会の助成)。

【社会連携】
以下の市民向け公開講座を実施した。
「温室特別公開－樹芸産バニラを使ったアイスー」
「温室特別公開－樹芸産カカオを使ったチョコレートー」
「公開講座－林業遺産岩樟園クスノキ林を知ろうー」
「公開講座－林業遺産岩樟園クスノキ林を訪ねてー」

【施業管理】
静岡県の助成制度による間伐・作業道開設を実施した。

【その他】
平成 26 年 10 月、非常勤職員を雇用した（障害者雇用枠)。当該の職員が平成 27 年 3 月退職することに伴い、4 月以降に 2 名の非常勤職員を新たに雇用（障害者雇用枠）する予定である。

教育研究センター

【教育】

週 1 回のゼミ（演習林ゼミと教育研究センターゼミ）と指導教員との連携による個別指導を通じて、演習林に所属する学生（博士課程学生 3 名、修士課程学生 10 名、4 年生 4 名、研究生 3 名、合計 20 名）の卒論、修論、博論研究等の指導・支援を行うとともに、学生生活全般のケアを行った。教育研究センターゼミでは、R を使った統計解析、EndNote による文献管理、プレゼンの基本などに関する基礎的な演習・指導を行った。また、修士論文、学生が筆頭著者の投稿論文、学会発表ポスター、要旨等の英文チェックを行った。今年度は 8 名が大学院（博士課程 2 名、修士課程 6 名）を修了し、4 名が卒業した。また、ミャンマーからの留学生で博士課程 3 年のトウェ・トウェ・ウィンが農学生命科学研究科長賞を受賞した。

学部・大学院のガイダンス等で演習林における教育研究の説明を行った。演習林教員で担当している講義のスケジュール調整、教養学部講義、演習林ゼミ等の教育推進に関わる経費管理等を通じて、演習林の教育活動を支援した。また、学内の各種委員会に出席した。

広報情報委員会と連携し、各演の教育利用実績を取りまとめた。また、教育目的での演習林利用希望者に対して、各地方演習林との連絡調整を行い、必要な情報を提供した。教育推進委員会と連携し、全国演習林協議会の公開森林実習の受付、諸手続きを支援した。

写真 1　研究科長賞を受賞するウィンさん

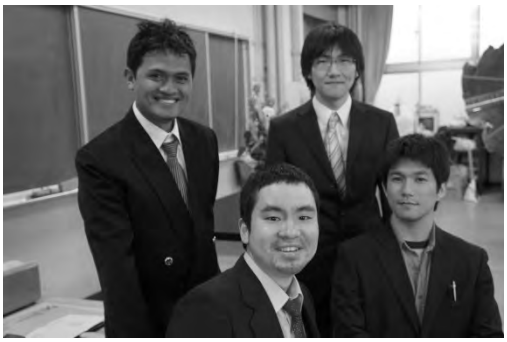


写真 2　学位授与式後の祝賀会の様子

【研究】

演習林編集委員会と連携し、「演習林報告」、「演習林」の編集作業を行った。演習林内の委員会活動が円滑にできるよう、農学系事務との連絡調整を行うとともに、経費執行等の支援をした。広報情報委員会と連携し、各地方演習林の研究利用実績を取りまとめた。

研究目的で演習林を利用する利用者に情報を提供し、全演習林の研究活動を支援した。演習林教職員による投稿論文（英文要旨含む）の英文、演習林報告の目次、地方演習林の各種施設等の英文チェックを行った。

その他、所属する教員がそれぞれ関連するプロジェクト、および、そのデータ解析に向けた準備を行った。また、各自の科研費、運営費等で、個別テーマの研究に取り組んだ。

【社会連携】

広報情報委員会と連携し、ホームページ、科学の森ニュース、学内広報・弥生等の機関紙を通じて、演習林の活動に関して広報活動を行った。また、各地方演習林の広報活動を取りまとめ、

専攻長・附属施設長会議に毎月報告した。さらに、演習林の活動報告の情報を取りまとめ、演習林年報を発行した。一般公開、教職員向け特別ガイドの補助・支援を行った。

【施業管理】

地方演習林の施業管理、毎木・収穫調査、苗畑作業への補助を行った。

【その他】

人事関係では、11 月 1 日から福井大特任助教が採用となった。また、5 月 1 日から 31 日の 1 か月間、千葉演習林の軽込勉さんの実務研修として、広報情報業務、GIS、林木育種、統計解析等の研修を行った。

農学系事務からの各種問い合わせに対応するとともに、連絡調整を行った。安全衛生活動として、地震時の緊急避難について、教職員、学生ともに緊急避難場所を 1 号館と 2 号館の間のヒマラヤスギの近くに一次避難した後、農学部グラウンドに集合することを確認した。6 月に開催された全学教室系技術職員研修にて講演および支援を行った。9 月に行われた全演協秋季大会の開催支援を行った。4 月にインドから来られた Rajesh Kumar さんや 10 月にスリランカから来られた Shinghakumara 先生について、企画部、地方演習林と連携して対応した。同様に、2015 年 4 月と 5 月に来日し、それぞれインターンシップを行うフランスの学生の受け入れ準備を行った。

■2014 年度常置委員会活動報告■

【基盤データ整備委員会】

＜気象部門＞

東京大学演習林では，これまで最長で 100 年を超える期間気象観測を継続してきた。現在の観測システムは 2001 年から稼働し，7 地方演習林を網羅する合計 17 か所の観測地を基盤データ整備委員会気象部門で責任をもって観測を続けてきた。

2012 年 1 月 1 日からは「教育研究計画 2011～2020」に基づいた新体制の下での観測を継続している。すなわち，基盤データ整備委員会気象部門で責任をもつ I 種観測地は札郷（千葉），前山（北海道），小赤沢（秩父），白坂（生態水文），青野（樹芸）の 5 か所，観測項目は気温，湿度，降水量，日射量，風速，風向である。I 種以外の観測地は II 種として各地方演習林の裁量で観測や全演でのデータ公開を行っているが，気象部門として各地方演習林で対応の困難な案件についてのサポートは継続している。

気象担当者会議は予算の都合上 2 年連続で開催していないが，観測機器やその部品についてはメンテナンス計画に基づいて購入，更新している。観測データの公開については，2013 年 1 月 1 日より演習林ホームページでの公開を大幅に早め，翌々月には公開するようにしている。2014 年のデータは観測体制とともに「演習林」58 号（2016 年 1 月発行予定）に 2014 年気象年報として掲載する。

2014年 各地方演習林の観測地と観測項目 （2014年末現在）

演習林名		千葉演			北海道演			秩父演				田無演	生態水文学研			樹芸研	
I種とII種の別		I	II	II	I	II	II	I	II	II	II	II	I	II	II	I	II
観測地		札郷	清澄	新田	前山	山部	山部事務所	小赤沢	栃本	大血川	ワサビ沢	第一苗畑	白坂	東山	穴の宮	青野	加納
観測項目	気温	○(○)	○(−)	○(−)	○(●)	○(−)		○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(−)	○(−)	○(○)	○(○)
	地温								○(−)			○(−)	○(−)	○(−)		○(−)	
	湿度	○(−)	○(−)	○(−)	○(−)	○(−)		○(−)	○(−)	○(−)	○(−)	○(−)	○(−)	○(−)	○(−)	○(−)	○(−)
	降水量	○(○)	○(−)	○(−)	○(○)	○(−)		○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(−)	○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(○)
	日射量	○(−)	○(−)	○(−)	○(−)	○(−)		○(−)	○(−)		○(−)		○(−)			○(−)	
	風速	○(−)		○(−)	○(−)	○(−)		○(−)	○(−)				○(−)	○(−)	○(−)	○(−)	
	風向	○(−)			○(−)	○(−)		○(−)	○(−)				○(−)	○(−)	○(−)	○(−)	
	降雪						○(−)										
	積雪						○(−)										
	降雪深								○(−)								
	積雪深						○(−)										

○は観測を行っている項目，●は設置予定の項目，( )内は代替機器観測の有無を示す。

＜生物部門＞

○植物分野

演習林内に生育する維管束植物（自生種・導入植栽種）をリストアップし，同時にさく葉標本を 1 種につき 3 点作成することを目標に資料の収集にあたっている。

2013 年 7 月の「演習林」54 号に各演習林の植物目録が掲載され，これまでの調査に関する成果を報告した。2015 年 2 月 9 日に植物分野の担当者会議を開催し，今後の活動方針について検討を行った。今後は，標本未採取の種について，可能な限り継続して標本の収集を行う。2015 年はハーバリウム登録の準備として標本リストの作成・整理を行う。2016 年度中に演習林としてハーバリウム登録を行う計画である。2014 年度の各演習林の活動は以下の通りである。

千葉演習林：Ⅰ種の活動は他の業務の合間に３点採集した（セッコク・カキノキラン・マツグミ）。Ⅱ種の活動として，古いさく葉標本の画像を撮影し，リストの作成を行った（画像 1950 点，リスト３点）。なお，作業は業務の合間に行ったので，調査日数・調査人員は０として扱った。

北海道演習林：Ⅰ種の活動としては，通常業務の合間に標本収集を行った（表の通り）。Ⅱ種の活動として北演広報委員会が企画する大麓山登山会でガイドと資料の作成を行った。

秩父演習林：Ⅰ種の活動として石灰岩地の調査を行った。Ⅱ種の活動として自動撮影カメラによるフェノロジー調査（開芽・展葉・落葉）を行った。更に，黒石実験地と影森苗畑で植生調査を行いそれぞれ 300 分類群，250 分類群の植物を確認した。成果は 2015 年度演習林に投稿する予定である。

田無演習林：Ⅰ種の活動は表の通り。Ⅱ種の活動として，樹木園で自動撮影カメラによるフェノロジー調査を行った。

生態水文学研究所：Ⅰ種・Ⅱ種ともに活動は行わなかった。

富士癒しの森研究所：Ⅰ種の活動は標本整理を行った。Ⅱ種の活動は行わなかった。

樹芸研究所：Ⅰ種の活動は標本整理を３日・人行った。Ⅱ種の活動は行わなかった。

演習林名	調査日数	調査人員	2014 採取標本種数	2014 採取標本点数	2014 年度末総標本種数
千葉演習林	0	0.0	3	9	1,085
北海道演習林	0	0.0	2	4	872
秩父演習林	0	0.0	0	0	900
田無演習林	19	19.0	36	35	157
生態水文学研究所	0	0.0	0	0	1,202
富士癒しの森研究所	0	0.0	0	0	416
樹芸研究所	0	0.0	0	0	628
全演習林合計	19	19.0	41	48	5,260

※全演習林合計の総標本種数には演習林間の標本種の重複を含む

○鳥類分野

本年度も各演習林でみられる鳥類のリストアップとモニタリングを目的に教育研究計画のⅠ種，II 種の調査項目を実施した。また，現在担当者が不在の田無演習林，樹芸研究所で繁殖期のポイントセンサスを実施するとともに，8 月に富士癒しの森研究所で，第 26 回国際鳥類学会議のエクスカーションのガイドを行った。2014 年度の確認種数，調査回数等は，下記表の通りである。これまで目録に記録されていない種が地方演習林で３種確認できた。次年度も組織的に調査体制を維持していきながら，計画を実行していく予定である。

	確認種※1		調査回数		調査人員		確認種数	
	科	種	公式調査	任意調査	公式調査	任意調査	公式調査	任意調査
千葉演	32	59（16）	3	21	6	21	19	55
北演	32	82（6）	23	69	69	77	52	63
秩父演	31	71（3）	39	181	39	192	51	65
生態水文	30	57（4）	8	36	8	36	27	50
富士癒し	29	63（22）	10	36	10	36	33	63
樹芸研	16	24（0）	8	2	10	4	19	20
田無演	20	28（3）	7	20	7	20	17	28

確認種の分類は日本鳥類目録_改訂第7版2012を参照
任意調査は公式調査以外の野外業務の際、一時的に任意で行った調査、観察
※1　括弧内は演習林外周辺地域でのみ確認した種数

○脊椎動物（鳥類を除く）分野

各演習林に生息する脊椎動物（鳥類を除く）の生息調査とセンサーカメラによるモニタリングを実施した。生息調査では捕獲調査を実施するとともに，対象となる動物によって異なる調査方法を精査・試行し，各演で実施する際に参考となるマニュアル作成・ノウハウの蓄積を行った。また９月には生態水文学研究所にて，昨年度コウモリ目の調査を行った秩父の技術職員が講師となり，コウモリ目の調査指導・補助を行った。センサーカメラによるモニタリングは５年を一区切りとする結果公表に向けて，北海道・富士・田無の担当者が中心となり，全演共通のデータ整理フォーマット・公表草稿の作成を行った。

各演で行われたセンサーカメラ調査の成果およびその他の調査の内訳と成果は以下の通りである。

演習林名	センサーカメラ調査			その他の調査			
	設置場所	調査日数	確認種数	調査方法（実施月）	確認種数	収集件数	備考
千葉	林内	365	5	目撃情報記録（通年） ラインセンサス（4～6月） 両性爬虫魚類調査	15 17		 河川
北海道	林道	365	5	自動撮影調査（6･10月） 目撃ノート（通年） エゾシカライトセンサス（11月）	10 8 4	407 129	林道モニタリング エゾシカ計157頭
秩父	歩道	365	11	ライトセンサス（5月） コウモリ調査（6･7･8月） 拾得死亡個体保存･標本作製試験 目撃ノート（通年） サンショウウオ調査（5～9月）	2 2 3 5	12 4 3 17 57	 ※1
生態水文	歩道･沢地	365	10	目撃情報シート（通年） コウモリ調査（9･10･11月）	3 0	6	
富士	林内･歩道	365	7	目撃情報記録（通年）	3	14	
樹研	青野研究林内	365	8	目撃情報記録（通年） ニホンジカ区画法調査(3/11-12予定)	20 —	63 —	
田無	モウソウチク林内･第一苗畑内	365	5	動物観察ノート（通年）	5	6	

※1　種数は調査中

○昆虫類分野

（１）全演共通の調査を実施

本年度もピットフォールトラップを用いた地表徘徊性甲虫相調査を実施した。2008 年から各演共通の方法による定期的・定量的採集を行っており，採集された標本は北海道演習林に集められている。千葉演習林，北海道演習林，秩父演習林，田無演習林，生態水文学研究所，樹芸研究所では，2013 年より調査地を移動した。富士癒しの森研究所では別の調査地がないため当初から同じ場所で調査している。

2008～2010 年の標本については同定結果が出ているものの，2011～2014 年は未同定である。2011～2012 年の同定が済んだところで，2008～2012 年の５年分のデータの解析を行い「演習林」に投稿する予定である。

（２）各演を利用した研究論文からの昆虫相のリスト化

各演を利用した研究論文からの昆虫相のリスト化は各演で進めているが，2015 年度中にリスト様式を確定し，各演担当者により随時整備していく。

＜水文水質部門＞

千葉演習林・北海道演習林・秩父演習林・生態水文学研究所・樹芸研究所において，流量と定時の水質サンプリングとその分析が砂防研究室からの支援も求めながら実行する体制が組まれている。その骨子は，下記の３点からなる。2014 年度の活動は，このような体制の下，５つの地方演習林で地道な観測の継続と分析が実行され，その成果が生態水文学研究所に逐一報告され記録されたことである。

１．生態水文学研究所におけるデータの管理

２．基盤データ整備委員会管轄下の試験流域での水位測定・降水量測定

３．降雨および渓流の水質サンプリング・分析の分担

観測項目

１．流量・雨量の観測と日流量・日雨量への整理：各地方演習林の責任で実施

２．降水・渓流水の水質サンプリング：月１度採水し，分析担当の地方演習林へ送付

３．水質化学分析：渓流水(Na^+, K^+, Mg^{2+}, Ca^{2+}, SO_4^{2-}, NO_3^-, Cl^-, pH, EC の９項目)

降水（上記９項目＋NH_4^+の 10 項目）

流量・水質観測地点：

１．流量観測地点・渓流水質観測地点：千葉演習林（袋山沢 A），北海道演習林（丸山沢），秩父演習林（バケモノ沢），生態水文学研究所（白坂本谷），樹芸研究所（青野３号沢）

２．渓流水質分析：千葉は砂防研究室で，北海道と樹芸は樹芸研究所で，他は生態水文学研究所で分析（分析担当は機器の不調で若干の変更あり）

雨量観測地点：

千葉演習林（新田），北海道演習林（東郷ダム），秩父演習林（ワサビ沢），生態水文学研究所（白坂），樹芸研究所（加納）

降水水質観測地点：

雨量観測地点と同一，樹芸研究所は加納

降水水質分析：
　千葉（砂防研究室），北海道と樹芸研究所（樹芸研究所），他（教育研究センター経由で砂防研究室）
データ公開
　日降水量，日流出量，月１回の水質データ：生態水文学研究所がとりまとめ
　雑誌「演習林」・演習林ホームページ上で公開予定タイムテーブルのアナウンス

＜ＧＩＳ部門＞
　本年度はGIS部門第３期活動計画期間（2013～2015年度）の２年目にあたる。前期の成果をさらに発展させるべく，①GISデータの整備，②GIS操作技術の向上，③GISデータの活用，の３つを当期におけるGIS部門の活動方針としている。
　活動方針①に関して，当期はリモートセンシングデータの整備・拡充を全演的に進めており，本年度は千葉と生水研のALOS衛星画像（AVNIR-2，PRISM）を購入した。千葉では，本年度皆伐地の防獣柵配置図とヒメコマツ集植場の樹木位置図を作成した。北海道では林野庁補助事業「デジタル森林空間情報利用技術開発事業」で計測されたLiDARデータ（6,900ha）の入手，デジタル空中写真を用いた樹高分布図の作成，LiDARデータを用いた樹高分布図とCS立体図の作成を行った。秩父では，保育作業地と林内巡視地の作図と写真付与，歩道巡視・整備記録の整理・更新，開設中の作業道路線図の作成，LiDARデータの索引図改良とCS立体図の作成を行った。田無では第一苗畑の基本図を作成し，苗畑台帳との関連付けを行った。生水研では全林班の図面を作成した。富士癒しの森研では危険木位置図の作成と研究所案内図の更新を行った。樹芸研ではGPSを用いた新設作業路の位置情報取得を行った。
　活動方針②に関して，GIS操作技術を指導可能な職員を新たに養成するため，12月10～ 12日に秩父の職員１名を対象としたGIS指導者養成研修を実施した（写真１）。北海道の中川雄治技術専門職員，井上崇技術職員，遠國正樹技術職員が講師を務めた。１日目（10日）はUAV（無人航空機）を用いた空中写真の撮影とオルソ画像作成の方法について研修を行った。２日目（11日）はGIS技術指導の進め方および指導にあたって留意すべき点について講義を行った。また，秩父のLiDARデータを利用した林冠図の作成および樹冠位置の抽出と樹高推定の方法に関する実習を行った。３日目（12日）はタブレット端末およびLiDARデータの活用法について意見交換を行った。1月20～22日には田無の職員２名と生態調和農学機構の職員２名を対象としたGIS内部研修会を実施した（写真２）。千葉の軽込勉技術専門職員が講師を務め，「フィールドの管理履歴作成」をテーマとして，苗畑基本図の作成と利用履歴・林内下刈り履歴のデータベース化に関して実習を行った。また，生態調和農学機構の教職員等10名を対象として，「GISの基礎と演習林での活用事例の紹介」をテーマに講義を行った。１月29～30日には生水研の職員２名を対象としたGIS内部研修会を実施した（写真２）。秩父の原口竜成技術専門職員が講師を務め，GISの基礎知識と操作方法，現存する図面や森林管理簿等のデータ管理，GPSやコンパス測量のデータ処理方法について実習を行った。本研修会の開催を通じて，各地方演習林の実情に合った内容でGIS関連技術の向上が図られた。なお，６月24～27日には北海道で教室系技術職員研修「フィールドワークのための高精度ポジショニングと3Dスキ

ャニング/プロファイリングーGNSS および LiDAR (full wave form) の応用ー」が開催され，北海道の芝野博文教授，中川雄治技術専門職員，遠國正樹技術職員，犬飼慎也技術職員，井上崇技術職員，および当部門アドバイザーの三浦直子助教（教育研究センター）が指導を行った。

活動方針③に関して，千葉では森林立体視ソフトウェア「もりったい」を試験的に導入し，デジタル空中写真の立体視機能や分析機能を使った活用方法について検討した。また，ヒメコマツ天然木の位置図を利用して論文を執筆・投稿した。北海道では伐採許可申請図面の作成や林種区分の参考情報提供（「もりったい」の利用，樹高分布図，正規化植生指標等に基づく画像分類）を行った。秩父では利用者２件に対する GIS データの提供，演習林年報や利用者発表会の資料作成，森林管理業務に必要な情報の提供等を行った。生水研では研究所の管内図を作成・印刷した。富士癒しの森研では立木位置データを利用して実証林試験区の伐採作業計画図を作成した。樹芸研では，利用者用緊急マップの更新とシカ区画法調査の資料作成を行った。

写真１　北海道で行われた GIS 指導者養成研修の様子

写真２　田無（左）と生水研（右）で行われた GIS 内部研修会の様子

＜固定試験地部門＞

東京大学の７地方演習林には数多くの試験地が設定され測定が行われている。試験地部

門では，2011 年度に決めた「試験地データの整備と公開に向けての具体的なスケジュールと方法についての基本的な方針」に基づいて一部のデータのデジタル化を順次進めていく計画である。2014 年度は前年度に引き続き調査データの入力フォーマットや公開方法に関する検討を行いほぼ方針を固めたが実際の作業には入れなかった。また前年度に引き続き古い写真帳のデジタル化を進めた。

【研究推進委員会】

演習林研究推進委員会は 2007 年度より演習林教員を中心とした研究活動を組織的にバックアップすると同時に，研究プロジェクトの組織的な獲得，演習林の蓄積してきたデータの研究成果としての公表の促進を図るために設置された。

2014 年度においては研究プロジェクトの組織的な獲得に関して若干の活動があった。全国大学演習林協議会秋季総会において科研申請を含め共同研究の実施について審議へ向けて「平成 26 年度共同研究テーマの提案等について」という照会を請けて，部内での資料作成のため，共同研究テーマの提案と共同研究推進に関する意見を委員会メンバーに対して徴した。

７つの粗課題（森林データのクラウド化・演習林産クローン相互集植試験・環境汚染物質モニタリング・生態系フィールド教育ネットワーク・森林の教育および社会貢献活動の管理指導・量水観測精度向上・演習林のレゾンデートル）が提出された。大きく分類すると，①全国に展開する大学演習林で比較研究するというメリットを生かしたもの，②全国の演習林にすでに存在するデータを掘り起し利用しやすく整えることを目指したもの，③その他：これまでの枠組みを超えた斬新な提案，となる。

【教育推進委員会】

１）委員会の開催

2014 年５月 23 日（金），10 月 24 日（金），2015 年２月 20 日（金）の３回開催した。旅費節約の観点から TV 会議を行った。

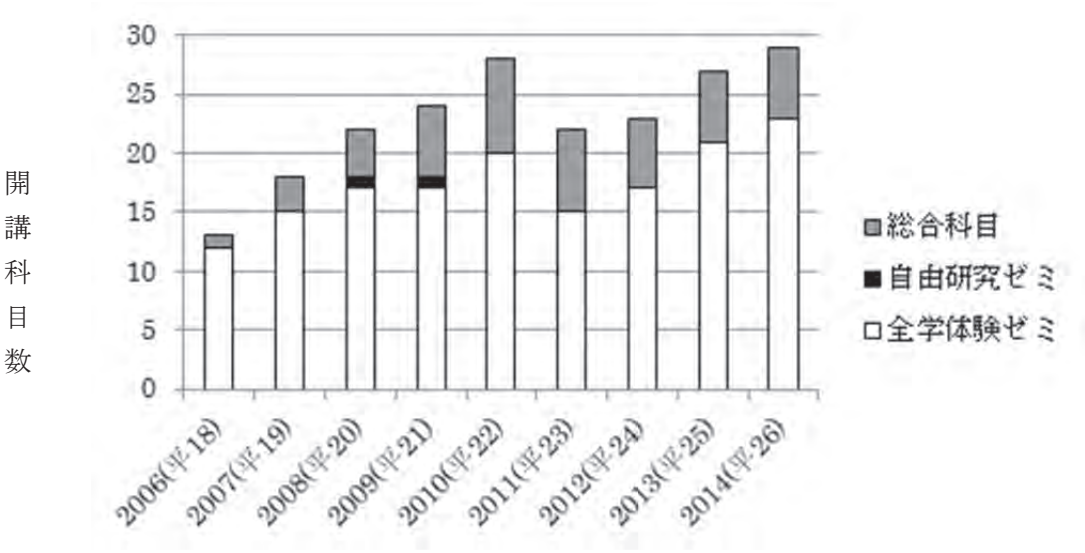
（２）活動報告

教育推進委員会の活動は，「教育研究計画 2011～2020」に定めた以下の６項目について行っているので，それぞれについて報告する。

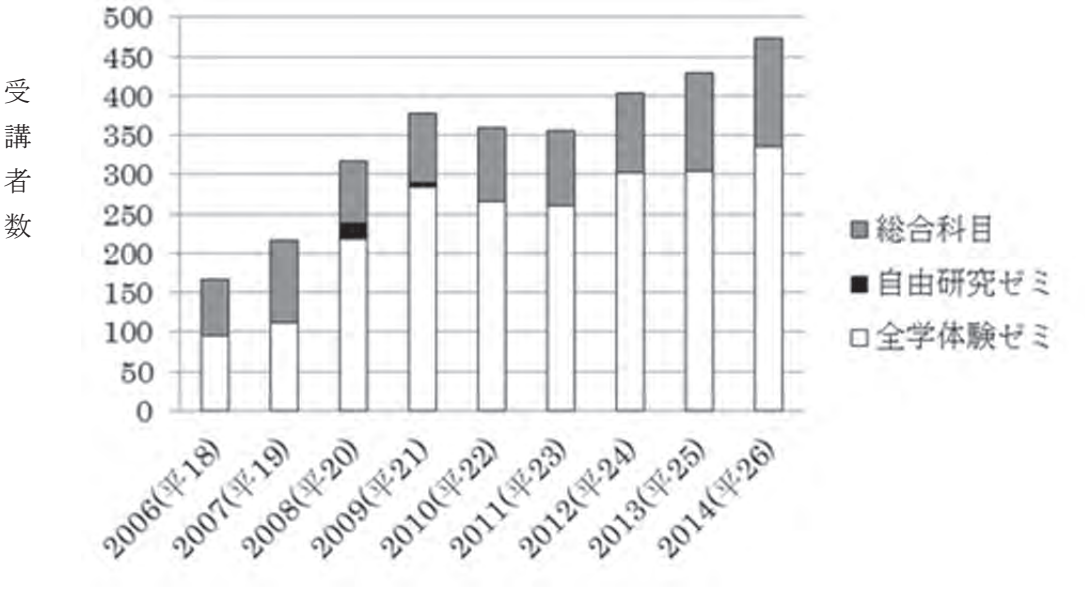
（２－１）教養学部講義の組織的取り組み（鴨田，齋藤）

演習林では，平成 18（2006）年度より，教養学部における講義の開講に積極的に取り組んできた。近年は，年に 20 以上の科目が開講され，2014 年度は 29 科目が開講された（図－１，参考付表－１，２）。これらの講義を通じて演習林を訪れ，森林・農山村の現状を学ぶ機会を持った学生は毎年 300 人以上にのぼり，2014 年度は過去最多の 474 人であった（図－２）。それに加えて 2014 年度は「教育研究計画 2011～2020」に例示された「演習林として戦略的な題目の設定」を目指して検討したが成案は得られなかった。2015 年度も引き続き検討する。

教養学部講義・ゼミの受講生に，演習林で学ぶためにはどのような学部・専修を選択すればよいかをわかりやすく示した資料として「進学振り分けガイダンス」を作成した。



図－１　演習林における教養学部開講科目数の推移



図－２　演習林における教養学部開講科目受講者の推移

注）受講者数は，履修登録者数ではなく，実際に講義を受けた学生数。
2006 年度，2007 年度の全学体験ゼミは集計されていない科目が含まれる。
2014 年度の冬学期開講科目は未集計

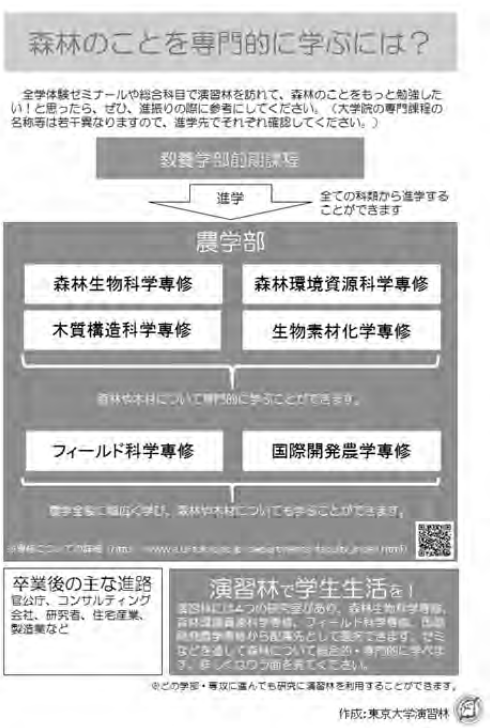
参考付表1:教養学部開講の科目数

年度	主題科目					総合科目			計
	全学体験ゼミ		自由研究ゼミ		小計				
	夏	冬	夏	冬		夏	冬	小計	
2006(平18)	8	4	0	0	12	0	1	1	13
2007(平19)	9	6	0	0	15	2	1	3	18
2008(平20)	10	7	0	1	18	3	1	4	22
2009(平21)	10	7	0	1	18	4	2	6	24
2010(平22)	12	8	0	0	20	5	3	8	28
2011(平23)	9	6	0	0	15	4	3	7	22
2012(平24)	10	7	0	0	17	3	3	6	23
2013(平25)	12	9	0	0	21	3	3	6	27
2014(平26)	12	11	0	0	23	3	3	6	29
計	92	65	0	2	159	27	20	47	206

参考付表2:教養学部開講科目の受講者数

年度	主題科目					総合科目			計
	全学体験ゼミ		自由研究ゼミ		小計				
	夏	冬	夏	冬		夏	冬	小計	
2006(平18)	85* (14.2)	10* (5.0)	−	−	95* (11.9)	−	72 (72.0)	72 (72.0)	167* (18.6)
2007(平19)	81* (13.5)	30* (10.0)	−	−	111* (12.3)	26 (13.0)	79 (79.0)	105 (35.0)	216* (18.0)
2008(平20)	113 (11.3)	105 (15.0)	−	21 (21.0)	239 (13.3)	40 (13.3)	38 (38.0)	78 (19.5)	317 (14.4)
2009(平21)	145 (14.5)	139 (19.9)	−	5 (5.0)	289 (16.1)	60 (15.0)	28 (14.0)	88 (14.7)	377 (15.7)
2010(平22)	171 (14.3)	94 (11.8)	−	−	265 (13.3)	53 (10.6)	42 (14.0)	95 (11.9)	360 (12.9)
2011(平23)	135 (15.0)	125 (20.8)	−	−	260 (17.3)	57 (14.3)	38 (12.7)	95 (13.6)	355 (16.1)
2012(平24)	161 (16.1)	142 (20.3)	−	−	303 (17.8)	62 (20.7)	39 (13.0)	101 (16.8)	404 (17.6)
2013(平25)	144 (12.0)	160 (17.8)	−	−	304 (14.5)	88 (29.3)	38 (12.7)	126 (21.0)	430 (15.9)
2014(平26)	164 (13.7)	−	−	−	−	102 (34.0)	−	−	266 (17.7)
計	1199* (13.0)	805* (14.9)	−	26 (13.0)	2030* (12.6)	488 (18.1)	374 (22.0)	862 (17.3)	2892* (15.1)

注1)受講者数は、履修登録者数ではなく、実際に講義を受けた学生数
注2)カッコ内は1科目平均の受講者数を示す。
注3)＊は集計されていない科目が含まれていることを示す。



（２－２）教育推進委員会予算（安村，三浦）

教育推進委員会予算として，現有教員の教員経費の２％と欠員教員の教員経費の半額に運営費からの補てん分を加え，演習林として組織的に取り組む教育活動に関わる費用負担が職種，指導学生の多少，講義数の多寡等によって大きく偏らないようにするために，教養学部前期課程の教育（全学体験ゼミ等）にかかる経費（遠隔地教員の講義のための旅費については研究科負担），演習林ゼミに出席するための最低限の旅費，「演習林」として講義の担当を受け持っているオムニバス講義のための旅費，助教の教育技術の向上をはかるうえで重要な学部実習の担当に必要な旅費等を賄った。

予算節減の観点から，2014 年度途中の 10 月に支出基準を改正し，「教養学部の講義・ゼミのガイダンスのための旅費は対象としない」こととした。またマイクロバス代は複数見積を基本とすることを申し合わせた。

2015 年度も引き続き予算節減が求められることから 2015 年度当初に支出基準を改正し，助教の教育技術の向上をはかるうえで重要な学部実習を５年より長く担当した場合の旅費は原則として支出対象にしないこと，演習林ゼミ発表のための旅費は指導学生のあるなしにかかわらず１回分とすること，技術・事務職員の旅費・役務経費（マイクロバスの回送にかかる費用，教育推進委員会が認めた「冬タイヤ交換」にかかる費用を除く）は支出しないことを定める予定である。

（２－３）広報情報委員会との連携

2014 年度から全演協の公開森林実習が開始されることに伴い，連携を強化した。演習林ホームページのトップページの左側のメニューに「公開森林実習」を加え，情報発信した。

また公開森林実習のポスターを作成し，農学系の大学に送付して広報につとめた。

（２－４）演習林ゼミ（久本，浅野）（各研究室の担当者：久本，鴨田，齋藤，浅野）

演習林ゼミは，教育目的で，卒業論文，修士論文および博士論文の作成に必要な指導を行うための「特別演習」「特別実験」等の科目の一部として行われている。2014 年度は例年通り４研究室ごとのアレンジおよび卒論，修論，技術職員の発表で計 11 回開催した。

（２－５）学生の確保（鴨田（学部３年），浅野（大学院））

「進学振り分けガイダンス」資料を教養学部の講義・ゼミで受講生に配付した。また進学・大学院受験等のガイダンスの場で「科学の森で学ぼう」パンフレット（PDF で発行）を印刷して配布した。

（２－６）教員総会

2014 年度の教員総会は開催されなかった。

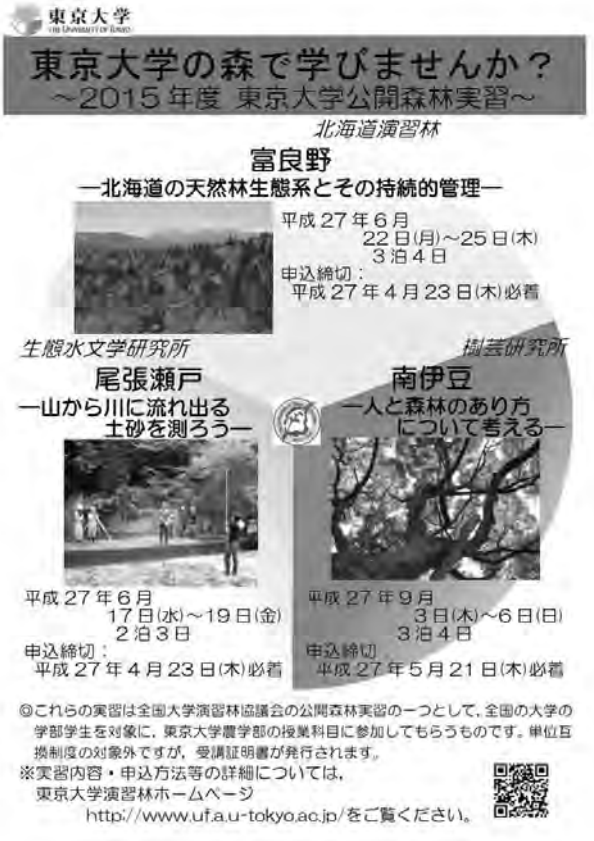
（３）その他

（３－１）公開森林実習（鴨田・前原・坂上）

全国大学演習林協議会（全演協）では，各大学が持っている演習林相互の有効活用を促進することを目的に教育関係共同利用として「公開森林実習」を実施している。各大学の学生は他大学で実施されている「公開森林実習」を受講することで，自大学の演習林とは生態系や環境が異なる他大学の演習林における実習や造林・搬出・測量などの技術的な実習，地域の伝統的な林業を対象とした実習など，多様で特色ある内容の実習を選択して受講することができる。東京大学は，他大学の学生に東大演習林で学ぶ機会を提供するとともに，本学学生に他大学の演習林で行われるさまざまな「公開森林実習」に参加する機会を提供するため，単位の取得にかえて「成績証明書・履修証」を発行することで，「公開森林実習」に参加している。

2014 年度は，森林系２専修およびフィールド科学専修の「森林科学総合実習」と国際開発農学専修の「森林実習」を「公開森林実習」として位置づけ，それぞれ「森林科学総合実習―北海道の天然林生態系とその持続的管理―」，「伊豆の公開森林実習―人と森林のあり方について考える―」として開講し，他大学からそれぞれ２名の学生が受講した。

2015 年度も今年度と同じく２つの実習を開講する予定である。それに加えて，森林系２専修およびフィールド科学専修の「森林保全学実習」のうち演習林で行われる部分について，１単位相当の「公開森林実習」として位置づけ，「森林と土砂と渓流の実習　－山から川に流れ出る土砂を測ろう－」



として開講する予定で準備を進めている。

（３－２）「演習林」として講義の担当を受け持っている農学部の科目

2015 年度および 2016 年度において，学事暦の変更，卒業に必要な単位数の変更に伴う講義の統廃合，２単位講義の１単位化など様々な改変が進行中である。演習林として農学部に出講している「森林生態圏管理学」と「森林科学概論」について，変更への対応方針を検討した。「森林生態圏管理学」は 2015 年度も 2014 年度と同様に 13 人の講師以上の教員が１回ずつ講義を行うこととした。2106 年度は森林系２専修の当初案では２単位から１単位に変更する案となっていたが，これまで森林科学に進学してきた学生に森林科学の全体像を教える科目として効果があり，同じ専門分野でも基幹講座とは異なる研究をしている演習林の教員が話すことで，よりいっそう概論としての効果があると考えていることから，引き続き２単位とするよう要望した。一方，「森林科学概論」は 2014 年度を最後に開講されないこととなった。

【環境安全管理委員会】

毎月開催される農学部の環境安全管理室会議に出席して，情報の収集にあたり，演習林会議を通して情報の共有をはかった。

安全衛生に関わる各種研修，講習については，演習林外部の研修，講習へ職員が参加するとともに，演習林内部でも実施した。

教育研究安全衛生マネジメントシステムについては 2007 年度より研究部（現教育研究センター）および各地方演習林をそれぞれユニットとして実施している。2014 年度も継続して，各ユニットで安全衛生計画等の作成，定期的なミーティング，リスクアセスメントと対策の検討，安全衛生に関わる各種研修，講習を行った。

2014 年２月４日に千葉演習林のシカ生息数調査に際して発生した死亡事故の原因究明と再発防止対策を，研究科環境安全管理室とともに行った。演習林を利用する様々な形態ごとに演習林が果たすべき安全配慮の範囲の明確にした。一部の案件に関しては，演習林と同様にフィールドを管理する林野庁などの他の組織の対応を聴取して研究科環境安全管理室と共に検討している。

【広報情報委員会】

演習林会議の前の週に，図書館会議室の TV 会議システムを利用して毎月１回の会議を行い，広報，情報，ネットワーク，ホームページ，会計等の各担当から報告を行うとともに，審議・議論を行った。

○広報活動

演習林編集委員会と連携して，雑誌「演習林報告」131 号，132 号，「演習林」57 号を編集・発行した。また，科学の森ニュース 66 号～69 号，技術職員等試験研究・研修会議報告，「科学の森で学ぼう」の編集，印刷，出版と各所への配布，全演ホームページの更新とコンテンツの管理を行った。さらに，毎月の専攻長・附属施設長会議に演習林の活動を資料として提出したほか，各演習林と協力しながら，広報誌（学内広報，淡青，弥生など）への原稿の投稿，情報の提供を行った。特に，新たに作成された研究科カレンダーに北演から３枚，千葉演から２枚の画像提供を行った。また，「東大の森」育成資金委員会からの要請を受けて，寄付者向けのポストカードの作成を行った。６月の広報情報委員会では，各演広報情報担当者に来てもらい，合同会議を開催し，各演広報活動の情報交換と抱えている問題について議論をするとともに，広報情報委員会と各演広報情報担当の役割分担を再確認した。また，12 月の広報情報委員会では，科学の森編集委員会も合同開催し，科学の森ニュースの記事募集，誌面構成のあり方などについて検討した。

出版関係では，消費税が５％から８％に上がるのに合わせ，昨年度末より経理課と相談の上，各書籍の販売価格を決定し，既に新価格を適用している。2014 年４月～12 月の演習林出版局の出版物（ポストカード含む）の販売実績は，ジュンク堂池袋店で 69 冊，同札幌店で 16 冊，農学部生協店で 107 冊，地方演習林合計で 1,019 冊，全体では 1,217 冊を販売し，総売上は 938,131 円（消費税込）となった。

千葉演習林の創設 120 周年を記念した活動として，科学の森ニュース 68 号を特別号として拡大版を作成した。ホームページでは，創設 120 周年特集として４月から 11 月まで月替わりで各演の今昔比較写真を掲載した。

2014 年度から東京大学が全演協幹事校となったことから，全演協大学演習林年報作成への協力を行った。関連して，全国演習林協議会の 120 周年記念イベント（日本森林学会でのポスター掲示，記念誌発行）への協力を行った。

○情報活動

各演習林の利用実績の収集・報告およびデータベースの維持管理，演習林年報のとりまとめ，演習林サイボウズの管理，演習林ホームページやサイボウズ，データベースの入っているサーバーの保守を行った。また，基盤データ整備委員会と連携し，試験地部門におけるデータベースの構築，公開についての作業分担協力，各演で観測された気象データの収集と取りまとめ，公開支援を行った。

広報情報委員会の下部組織として演習林ネットワーク委員会があり，メールアカウントの管理業務・演習林 Web/データベースサーバの管理・部局 CERT における担当としてコンピュータセキュリティに関する業務，地方演習林のインターネット接続・コンピュータネットワークに対する支援などを行った。今年度は，新規サーバーを購入し，移行作業を行った。また，農学部全体として ICT を用いた遠隔授業を進めるための設備整備が進んでおり，ネットワーク担当が対応にあたった。メールアカウントの不正アクセス，DNS サー

バの踏み台攻撃，NAS のセキュリティーホールを突かれた攻撃などが発生し，その都度 UT-CERT 部局担当として対応にあたった。なお，ICT の予算で，川俣学生寄宿舎，ワサビ沢講義室，青野作業所に IPSTAR による人工衛星インターネット敷設の準備が進んでいる。

○今後の課題

全演的に予算が厳しくなる中，広報情報委員会としては，演習林編集委員会と連携し，来年度から演習林報告を年１冊（２巻合併号）とすることで予算削減を行うことになった。

来年度に外部評価を行うために年報の納品を６月中に行う必要があるため，スケジュールと作業分担を検討している。

コンピュータネットワークの様々な新しい便利な機能を主要な業務に活用することが多くなってきているが，セキュリティーに関する組織的な備え，危機への対応体勢は十分であるとは言えない。絶えず新しい技術についての情報を得つつ，責任を持って対処できる体勢を組織的に整えていくことが課題となっている。

【国際交流委員会】

演習林国際交流委員会は，おもに，各国の大学演習林との交流計画の作成・実施を任務としている。2014 年度は，2014 年 10 月の IUFRO 世界大会（アメリカ合衆国ソルトレイクシティ）で，ソウル国立大学校，国立台湾大学の関係者と集会を開催した。次回の，アジア演習林コンソーシウムの会議は，2015 年にソウル大学で開催する予定である。

【森林病害虫委員会】

森林病虫害委員会は森林管理において支障となる病虫害が発生し各地方演習林で対応が困難な場合に専門的な立場から管理指針を助言することになっている。2014 年度は対応が必要な病虫害発生案件はなかった。

生態水文学研究所 74 林班で 2010 年度に実施したマツ枯れ予防樹幹注入試験地（注入木約 130 本）についても 2014 年度は枯死木がなかったため，調査は実施しなかった。本試験地では注入後数年間，予防効果について経過観察し，注入木で枯死が多発した場合には薬剤の分布調査を行うことになっている。

【「東京大学の森」育成資金委員会】

例年演習林で行っていた東大基金・渉外本部主催の東大寄付者フォローアップセミナーは今年度は開催されなかった。なお，今後予算の削減が一層厳しくなっていく状況を考慮し育成資金制度のより積極的な活用を進めるため，「教育研究計画 2011～2020」の見直しにあわせて育成資金委員会そのものの構成を見直すこととした。今年度３月上旬までに 14 名から 256 万円（本部取り分含む）の寄付があった。

演習林規則に則って開催された委員会・会議

運営委員会

演習林規則第５条により設置されている演習林の管理および運営に関する最高議決機関である。委員は演習林の教授・准教授のほか研究科長が推薦する研究科の教授または准教授（10名以内）と演習林統括技術長，研究科事務部長であり，演習林長が委員長を務める。今年度は2015年３月18日（水）に開催し，地方演習林と常置委員会を軸とする演習林の管理および運営に関する重要事項の審議を行う予定である。

演習林会議

演習林規則第６条により設置されている演習林の管理および運営の実務に関する事項を審議決定する期間である。議員は演習林長，演習林長補佐，演習林所属の教授，准教授，講師，演習林統括技術長のほか演習林長が必要と認めた者がなる（今年度は研究科総務附属施設担当副課長が指名された）。演習林長が議長を務める。原則として毎月１回（８月をのぞく）教授会開催日の前日に開催する。今年度は 11 回開催した。

その他の委員会・会議

技術主任会議

統括技術長と地方演習林技術主任により森林管理・技術主任組織等に関する諸問題を検討する。2014 年度は 7 月 24 日（木）に開催し，あわせて 7 月 25 日（金）に事務担当者・技術主任合同会議を開催した。

事務担当者連絡会議

大学院農学生命科学事務担当者による会議であり地方演事務担当者を含めて事務処理遂行上の問題点等について報告，意見交換を行う。通常年 1 回，当初予算決定後に開催する。今年度は 7 月 24 日（木）に開催した。

技術職員等試験研究・研修会議

技術職員等による研究報告と情報交換，技術研修等を目的に年 1 回開催する。今年度は 10 月 28 日（火）から 29 日（水）にかけて千葉演習林を会場に開催した。

演習林編集委員会

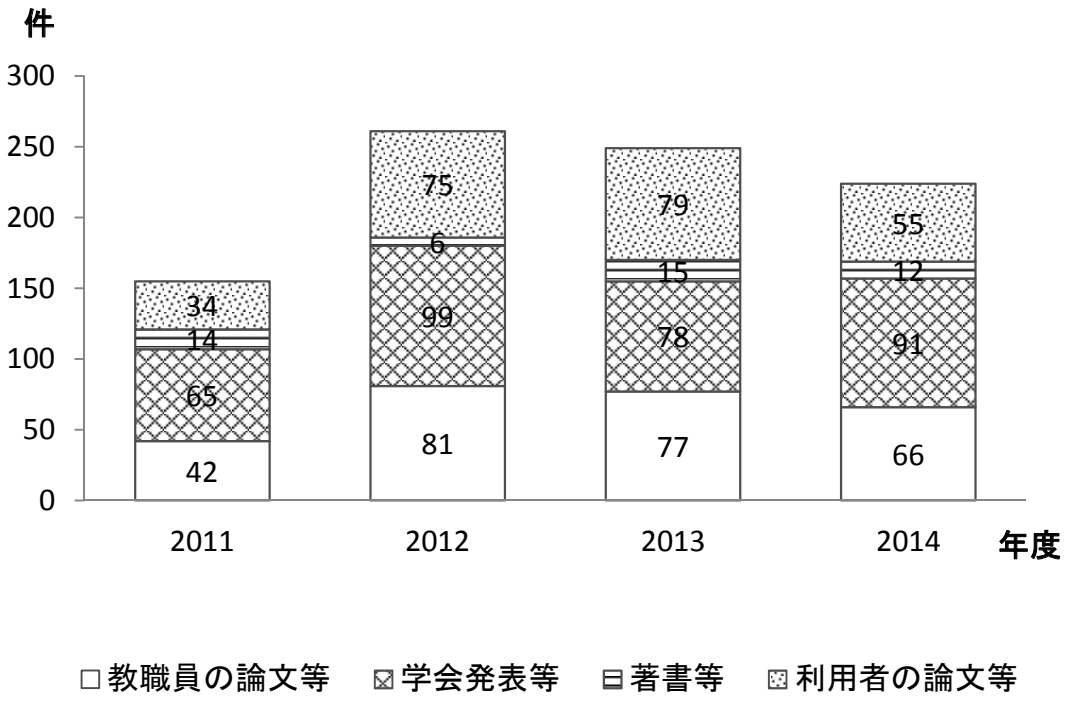
「東京大学農学部演習林報告」と「演習林」の編集発行を行っている。委員は演習林の教授・准教授のほか関連専攻から推薦された教授・准教授（7 名）と編集委員長が指名する者がなる。原則として奇数月に開催し，今年度は 6 回開催した。

科学の森ニュース編集委員会

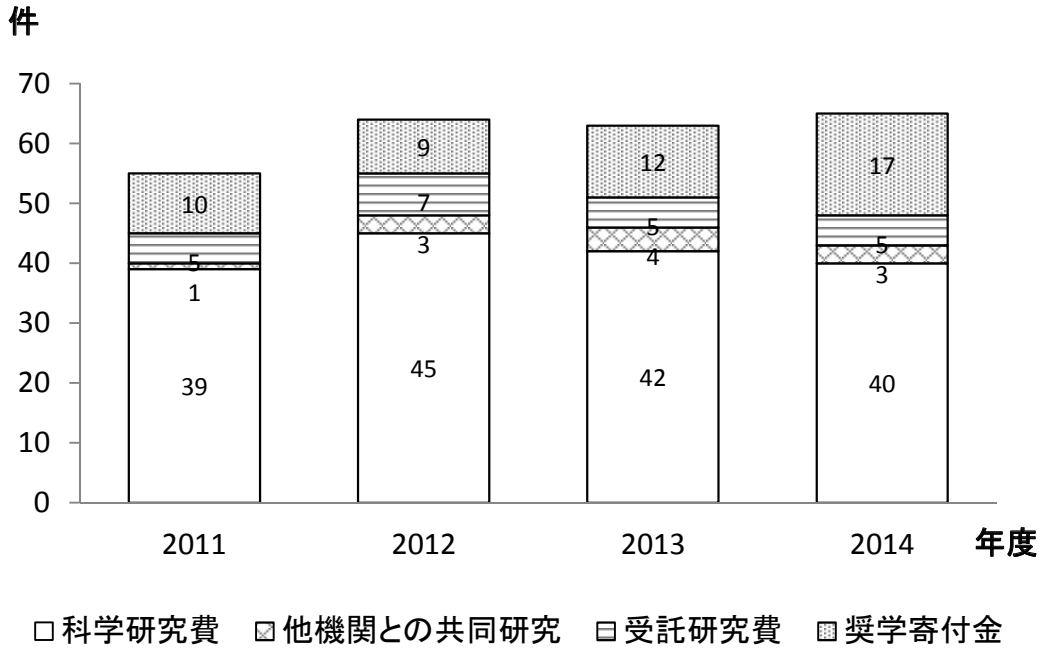
常置委員会のひとつである広報情報委員会のもとで広報誌「科学の森ニュース」の編集にあたっている。今年度も 4 回の発行にあわせて電子メールでの審議を行い，科学の森ニュース 66～69 号を発行した。

ネットワーク委員会

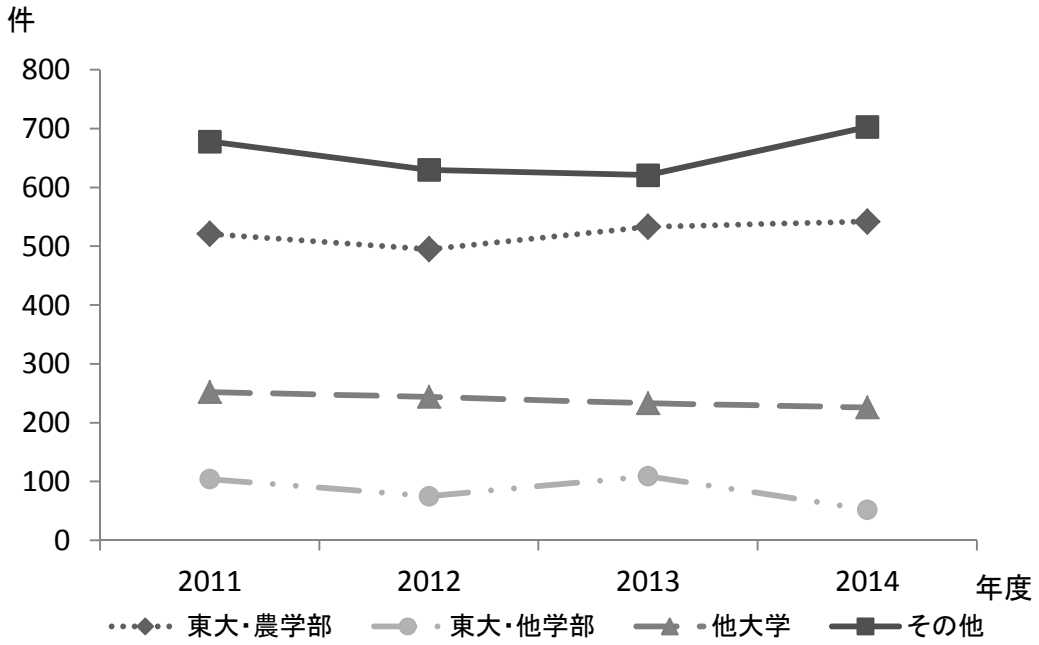
演習林内のネットワークに関する問題の対応，メールアドレス管理等の他，研究科マルチメディア委員会の対応等を行っている。



論文等の本数

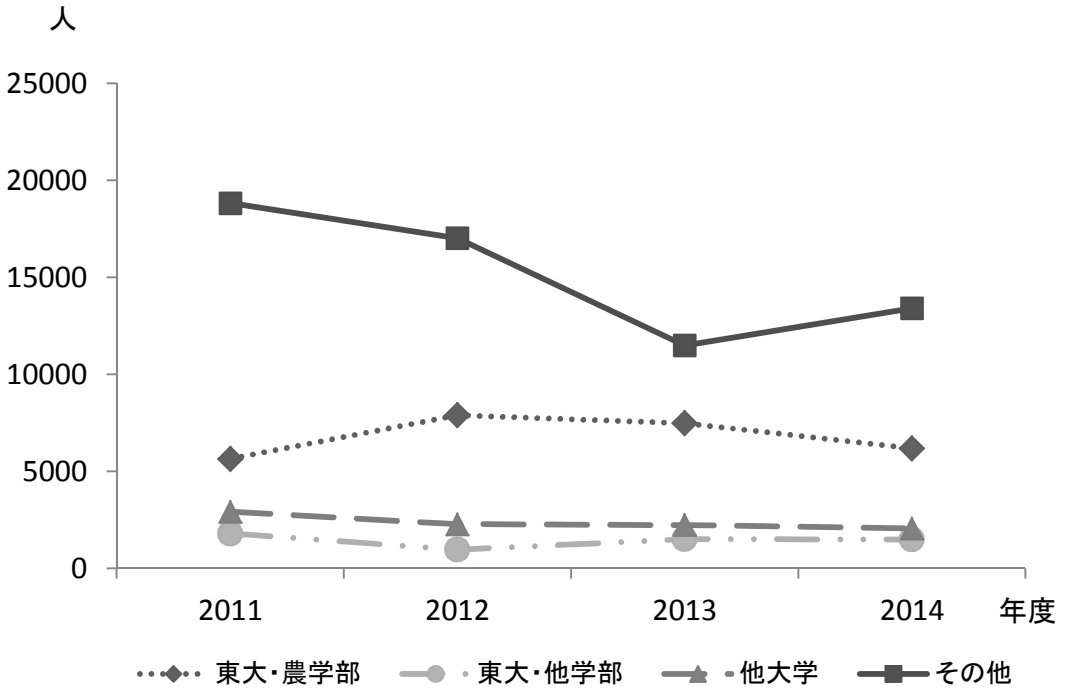


外部研究費の獲得数



利用件数

秋の一般公開(千葉)、ロードレース(富士)の利用を除く



利用者述べ人数

秋の一般公開(千葉)、ロードレース(富士)の利用を除く

■資料■

■教育活動■

大学院講義等

大学院農学生命科学研究科

生圏システム学専攻修士課程

教員名					講義名
鎌田直人	後藤　晋	平尾聡秀			森林圏生物動態学
鎌田直人	後藤　晋	平尾聡秀			森林圏生態学演習
山田利博	鴨田重裕	楠本　大			森林遺伝子機能開発学
山田利博	鴨田重裕	楠本　大			森林生物機能学演習
石橋整司					森林生態圏管理学特論
安村直樹	藤原章雄				森林圏管理システム学
石橋整司	蔵治光一郎	安村直樹			森林圏生態社会学演習
芝野博文	尾張敏章	廣嶋卓也			森林流域管理学
尾張敏章	廣嶋卓也				持続的森林圏経営論
芝野博文	尾張敏章	廣嶋卓也	浅野友子		森林流域管理学演習
大黒俊哉	山岸順子	高田まゆら	大井　徹	高村典子	
石橋整司	山田利博	廣嶋卓也	當山啓介	久本洋子	生圏システム学特論
齊藤　修	山本勝利	菊池　潔	勝木俊雄	宮下　直	
鎌田直人	山田利博	石橋整司	芝野博文	後藤　晋	
鴨田重裕	蔵治光一郎	尾張敏章	平尾聡秀	楠本　大	生圏システム学実験・研究
安村直樹	浅野友子	廣嶋卓也			

森林科学専攻修士課程

教員名					講義名
鎌田直人	後藤　晋	平尾聡秀			森林圏生物動態学
山田利博	鴨田重裕	楠本　大			森林遺伝子機能開発学
石橋整司					森林生態圏管理学特論
安村直樹	藤原章雄				森林圏管理システム学
芝野博文	尾張敏章	廣嶋卓也			森林流域管理学
尾張敏章	廣嶋卓也				持続的森林圏経営論
鎌田直人	山田利博	石橋整司	芝野博文	後藤　晋	
鴨田重裕	蔵治光一郎	尾張敏章	平尾聡秀	楠本　大	森林科学特別実験
安村直樹	浅野友子	廣嶋卓也			
鎌田直人	山田利博	石橋整司	芝野博文	後藤　晋	
鴨田重裕	蔵治光一郎	尾張敏章	平尾聡秀	楠本　大	森林科学特別演習
安村直樹	浅野友子	廣嶋卓也			

農学国際専攻修士課程

教員名	講義名
鎌田直人	森林昆虫生態学
尾張敏章	International Forest Certification 国際森林認証論

生圏システム学専攻博士課程

教　　員　　名					講　　義　　名
鎌田直人	後藤　晋	平尾聡秀			森林圏生態学特別演習
山田利博	鴨田重裕	楠本　大			森林生物機能学特別演習
石橋整司	蔵治光一郎	安村直樹			森林圏生態社会学特別演習
芝野博文	尾張敏章	廣嶋卓也	浅野友子		森林流域管理学特別演習
鎌田直人	山田利博	石橋整司	芝野博文	後藤　晋	生圏システム学特別実験・研究
鴨田重裕	蔵治光一郎	尾張敏章	平尾聡秀	楠本　大	
安村直樹	浅野友子	廣嶋卓也			

森林科学専攻博士課程

教　　員　　名					講　　義　　名
鎌田直人	山田利博	後藤　晋	鴨田重裕	平尾聡秀	森林生態圏管理学特別演習Ⅰ
楠本　大					
石橋整司	芝野博文	蔵治光一郎	尾張敏章	安村直樹	森林生態圏管理学特別演習Ⅱ
浅野友子	廣嶋卓也				
鎌田直人	山田利博	後藤　晋	鴨田重裕	平尾聡秀	森林生態圏管理学特別実験Ⅰ
楠本　大					
石橋整司	芝野博文	蔵治光一郎	尾張敏章	安村直樹	森林生態圏管理学特別実験Ⅱ
浅野友子	廣嶋卓也				

農学部講義・演習・実験実習

教員名			講義名	学部:課程(専修)等	開講年次・学期
鎌田直人 芝野博文 蔵治光一郎 楠本　大 浅野友子	山田利博 後藤　晋 尾張敏章 安村直樹	石橋整司 鴨田重裕 平尾聡秀 廣嶋卓也	森林科学概論	応用生命科学課程・環境資源科学課程	3年次・冬学期
鎌田直人 芝野博文 蔵治光一郎 楠本　大 浅野友子	山田利博 後藤　晋 尾張敏章 安村直樹	石橋整司 鴨田重裕 平尾聡秀 廣嶋卓也	森林生態圏管理学	応用生命科学課程・環境資源科学課程	3，4年次・夏学期
永田　信	古井戸宏通	安村直樹	森林政策学	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・夏学期
後藤　晋			森林遺伝育種学	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・冬学期
小林和彦	石橋整司	宮沢佳恵	国際農業生態学	国際開発農学専修	3年次・冬学期
松下範久 久本洋子	呉　炳雲 鈴木智之	楠本　大	森林植物学実験	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・夏学期
富樫一巳	久保田耕平	加賀谷隆	森林動物学実験	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・夏学期
丹下　健 楠本　大	益守眞也 久本洋子	大澤裕樹	造林学実験	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・夏学期
永田　信 竹本太郎	古井戸宏通 齋藤暖生	安村直樹	森林政策学演習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・夏学期
鈴木雅一	田中延亮	蔵治光一郎	測量学実習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・夏学期
丹下　健 鈴木智之	益守眞也	大澤裕樹	森林土壌学実験	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年次・夏学期
鈴木雅一 浅野友子	大手信人	蔵治光一郎	森林保全学実習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年次・夏学期
酒井秀夫	桜井　倫	鈴木智之	森林土木学実習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年次・夏学期
白石則彦 中島　徹	廣嶋卓也 當山啓介	藤原章雄	森林経理学実習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年次・夏学期
龍原　哲 藤原章雄	廣嶋卓也 當山啓介	中島　徹	森林計測学実習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・冬学期
白石則彦 坂上大翼	芝野博文	尾張敏章	森林科学総合実習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修・フィールド科学専修	3年次・夏学期
鴨田重裕 平尾聡秀	広嶋卓也	井上広喜	森林実習	国際開発農学専修	3年次・夏学期

教養学部講義・演習

教員名			講義名	開講学期
石橋整司 久本洋子	井上広喜	齋藤暖生	全学体験ゼミナール「危険生物の知識」	夏学期
山田利博 鈴木　牧	石田　健 久本洋子	廣嶋卓也 當山啓介	全学体験ゼミナール「フィールドで考える野生動物の保護管理」	夏学期
芝野博文	藤原章雄		全学体験ゼミナール「景観としての森林生態系と人間の感覚」	夏学期
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「森に学ぶ（伊豆）」	夏学期
鴨田重裕	芝野博文	平尾聡秀	全学体験ゼミナール「森に学ぶ（ふらの）」	夏学期
鴨田重裕	井出雄二		全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ1」	夏学期
鴨田重裕	岡本　研		全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ2」	夏学期
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ3」	夏学期
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「企画系さらに伊豆に学ぶ1」	夏学期
楠本　大	安村直樹	竹本周平	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成－子どもに伝える自然体験」	夏学期
浅野友子 藤原章雄	石橋整司 齋藤暖生	後藤　晋 三浦直子	全学体験ゼミナール「癒しの森を創る（夏）」	夏学期
平尾聡秀 鈴木智之	鎌田直人	浅野友子	全学体験ゼミナール「初夏の奥秩父を巡る」	夏学期
嶋田　透 勝間　進 東原和成 鎌田直人	田付貞洋 長澤寛道 富樫一巳 宮下　直	石川幸男 永田晋治 久保田耕平	全学自由研究ゼミナール「昆虫と節足動物の生物学」	夏学期
鴨田重裕			総合科目D（人間・環境一般）「伊豆に学ぶプラス1」	夏学期
石橋整司 藤原章雄	蔵治光一郎 齋藤暖生	安村直樹 當山啓介	総合科目D（人間・環境一般）「癒しの森を考える」	夏学期
蔵治光一郎	田中延亮		総合科目D（人間・環境一般）「ダムと森林」	夏学期
富樫一巳 鎌田直人 松下範久	丹下　健 久保田耕平	寶月岱造 益守眞也	総合科目D（人間・環境一般）「森の生物学：共存する森林生物」	夏学期
宮下　直 佐野光彦 藤田　剛 青木　茂	大黒俊哉 吉田　薫 大久保悟 山岸順子	井出雄二 岡本　研 齊藤陽子 浅野友子	総合科目D（人間・環境一般）「環境保全の生態学：フィールド科学入門」	夏学期
芝野博文	尾張敏章	坂上大翼	全学体験ゼミナール「雪の森林に学ぶ～北海道演習林」	冬学期
山田利博 當山啓介	廣嶋卓也	久本洋子	全学体験ゼミナール「房総の森と生業（なりわい）を学ぶ」	冬学期
鴨田重裕	下村彰男		全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ1」	冬学期

教員名			講義名	開講学期
鴨田重裕	下村彰男		全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2」	冬学期
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ3」	冬学期
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「企画系、さらに伊豆に学ぶ2」	冬学期
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ－熱帯植物編－」	冬学期
蔵治光一郎	田中延亮	菊池　潔	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	冬学期
浅野友子 齋藤暖生	石橋整司 三浦直子	藤原章雄	全学体験ゼミナール「癒しの森を創る（冬）」	冬学期
平尾聡秀 鈴木智之	鎌田直人	浅野友子	全学体験ゼミナール「冬の奥秩父を巡る」	冬学期
石橋整司 久本洋子	井上広喜 當山啓介	齋藤暖生 前原　忠	全学体験ゼミナール「危険生物の知識（秋編）」	冬学期
石橋整司	露木　聡		全学自由研究ゼミナール「古典落語から知る江戸の自然･文化」	冬学期
鴨田重裕			総合科目D（人間・環境一般）「伊豆に学ぶプラス2」	冬学期
安村直樹	齋藤暖生	當山啓介	総合科目D（人間・環境一般）「森のエネルギーを使いこなす」	冬学期
石橋整司	露木　聡	藤原章雄	総合科目D（人間・環境一般）「森をはかる」	冬学期

学生活動プログラム

実施演習林	体験活動名	実施日
富士癒しの森研究所	癒しの森の管理体験～おじいさんは山へ柴刈りに～	9/4-5 12/22-23
樹芸研究所	伊豆の体験活動－南伊豆という一地域との連携に学ぶ－	10/11-13 12/21-23

他大学の非常勤講師（委嘱あり）

教員名	講 義 名	対象学部	学 科 等	学 年	大 学 名
石橋整司	環境論	電気通信学部	総合文化講座	1	電気通信大学
石橋整司	エコロジーA	造形学部	デザイン学科	2､3､4	東京造形大学
齋藤暖生	地域資源管理論	文学部	社会学科	2、3、4	都留文科大学
齋藤暖生	地域資源管理・環境保全実習	文学部	社会学科	2、3、4	都留文科大学
鈴木智之	自然科学3（生物）	法学部	通信教育課程	1、2、3、4	中央大学
鈴木智之	生物環境論	社会情報学部	情報社会学科	2､3､4	群馬大学
福井　大	博物館資料実習B	教育学部		1、3	和歌山大学

小中高等学校への対応

教員名	講　演　名	主催	開催場所	日程
松井理生	探鳥会	犬山市立今井小学校	犬山市	4/18、6/21、11/5、1/23
松井理生	探鳥会	犬山市立城東小学校	犬山市	5/8、11/6、2/12
安村直樹・楠本大・竹本周平・栗田直明・相川美絵子	校外学習案内	実践学園中学校	田無演習林	5/29
山田利博・軽込勉	校外実習	千葉県立君津青葉高校	千葉演習林	6/4-5
坂上大翼・井口和信・算用子麻未・遠國正樹・岡平卓巳・高橋功一・廣川俊英・廣田善己・江口由典・小池征寛・犬飼慎也・渡邉良広・延栄一・磯崎靖雄・及川希・大石諭	宿泊研修（北海道コース）	東京大学教育学部附属中等教育学校	北海道演習林	7/1-7/3
平尾聡秀・大村和也・五十嵐勇治・高野充広・高徳佳絵・才木道雄	中学生社会体験チャレンジ事業・秩父第一中学校「仕事発見DAY」	秩父市立秩父第一中学校	秩父演習林	7/8-10
鴨田重裕・澤田晴雄・辻和明・辻良子・小林徹行	公開講座「林業遺産・岩樟園クスノキ林を知ろう」	樹芸研究所	樹芸研究所	7/26
山田利博・廣嶋卓也・久本洋子・當山啓介・藤平晃司	高校生のための森と海のゼミナール～大学の先生と考える環境問題と生物多様性～	千葉演習林, 千葉大学海洋バイオシステム研究センター	千葉演習林, 千葉大学海洋バイオシステム研究センター	7/28-30
大村和也	樹木採集	埼玉県立秩父農工科学高等学校	秩父演習林	7/29-30
山田利博・廣嶋卓也・久本洋子・當山啓介・鈴木祐紀・村川功雄・阿達康眞	2014年海と森のサマーキャンプ in 東京大学千葉演習林	ガールスカウト（ほほえみの会）	千葉演習林	7/29-8/1
芝野博文・尾張敏章・坂上大翼・小池征寛・中川雄治・福岡哲・算用子麻未	サマー・サイエンスキャンプ「森林の未来は？～森を知り、持続的な取り扱いを考える～」	科学技術振興機構・北海道演習林（共同主催）	北海道演習林	7/29-8/1
蔵治光一郎	愛知淑徳中高平成26年度理科旅行「森の健康診断」	愛知淑徳中学校高等学校	生態水文学研究所	8/4
蔵治光一郎・田中延亮・井上淳・松井理生・後藤太成・渡部賢	武蔵中学高等学校地学部実習	武蔵中学・高等学校	生態水文学研究所	8/5-7
藤平晃司・里見重成・梁瀬桐子	2014年 「夏季生物教室」	東京大学教育学部附属中等教育学校	千葉演習林	8/5-7
坂上大翼	平成26年度スーパーサイエンスハイスクール事業視察研修「森林植生の垂直的変化と火山荒原の植生遷移」	北海道札幌啓成高等学校	十勝岳西麓	8/6
坂上大翼・木村徳志・及川希・犬飼慎也	平成26年度スーパーサイエンスハイスクール事業視察研修「北海道の針広混交天然林の構造」	北海道札幌啓成高等学校	北海道演習林	8/7
丹羽悠二・吉田弓子	生物実習	東京都立墨田川高等学校	秩父演習林	8/11-12
平尾聡秀・大村和也	熊谷高校SSH講義・野外実習「森林の成り立ちを知る」	埼玉県立熊谷高等学校	秩父演習林	8/22、9/21

教員名	講　演　名	主催	開催場所	日程
平尾聡秀・千嶋武・齋藤俊浩・木村恒太	中学生社会体験チャレンジ事業・秩父第二中学校「仕事発見DAY」	秩父市立秩父第二中学校	秩父演習林	8/26-27
岡平卓巳・遠國正樹	東京大学北海道演習林の森林施業と研究活動	北海道帯広農業高等学校（森林科学科）	北海道演習林	8/27
井口和信	北海道の森林植生	山梨県立農林高等学校	北海道演習林	9/11
安村直樹・竹本周平・栗田直明・相川美絵子	職場体験	東久留米市立西中学校	田無演習林	10/7、8、9
及川希	北海道の天然林と生態系保全・野生動物管理に果たす獣医師の役割	とわの森三愛高等学校（獣医進学コース）	北海道演習林	10/16
算用子麻未	総合的な学習の時間「樹海の森へ」	富良野市立樹海小学校	北海道演習林	10/16
安村直樹・楠本大・竹本周平・栗田直明・相川美絵子	職場体験	西東京市立田無第二中学校	田無演習林	10/22、23、24
安村直樹・竹本周平・栗田直明・相川美絵子	職場体験	西東京市ひばりケ丘中学校	田無演習林	10/28、29、30
井上淳・松井理生・渡部賢・後藤太成	職場体験	瀬戸市立光陵中学校	瀬戸市	11/5-7
栗田直明	校外学習案内	自由学園初等部	田無演習林	11/6
阿達康眞・藤平晃司	スクールミュージアム	君津市立坂畑小学校	千葉演習林	11/12
久本洋子・當山啓介・鈴木祐紀・村川功雄・大石諭・鶴見康幸・塚越剛史・軽込勉・阿達康眞・藤平晃司・三次充和・梁瀬桐子	緑の教室	鴨川市立天津小学校	千葉演習林	11/19
楠本大・竹本周平・栗田直明	校外学習案内	西武学園文理小学校	田無演習林	11/19
鈴木智之・齋藤俊浩・高徳佳絵・才木道雄	中学生社会体験チャレンジ事業・秩父影森中学校「仕事発見DAY」	秩父市立秩父影森中学校	秩父演習林	11/19-21
楠本大・竹本周平・栗田直明・相川美絵子	校外学習案内	西東京市立住吉小学校、泉小学校	田無演習林	11/20
安村直樹・竹本周平・栗田直明・相川美絵子	校外学習案内	西東京市谷戸第二小学校	田無演習林	11/21
井口和信	総合的な学習の時間「樹海の森へ」	富良野市立樹海小学校	北海道演習林	2/5
軽込勉	校外実習	千葉県立君津青葉高校	千葉演習林	3/25

2014年度　その他の講義・実習対応

その他の講義・実習対応（学内で担当教員以外で対応した場合／他大学で委嘱のない場合）

教員名	講 義 名	対象学部等	学 科 等	学 年	大 学 名
三浦直子	森林流域管理学	大学院農学生命科学研究科	生圏システム学専攻、森林科学専攻	修士課程	東京大学
三浦直子	持続的森林圏経営論	大学院農学生命科学研究科	生圏システム学専攻、森林科学専攻	修士課程	東京大学
井上広喜	森林遺伝子機能開発学	大学院農学生命科学研究科	森林科学専攻、生圏システム学専攻	修士課程	東京大学
山田利博・廣嶋卓也・當山啓介	造林学実験	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3	東京大学
久本洋子	森圏管理学実習	農学部	フィールド科学専修	3	東京大学
久本洋子	森林圏生物動態学	農学生命科学研究科	森林科学専攻	修士課程	東京大学
久本洋子	樹木学実習	農学部	森林科学科	1	宇都宮大学
坂上大翼	森林遺伝子機能開発学	大学院農学生命科学研究科	森林科学専攻、生圏システム学専攻	修士課程	東京大学
坂上大翼・遠國正樹・井上崇・中川雄治・福岡哲・及川希・犬飼慎也・江口由典	森林科学概論	農学部	応用生命科学課程・環境資源科学課程	3	東京大学
坂上大翼	インターンシップⅡ：北海道における森林のあり方と開発	現代社会学部	社会システム学科	3、4	同志社女子大学
尾張敏章	Planning, Management and Technologies for Close-to-nature Forestry at the UTokyo Hokkaido Forest, Japan	Biotechnical Faculty	Department of Forestry and Renewable Forest Resources		Ljubljana University, Slovenia
相川美絵子	学園特別実習自然誌・環境グループ	最高学部		2	自由学園
松井理生・渡部賢・田中延亮	総合政策学外体験プログラムA	総合政策学部	総合政策学科		南山大学
井上淳・松井理生	生物環境科学基盤実験実習	農学部	生物環境科学科		名古屋大学
田中延亮	森林保全学実習	大学院農学生命科学研究科	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4	東京大学
五十嵐勇治	特別講義NS-1	知識工学部	自然科学科	3	東京都市大学
福井　大	熊野フィールド体験B	全学部		1、2、3、4	和歌山大学
藤原章雄	フィールド演習	工学部	社会基盤学科	3	東京大学
藤原章雄	自然環境デザインスタジオ	新領域創成科学研究科	環境学研究系	修士過程 博士課程	東京大学

森林生態圏管理学大講座ゼミ

第1回（2014年4月25日（金）13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学専攻会議室/森林流域管理学研究室）
芝野博文（北海道演習林）森林域における地下水の排水効率と地下水減水曲線の低減係数に関する考察
浅野友子（秩父演習林/富士癒しの森研究所）山地域の洪水流出観測について
田中延亮（生態水文学研究所）過密ヒノキ人工林の樹冠水収支における樹幹流量の重要性
鈴木雅一（森林科学専攻）東大演習林（北海道、秩父、千葉、生態水文学研究所）の地形特性の比較

第2回（2014年5月23日（金）13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学専攻会議室/森林圏生態社会学研究室）
安村直樹（田無演習林）ニュージーランドにおける家族経営林の現状～林業経営を支える仕組み～
藤原章雄（富士癒しの森研究所）森林風景開放時と遮蔽時の違いが生理的・心理的指標におよぼす影響
當山啓介（千葉演習林）これからの針葉樹人工林管理の検討―保残帯、保残木、混交林化―

第3回（2014年6月20日（金）13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学専攻会議室/森林圏生態学研究室）
梯公平（生圏博士3年）ヒメボタル（*Luciola parvula*）の生息条件と分布推定
鎌田直人（秩父演習林）最近世界的に増加したアンブロシアキクイムシによる立木被害
Thwe Thwe Win（生圏博士3年）Genetic composition of introduced teak and commercial plantations in Myanmar detected at nuclear microsatellite markers
後藤晋（教育研究センター）葉緑体と核DNAマーカーを用いたカシワ、ミズナラ、雑種の識別

第4回（2014年7月18日（金）13:30-17:00/農学部1号館2階 森林科学専攻会議室/森林生物機能学研究室）
坂上大翼（北海道演習林）青変菌*Ceratocystis polonica*を接種したエゾマツ生立木の水分状態～ひずみゲージによる推定の試み
竹本周平（田無演習林）スエヒロタケのポプラ樹に対する病原性の検討
楠本大（田無演習林）ナラ枯れの枯死率はなぜ樹種で異なるのか？―樹木の抵抗性とナラ菌の病原力との関係―

第5回（2014年9月19日（金）13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学専攻会議室/森林流域管理学研究室）
Sadeepa Senarath（IPADS）Forest structure analysis using remote sensing and GIS techniques: a study at the University of Tokyo Forest, Hokkaido
尾張敏章（北海道演習林）スロベニアにおける近自然型林業の計画・管理システム
小山奈々（森林修士1年）カエルによる水田害虫の捕食
三浦直子（教育研究センター）地上型レーザセンサを用いた山地河川の水面下河床地形計測
広嶋卓也（千葉演習林）全国伐採量予測モデルの開発－2020年国産材自給率50%達成のシミュレーション

第6回（2014年10月24日（金）13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学専攻会議室/森林圏生態学研究室）
平尾聡秀（秩父演習林）葉圏菌類の群集形成：環境・系統・形質の相対的重要性
岩城常修（森林修士1年）秩父演習林におけるシカ分布と植生衰退の現状
尹唯为（森林研究生）Growth of *Larch* crossbreeds
久本洋子（千葉演習林）東京大学千葉演習林の開花年限試験モウソウチク林の稈の分布とジェネット構造
前原忠（教育研究センター）土の中の生き物

第7回（2014年11月28日（金）13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学専攻会議室/森林生物機能学研究室）
鴨田重裕（樹芸研究所）樹芸研の挑戦－本邦におけるユーカリの育成と利用－
井上広喜（樹芸研究所）ビャクダンにおける芳香成分の生産制御の試み
山田利博（千葉演習林）樹木の非破壊腐朽診断法の現状と課題

第8回（2014年12月19日（金）13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学専攻会議室/修士論文発表）
宮部涼太郎（森林修士2年）環境教育としての大学林学教育　地方大学における林学教育の変質過程とその背景
堀田遼（生圏修士2年）カラマツハラアカハバチ大発生の終息要因
Syaiful Amri Saragih（森林修士2年）Establishment of quantitative real-time PCR（qPCR）technique for detection and quantification of entomopathogenic fungi in soil
佐久間保彦（生圏修士2年）ニホンリス（*Sciurus lis*）の営巣場所の選択性
水津龍耶（生圏修士2年）小規模な人為的地表面被覆が地表徘徊性甲虫の移動に与える影響
羽井佐冴彦（森林修士2年）枝剪定後の巻き込みおよび材変色に対する塗布剤や剪定方法の影響
山口彩花（森林修士1年）フジの多重形成層の構造

第9回（2015年1月23日（金）13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学専攻会議室/卒業論文発表・森林圏生態学研究室）
坂野功治（森林4年）J-VERの需要喚起にむけたカーボン・オフセット制度の課題と推進策
笠原琢志（森林4年）山地河川における洪水時の水位変化
阿部智和（森林4年）鱗翅目昆虫の食性幅と植物から受ける体サイズへの影響
坪池泰生（森林4年）シカの摂食による下層植生の退行と土壌からの硝酸イオンの流亡について
Thilak Chandrathilake（森林博士1年）Is there a directional sap flux compensation of Japanese Oak（*Quercus serrata*）tree after *Ambrosia* beetle attack?
鈴木智之（秩父演習林）大規模風倒とその後の倒木搬出が森林の炭素蓄積に与える影響：特に倒木の役割について

第10回（2015年2月20日（金）13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学専攻会議室/森林圏生態社会学研究室）
石橋整司（演習林企画部）秩父演習林の自動撮影カメラの動画映像
齋藤馨（新領域・自然環境）フィールド情報基盤の拡充：北演前山保存林内およびオオミズナギドリ営巣無人島へのライブモニタリングシステム設置
蔵治光一郎（生態水文学研究所）森林で起こる自然災害の減災手段としての制度―京都府と大阪府の例―
齋藤暖生（富士癒しの森研究所）富士癒しの森研究所周辺における薪需要実態把握の試み

第11回（2015年3月6日（金）13:15-17:00/農学部7号館A棟1階114/115（第2および第3講義室）/技術職員研究発表）
阿達康眞（千葉演習林）千葉演習林における教育支援
福岡哲（北海道演習林）北海道演習林における技術職員の教育支援
井上淳（生態水文学研究所）生態水文学研究所での学生実習における技術職員の役割
高野充広（秩父演習林）2014年2月に発生した豪雪被害への対応と課題
辻良子（樹芸研究所）樹芸研究所大温室におけるバニラ栽培に関する報告

演習林教育研究センターゼミ

月	日	発表者氏名	発表タイトル
4	11	後藤　晋	教育研究センターゼミ・ガイダンス
	18	水津 龍耶	小規模な人為的地表面被覆が地表徘徊性甲虫の移動に与える影響
		佐久間 保彦	アカエゾマツ林におけるニホンリスの森林空間構造の選択性
5	9	ユサコ(株)	End-Note講習
	16	岩城　常修	シカによる植生衰退が他の栄養段階に及ぼす影響
		サイフル・アムリ・サラギー	Quantitative real-time PCR (qPCR) - based tool for detection and quantification of *Cordyceps militaris* in soil
	30	宮部　涼太郎	大学における森林教育は環境教育構想から排除可能か
		小山　奈々	カエルによる水田害虫の捕食
6	6	羽井佐　冴彦	広葉樹枝剪定後の巻き込みおよび材変色に対する塗布剤処理の効果
		笠原　琢志	降雨時の山地河川での水のながれについて
	13	ティラック・チャンドラティラケ	Assessing the forest hydrological implications: of Ambrosia beetle (*Quercus platypus*) mass attacks on deciduous Oak tree (*Quercus serrata*) in the Central Japan
		堀田　遼	カラマツハラアカハバチ大発生の終息要因　幼虫の脱皮殻と繭の捕食
		山口　彩花	フジ多重形成層の基本的構造に関する分析
	27	楠本　大	プレゼン講習
7	11	トウェ・トウェ・ウィン	Genetic structure of teak detected by molecular markers
		平林　毅一郎	発芽段階におけるNi、Mgストレスに対するシラカンバの形態的適応
	25	坂野　功治	J-VERにおける創出済クレジットの需要拡大について
		尹　唯为	Study on the Crossbreeds Growth of the Larch
	31	梯　公平	ヒメボタルの生息条件と分布推定:解析方法の改善について
		水津 龍耶	小規模な人為的地表面被覆が地表徘徊性甲虫の移動に与える影響
9	12	佐久間 保彦	ニホンリス(*Sciurus lis*)の営巣木と営巣場所の選択性
		ティラック・チャンドラティラケ	Azymuthal variation of sap flux density in deciduous oak (*Quercus serrata*) xylem trunk
10	3	後藤　晋	フリーソフトRを用いたデータ解析研修
	10	阿部　智和	鱗翅目幼虫の食性幅と植物から受ける影響
		坂野　功治	カーボンオフセットにおけるクレジットの需要拡大
	17	梯　公平	CMSA法を用いた個体群パラメータ推定
		笠原　琢志	ある山地河川の水理特性
	31	堀田　遼	カラマツハラアカハバチ幼虫の脱皮殻 トラップ調査と落下実験
11	14	サイフル・アムリ・サラギー	Establishment of qPCR (Quantitative Real Time Polymerase Chain Reaction) technique for detection and quantification of Entomophatogenic Fungi in Soil
		小山　奈々	カエルによる水田害虫の捕食
	21	トウェ・トウェ・ウィン	Geographic variation and genetic structure of teak (*Tectona grandis*) in Myanmar revealed by cpSNP and nrSSR marker
		岩城　常修	秩父演習林におけるシカ分布と植生衰退の現状
12	5	山口　彩花	フジの多重形成層の構造
		羽井佐　冴彦	枝剪定後の巻き込みおよび材変色に対する塗布剤や剪定方法の影響
	12	水津 龍耶	小規模な人為的地表面被覆が地表徘徊性甲虫の移動に与える影響
		宮部　涼太郎	環境教育としての大学林学教育　地方大学における林学教育の変質過程とその背景
1	9	坪池　泰生	シカの摂食による下層植生の退行と土壌からの硝酸イオンの流亡について
		平林　毅一郎	石綿鉱山跡地の土壌Mgが発芽段階のシラカンバに与える影響

実習等

演習林名	学校名	科目名	学部等	学科等	学年	学生数	実施月	日数
千葉	東京大学	造林実習	農学部	森林科学科	3-4年	22	4月	5
千葉	東京大学	植物実習	農学部	森林科学科	3-4年	16	4月	3
千葉	東京大学	森林経理実習	農学部	森林科学科	3-4年	11	5月	4
千葉	東京大学	森圏管理学実習	農学部	森林科学科	3-4年	4	11月	2
千葉	東京大学	森林測量学実習	農学部	森林科学科	3-4年	3	12月	4
千葉	東京大学	地球惑星環境学野外調査Ⅰ	理学部	地球惑星科学専攻	3-4年	15	8月	6
千葉	東京大学	持続的森林圏管理論	農学生命科学研究科		院生	8	7月	3
千葉	東京大学	生圏システム学特論	農学生命科学研究科		院生	11	11月	1
千葉	東京大学	全学体験ゼミナール(危険生物の知識)	教養学部		1-2年	27	6月	1
千葉	東京大学	全学体験ゼミナール(野生生物の保護管理)	教養学部		1-2年	17	9月	4
千葉	東京大学	全学体験ゼミナール(危険生物の知識(秩父編))	教養学部		1-2年	5	11月	1
千葉	東京大学	全学体験ゼミナール(房総の森と生業(なりわい)を学ぶ)	教養学部		1-2年	19	2月	4
千葉	宇都宮大学	樹木学実習	農学部	森林科学科	1年	38	6月	2
千葉	千葉大学	千葉大学理学部地球科学科実験地史古生物学実験Ⅰ	理学部	地球科学科	3年	14	7月	1
千葉	京都大学	課題演習E2(地質調査野外実習)	理学部	地質学鉱物学教室	3年	14	8月	6
千葉	千葉大学	地質学野外実験Ⅱ・地殻構造学野外実験Ⅰ)	理学部	地球科学科	3年	23	8･9月	8
千葉	千葉大学	野外生態学実験(2014年度)	理学部	生物学科	2-3年	15	9月	4
千葉	静岡大学	地質調査法実習Ⅱ	理学研究科	地球科学専攻	2年	3	10月	5
千葉	東京学芸大学	地質調査法の実習	環境科学分野		3-4年、院生	5	3月	3
北海道	東京大学	全学体験ゼミナール「景観としての森林生態系と人間の感覚」	教養学部		1-2年	7	5月	1
北海道	東京大学	全学体験ゼミナール「森に学ぶ(ふらの)」	教養学部		1-2年	5	8月	4
北海道	同志社女子大学	北海道における森林あり方と開発	現代社会学部	社会システム学科	3-4年	18	8月	1
北海道	東京大学	森林科学総合実習	農学部	森林系2･3専修	3-4年	18	9月	4
北海道	東京大学	陸域生態学実習	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	院生	12	9月	4
北海道	東京大学	森林流域管理学	農学生命科学研究科		院生	1	10月	4
北海道	東京大学	全学体験ゼミナール「雪の森林に学ぶ～北海道演習林」	教養学部		1-2年	42	2月	3
秩父	東京大学	自然環境野外総合実習	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	院生	34	4月	1
秩父	東京大学	森林土木学実習	農学部	森林系2専修	4年	3	4月	4
秩父	早稲田大学	野生動物生態学実習	人間科学部	人間環境学科	3-4年、院生	21	5月	2
秩父	東京大学	全学体験ゼミナール「初夏の奥秩父を巡る」	教養学部		1-2年	3	5･6月	4
秩父	東京大学	全学体験ゼミナール「危険生物の知識」	教養学部		1-2年	28	6月	2
秩父	東邦大学	野外生態学実習	理学部	生態学科	2年	18	6月	3
秩父	東京大学	森林土壌学実験	農学部	森林系2専修	4年	4	8月	3
秩父	首都大学東京	首都大学東京	理工学研究科	生命科学専攻	4年	6	8月	4
秩父	東京都市大学	自然科学科特別講義 NS-1	知識工学部	自然科学科	1-4年	32	8月	1
秩父	東京大学	植物科学野外実習Ⅲ	理学研究科	生物科学専攻	4年、院生	5	9月	4
秩父	東京大学	フィールド科学総論	農学生命科学研究科	生圏システム学専攻	院生	15	9月	4
秩父	東京大学	森林植物学実験	農学部	森林系2専修	3-4年	12	9月	3
秩父	東京大学	森林政策学演習および課題「山村社会における歴史と文化の価値の再考」	農学部	森林系2専修	3年	11	9月	4
秩父	東京大学	バイオマス科学実習･森林科学実習	農学部	生物材料科学専攻	3年	16	10月	3
秩父	東京大学	自然環境デザインスタジオⅡ	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	院生	3	10月	3
秩父	東京大学	総合科目「森のエネルギーを使いこなす」	教養学部		1-2年	17	12月	2
秩父	東京大学	全学体験ゼミナール「冬の奥秩父を巡る」	教養学部		1-2年	8	2･3月	4
田無	東京大学	森林土壌学実験	農学部	森林系2専修	4年	6	4月	1
田無	東京大学	緑地環境実地実習	農学部	緑地環境学専修	3年	6	4･5･6･1月	4
田無	東京大学	造林学実験	農学部	森林系2専修	3年	15	4･6･7月	3
田無	東京大学	フィールド農学基礎実習	農学部	応用生物学専修	3年	32	4･1月	2
田無	東京農業大学	Forest and Forestry	地域環境科学部	森林総合科学科	院生	4	5月	1

2014年度　実習等

演習林名	学校名	科目名	学部等	学科等	学年	学生数	実施月	日数
田無	東京大学	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成―子どもに伝える自然体験―」	教養学部		1-2年	6	5･6月	3
田無	東京大学	森林動物学実験	農学部	森林系2専修	3年	14	5･8月	2
田無	東京大学	全学一般研究ゼミナール「昆虫と節足動物の生物学」に関連した昆虫の野外実習	教養学部		1-2年	6	8月	1
田無	東京大学	森林科学特別実験	農学生命科学研究科	森林科学専攻	院生	1	10月	1
田無	自由学園	学園特別実習　自然誌･環境グループ	最高学部		2	7	11月	1
生態水文学	東京大学	総合科目D（人間･環境一般）「ダムと森林」	教養		1-2年	20	6月	2
生態水文学	東京大学	森林保全学実習	農学	森林科学	4	9	6月	3
生態水文学	南山大学	総合政策学部学外体験プログラムA（国内）	総合政策	総合政策	2-4年	14	5月	2
生態水文学	東京大学	測量学実習	農学	森林環境資源科学	3	5	8月	5
生態水文学	名古屋大学	生物環境科学基盤実験実習	農学	生物環境科学	2	37	11月	1
生態水文学	東京大学	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	教養		1-2年	20	2･3月	2
富士	東京大学	森圏管理学実習	農学部	フィールド科学専修	3-4年	6	6月	2
富士	首都大学東京	山中湖周辺植生の観察と土壌断面調査手法の習得	都市環境学部		学生、院生	10	6月	1
富士	東京大学	環境設計演習	農学部	森林系2専修	院生	5	7月	2
富士	東京大学	総合科目「『癒しの森』を考える」	教養学部		1-2年	79	7月	2
富士	東京大学	森林動物学実験	農学部	森林系2専修	3-4年	14	8月	3
富士	都留文科大学	地域資源管理･環境保全実習	文学部	社会学科	3年	4	8月	4
富士	東京大学	学生体験活動プログラム「癒しの森の森林管理」	教養学部		1-2年	2	9月	2
富士	東京大学	全学体験ゼミナール「癒しの森を作る(夏)」	教養学部		1-2年	2	9月	3
富士	東邦大学	野外基礎実習	理学部		1年	20	9月	1
富士	東京大学	国際開発農学実験･個別実験	農学部	国際開発農学専修	3年	3	9月	2
富士	東京大学	社会基盤フィールド演習	工学部	社会基盤学専攻	3年	54	9月	4
富士	東京大学	自然環境デザインスタジオⅠ	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	院生	20	9月	5
富士	東京大学	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(秋編)」	教養学部		1-2年	5	10月	2
富士	都留文科大学	地域資源管理･環境保全実習	文学部	社会学科	3年	4	10月	2
富士	東京大学	総合科目「森のエネルギーを使いこなす」	教養学部		1-2年	17	11月	2
富士	都留文科大学	地域資源管理･環境保全実習	文学部	社会学科	3年	3	11月	2
富士	東京大学	総合科目「森をはかる」	教養学部		1-2年	17	12月	2
富士	東京大学	全学体験ゼミナール「癒しの森を創る(冬)」	教養学部		1-2年	5	12月	2
富士	東京大学	学生体験活動プログラム「癒しの森の森林管理」	教養学部		1-2年	2	12月	2
樹芸	東京大学	総合科目「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		1-2年	2	8月	5
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「夏版･伊豆に学ぶ1」	教養学部		1-2年	26	8月	4
樹芸	東京大学他	公開森林実習	農学部他	国際開発農学専修他	3年	24	9月	4
樹芸	東京大学	総合科目「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		1-2年	2	9月	5
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「夏版･伊豆に学ぶ2」	教養学部		1-2年	25	9月	4
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「夏版･伊豆に学ぶ3」	教養学部他		1-4年	6	9月	5
樹芸	東京大学	総合科目「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		1-2年	2	9月	5
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「森に学ぶ･伊豆」	教養学部		1-2年	24	9月	4
樹芸	東京大学	総合科目「体験活動」	教養学部		1-2年	5	10月	3
樹芸	東京大学	総合科目「体験活動」	教養学部		1-2年	2	12月	3
樹芸	東京大学	総合科目「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		1-2年	4	9月	5
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ-熱帯植物編-」	教養学部		1-2年	12	2月	4
樹芸	東京大学	総合科目「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		1-2年	4	2月	5
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ1」	教養学部		1-2年	18	2月	4
樹芸	東京大学	総合科目「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		1-2年	2	3月	5
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2」	教養学部		1-2年	19	3月	4
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ3」	教養学部他		1-4年	5	3月	4

■研究活動■

演習林技術職員等試験研究・研修会議

場所　東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林

日程　[2014 年 10 月 28 日（火）]

試験研究研修会議（於：清澄講義室）
13：15　記念撮影
13：30　開会挨拶　山田利博　千葉演習林長
13：40　試験研究発表（○：発表者）
（司会：鈴木祐紀）
《共通テーマの部》『技術職員の教育支援』
千葉演習林における教育支援
○阿達康眞、里見重成（千葉演習林）
北海道演習林における技術職員の教育支援
○算用子麻未（北海道演習林）
秩父演習林における技術職員の教育支援
○齋藤俊浩、高徳佳絵、吉田弓子、原口竜成（秩父演習林）
田無演習林の実習支援と安全対策
○相川美絵子、栗田直明（田無演習林）
生態水文学研究所での学生実習における技術職員の役割
○井上淳、渡部賢、荒木田きよみ（生態水文学研究所）
演習林の教育現場における木工機械の安全作業チェックリストの作成
○西山教雄、村瀬一隆（富士癒しの森研究所）

15：40　休憩

15：50　《自由テーマの部》
2014 年 2 月に発生した豪雪被害への対応と課題
○高野充広、才木道雄、大村和也、五十嵐勇治（秩父演習林）
樹芸研究所大温室におけるバニラ栽培に関する報告
○辻良子、澤田晴雄、辻和明、小林徹行（樹芸研究所）、渡邉良広（北海道演習林）
荒樫沢地域のヒメコマツ天然個体から採取された種子の特徴-1990 年と 2010 年以降の比較から-
○米道学（教育研究センター）鈴木祐紀、塚越剛史、里見重成、軽込勉、梁瀬桐子（千葉演習林）
リター・シードトラップ調査手順の変遷と検討
○松井理生・鎌田幸子（生態水文学研究所）
平成 26 年度実務研修「演習林教育研究センターコース」の報告について
○軽込勉（千葉演習林）米道学・近澤静恵（教育研究センター）

17：30　講評　石橋整司 企画部長
18：40　事務連絡
18：30　懇親会（清澄学生宿泊施設食堂）

[2014 年 10 月 29 日（水）]
講義・現地研修
9:00　鈴木雅一 演習林長
「演習林の地形的多様性・千葉演習林の水文観測」
9:30　鈴木祐紀　技術主任
「千葉演習林のヒメコマツ」
9:45　現地見学
12:00　昼食後解散

参加者

林長・企画部：鈴木雅一・石橋整司・犬飼浩
千葉演習林：山田利博・廣嶋卓也・當山啓介・久本洋子・鈴木祐紀・鶴見康幸・塚越剛史・三次充和・梁瀬桐子・里見重成・村川功雄・藤平晃司・阿達康眞・軽込勉
北海道演習林：算用子麻未
秩父演習林：齊藤俊浩・高野充広
田無演習林：相川美絵子
生態水文学研究所：井上淳・松井理生
富士癒しの森研究所：西山教雄
樹芸研究所：辻良子
教育研究センター：米道学

教職員の論文等

	発表者全氏名	題　　目	誌　名	巻－号	頁	年
※	Owari T, Nakagawa Y, Inukai H	Determinants of Spatially Explicit Classification Decisions in Natural Forest Management in Central Hokkaido,Japan	Journal of Forest Planning	18(2)	151-156	2013
	Kusumoto D, Yonemichi T, Inoue H, Hirao T, Watanabe A, Yamada T	Comparison of histological responses and tissue damage expansion between resistant and susceptible Pinus thunbergii infected with pine wood nematode Bursaphelenchus xylophilus	Journal of Forest Research	19(2)	285-294	2014
	Torii M, Matsuda Y, Seo ST, Kim KH, Ito S, Moon MJ, Kim SH, Yamada T	The effect of Raffaelea quercus-mongolicae inoculations on the formation of non-conductive sapwood of Quercus mongolica	Mycobiology	42(2)	210-214	2014
	Tatsumi S, Owari T, Yin M, Ning L	Neighborhood analysis of underplanted Korean pine demography in larch plantations: Implications for uneven-aged management in northeast China	Forest Ecology and Management	322	10-18	2014
	Kubota Y, Hirao T, Fujii S, Shiono T, Kusumoto B	Beta diversity of woody plants in the Japanese archipelago: roles of geohistorical and ecological processes	Journal of Biogeography	41	1267-1276	2014
	Itokazu T, Kosugi K, Onda Y, Kuraji K, Tanaka N, Goto M, Ohta T, Mizuyama T	Characteristics of storm runoff in small granite catchments having different vegetation recovery conditions	Proceedings of the INTERPRAEVENT2014 in the Pacific Rim		P-27_full.pdf	2014
	Nakadai R, Murakami M, Hirao T	Effects of phylogeny, leaf traits, and the altitudinal distribution of host plants on herbivore assemblages on congeneric Acer species	Oecologia	175	1237-1245	2014
	Tatsumi S, Owari T, Kasahara H, Nakagawa Y	Individual-level analysis of damage to residual trees after single-tree selection harvesting in northern Japanese mixedwood stands	Journal of Forest Research	19(4)	369-378	2014
	Hiroshima T	Applying age-based mortality analysis to a natural forest stand in Japan	Journal of Forest Research	19(4)	379-387	2014
	Kusumoto D, Masuya H, Hirao T, Goto H, Hamaguchi K, Chou W, Suasa-ard W, Buranapanichpan S, Uraichuen S, Kern-asa O, Sanguansub S, Panmongkol A, Quang TP, Kahono S, Julistiono H, Kamata N	Discoloration induced by Raffaelea quercivora isolates in Quercus serrata logs and its relation to phylogeny: a comparison among isolates with and without the Japanese oak wilt incidence including outside of Japan	Journal of Forest Research	19(4)	404-410	2014
	Horiuchi M, Endo J, Takayama N, Murase K, Nishiyama N, Saito H, Fujiwara A	Impact of viewing vs. not viewing a real forest on physiological and psychological responses in the same setting	International Journal of Environmental Research and Public Health	11(10)	10883-10901	2014
	Nakazono-Nagaoka E, Takemoto S, Fujikawa T, Nakajima K, Uenishi H, Iwanami T	Natural Satsuma dwarf virus infection of two woody plants, Daphniphyllum teijsmannii Zoll. ex Kurz. and Viburnum odoratissimum Ker-Gaul. var. awabuki (K. Koch) Zabel near citrus fields	Japan Agricultural Research Quarterly	48(4)	419-424	2014
	Miura N, Asano Y	Acquisition of underwater topography in a mountain channel using terrestrial laser scanning	Proceedings of SPIE 9239, Remote Sensing for Agriculture, Ecosystems, and Hydrology XVI, 92391D	9239	92391D-92391D-92399	2014
	Yoshifuji N, Igarashi Y, Tanaka N, Tanaka K, Sato T, Tantasirin C, Suzuki M	Inter-annual variation in the response of leaf-out onset to soil moisture increase in a teak plantation in northern Thailand	International Journal of Biometeorology	58(9)	2025-2029	2014
	Saragih SA, Takemoto S, Hisamoto Y, Sato H, Fujii M, Kamata N	Quantitative real-time PCR (qPCR) - based tool for detection and quantification of Cordyceps militaris in soil	Journal of Invertebrate Pathology	124	70-74	2014
	Hill DA, Fukui D, Agetsuma N, Macintosh AJJ	Influence of trap environment on the effectiveness of an acoustic lure for capturing vespertilionidbats in two temperate forest zones in Japan	Mammal Study	39	229-236	2014
	Sahashi N, Akiba M, Takemoto S, Yokoi T, Ota Y, Kanzaki N	Phellinus noxius causes brown root rot on four important conifer species in Japan	European Journal of Plant Pathology	140(4)	869-873	2014
	Hata K, Iwai N, Sawada H	Attack by Platypus quercivorus enhances diameter growth of surviving Quercus serrata	Forest Science	60	1024-1028	2014
	Ishizuka W, Ono K, Hara T, Goto S	Use of intraspecific variation in thermal responses for estimating an elevational cline in the timing of cold hardening in a sub-boreal conifer.	Plant Biology	17(1)	177-185	2015
	Pinkantayong P, Kubo M, Terada T, Fujii M, Kamoda S, Muramoto K, Kamata N	The effect of successive years of defoliation by the larch sawfly (Pristiphora erichsonii (Hartig)) on the foliage properties of the Japanese larch (Larix kaempferi (Lamb.) Carr.), with particular reference to the CN balance hypothesis	Journal of Forest Research	20(1)	104-113	2015
	Sakamoto SH, Suzuki SN, Koshimoto C, Okubo Y, Eto T, Suzuki RO	Trap distance affects the efficiency and robustness in monitoring the abundance and composition of forest-floor rodents	Journal of Forest Research	20(1)	151-159	2015
	Kusumoto D, Masuya H, Hirao T, Goto H, Hamaguchi K, Chou W, Suasa-ard W, Buranapanichpan S, Uraichuen S, Kern-asa O, Sanguansub S, Panmongkol A, Pham QT, Kahono S, Sudiana IM, Kamata N	Comparison of sapwood discoloration in Fagaceae trees after inoculation with isolates of Raffaelea quercivora, cause of mass mortality of Japanese oak trees	Plant Disease	99(2)	225-230	2015
	Suzuki RO, Degawa Y, Suzuki SN, Hosoya T	Local-and regional-scale spatial patterns of two fungal pathogens of Miscanthus sinensis in grassland communities	Mycoscience	56	42-48	2015
	Pinkantayong P, Suzuki S, Kubo M, Muramoto K, Kamata N	A hierarchical Bayesian model to estimate the unobservable predation rate on sawfly cocoons by small mammals	Ecology and Evolution	5	733-742	2015
	Igarashi Y, Kumagai T, Yoshifuji N, Sato T, Tanaka N, Tanaka K, Suzuki M, Tantasirin C	Environmental control of canopy stomatal conductance in a tropical deciduous forest in northern Thailand	Agricultural and Forest Meteorology	202	1-10	2015
	Matsushita Y, Bao Z, Kurose D, Okada H, Takemoto S, Sawada A, Nagase H, Takano M, Murakami H, Koitabashi M, Yoshida S, Saito M, Sano T, Tsushima S	Community structure, diversity, and species dominance of bacteria, fungi, and nematodes from naturally and conventionally farmed soil: a case study on Japanese apple orchards	Organic Agriculture	5(1)	11-28	2015
	広嶋卓也	J-VER取得費用の分析と販売価格に関する考察－東京大学千葉演習林における間伐推進プロジェクトを事例として－	日本森林学会誌	96(2)	100-108	2014

2014年度　教職員の論文等

	発表者全氏名	題　　目	誌　名	巻－号	頁	年
	高山範理・藤原章雄・齋藤暖生・村瀬一隆・西山教雄・遠藤淳子・堀内雅弘	オンサイトにおける森林風景開放時と遮蔽時の誓いから見た印象評価特性	関東森林研究	65(1)	213-219	2014
	高山範理・藤原章雄・齋藤暖生・堀内雅弘	オンサイトにおける森林の視覚刺激の有無が主観的回復感・感情・注意回復力にもたらす影響	ランドスケープ研究	77(5)	497-500	2014
	山中征夫・當山啓介・久本洋子・廣嶋卓也・山田利博	東京大学千葉演習林におけるニホンジカの生息状況とスギ・ヒノキ植栽木の被害	日本緑化工学会誌	39(4)	496-502	2014
	陳敬忠・中島徹・當山啓介・白石則彦	異なる形式の人工林成長データのデータベース構築とWeb公開システムの開発	東京大学農学部演習林報告	131	1-27	2014
	蔵治光一郎・五名美江	東京大学演習林生態水文学研究所における器差補正を考慮した78年間の年平均気温の変化の推定と名古屋の都市化による昇温との関係	東京大学農学部演習林報告	131	29-40	2014
	滝川寛之・松井理生・中川雄治・後藤晋	東京大学北海道演習林において20年以上が経過した低標高域の地がき地におけるウダイカンバの更新状況	東京大学農学部演習林報告	131	41-55	2014
	鎌田直人・井口和信・サングァンサップ スニサ・マニーラットテウィー	クスサンに連年食害されたウダイカンバに寄生する穿孔虫類：とくにハンノスジキクイムシの被害について	森林防疫	63(5)	18-22	2014
	立石麻紀子・蔵治光一郎	持続的な水供給に向けた森林管理による水資源涵養の向上と地下水利用技術の開発―森林水文ワークショップ2014公開シンポジウム　開催報告―	水利科学	339	115-127	2014
	米道学・塚越剛史・里見重成・軽込勉・久本洋子・後藤晋・山田利博	東京大学千葉演習林におけるヒメコマツの現状とマツ材線虫病抵抗性	森林遺伝育種	3(4)	185-188	2014
	坂上大翼・木村徳志・福岡　哲	東京大学北海道演習林におけるカラマツ属交雑育種試験地の現在（1）―カラマツ，チョウセンカラマツ，および千島系グイマツの二面交雑家系の植栽49年後の生育―	北海道の林木育種	57(2)	10-15	2014
	安村直樹	健康居住に向けた木造住宅供給のあり方	林業経済	67(9)	16-32	2014
	當山啓介・久本洋子・広嶋卓也・山田利博・山中征夫・須藤智博・前田清人・江上浩・村上英樹	野外条件下におけるヤマビル駆除剤としてのリンゴ酸の効果検証	衛生動物	65(4)	189-194	2014
	齋藤暖生	富士山と薬草	BIOSTORY	22	42-45	2014
	後藤　晋・尾張敏章・小川瞳・木村徳志・福岡　哲・宅間隆二・犬飼慎也・高橋功一・佐々木尚三	エゾマツ実生コンテナ苗と裸苗の植栽後3年間の生残と地上部成長	森林遺伝育種	4(1)	1-6	2015
	江上浩・久本洋子・鈴木重雄・高橋幸貴・須藤智博・尾川新一郎・若林利昌・遠藤良太	事前伐採と塩素酸ナトリウム粒剤(クロレートS)全面土壌散布の組み合わせによる放置マダケ林の防除	森林防疫	64(1)	20-28	2015
	Kobayashi T, Fukushima K, Hisamoto Y, Inoue A	The species biology of bamboos in Japan: from gene to landscape	Plant Species Biology	30	42-44	2015
	徳江　泉・米沢　洋・安部鉄雄・池田朋弘・小野寺佳郎・後藤直樹・高島知晴・中田玲子・羽切俊勝・長谷川芳男・平野達也・山田利博	ドクターウッズによる診断と伐採後の観察事例－横浜市瀬谷第２公園のサクラ－	樹木医学研究	19(1)	46-47	2015
	山田利博	水ストレス下で傷害を与えた苗木における水分分布と反応帯形成	樹木医学研究	19(1)	56-57	2015
	尾張敏章・江口由典・宅間隆二・岡村行治・福岡　哲・木村徳志・辰巳晋一	択伐天然林の更新を補助するための精密植栽技術の開発（予報）	北方森林研究	63	81-84	2015
	澤田晴雄・辻和明・辻良子・小林徹行・井上広喜・鴨田重裕	岩樟園クスノキ林を利用した教育プログラムの検討	中部森林研究	63	95-98	2015
	蔵治光一郎・田神悠介	北山川中洲にかつて成立していた集落の水害防備林の動態に洪水が及ぼす影響	中部森林研究	63	143-146	2015
	Thwe-Thwe-Win, Watanabe A, Hirao T, Isoda K, Ishizuka W, Goto S	Genetic diversity of teak population in native regions and plantations in Myanmar detected by microsatellite markers	東京大学農学部演習林報告	132	1-15	2015
	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	生態水文学研究所東山試験流域日降水量の再計算結果報告（Ｉ）	演習林（東大）	57	1-18	2015
	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会水文水質部門	東京大学演習林水文観測・水質分析報告（自2008年1月至2012年12月）	演習林（東大）	57	19-59	2015
	木村恒太・齋藤俊浩・相川美絵子・五十嵐勇治・千嶋武・浅野友子	秩父演習林バケモノ沢における量水観測	演習林（東大）	57	61-73	2015
	東京大学演習林鳥類研究会	東京大学演習林鳥類目録　第2版（2008年8月～2014年3月）	演習林（東大）	57	75-102	
	五名美江・春田泰次・蔵治光一郎	生態水文学研究所白坂試験流域における水質分析結果報告	演習林（東大）	57	103-114	2015
	原口竜成・高野充広・齋藤俊浩・丹羽悠二	秩父演習林におけるケヤキ人工林成長試験地毎木調査資料	演習林（東大）	57	115-184	2015
	岩井紀子・加藤敦美・鎌田幸子	生態水文学研究所に存在する「観察植物：白坂」に記録されたフェノロジーデータ報告【修正版】	演習林（東大）	57	185-198	2015
	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	生態水文学研究所赤津研究林白坂小流域内長期生態系プロットにおけるりたートラップ調査手順（2004～2011年度および2013年度）	演習林（東大）	57	199-207	2015
	石田健・高徳佳絵・齋藤俊浩・井村貴之・大村和也・澤田晴雄	東京大学秩父演習林突出峠における鳥類群集の長期観測	演習林（東大）	57	209-219	2015
	吉田弓子・原口竜成・齋藤俊浩・丹羽悠二	秩父演習林シオジ天然林におけるりターフォールデータ	演習林（東大）	57	221-317	2015

	発表者全氏名	題　　目	誌　名	巻－号	頁	年
	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会気象部門	東京大学演習林気象報告（自2013年1月至2013年12月）	演習林（東大）	57	319-342	2015
	橋本知幸・數間亨・武藤敦彦・皆川恵子・永廣香菜・當山啓介・足立雅也・池田文明・駒形修・冨田隆史・森川茂・澤邉京子	野外に生息するマダニ類に対する数種殺虫製剤の防除効果	衛生動物	66(1)	7-12	2015
	藏治光一郎・五名美江	矢作川本川および支川の豊水，平水，低水，渇水比流量の長期変動	矢作川研究	19	67-74	2015
	齋藤暖生	特用林産と森林社会―山菜・きのこの今日―	林業経済	67(12)	2-6	2015
	坂上大翼・木村徳志・福岡哲	東京大学北海道演習林におけるカラマツ交雑育種試験地の現在(1)―カラマツ，チョウセンカラマツ，および千島系グイマツの二面交雑家系の植栽49年後の生育―	北海道の林木育種	57(2)	10-15	2014
	植田睦之・岩本富雄・中村豊・川崎慎二・今野　怜・佐藤重穂・高　美喜男・高嶋敦史・滝沢和彦・沼野正博・原田修・平野敏明・堀田昌伸・三上かつら・柳田和美・松井理生・荒木田善隆・才木道雄・雪本晋資	全国規模の森林モニタリングが示す5年間の鳥類の変化	Bird Research	10	F3-F11	2014
	軽込　勉・塚越剛史・里見重成・梁瀬桐子・久本洋子・山田利博・米道学・後藤晋	房総半島産ヒメコマツ人工交配実生苗のさし木発根における光環境条件の検討	関東森林研究	66（1）	53-56	2014
	當山啓介・村川功雄・塚越剛史・鶴見康幸・三次充和・梁瀬桐子	皆伐地斜面上部に設置したスギ枝条を用いた簡易筋工の安定性	関東森林研究	66（1）	95-96	2014

※は、これまで発行の年報に未掲載の論文である。2013年の集計に反映されない

学会発表等

発表者全氏名	題　　目	誌　名	巻－号	頁	年
Takayama N, Fujiwara A, Saito H, Horiuchi M	Influence of existing scenery in an on-site forest environment in terms of Subjective Appraisal, Restorativeness,　Affect	Japan Geoscience Union Meeting 2014			2014
Maznah Mahali, Kuraji Koichiro, Wilter @ Azwal Malandi, Luiza Majuakim & Geoffary Gunsalam	Hydrological Monitoring in Mount Alab, Crocker Range Park Sabah	International Seminar on Tropical Forest Carbon Stock Assessment			2014
浅野友子・内田太郎・小菅尉多・小林 浩・敦賀屋研次郎	山地河川でのピーク到達時間と流域地形の関係	平成26年度砂防学会研究発表会			2014
内田太郎・蒲原潤一・友村光秀・佐藤 蒲原潤一・友村光秀	山地流域の流出特性と地形の関係	平成26年度砂防学会研究発表会			2014
糸数哲・小杉賢一朗・水山高久・恩田裕一・太田岳史・蔵治光一郎・田中延亮・後藤太成	森林回復が洪水流出特性に与える影響―飽和・不飽和浸透計算による解析―	平成26年度砂防学会研究発表会			2014
齋藤暖生・藤原章雄	“癒しの森”の実現に向けた東京大学演習林の試み－住民参加型の展望と課題－	森林保健学会第4回学術総会			2014
Owari T	Fifty years development of the stand-based silvicultural management at the University of Tokyo Hokkaido Forest,　Japan	Abstracts of the 9th International Conference on Uneven-aged Silviculture		58	2014
Owari T	Managing forests with complexity: 55 years of practice at the University of Tokyo Hokkaido Forest	The 5th International Workshop of Global Challenges University Alliance			2014
Kuraji K	Payment for Forest Environmental Services as a tool to provide forest products and environmental services to the people	The 5th International Workshop of Global Challenges University Alliance			2014
鎌田直人・平尾聡秀	奥秩父のおけるシカの行動圏調査:豪雪の影響を中心に	第47回森林野生動物研究会大会			2014
久本洋子	東京大学千葉演習林の開花年限試験モウソウチク林の稈の分布とジェネット構造	竹林景観ネットーワーク研究集会　第14回			2014
Asano Y, Uchida T	Roles of hillslope and channel on spatial distribution of peak lag times during heavy storms at 4.5km2 mountain watershed	AGU Chapman conference, Catchment spatial organization and complex behavior			2014
Uchida T, Asano Y	The role of bedrock geology, historical rainfall pattern and topography on rainfall-runoff function in mountainous catchment	AGU Chapman conference, Catchment spatial organization and complex behavior			2014
五名美江・蔵治光一郎	小流域全体のリター剥ぎ取りが流出量に及ぼす影響	水文・水資源学会2014 年度研究発表会要旨集		142-143	2014
蔵治光一郎	緑のダムづくりとは何か	水文・水資源学会2014 年度研究発表会要旨集			2014
Toyama, K	Current pictures and feasibility of quasi-clearcutting in Japan	XXIV IUFRO World Congress 2014			2014
Owari T, Okamura K, Fukushi K, Kasahara H, Tatsumi S	Single-tree management for high-value timber species in a mixed conifer-hardwood forest in northern Japan	XXIV IUFRO World Congress/ International Forestry Review	16(5)	144	2014
Kuraji K, Gomyo M	Seventy-seven years variation of annual evapotranspiration in a small watershed with the forest restoration and succession on denuded hills	XXIV IUFRO World Congress/ International Forestry Review	16(5)	235	2014
Owari T, Tatsumi S, Ning L, Yin M	Height growth of Korean pine saplings planted under strip-cut larch plantations in northeast	XXIV IUFRO World Congress/ International Forestry Review	16(5)	366-367	2014
Gomyo M, Kuraji K	Long-term variation of coeffi cients of peak discharge in a small watershed,　in association with forest restoration and succession on denuded hills	XXIV IUFRO World Congress/ International Forestry Review	16(5)	505	2014
齋藤暖生	特用林産と森林社会―山菜・きのこの今日―	国土緑化推進機構助成シンポジウム			2014
Miura N, Asano Y	Acquisition of underwater topography in a mountain channel using terrestrial laser scanning	SPIE 9239 Remote Sensing for Agriculture, Ecosystems, and Hydrology XVI			2014
藤井正典・平尾聡秀・楠本大	葉圏菌類の多様性に影響を及ぼす要因	環境微生物系学会合同大会2014			2014
今村直広・五名美江・田中延亮・蔵治光一郎	ナラ枯れ前後の渓流水の硝酸態窒素濃度の比較	第4回中部森林学会講演要旨集		18	2014
蔵治光一郎・田神悠介	北山川中洲にかつて成立していた集落の水害防備林の動態に洪水が及ぼす影響	第4回中部森林学会講演要旨集			2014
羽井佐冴彦・楠本大・山田利博	ケヤキおよびクスノキ枝剪定後の巻き込みおよび材変色に対する塗布剤や剪定方法の影響	樹木医学会第19回大会			2014
山口彩花・楠本大・山田利博	フジの多重形成層の構造	樹木医学会第19回大会			2014

発表者全氏名	題　　目	誌　名	巻－号	頁	年
Thwe Thwe Win, Goto S	Comparison of genetic composition between imported and native teak in Myanmar using simple sequence repeat (SSR) markers.	森林遺伝育種学会第3回大会			2014
後藤晋・西山教雄・村瀬一隆	エゾマツ実生コンテナ苗と裸苗における植栽後の地上部成長と根系発達	森林遺伝育種学会第3回大会			2014
Itokazu T, Kosugi K, Onda Y, Kuraji K, Tanaka N, Goto M, Ohta T, Mizuyama T	Characteristics of storm runoff in small granite catchments having different vegetation recovery conditionshaving different vegetation recovery conditions	Interpraevent2014			2014
尾張敏章・中川雄治・藤原章雄・中村和彦・斎藤馨	東京大学北海道演習林におけるインターネット森林観察サイトの設置	第4回サイバーフォレストシンポジウム			2014
Fukui D, Hirao T	Regional patterns of bat community assembly in the Japanese archipelago	4th international symposium on Asian vertebrate species diversity			2014
増田圭祐・松井孝典・福井　大・町村　尚	機械学習による判別分析を用いた11種類のコウモリのエコーロケーションコールによる種判別	日本生態学会近畿地区例会			2014
久本洋子・鈴木重雄・江上浩	放置マダケ林における稈伐採後の塩素酸ナトリウム粒剤（クロレートS）全面土壌散布による植生変化	竹林景観ネットーワーク研究集会　第15回			2014
Owari T	Forest certification and certified forest products	Training Workshop on Capacity Building on Climate Change Mitigation and Benefits in Forest Sector			2015
Owari T	Forest governance and policy: A focus on Japan	Training Workshop on Capacity Building on Climate Change Mitigation and Benefits in Forest Sector			2015
大谷雅人・高橋誠・後藤晋	東京大学富士癒しの森研究所のブナ産地試験地における葉形態の産地間･系統間変異	第62回日本生態学会			2015
鈴木智之・井田秀行・小林元・高橋耕一・Nam-Jin Noh・村岡裕由・廣田充・清野達之・鈴木亮・田中健太・飯村康夫・角田智詞・丹羽慈・日浦勉	Tea Bagを用いた分解活性指標：標高・土壌温暖化・リター量処理の影響	第62回日本生態学会			2015
後藤晋・鐘ヶ江弘美・石塚航・北村系子・上野真義・久本洋子・八杉公基・永野惇・工藤洋・岩田洋佳	高標高×低標高交雑に由来するトドマツ分離集団を用いたRAD-seqによる連鎖地図構築	第126回日本森林学会大会			2015
鈴木智之	大規模風倒による枯死木が森林の炭素蓄積に与える長期的影響	第126回日本森林学会大会			2015
礒辺山河・齋藤央嗣・遠藤良太・久本洋子・軽込勉・逢沢峰昭・大久保達弘	関東地方のヒメコマツ隔離集団の遺伝的多様性と近交弱勢	第126回日本森林学会大会			2015
久本洋子・後藤晋	高標高トドマツの早熟性はどのように遺伝するのか？	第126回日本森林学会大会			2015
尾張敏章・後藤　晋	天然林施業における更新補助作業の実践：東京大学北海道演習林の歩みと現状	第126回日本森林学会大会学術講演集		86	2015
辰巳晋一・尾張敏章	伐採木の選木が針広混交林のササ密度と樹木更新量を左右する	第126回日本森林学会大会学術講演集		87	2015
Jayathunga S, Owari T, Tsuyuki S	Analysing spatial structure of mixed forests using airborne LiDAR data：A case study in central Hokkaido	第126回日本森林学会大会学術講演集		101	2015
遠國正樹・中川雄治・平田雅和・井上　崇・露木聡・尾張敏章	森林内における仮想基準局（VRS）方式RTK-GNSSの測位精度	第126回日本森林学会大会学術講演集		111	2015
小西伴尚・蔵治光一郎・洲崎燈子・平賀信夫・荻原彰	外部連携による中学校の森林教育	第126回日本森林学会学術講演集		166	2015
蔵治光一郎	斜面ライシメータ上のヒノキ林の間伐が蒸発散量に及ぼす影響	第126回日本森林学会学術講演集		217	2015
五名美江・蔵治光一郎	小流域のリターが水収支および洪水時流出量に及ぼす影響	第126回日本森林学会学術講演集		240	2015
尾張敏章・中川雄治・遠國正樹	林分施業法は空間情報技術により進化する	森林計画学会春季シンポジウム2015			2015
當山啓介	人工林と天然林双方の利用を包含する森林経営計画の特徴	第126回日本森林学会学術講演集		235	2015
浅野友子・内田太郎・勝山正則・五味高志・水垣滋・丹羽諭・横尾善之	山地流域の水・土砂流出における空間スケールの影響に関する研究の現状	第126回日本森林学会学術講演集		237	2015

2014年度　学会発表等

発表者全氏名	題　　目	誌　名	巻－号	頁	年
今村直広・田中延亮・岩井紀子・大手信人	山地と都市の森林における湿性沈着量とバルク沈着量の違い	第55回大気環境学会年会講演要旨集			2014
今村直広，大手信人，田中延亮，石珺，鈴木雅一	大気濃度の異なる森林における林内雨・樹幹流法とインファレンシャル法による大気沈着量の推定	第55回大気環境学会年会講演要旨集			2014
蔵治光一郎・田神悠介	北山川中洲にかつて成立していた集落の水害防備林の動態に洪水が及ぼす影響	第4回中部森林学会講演要旨集		40	2014
安村直樹・立花敏	ニュージーランドにおける中小規模所有者による森林管理の現状と課題	第126回日本森林学会大会			2015
立花敏・安村直樹	北海道十勝地方における主伐と再造林との関係に関する一考察	第126回日本森林学会大会			2015
Torii M, Matsuda Y, Seo ST, Kim KH, Ito S, Moon MJ, Kim SH, Yamada T	Is Raffaelea quercus-mongolicae a causal fungus contributing mass mortality of Quercus mongolica trees?	第3回日韓植物病理学会合同シンポジウム			2014
服部　力・太田祐子・村川功雄・塚越剛史・山田利博	辺材腐朽菌３種のスギへの接種－接種菌の再分離と分布状況－	第126回日本森林学会学術講演集		156	2015
山田利博・村川功雄・塚越剛史・太田祐子・服部力	辺材腐朽菌３種のスギへの接種－材変色の比較－	第126回日本森林学会学術講演集		157	2015
齋藤暖生・三俣学・嶋田大作	北欧における万人権をめぐる課題―スウェーデンにおける議論のレビューを中心に―	林業経済学会2014年度秋季大会			2014
齋藤暖生・三俣学・嶋田大作	資源採取を伴うレクリエーション活動の行動規範 ―スウェーデンにおけるアンケート調査から―	第126回日本森林学会大会			2015
三俣学・齋藤暖生・嶋田大作	スウェーデンにおける野外活動の展開と万人権：その意義と課題	第126回日本森林学会大会			2015
藤原章雄・齋藤暖生	癒しの森プロジェクト―地域とともに知り創る試み	第126回日本森林学会大会			2015
礒辺山河・齋藤央嗣・遠藤良太・久本洋子・軽込勉・逢沢峰昭・大久保達弘	関東地方のヒメコマツ隔離集団の遺伝的多様性と近交弱勢	第126回日本森林学会大会			
定梶さくら・吉村裕貴・佐藤大介・井口和信・押田龍夫	北海道の山間部天然林においてヒメネズミが繁殖に用いる巣箱の周囲環境要因の解明	日本哺乳類学会2014年大会		147 (P-053)	2014
倉本惠生・木村徳志	タイムインターバルカメラによるカバノキ類の開花・開葉期推定―フェノロジー観察との比較―	北方森林研究	63	51-52	2015
尾張敏章・江口由典・宅間隆二・岡村行治・福岡哲・木村徳志・辰巳晋一	択伐天然林の更新を補助するための精密植栽技術の開発(予報)	北方森林研究	63	81-84	2015
遠國正樹・中川雄治・平田雅和・井上崇・露木聡・尾張敏章	森林内における仮想基準局(VRS)方式RTK-GNSSの測位制度	第126回日本森林学会大会		P1A064	2015
阿達康眞･里見重成	千葉演習林における教育支援	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2014年度	34-35	2015
軽込勉	平成26年度実務研修「演習林教育研究センターコース」の報告	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2014年度	76-77	2015
Mitsukazu mitsugi	Studies on the distribution and population ecology of freshwater shrimps and prawns(Atydae and paraemonidae) from Sotobo region, Boso peninsula, Chiba Prefecture, Eastern Japan	農学特別講義Ⅰ（一般セミナー）		38	2014
Mitsukazu Mitsugi, Hiroshi Suzuki	Distribution patterns of two freshwater shrimps genus Paratya in Sotobo region,Boso Peninsula,Chiba Prefecture, eastern Japan	IAA & CSJ Joint International Conference on Crustacea		43	2014
齋藤俊浩・高徳佳絵・吉田弓子・原口竜成	秩父演習林における技術職員の教育支援	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2014年度	11-14	2015
高野充広・才木道雄・大村和也・五十嵐勇治	2014年2月に発生した豪雪被害への対応と課題	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2014年度	29-32	2015
木村恒太・齋藤俊浩・浅野友子・西口幸希	山地域での洪水観測精度向上に向けた水位-流量関係実測手法の検討	第126回日本森林学会大会			2015
栗田直明・相川美絵子	機械グループによる小規模施設の機械総点検研修の成果と課題	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2014年度	80-81	2015
村瀬一隆・西山教雄	「癒しの森」の森林管理	北海道大学総合技術研究会			2014
西山教雄・村瀬一隆	名称変更に伴う看板再生プロジェクト	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2014年度	48-49	2015
澤田晴雄・辻和明・辻良子・小林徹行・井上広喜・鴨田重裕	東京大学樹芸研究所内２２年生ユーカリ属６種造林地の成長経過と今後の課題	第14回東京大学生命科学シンポジウム ポスター発表要旨集	2014年度	203	2014
辻和明・辻良子・小林徹行・澤田晴雄・村瀬一隆・渡邉良広	ニホンジカの生息密度推定のための調査方法	平成26年度北海道大学総合技術研究会プログラム・要旨集	2014年度	-	2014
辻良子･澤田晴雄･辻和明･小林徹行	樹芸研究所大温室におけるバニラの栽培に関する報告と蒴花発酵の試み	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集2014年度	2014年度	52-53	2015

発表者全氏名	題　　目	誌　名	巻－号	頁	年
辻和明・澤田晴雄・辻良子・小林徹行	ユーカリ植栽1年目のニホンジカによる獣害状況	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集2014年度	2014年度	50-51	2015
辻和明	ブラジル・ユーカリ大面積造林事業視察報告（平成26年度東京大学職員海外研修）	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集2014年度	2014年度	78-79	2015
近澤静恵・米道学	演習林における広報戦略-科学の森ニュースを例に-	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集2014年度	2014年度	21-22	2015
軽込勉･塚越剛史･里見重成･梁瀬桐子･久本洋子･山田利博･米道学･後藤晋	房総半島産ヒメコマツ人工交配実生苗のさし木発根における光環境条件の検討	第4回関東森林学会大会			2014
當山啓介・村川功雄・塚越剛史・鶴見康幸・三次充和・梁瀬桐子	皆伐地斜面上部に設置したスギ枝条を用いた簡易筋工の安定性	第4回関東森林学会大会			2014
澤田晴雄･辻和明･辻良子･小林徹行･井上広喜･鴨田重裕･鎌田直人	コナラ直径-辺材率関係の南伊豆地域と他地域との比較	第4回中部森林学会講演要旨集		13	2015
原口竜成・大村和也・千嶋武	102年生ケヤキ人工林における 2回の間伐の効果についての検討	第4回関東森林学会大会			2014

2014年度　著書

著書

著者名	題　　目	書名・編者	出版社名	頁	年
齋藤暖生	「癒し」でつなぎなおす森と人―大学演習林からの挑戦―	エコロジーとコモンズ―環境ガバナンスと地域自立の思想―三俣学編	晃洋書房	191-206	2014
蔵治光一郎	緑のダムづくりとは何か	緑のダムの科学－減災・森林・水循環－蔵治光一郎・保屋野初子（編）	築地書館	2-12	2014
蔵治光一郎	矢作川流域圏における森づくり実践活動	緑のダムの科学－減災・森林・水循環－蔵治光一郎・保屋野初子（編）	築地書館	169-183	2014
尾張 敏章・當山 啓介	分担執筆	木力検定③森林・林業を学ぶ100問　立花敏・久保山裕史・井上雅文・東原貴志編	海青社		2014
久本 洋子	花芽形成の遺伝的制御機構	冬芽と環境　八田洋章編	北隆館	72-89	2014
久本 洋子	竹の花は数十年に一度咲く	理科好きな子に育つふしぎのお話365：見てみよう、やってみよう、さわってみよう 体験型読み聞かせブック　自然史学会連合編	誠文堂新光社	244	2015
五名美江・坪山良夫	75年を超える長期観測からわかったこと	緑のダムの科学－減災・森林・水循環－蔵治光一郎・保屋野初子（編）	築地書館	13-30	2014
山田利博・渡辺直明	樹木の精密診断、幹の外科技術	樹木医の手引き 改定4版	日本緑化センター	180-194, 212-248	2014
山田利博	微生物の感染と樹木の反応	樹木医学の基礎講座	樹木医学会	190-201	2014
山田利博	バニラのウイルス病、バニラの菌類病	バニラのすべて　エリック・オドゥー、ミッシェル・グリゾニ著、谷田貝光克監訳	フレグランスジャーナル社	77-99, 101-112	2015
齋藤暖生	山村と農林業	森林インストラクター養成講習テキスト〔林業編〕　一般社団法人全国森林レクリエーション協会編	一般社団法人全国森林レクリエーション協会	1-19	2014
後藤晋	日本列島　大学の森めぐり―未来への軌跡―.（分担執筆）	全国大学演習林協議会編		1-63	2014

外部資金によって行われた研究

科学研究費

氏　名	研究種目	研　究　課　題	研究代表者	代表者所属
鎌田直人	基盤研究(A)(海外)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	鎌田直人	東京大学
楠本　大	基盤研究(A)(海外)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	鎌田直人	東京大学
平尾聡秀	基盤研究(A)(海外)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	鎌田直人	東京大学
蔵治光一郎	基盤研究(A)(海外)	ウォーカー循環系における大気振動と山岳の森林限界の形成	北山兼弘	京都大学
齋藤暖生	基盤研究(A)(海外)	熱帯の産米林農村に在来する生物の機能を活用した農業生産と資源利用との調和	宮川修一	岐阜大学
楠本　大	基盤研究(A)	樹木の水分生理特性と萎凋病の枯死機構の統合的理解	福田健二	東京大学
坂上大翼	基盤研究(A)	樹木の水分生理特性と萎凋病の枯死機構の統合的理解	福田健二	東京大学
浅野友子	基盤研究(A)	森林-農地移行帯における放射性核種の移動・滞留と生態系濃縮の評価	五味高志	東京農工大学
田中延亮	基盤研究(B)(海外)	タイ国チーク人工林における間伐が水循環、炭素循環に与える影響の研究	鈴木雅一	東京大学
福井　大	基盤研究(B)(海外)	野生動物―ウイルス共進化の解明と新規ウイルス変異予測	新井　智	国立感染症研究所
田中延亮	基盤研究(B)	熱帯落葉林の生物季節に及ぼす水ストレス効果の実験観測と植生モデルの高度化	田中克典	独立行政法人海洋研究開発機構
後藤　晋	基盤研究(B)	北方針葉樹における標高適応に関わるフェノロジーの分子遺伝機構	後藤晋	東京大学
久本洋子	基盤研究(B)	北方針葉樹における標高適応に関わるフェノロジーの分子遺伝機構	後藤晋	東京大学
鎌田直人	基盤研究(B)	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	鎌田直人	東京大学
平尾聡秀	基盤研究(B)	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	鎌田直人	東京大学
鎌田直人	基盤研究(B)	農林生態系における天敵多様性の生態系機能	村上正志	千葉大学
平尾聡秀	基盤研究(B)	農林生態系における天敵多様性の生態系機能	村上正志	千葉大学

2014年度　外部資金によって行われた研究

氏　名	研究種目	研　究　課　題	研究代表者	代表者所属
尾張敏章	基盤研究(B)	インターネット森林観察サイトの拡充による自然学習授業案の開発	斎藤馨	東京大学
楠本　大	基盤研究(B)	樹木内生菌の伝播・繁殖機構および樹体内共生機構の解明	松下範久	東京大学
山田利博	基盤研究(B)	スギ辺材腐朽発生に関わる生物学的環境要因の解明	服部　力	森林総合研究所
山田利博	基盤研究(B)	音響トモグラフィによる樹木の非破壊腐朽診断法の高精度化	山田利博	東京大学
藤原章雄	基盤研究(B)	インターネット森林観察サイトの拡充による自然学習授業案の開発	斎藤馨	東京大学
蔵治光一郎	基盤研究(C)	所有権の内在的制約を自然資源管理の観点から考える―重層性と協働性に着目して	神山智美	富山大学
三浦直子	基盤研究(C)	地上型レーザスキャニングによる山地河川の河床地形計測手法の確立	三浦直子	東京大学
広嶋卓也	基盤研究(C)	皆伐・利用間伐量の都道府県別積み上げによる国産材生産量予測モデルの開発	広嶋卓也	東京大学
安村直樹	基盤研究(C)	補助金に代わる林業支援の在り方に関する研究	安村直樹	東京大学
鎌田直人	挑戦的萌芽研究	食物網構造を組み入れた全球的な群集の多様性創出機構の解明	鎌田直人	東京大学
齋藤暖生	挑戦的萌芽研究	保護地域制度が周辺地域の生業変化や資源化に及ぼす影響－持続可能な地域発展における規制のあり方－	柴崎茂光	国立歴民俗博物館
齋藤暖生	若手研究(B)	森林における採集活動の排除と共存に関する比較研究	齋藤暖生	東京大学
五名美江	若手研究(B)	ハゲ山に森林が再生した流域における洪水緩和機能の回復メカニズムの解明	五名美江	東京大学
鈴木智之	若手研究(B)	大規模風倒が森林の長期的な炭素蓄積と動態に及ぼす影響の解明	鈴木智之	東京大学
久本洋子	若手研究(B)	温帯性タケ類の一斉開花現象に関与する花成制御遺伝子の網羅的探索	久本洋子	東京大学
竹本周平	若手研究(B)	モデル生物スエヒロタケの交配家系を用いた材質腐朽病の病原性関連遺伝子領域の同定	竹本周平	東京大学
軽込　勉	奨励研究	天然個体由来ヒメコマツ実生苗におけるマツ材線虫病抵抗性の遺伝的検証	軽込　勉	東京大学
高徳佳絵	奨励研究	巨木からの観察による樹上と地上での鳥類相の違いの評価	高徳佳絵	東京大学

氏　名	研究種目	研　究　課　題	研究代表者	代表者所属
原口竜成	奨励研究	サワラの腐朽の発生と進行速度に関する研究	原口竜成	東京大学
丹羽悠二	奨励研究	荒川源流域に生息するサンショウウオの遺伝子解析	丹羽悠二	東京大学
澤田晴雄	奨励研究	クスノキを利用した教育プログラムの検討	澤田晴雄	東京大学
米道　学	奨励研究	ヒメコマツの高芽接ぎによるマツ材線虫病抵抗性ヒメコマツの種子生産の試み	米道　学	東京大学
五名美江	特別研究員奨励費	長期流域水収支データを用いた森林の洪水緩和機能の定量的解析と評価	五名美江	東京大学

その他補助金

氏　名	補助金等名称	研　究　課　題	研究代表者	代表者所属
尾張敏章	公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団　国内研究助成	劣化した水源林の修復と再生に向けた定位植栽技術の開発	尾張敏章	東京大学
尾張敏章	日本学術振興会　特定国派遣研究者	近自然型林業の計画・管理システムに関する日欧比較研究	尾張敏章	東京大学
尾張敏章	公益財団法人日本科学協会　平成26年度海外発表促進助成	中国東北部のカラマツ人工林帯状伐採地におけるチョウセンゴヨウ下木の樹高成長	尾張敏章	東京大学

2014 年度　外部資金によって行われた研究

奨学寄付金

氏　名	寄　付　目　的	寄　付　者
山田利博	松くい虫防除に関する研究	(公社)ゴルフ緑化促進会
芝野博文	天然林におけるミズナラの動態解明とミズナラ育林技術の開発	サントリー酒類株式会社
芝野博文	農学研究助成金／研究助成のため	(株)ユニヴァーシティ・プレス
鎌田直人	学術研究の経費	サントリーホールディングス株式会社
浅野友子	山地河川における洪水流出観測精度の向上にむけた研究	一般財団法人河川情報センター研究助成
浅野友子	山地河川における堰堤等を用いた量水精度の向上	サントリーホールディングス株式会社
浅野友子	森林の保健休養機能増進のための薪需要構造と森林所有者の連携可能性の検討	山口育英奨学会
平尾聡秀	学術研究の経費(研究課題:環境省モニタリング1000)	(財)自然環境研究センター
平尾聡秀	シカ食害に伴う植生の衰退と土壌微生物相の変化がダム上流域の水環境に及ぼす影響に関する研究	一般財団法人水源地環境センター
平尾聡秀	森林の潜在的な病害発生リスク推定法の開発に関する研究	公益信託エスペック地球環境研究・技術基金
平尾聡秀	石灰岩地帯に隔離分布する絶滅危惧種チチブミネバリの保全に関する研究	公益財団法人自然保護助成基金
鈴木智之	秩父演習林に自生する木本類の化学特性データベースの構築	サントリーホールディングス株式会社
鈴木智之	シカ排除柵による植生保護活動のための植生調査	山口育英奨学会
蔵治光一郎	学術研究の経費(研究課題:環境省モニタリング1000)	(財)自然環境研究センター
蔵治光一郎	学術研究の経費(研究課題:環境省モニタリング1000)	特定非営利活動法人 バードリサーチ
五名美江	上流域の森林荒廃が下流域の水害を拡大させるメカニズムの解明	公共財団法人住友財団　環境研究助成
鴨田重裕	カシノナガキクイムシの発生が確認された南伊豆地域での対策	山口育英奨学会

受託研究費

氏　名	研　究　課　題　名	委　託　機　関
広嶋卓也	森林伐採・更新と木材利用に関わる炭素収支モデルの開発(伐採・更新方法決定モデルの開発)	森林総合研究所
當山啓介	広葉樹林の森林経営の計画策定に係る調査・研究	(株)アルファフォーラム
蔵治光一郎	愛知フィールドにおける間伐による水・土砂流出の変化	独立行政法人科学技術振興機構
蔵治光一郎	効果的な防災計画と連関させるべき科学的知見および地域文化の再発見・発信とこれらを踏まえた砂防総合対策技術の開発	国土交通省
浅野友子	上流域水系ネットワークにおける森林-渓流生態系の放射性物質移動と生物濃縮の評価	環境省

他機関との共同研究

氏　名	研　究　課　題　名	共　同　研　究　機　関
山田利博・広嶋卓也・久本洋子・當山啓介	新規ヤマビル防除剤に関する研究	住化グリーン(株)
芝野博文	北海道演習林と周辺の農地および河川に関する景観生態学的研究	王子木材緑化(株)北海道支店
鈴木智之	北方林の更新維持機構の生態学的・遺伝学的解析(代表　西村尚之(群馬大学))	北海道大学低温科学研究所

学外各種委員会等委員

氏　名	委員会等名称	委員会等所属機関
石橋整司	関東森林学会編集担当理事(編集委員長)	関東森林学会
石橋整司	学術著作権協会監事	一般社団法人　学術著作権協会
後藤晋	理事(総務委員長)	森林遺伝育種学会
後藤晋	科学研究費委員会専門委員	(独)日本学術振興会
後藤晋	120周年記念WG委員長	全演習林協議会
後藤晋	農林総合研究センター研究等評価委員	埼玉県
三浦直子	会計監査員	森林GISフォーラム
齋藤暖生	公募助成事業選考委員会	公益財団法人栗井英朗環境財団
齋藤暖生	運営委員会委員長	甲州癒しの森コンソーシアム
齋藤暖生	編集委員会	林業経済学会
藤原章雄	論文集委員会	日本造園学会
鴨田重裕	木材利用の持続可能性検討小委員会	日本木材学会
鴨田重裕	理事	中部森林学会
鴨田重裕	第5号委員	一般財団法人東京大学運動会
山田利博	千葉県森林審議会	千葉県
山田利博	鴨川市文化財保護審議会	鴨川市
山田利博	樹木医学研究編集委員会	樹木医学会
広嶋卓也	和文誌編集委員	森林計画学会
広嶋卓也	企画運営委員	森林計画学会
広嶋卓也	タスクフォースチーム	カーボン・オフセット推進ネットワーク
広嶋卓也	千葉県特定鳥獣保護管理計画(ニホンジカ)検討会	千葉県
広嶋卓也	時期約束期間に向けた体制整備(自然攪乱に関する検討等)検討委員会	国際緑化推進センター
久本洋子	運営委員	竹林景観ネットワーク
久本洋子	千葉県ヒメコマツ協議会	千葉県
當山啓介	事務局	木材利用システム研究会
當山啓介	英文誌編集主事	日本森林学会
芝野博文	富良野市環境審議会委員	富良野市
芝野博文	「地域管理経営計画等に関する懇談会」委員	北海道森林管理局
芝野博文	重点課題評価会議における評価委員	森林総合研究所
芝野博文	北方林木育種協会顧問	北海道林木育種協会
尾張敏章	北方森林学会評議員	北方森林学会
尾張敏章	「林業に新規参入する労働者に係る労働災害防止対策推進事業」に伴う林業労働災害防止対策検討委員	株式会社森林環境リアライズ
坂上大翼	北方森林学会幹事	北方森林学会
坂上大翼	北方林木育種協会役員	北海道林木育種協会
蔵治光一郎	矢作川流域圏懇談会	国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所
蔵治光一郎	大阪府森林の保全及び都市の緑化の推進に関する調査検討会議	大阪府
蔵治光一郎	長良川河口堰最適運用検討委員会	愛知県
蔵治光一郎	とよた森づくり委員会	豊田市
蔵治光一郎	水循環推進協議会	岡崎市
蔵治光一郎	環境審議会	瀬戸市
蔵治光一郎	せと環境塾運営委員会	瀬戸市
蔵治光一郎	せとまるっと環境クラブ　監事	瀬戸市
蔵治光一郎	環境審議会	犬山市
蔵治光一郎	代議員会	日本森林学会
蔵治光一郎	国際委員会	水文・水資源学会
蔵治光一郎	APHW対応小委員会	水文・水資源学会
蔵治光一郎	研究調整委員会	水文・水資源学会
蔵治光一郎	顧問	猿投の森づくりの会
蔵治光一郎	共同代表	矢作川森の研究者グループ
蔵治光一郎	監事	認定NPO法人才の木
蔵治光一郎	理事	ニッセイ緑の財団

2014 年度　学外各種委員会等委員

氏　名	委員会等名称	委員会等所属機関
蔵治光一郎	編集委員会	不知火海・球磨川流域圏学会
田中延亮	幹事	犬山研究林利用者協議会
楠本　大	多摩六都科学館組合緑地等保全懇談会委員	多摩六都科学館組合
楠本　大	理事	樹木医学会
竹本　周平	理事	樹木医学会
竹本　周平	市民スタッフ	我孫子市鳥の博物館
竹本　周平	編集委員	『季刊理科の探検』誌
相川美絵子	技術部会	日本樹木医会
安村直樹	編集委員	林業経済学会
安村直樹	企画委員	一般財団法人林業経済研究所
鎌田直人	特別天然記念物カモシカ保護事業 通常調査の指導委員	埼玉県
鎌田直人	兼六園マツ等保全対策指導者	石川県
鎌田直人	埼玉県特定鳥獣保護管理検討委員会委員	埼玉県
鎌田直人	埼玉県環境科学国際センター客員研究員	埼玉県
鎌田直人	埼玉県レッドデータブック検討会委員	埼玉県
鎌田直人	ナラ枯れ被害防止技術開発事業委員	日本森林技術協会
鎌田直人	森林野生動物研究会事務局代表	森林野生動物研究会
鎌田直人	日本昆虫学会編集委員	日本昆虫学会
鎌田直人	D7.03.08 ″Forest protection in Northeast Asia″ Deputy Cordinator	IUFRO
浅野友子	埼玉県森林審議会委員	埼玉県
浅野友子	Hydrological Research Letters編集委員	水文・水資源学会
平尾聡秀	モニタリングサイト1000コアサイト検討会	環境省
平尾聡秀	JaLTER代表者委員会	JaLTER
平尾聡秀	JaLTER運営委員会	JaLTER
鈴木智之	日本生態学会大規模長期生態学専門委員会	日本生態学会
鈴木智之	日本生態学会キャリア支援専門委員会	日本生態学会
五十嵐勇治	埼玉県特定鳥獣保護管理検討委員会委員	埼玉県
五十嵐勇治	秩父地域鳥獣被害対策協議会幹事会委員	埼玉県
五十嵐勇治	秩父地域森林林業活性化協議会分科会委員	秩父市

■社会連携■

公開講座・セミナー等

講　座　名	主催	開催場所	日程
鴨川市・東京大学交流事業「野鳥の巣箱をかけよう！」巣箱観察会	鴨川市/千葉演習林	千葉演習林	2014.4.5
植樹祭	生態水文学研究所	生態水文学研究所	2014.4.15
温室特別公開日	樹芸研究所	樹芸研究所	2014.4.16
犬山研究林利用者協議会「総会と自然観察会」	犬山研究林利用者協議会	生態水文学研究所	2014.4.19
東大教職員向け特別ガイド「春の彩りを訪ねて」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	2014.4.19
温室特別公開日	樹芸研究所	樹芸研究所	2014.4.19
シデコブシの会「総会とGPS・コンパス講習会」	シデコブシの会	生態水文学研究所	2014.4.20
休日公開	田無演習林	田無演習林	2014.4.27
休日公開	田無演習林	田無演習林	2014.5.4
利用者研究集会・尾張東部丘陵自然環境研究者の会	生態水文学研究所	生態水文学研究所	2014.5.9
サポート団体「交流会」	犬山研究林利用者協議会	生態水文学研究所	2014.5.18
春のガイドツアー「カエデの見分け方を学ぶ」	秩父演習林	秩父演習林	2014.5.23
犬山市「春のふれあい自然観察会」	犬山市	生態水文学研究所	2014.5.25
公開作業日	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	2014.5.27
しおじの会「新緑勉強会」	しおじの会	秩父演習林	2014.5.29
神社山自然観察路春季一般公開	北海道演習林	北海道演習林	2014.6.1
「子ども樹木博士」認定会	西東京市「子ども樹木博士」を育てる会	田無演習林	2014.6.1
休日公開	田無演習林	田無演習林	2014.6.1
利用者交流会	田無演習林	田無演習林	2014.6.10
とよた森林学校「森林セミナー」	豊田森林組合	生態水文学研究所	2014.6.15
千葉演習林「利用者説明会」	千葉演習林	千葉演習林	2014.6.16～17
日本陸水学会東海支部会談話会「研究内容に関する講義と研究施設、森林の見学」	日本陸水学会東海支部会談話会	生態水文学研究所	2014.6.20
公開セミナー	北海道演習林	北海道演習林	2014.6.22
シデコブシの会「赤津植物観察会」	シデコブシの会	生態水文学研究所	2014.6.22
大麓山ハイキング登山会	北海道演習林	北海道演習林	2014.7.6
夏の公開講座「東大の森林で昆虫採集」	秩父演習林	秩父演習林	2014.7.25～26
樹芸研究所70周年記念事業　公開講座「林業遺産・岩槻園クスノキ林を知ろう」	樹芸研究所	樹芸研究所	2014.7.26
高校生のための森と海のゼミナール～大学の先生と考える環境問題と生物多様性～	千葉演習林/千葉大学海洋バイオシステム研究センター	千葉演習林/千葉大学海洋バイオシステム研究センター	2014.7.28～30
JSTサマー・サイエンスキャンプ「森林の未来は？～森を知り、持続的な取り扱いを考える～	科学技術振興機構	北海道演習林	2014.7.29～8.1
愛知淑徳中学・高等学校「森の健康診断」	愛知淑徳中学・高等学校	生態水文学研究所	2014.8.4
運動会学生との共同作業	富士癒しの森研究所/東京大学学生部運動会	富士癒しの森研究所	2014.8.4
水とふれあう親子ツアー	愛知中部水道企業団	生態水文学研究所	2014.8.16
国際鳥類学会議エクスカーション	国際鳥類学会議	富士癒しの森研究所	2014.8.22
こども環境大学	地域環境活性化協議会	生態水文学研究所	2014.8.24
あいち海上の森大学講座「森林の機能と水循環」	あいち海上の森大学	生態水文学研究所	2014.9.13
せと環境塾	瀬戸市/生態水文学研究所	生態水文学研究所	2014.9.20～21
平成26年度全国大学演習林協議会秋季総会	全国大学演習林協議会	東京大学	2014.9.25～26
東京大学林学科卒業50周年記念「研究内容に関する講義と研究施設、森林の見学」	東京大学林学科1964年卒業生	生態水文学研究所	2014.9.26
東大教職員向け特別ガイド「きのこに親しむ」	富士癒し森研究所	富士癒しの森研究所	2014.10.4
神社山自然観察路秋季一般公開	北海道演習林	北海道演習林	2014.10.5
温室特別公開日	樹芸研究所	樹芸研究所	2014.10.15
温室特別公開日	樹芸研究所	樹芸研究所	2014.10.18
「東京大学の森」育成資金　秩父演習林見学会	秩父演習林	秩父演習林	2014.10.19
秋のガイドツアー「演習林の試験地見学」	秩父演習林	秩父演習林	2014.10.25

2014年度　公開講座・セミナー等

講　座　名	主催	開催場所	日程
「子ども樹木博士」認定会	西東京市「子ども樹木博士」を育てる会	田無演習林	2014.10.26
休日公開	田無演習林	田無演習林	2014.10.26
東京大学演習林技術職員等試験研究・研修会議	東京大学演習林	千葉演習林	2014.10.28～29
南部中学校一年生総合学習	犬山市立南部中学校	生態水文学研究所	2014.10.30
鴨川市交流事業「野鳥の巣箱をかけよう」	鴨川市/千葉演習林	千葉演習林	2014.11.1
公開作業日	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	2014.11.7
日本山岳会東海支部「第18回森の勉強会」	日本山岳会東海支部	生態水文学研究所	2014.11.9
三井住友銀行「赤津研究林見学会」	三井住友銀行	生態水文学研究所	2014.11.12
スクールミュージアム　東大演習林見学会	君津市教育委員会教育部文化振興課/君津市立坂畑小学校	千葉演習林	2014.11.12
東京大学千葉演習林　創立120周年記念式典	千葉演習林	千葉演習林	2014.11.15～16
犬山研究林「秋のふれあい自然観察会」	犬山市	生態水文学研究所	2014.11.16
PTAふれあいポケット　総合学習「緑の教室」	鴨川市立天津幼稚園小学校PTA/鴨川市立天津小学校	千葉演習林	2014.11.18
富良野地区合同ワークショップ	北海道演習林	占冠村	2014.11.21
ワークショップ「東海地方の湧水湿地の保全－愛知県瀬戸市の大学研究林内の湿地に着目して－	生態水文学研究所	生態水文学研究所	2014.11.23
木曽川流域木と水の循環システム協議会「犬山研究林見学	木曽川流域木と水の循環システム協議会	生態水文学研究所	2014.11.26
公開講座「水源の山を訪ねて～森と水の研究」	秩父演習林	秩父演習林	2014.11.29
犬山市民総合大学　第3回「現地講義」	犬山市	生態水文学研究所	2014.11.29
公開講座「林業遺産・岩樟園クスノキ林を訪ねて」	樹芸研究所	樹芸研究所	2014.11.29
秋の一般公開	千葉演習林	千葉演習林	2014.11.29～30
東大教職員向け特別ガイド「リース・クラフト作り体験会」	田無演習林	田無演習林	2014.11.30
休日公開	田無演習林	田無演習林	2014.11.30
利用者発表会	秩父演習林	秩父市福祉女性会館	2014.12.2
犬山研究林補助者認定試験	生態水文学研究所	生態水文学研究所	2014.12.6
影森祭	秩父演習林	秩父演習林	2014.12.7
シデコブシの会「標石を探そうツアー」	シデコブシの会	生態水文学研究所	2014.12.7
公開講座「74林班クロマツ林間伐体験」	生態水文学研究所	生態水文学研究所	2014.12.14
薪原木販売会	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	2015.1.17
シデコブシの会「見学コース整備	シデコブシの会	生態水文学研究所	2015.1.18
森林博物資料館一般公開	千葉演習林	千葉演習林	2015.2.3
東大教職員向け特別ガイド「冬の散歩みち」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	2015.2.7
ブナ試験地研究交流会	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	2015.2.9～10
「大学演習林で88年間育てられた木を使った家づくり」説明会・現地見学会	生態水文学研究所	生態水文学研究所	2015.3.10
公開講座「富士癒しの森研究所研究報告会2014」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	2015.3.11
シデコブシの会「スキルアップ講習会」	シデコブシの会	生態水文学研究所	2015.3.15

講師の派遣等

氏名	講　演　名	主催	開催場所	日程
松井理生	身近に観察できる野鳥の生態	犬山研究林利用者協議会	生態水文学研究所	2014年4月19日
鎌田直人	Dalbergia cochinchinensis decline in plantations in Nakhon Ratchasima	Kasetsart大学・PPT	Kasetsart大学	2014年4月21日
蔵治光一郎	赤谷プロジェクト活動報告会基調講演「水と森と人の最新科学～水と森の防人として～」	赤谷プロジェクト	みなかみ町新治農村改善センター	2014年5月11日
山田利博	東京大学千葉演習林とその自然120年の歴史～森林インストラクターの協力に期待する～（FIC創立20周年記念式典）	千葉県森林インストラクター会（FIC）	千葉市生涯学習センター	2014年5月25日
安村直樹・楠本大・竹本周平・栗田直明・相川美絵子・石浦恭子	「子ども樹木博士」認定会	田無演習林、東大農場・演習林の存続を願う会	田無演習林	2014年6月1日，10月26日
楠本大	樹木や自然観察の実地実習	西東京市立小学校教育研究会生活科・総合の時間研究部	田無演習林	2014年6月11日
蔵治光一郎	とよた森林学校森林セミナー「森林の持つ公益的機能」	豊田市	生態水文学研究所赤津宿泊施設	2014年6月15日
蔵治光一郎	緑の百年物語森林セミナー「水源の森と私たちの暮らし」	(公社)にいがた緑の百年物語緑化推進委員会	新潟県自治会館講堂	2014年6月20日
蔵治光一郎	懇話会「生態水文学研究所の歴史と長期的な観測に基づく知見」	日本陸水学会東海支部会	生態水文学研究所赤津宿泊施設	2014年6月21日
芝野博文・中川雄治・遠國正樹・犬飼慎也・井上崇・三浦直子	平成26年度教室系技術職員研修「フィールドワークのための高精度ポジショニングと3Dスキャニング/プロファイリング-GNSSおよびLIDAR (full wave form)の応用-」	東京大学	北海道演習林	2014年6月24日-27日
芝野博文	東京大学北海道演習林における天然林施業　(JICA平成26年度集団研修「持続的森林管理及びREDDに向けた国家森林モニタリングシステム整備のための人材育成」)	国際緑化推進センター	北海道演習林	2014年7月9日
蔵治光一郎	岡崎市民大学講演「岡崎の森と水の歴史・未来」	岡崎市	岡崎市民会館大ホール	2014年7月12日
蔵治光一郎	総会記念講演「森林はどれだけ雨を貯められるか」	川づくり会議みえ	アスト津3階イベント情報コーナー	2014年7月19日
齋藤暖生	入会・コモンズの葛藤と知恵～現代の共的世界の創出へ～	ご近所ラボ新橋	きらきらプラザ新橋	2014年8月1日
蔵治光一郎	ぎふ山の日フェスタ2014水源地域保全シンポジウム「森と水と人のかかわり」	岐阜県・(公社)岐阜県山林協会・(公社)岐阜県緑化推進委員会・岐阜県森林組合連合会・岐阜県木材協同組合連合会	じゅうろくプラザ	2014年8月2日
五十嵐勇治	理数系教科研究会生物教員現地研修	東京私学教育研究所	秩父演習林	2014年8月11日-12日
蔵治光一郎	森とともに生きる知恵と技術を学ぶ講演会「緑のダムと健康な森づくり」	中野方水源の森実行委員会	恵那市中野方コミュニティセンター大会議室	2014年8月23日
蔵治光一郎	犬山市民総合大学大学第一回「犬山の森のこれまでとこれから」	犬山市	犬山市役所	2014年9月6日
田中延亮	あいち海上の森大学森林再生コース「森林の機能と水循環」	あいち海上の森センター	生態水文学研究所	2014年9月13日
井上淳	せと環境塾「大人の林間学校」生態水文学研究所の概要	瀬戸市	生態水文学研究所	2014年9月20日
田中延亮	生態水文学研究所の概要	東京大学農学部林学科1964年卒業生有志	生態水文学研究所	2014年9月26日
鎌田直人	リタートラップは宝の山	秩父演習林	秩父演習林わさび沢展示室	2014年9月30日

2014年度　講師の派遣等

氏名	講　演　名	主催	開催場所	日程
山田利博	幹の外科技術と機器による診断（樹木医研修）	日本緑化センター	筑波研修センター	2014年9月30日，10月14日
鎌田直人・浅野友子・平尾聡秀・鈴木智之・齋藤俊浩・原口竜成・丹羽悠二・木村恒太	関東甲信越地区技術職員研修	東京大学演習林	秩父演習林	2014年9月30日-10月3日
広嶋卓也	CO-Net クレジット創出プロジェクト実施地におけるオンサイト勉強会	CO-Net(カーボン・オフセット推進ネットワーク)	千葉演習林	2014年10月3日
蔵治光一郎	映画『ダムネーション』試写会とトーク「アメリカの河川と人の付き合い方」	ダムネーション上映とトーク愛知実行委員会	愛知県図書館5階大会 議室	2014年10月4日
久本洋子	千葉演習林の概要（樹木医六期会千葉研修）	日本樹木医会6期会	千葉演習林	2014年10月4日-5日
齋藤暖生	特用林産物と森林社会―山菜・きのこの今日―	一般財団法人林業経済研究所	弥生講堂	2014年10月11日
當山啓介	千葉演習林の概要と、かつての薪炭利用について(FIC研修会)	千葉県森林インストラクター会(FIC)	千葉演習林	2014年10月18日
鈴木智之	東京都生物教育研究会研修「秩父演習林のデータで見る冷温帯林の動態・垂直分布」	東京都生物教育研究会	秩父演習林	2014年10月18日
蔵治光一郎	犬山市民大学第二回「森林の「緑のダム」としてのはたらき	犬山市	犬山市役所	2014年10月18日
鎌田直人	秩父演習林の概要と近況	秩父演習林	秩父演習林わさび沢展示室	2014年10月19日
蔵治光一郎	豊田市森づくりの日基調講演「豊田市の森づくり10年のあゆみと森の健康診断」・森の健康診断報告会フロアーディスカッション	矢作川森の健康診断実行委員会・豊田市	JAあいち豊田本店ふれあいホール	2014年10月26日
田中延亮・蔵治光一郎	森の健康診断オプション調査「緑のダム実験」の報告	矢作川水系森林ボランティア協議会	JAあいち豊田本店	2014年10月26日
蔵治光一郎	とっとりグリーンウェイブ森林環境フォーラム　基調講演「森と川の恵みと私たちの生活を考える」	鳥取県・NPO法人賀露おやじの会	鳥取県福祉人材研修センター	2014年11月2日
竹本周平	きのこが樹を食い倒す！腐朽病害のメカニズムに迫る	秋田県立大学生物資源科学部	秋田県立大学秋田キャンパス	2014年11月4日
山田利博・當山啓介	自然環境問題　里山－自然と人間の関わり(ちば里山カレッジ　里山ボランティア養成コース)	NPOちば里山センター	千葉演習林	2014年11月8日
蔵治光一郎	第18回森の勉強会「森と水の関係を解き明かす」	（公社）日本山岳会東海支部・関西支部・京滋支部各自然保護委員会	柿野温泉八勝園湯元館　会議室	2014年11月8日
田中延亮・井上淳	ご視察のための基礎情報	環境パートナーシップCLUB自然共生社会分科会	生態水文学研究所	2014年11月12日
田中延亮	森林の遷移と管理に伴う周辺湿地の水文環境への影響	八竜湿地研究会	金城学院大学	2014年11月15日
當山啓介	環境に配慮した人工林管理の在り方（富良野地区合同ワークショップ）	北海道演習林	占冠村コミュニティプラザ	2014年11月21日
齋藤暖生	里山の魅力を引き出すために（富良野地区合同ワークショップ）	北海道演習林	占冠村コミュニティプラザ	2014年11月21日
蔵治光一郎	平成26年度水道事務講習会「水源の森づくりの理論と実践」	公益社団法人日本水道協会中部地方支部	名鉄トヨタホテル	2014年11月28日
當山啓介	大学演習林120年の歴史から見る社会の変遷(安房学講座)	館山市立博物館	“渚の駅”たてやま	2014年11月29日
久本洋子	千葉演習林の概要 ～近年の研究成果をふまえて～（日本樹木医会千葉県支部南ブロック　第3回研修会）	日本樹木医会千葉県支部南ブロック	千葉演習林	2014年11月29日

氏名	講　演　名	主催	開催場所	日程
蔵治光一郎	犬山市民大学第三回「東京大学犬山研究林～現地講義～」	犬山市	生態水文学研究所犬山研究林	2014年11月29日
田中延亮	犬山市民総合大学環境学部第三回「東京大学犬山研究林～現地講義～」	犬山市	生態水文学研究所	2014年11月29日
久本洋子	咲かぬなら 咲かせてみたい タケの花－タケ類の花成制御遺伝子の探索－(学生のための研究キャリアビジョンセミナー)	茨城大学理学部	茨城大学水戸キャンパス	2014年12月3日
安村直樹	木材の利活用による 健康で文化的な生活の実現 －広葉樹資源に着目してー	天草木材協会	天草建設会館	2014年12月9日
尾張敏章	Forest Governance and Policy: A Focus on Japan/ Forest Certification and Certified Forest Products (Training Workshop on Capacity Building on Climate Change Mitigation and Benefits in Forest Sector)	Royal Academy of Cambodia	Raffles Hotel Le Royal, Phnom Penh, Cambodia	2015年1月14日
安村直樹	豊かな森が生物の生活をささえる！	都市計画道路田無3・4・7を考える会	田無演習林	2015年1月19日
齋藤暖生	山菜・きのこを生かす道	平成26年度山村都市交流研修	森林技術総合研修所	2015年1月27日
尾張敏章	林業の現状と将来(平成26年度「森林・林業人材育成加速化事業」フォレストマネージャー研修)	北海道森林整備担い手支援センター	NTT北海道セミナーセンタ	2015年1月28日
蔵治光一郎	2015年度第1回雑木林研究会オープンセミナー「実測データに基づく森林と水と人間の関係」	雑木林研究会	玄々化学工業研修センター会議室	2015年2月15日
齋藤暖生	癒しの森プロジェクトと 薪需要把握の試み	甲州癒しの森コンソーシアム	山梨県国際交流センター	2015年2月17日
齋藤暖生	森のある暮らしが生み出す‘癒し’―森林浴・森林療法研究の歩みから	兵庫県立大学環境経済研究センター	三宮研修センター	2015年2月21日
蔵治光一郎	講演「森と水と人間の関係～社会的共通資本の観点から～」	法務省東海北陸矯正管区協議会	法務省名古屋矯正管区	2015年2月26日
鎌田直人	東京大学秩父演習林とシカ	埼玉県環境科学国際センター	埼玉県環境科学国際センター	2015年3月4日
山田利博	林地開発行為地における植栽について(林地開発行為等に関する緑化技術講習会)	千葉県森林課林地対策室	千葉県庁	2015年3月13日
尾張敏章・中川雄治・遠國正樹	林分施業法は空間情報技術により進化する	森林計画学会2015年春季シンポジウム	北海道大学	2015年3月29日

2014年度　交流事業・国際シンポジウム・共同研究

■国際交流■

交流事業

相手大学および機関名	国名	協定締結の有無	交流期間	目的
Swedish University of Agricultural Sciences	スウェーデン	有	2014.6.24～6.30	Global Challenges University Alliance Workshop ″Future of forests – to manage forests for people″ 参加、研究発表

国際シンポジウム

参加者氏名	シンポジウム名	主　催	開催地	日　程
尾張敏章	IUFRO国際会議	International Union of Forest Research Organizations	スイス	2014.6.17～19
浅野友子	AGU Chapman Conference, Catchment Spatial Organization and Complex Behavior	American Geophysical Union	ルクセンブルグ市、ルクセンブルグ	2014.9.23～9.26
當山啓介	IUFRO World Congress	International Union of Forest Research Organizations	ソルトレイクシティ、アメリカ	2014.10.5～10.11
尾張敏章	IUFRO World Congress	International Union of Forest Research Organizations	ソルトレイクシティ、アメリカ	2014.10.5～10.11
鎌田直人	IUFRO World Congress	International Union of Forest Research Organizations	ソルトレイクシティ、アメリカ	2014.10.5～10.11
蔵治光一郎	IUFRO World Congress	International Union of Forest Research Organizations	ソルトレイクシティ、アメリカ	2014.10.5～10.11
五名美江	IUFRO World Congress	International Union of Forest Research Organizations	ソルトレイクシティ、アメリカ	2014.10.5～10.11
広嶋卓也	FORMATH ROPPNGI	FORMATH研究会	東京	2015.3.7～3.8

共同研究

氏名	研究課題	共同研究者所属	氏名	国籍
鎌田直人	食物網構造を組み入れた全球的な群集の多様性創出機構の解明	南ボヘミア大学・チェコ科学アカデミー	Vojtech Novotny	チェコ
			Martin Volf	チェコ
		南ボヘミア大学	Martin Libra	チェコ
		インド養蚕研究所	Rajesh Kumar	インド
		New Guinian Binatang Research Center	Roll Lillip	パプア・ニューギニア
鎌田直人	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	New Guinian Binatang Research Center	Joseph Kua	パプア・ニューギニア
		Kassetsart University	Sunisa Sanguansub	タイ
		Chaing Mai University	Sawai Buranapanichpan	タイ
			Teerapong Saowaphak	タイ
		タイ国王室局	Sirin Kawla-ierd	タイ
		ベトナム森林科学アカデミー	Phan Quan Thu	ベトナム
			Duy Long Pham	ベトナム
		カリフォルニア大学リバーサイド校	Richard Stouthamer	アメリカ合衆国
鎌田直人	サトウキビを加害するカミキリムシ Dorysthenes buqueti の微生物防除に関する研究	Kassetsart University	Wiwat Suasa-ard	タイ
			Sopon Uraichuen	タイ
			Oraphan Kern-asa	タイ
鎌田直人	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	Phayao University	Panisara Pinkantayong	タイ
蔵治光一郎	HYDROLOGICAL MONITORING IN MOUNT ALAB, CROCKER RANGE PARK SABAH	University Malaysia Sabah	Maznah Mahali	マレーシア

海外渡航

氏名	所属演習林	行き先	用務	出発日	帰着日
蔵治光一郎	生態水文学研究所	マレーシア	ランビルヒルズ、キナバル山、クロッカー山脈公園における現地観測	2014.3.31	2014.4.6
鎌田直人	秩父演習林	タイ	調査・講演・視察	2014.4.16	2014.4.23
田中延亮	生態水文学研究所	タイ	熱帯季節林の水文気象の調査、研究打ち合わせ	2014.4.16	2014.4.20
尾張敏章	北海道演習林	ｽﾛﾍﾞﾆｱ・ｽｲｽ・ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	JSPS特定国派遣、IUFRO国際会議、GCUAワークショップ	2014.5.26	2014.6.29
蔵治光一郎	生態水文学研究所	スウェーデン	Global Challenges University Alliance Workshop ″Future of forests – to manage forests for people″ における研究発表	2014.6.24	2014.6.30
五名美江	生態水文学研究所	スウェーデン	Global Challenges University Alliance Workshop ″Future of forests – to manage forests for people″ における研究発表	2014.6.24	2014.6.30
鎌田直人	秩父演習林	タイ	調査	2014.6.29	2014.7.4
田中延亮	生態水文学研究所	タイ	熱帯季節林の気象水文の調査	2014.6.30	2014.7.5
齋藤暖生	富士癒しの森研究所	スウェーデン	林野における資源採取活動に関する調査	2014.8.7	2014.8.20
田中延亮	生態水文学研究所	タイ	科研プロジェクトの成果発表ゼミ参加、熱帯季節林の現地調査	2014.9.4	2014.9.11
鎌田直人	秩父演習林	タイ	調査	2014.9.17	2014.9.24
三浦直子	教育研究センター	オランダ	SPIE Remote Sensing 2014にて研究発表	2014.9.21	2014.9.27
浅野友子	秩父演習林	ルクセンブルグ	AGU Chapman Conference, Catchment Spatial Organization and Complex Behaviorにて研究発表	2014.9.23	2014.9.28
當山啓介	千葉演習林	アメリカ	XXIV IUFRO World Congress 2011における研究発表	2014.10.5	2014.10.13
鎌田直人	秩父演習林	アメリカ	XXIV IUFRO World Congress 2012における研究発表	2014.10.5	2014.10.13
尾張敏章	北海道演習林	アメリカ	XXIV IUFRO World Congress 2013における研究発表	2014.10.5	2014.10.13
蔵治光一郎	生態水文学研究所	アメリカ	XXIV IUFRO World Congress 2014における研究発表	2014.10.5	2014.10.13
五名美江	生態水文学研究所	アメリカ	XXIV IUFRO World Congress 2014における研究発表	2014.10.5	2014.10.13
鎌田直人	秩父演習林	タイ	調査・学生指導	2014.11.3	2014.11.7
辻和明	樹芸研究所	ブラジル	職員海外研修「アムセル社のユーカリ造林地の見学研修及び南米の特用樹種の見学研修」	2014.11.3	2014.11.10
阿部智久	教育研究センター	チェコ	共同研究	2014.11.4	2014.12.18
安村直樹	田無演習林	ニュージーランド	ニュージーランドにおける小規模森林経営の実態調査	2014.11.22	2014.11.29
鎌田直人	秩父演習林	ベトナム	調査	2014.12.3	2014.12.5
田中延亮	生態水文学研究所	アメリカ	アメリカ地球物理学連合秋季大会での科研プロジェクトの成果発表	2014.12.13	2014.12.19
福井 大	教育研究センター	マレーシア	国際シンポジウムThe 4th International Symposium on Asian Vertebrate Species Diversityにて発表	2014.12.17	2014.12.22
尾張敏章	北海道演習林	カンボジア	気候変動の緩和と森林セクターの利益に関するトレーニングワークショップ参加	2015.1.6	2015.1.17
鎌田直人	秩父演習林	タイ	調査	2015.1.7	2015.1.14
田中延亮	生態水文学研究所	タイ	熱帯季節林の気象水文の調査	2015.2.1	2015.2.7
齋藤暖生	富士癒しの森研究所	ラオス	シロアリ塚由来資源利用に関する調査	2015.2.26	2015.3.6

■出版広報活動■

演習林報告

「演習林報告」131号、132号を発行した。

演習林報告第131号　　2014年6月25日発行

陳敬忠・中島徹・當山啓介・白石則彦
異なる形式の人工林成長データのデータベース構築とWeb公開システムの開発 …… 1-28
藏治光一郎・五名美江
東京大学演習林生態水文学研究所における器差補正を考慮した78年間の年平均気温の
変化の推定と名古屋の都市化による昇温との関係 …… 29-40
滝川寛之・松井理生・中川雄治・後藤晋
東京大学北海道演習林において20年以上が経過した低標高域の地がき地における
ウダイカンバの更新状況 …… 41-55

演習林報告第132号　　2015年3月25日発行

トウェ・トウェ・ウィン・渡辺敦史・平尾知士・磯田圭哉・石塚航・後藤晋
マイクロサテライトマーカーで明らかにされた自生地域におけるチーク天然集団と
ミャンマーにおける人工林の遺伝的多様性－英文－ …… 1-15
石珺・大手信人・徳地直子・磯部一夫・浦川梨恵子・今村直広・小田智基・鈴木雅一
東京近郊の森林における高窒素沈着下の土壌窒素の形態変化について:
安定同位体トレーサーを利用した事例研究－英文－ …… 17-34

演習林

「演習林」57号を発行した。

演習林第57号　　2015年3月25日発行

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所
生態水文学研究所東山試験流域日降水量の再計算結果報告（Ⅰ） …… 1-18
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会水文水質部門
東京大学演習林水文観測・水質分析報告（自2008年1月至2012年12月） …… 19-59
木村恒太・齋藤俊浩・相川美絵子・五十嵐勇治・千嶋武・浅野友子
秩父演習林バケモノ沢における量水観測 …… 61-73
東京大学演習林鳥類研究会
東京大学演習林鳥類目録第2版（2008年8月～2014年3月） …… 75-102
五名美江・春田泰次・藏治光一郎
生態水文学研究所白坂試験流域における水質分析結果報告 …… 103-114
原口竜成・高野充広・齋藤俊浩・丹羽悠二
秩父演習林におけるケヤキ人工林成長試験地毎木調査資料 …… 115-184
岩井紀子・加藤敦美・鎌田幸子
生態水文学研究所に存在する「観察植物：白坂」に記録されたフェノロジーデータ報告【修正版】 …… 185-198
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所
生態水文学研究所赤津研究林白坂小流域内長期生態系プロットにおける
リタートラップ調査手順（2004～2011年度および2013年度 …… 199-207
石田健・高徳佳絵・齋藤俊浩・井村貴之・佐々木絵美・大村和也・澤田晴雄
東京大学秩父演習林突出峠における鳥類群集の長期観測 …… 209-219
吉田弓子・原口竜成・齋藤俊浩・丹羽悠二
秩父演習林シオジ天然林におけるリターフォールデータ …… 221-317
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会気象部門
東京大学演習林気象報告（自2013年1月至2013年12月） …… 319-342

科学の森ニュース

■第66号■　2014年6月10日発行
【表紙記事】日本森林学会大会で大学演習林120周年記念展示を行いました
≪記事≫
・各地の演習林で雪による森林や設備の被害が多発
・新刊書籍のご紹介（演習林出版局）
わが国最古の「大学の森」東京大学千葉演習林のすべて
樹海をゆく～富良野・東京大学演習林の森づくり～
犬山研究林の自然－秋・冬－東京大学演習林生態水文学研究所リーフレット・シリーズ7
・演習林のイベントダイジェスト　2014年4月～2014年9月
＜クローズアップ＞
千葉県立中央博物館との共同研究－房総丘陵の多様な自然を調べる－（千葉演習林）
＜科学の森の動植物紹介＞
タヌキ（田無演習林）
＜名所・名物紹介＞
第一苗畑（田無演習林）

■第67号■　2014年9月10日発行
【表紙記事】親子向け公開講座「林業遺産・岩樟園クスノキ林を知ろう！」開講（樹芸研究所）
≪記事≫
・浅間山が2013年度林業遺産に選定されました（千葉演習林）
・富士癒しの森研究所、初の試み「公開作業日」を実施しました（富士癒しの森研究所）
・平成26年度教室系技術職員研修（北海道演習林）
・演習林のイベント情報　2014年7月～2014年12月
＜クローズアップ＞
地上型レーザスキャニングの新たな応用に挑戦（教育研究センター　三浦直子）
＜科学の森の動植物紹介＞
マイマイガ（生態水文学研究所）
＜コラム＞
山地から流出する土砂量の測定（生態水文学研究所　田中延亮）

■第68号■　2014年12月10日発行 120周年記念特別号
【表紙記事】 創立120周年記念式典を開催（千葉演習林）
≪記事≫
・全国大学演習林秋季総会が東京大学で開催されました
・技術職員3名が森林管理技術賞を受賞しました
・東京大学林学科卒業50周年記念行事が行われました（生態水文学研究所）
・温室で育成中のカカオからチョコレート作りを体験（樹芸研究所）
・秋のガイドツアー「演習林の試験地見学」開催しました（秩父演習林）
・演習林のイベント情報　2014年10月～2015年3月
＜東京大学演習林120周年特集＞
・演習林のおもしろ史
・こんなところにもあった！東大演習林
＜クローズアップ＞
かさぶたがんしゅ病の発生生態（千葉演習林）
＜科学の森の動植物紹介＞
ヤマトヌマエビ（千葉演習林）
＜名所・名物紹介＞
森林博物資料館（千葉演習林）

■第69号■　2015年3月10日発行
【表紙記事】ICTを活用したフィールド遠隔授業（北海道演習林）
≪記事≫
・天津神明宮の鳥居建て替え用にスギ巨木を伐採（千葉演習林）
・実証林設定に向けた伐採作業（富士癒しの森研究所）
・伊豆に学ぶシリーズ三部作完成！国産カカオからのチョコ作りを教材として活用（樹芸研究所）
・演習林のイベント情報　2014年12月～2015年6月
＜クローズアップ＞
癒しの森プロジェクト　薪原木販売社会実験（富士癒しの森研究所）
＜科学の森の動植物紹介＞
クスサン（北海道演習林）
＜コラム＞
鳥を食べるコウモリ（教育研究センター　福井　大）

演習林出版物

■生態水文学研究所 リーフレット⑧ 東京大学 赤津研究林の動物■
2015年3月1日発行
編集　東京大学演習林生態水文学研究所　松井理生、岩井紀子
発行　東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林　生態水文学研究所
定価　463円＋税　A5判　24頁

＜目次＞
哺乳類
　コラム：コウモリ調査
鳥類
　コラム：巣箱調査
　コラム：ミゾゴイ
両生類
　コラム：タゴガエルの調査
　コラム：ツチガエルの越冬オタマジャクシ
爬虫類
番外編：水生昆虫と甲虫
　コラム：甲虫調査

新聞・雑誌・放送等

演習林名	メディア	日付	内容
千葉演習林	房日新聞	2014.4.8	“マイ巣箱を観察”親子15人が東大演習林で
生態水文学研究所	尾張東部放送	2014.4.11	蔵治先生の環境講座
樹芸研究所	伊豆新聞	2014.4.17	バニラの受粉作業体験　東大樹芸研が温室特別公開　手作りアイス試食も
田無演習林	中日新聞(静岡県内版)	2014.4.20	しずおかすかし“掘り”　三保松原の松枯れ対策　薬剤散布に期待の声も(竹本特任助教)
生態水文学研究所	中日新聞(愛知県内版)	2014.4.22	「矢作川森の診断」豊田で6月仕上げ　人工林過密　土砂崩れ危惧(蔵治准教授)
千葉演習林	房日新聞	2014.4.25	17人に辞令を交付　鳥獣保護行政をサポート(里見技術専門職員、鶴見技術専門職員、村川技術専門職員)
千葉演習林	朝日新聞	2014.5.8	県内に幻のカメムシ　県立中央博物館調査　50年以上経て再発見
生態水文学研究所	尾張東部放送	2014.6.13	蔵治先生の環境講座
生態水文学研究所	日本経済新聞	2014.7.1	交遊抄　博物館の発展　林良博
生態水文学研究所	矢作新報	2014.7.11	矢作川森の診断　座談会　人工林の市民調査10年の足跡
生態水文学研究所	矢作新報	2014.7.18	矢作川森の診断　座談会1/3　市民と研究者が対等に楽しい科学調査を模索
生態水文学研究所	尾張東部放送	2014.7.18	蔵治先生の環境講座
生態水文学研究所	矢作新報	2014.7.25	矢作川森の診断　座談会2/3　地元の反応を自信に流域圏の意識高まる
樹芸研究所	伊豆新聞	2014.7.29	手つなぎ太さ測る　東大樹芸研公開講座　クスノキ林を知ろう
生態水文学研究所	矢作新報	2014.8.1	矢作川森の診断　座談会3/3　木材生産と公益的機能「健康な森」指標にズレ
生態水文学研究所	尾張東部放送	2014.8.15	蔵治先生の環境講座
生態水文学研究所	中日新聞(静岡県内版)	2014.9.2	名古屋戦前から「都市温暖化」　瀬戸と比較　東大研究所が実証
生態水文学研究所	中日新聞(夕刊)	2014.9.10	紙つぶて　再考「緑のダム」(蔵治准教授)
生態水文学研究所	尾張東部放送	2014.9.12	蔵治先生の環境講座
生態水文学研究所	尾張東部放送	2014.10.3	蔵治先生の環境講座
生態水文学研究所	毎日放送「ちちんぷいぷい」	2014.10.15	「山の保水力とは何か？　山を守ることが防災につながるのか？」などについて、蔵治准教授が解説
樹芸研究所	朝日新聞	2014.10.16	温室カカオでチョコづくり　南伊豆の東大樹芸研
樹芸研究所	伊豆新聞	2014.10.17	栽培カカオからチョコ作り体験　東大樹芸研大温室を公開
生態水文学研究所	朝日新聞	2014.10.27	「森の健診」10年の輪　一区切り「さみしい」　延べ2300人参加　40都道府県に手法拡大
生態水文学研究所	読売新聞	2014.10.29	矢作川流域「森の健診」10年報告会　「緑のダム」機能改善　間伐推進豪雨対策さらに
生態水文学研究所	矢作新報	2014.10.31	矢作川森の健診の10年振り返る　豊田市と共催で大報告会
生態水文学研究所	尾張東部放送	2014.11.7	蔵治先生の環境講座
樹芸研究所	読売新聞(静岡版)	2014.11.8	大温室でチョコ作り
千葉演習林	房日新聞	2014.11.14	「野鳥は入ってくれるかな」　東大千葉演習林　地元交流事業で巣箱作り
千葉演習林	房日新聞	2014.11.17	120年の「歴史を祝う」　東大千葉演習林　関係者ら50人で記念式典開く
千葉演習林	房日新聞	2014.11.26	渓谷の紅葉楽しんで　東大千葉演習林を一般公開
北海道演習林	北海道新聞	2014.11.27	森林資源どう活用　東大演習林がワークショップ
千葉演習林	読売オンライン	2014.12.9	東大演習林の杉　鳥居の材料に
千葉演習林	房日新聞	2014.12.9	20年に一度　鳥居建て替えへ　天津神明宮で神木斧始祭
千葉演習林	毎日新聞	2014.12.10	杉の巨木伐採　天津神明宮の神木斧始祭

2014 年度　新聞・雑誌・放送等

演習林名	メディア	日付	内容
千葉演習林	房日新聞	2014.12.11	27人が最高学府を見学　鴨川・東大交流事業　学生の案内でキャンパスツアー
生態水文学研究所	尾張東部放送	2014.12.12	蔵治先生の環境講座
生態水文学研究所	尾張東部放送	2015.1.16	蔵治先生の環境講座
田無演習林	散歩の達人	2015.1.21（2015年2月号）	田無演習林という不思議の森！
北海道演習林	毎日新聞	2015.1.22	坂村健の目「ドローンと規制」
北海道演習林	北海道林材新聞	2015.2.9	旭川林産協組主催第382回北海道産銘木市　積極買いに終始し盛況　総平均単価5万4240円
生態水文学研究所	尾張東部放送	2015.2.13	蔵治先生の環境講座
北海道演習林	服部新聞（第107号）	2015.3.1	東京大学演習林材
樹芸研究所	日刊木材新聞	2015.3.13	クスノキ間伐材商品開発へ　産学連携で活用法模索　キーテック・東大樹芸研究所
樹芸研究所	朝日新聞（伊豆岳南版）	2015.3.20	東大樹芸研と高級品メーカー共同　カカオを温泉熱で　純国産チョコ挑む
樹芸研究所	東京新聞	2015.3.20	地熱でカカオ生産　純国産チョコ商品化へ
樹芸研究所	日刊食品通信	2015.3.20	メリー、“純国産”チョコ開発に着手　東大と日本産カカオ豆育成で産学連携
樹芸研究所	日刊工業新聞	2015.3.20	“日本産のチョコ”つくる　メリーチョコレートと東大、商品開発で連携　今秋にも投入
樹芸研究所	熊本日日新聞	2015.3.20	「東大カカオ」でチョコ　温泉熱栽培「メリー」と連携、商品化へ
樹芸研究所	秋田魁新報	2015.3.20	国産カカオでチョコ商品化　東大、今秋販売へ
樹芸研究所	夕刊デイリー	2015.3.20	東大カカオのチョコ発売へ　豆から国産、メリー社
樹芸研究所	中国新聞	2015.3.20	東大栽培カカオ今秋にチョコ化　温泉熱利用
樹芸研究所	四国新聞	2015.3.20	「東大カカオ」商品化　メリーチョコと連携　今秋にも
樹芸研究所	東奥日報	2015.3.20	東大カカオ限定チョコ　メリーと連携、今秋発売　食べたら頭脳が冴えるかも？
樹芸研究所	福井新聞	2015.3.20	「東大カカオ」初の商品化へ　メリーチョコと連携　今秋にも
樹芸研究所	福島民友	2015.3.20	東大カカオ、初の商品化へ
樹芸研究所	スポーツニッポン	2015.3.20	東大カカオ　今秋商品化　メリーとタッグ
樹芸研究所	ＴＢＳ「あさチャン」	2015.3.20	「東大カカオ」のチョコレート　初の商品化へ
樹芸研究所	陸奥新報	2015.3.21	東大栽培カカオで国産チョコレート　メリー社が今秋発売へ
樹芸研究所	産経新聞（静岡版）	2015.3.22	東大カカオ　今秋にも商品化　メリーチョコレートと連携
樹芸研究所	宮崎日日新聞	2015.3.22	温泉熱利用東大カカオ豆初の商品化　今秋にもチョコ販売
樹芸研究所	赤旗	2015.3.23	東大樹芸研の温泉利用による温室カカオ栽培　メリーチョコレートと国産チョコレートづくりを目指す
樹芸研究所	日本食料新聞	2015.3.23	国産カカオでチョコ　生育は南伊豆、一貫製法開発

■利用状況■

演習林を利用して行った論文等

	発表者全氏名	題　　目	誌　名	巻－号	頁	年
	杉浦奈美	古代有用樹種イチイガシ(Quercus gilva)の遺伝的多様性	東京大学修士論文		125pp	2015
	佐藤祥一	千葉演習林における人工林管理の変遷	東京大学卒業論文		25pp	2015
	山田立輝	房総半島鮮新統清澄層Ky２６火山灰鍵層層準の高分解能単層解析	千葉大学卒業論文		67pp	2015
	磯部山河	千葉県房総丘陵のヒメコマツ集団の遺伝的多様性と近交弱勢および関東地方の数集団との比較	宇都宮大学修士論文		65pp	2015
	宮崎怜	クワガタ類の餌資源分布と朽ち木の昆虫群	横浜国立大学　卒業論文		6pp	2015
	磯部山河・齋藤央嗣・逢沢峰昭	神奈川県丹沢山塊のヒメコマツの個体群構造と更新状況の過去10年間の変化	神奈川県自然誌資料	第36号	21-24	2015
	森本拓	房総半島小櫃川上流における川床形態からみた穿入蛇行の成因と分布	茨城大学卒業論文		65pp	2015
	金井敬宏	千葉県南部東京大学演習林における炭窯跡の分布傾向	日本大学卒業論文		42pp	2015
	Ayumi SAKATA, Hiroshi HARADA, Koujiro HARA, Yoshikazu YAMAMOTO	The Lichen Genus Thelidium (Verrucariaceae) in Japan	The Japanese Society for Lichenology	Vol.12-no.1	1-30	2014
	Syaiful Amri Saragih, S Takemoto, Y. Hisamoto, M. Fujii, H. Sato, N. Kamata	Quantitative real-time PCR (qPCR) - Based tool for detection and quantification of Cordyceps militaris in soil	Journal of Invertebrate Pathology	124	70-72	2015
	Panisara Pinkantayong Satoshi Suzuki, Mamoru Kubo, Ken-ichiro Muramoto, Naoto Kamata	A hierarchical Bayesian model to estimate the unobservable predation rateon sawfly cocoons by small mammals	Ecology and Evolution	5(3)	733-742	2015
	Panisara Pinkantayong, Mamoru Kubo, Tamami Terada, Masanori Fujii, Shigehiro Kamoda, Ken-ichiro Muramoto, Naoto Kamata	The effect of successive years of defoliation by the larch sawfly (Pristiphora erichsonii (Hartig)) on the foliage properties of the Japanese larch (Larix kaempferi (Lamb.) Carr.), with particular reference to the CN balance hypothesis	Journal of Forest Research	20(1)	104-113	2015
	Panisara Pinkantayong	Studies on population dynamics of the larch sawfly, Pristiphora erichson (Hartig) during an outbreak in the University of Tokyo Hokkaido Forest, central Hokkaido	東京大学博士論文		99pp	2015
	堀田遼	カラマツハラアカハバチの大発生時における個体群変動要因	東京大学修士論文		60pp	2015
	阿部智和	冷温帯落葉広葉樹林における鱗翅目昆虫と寄主植物の関係 ニッチ分化と体サイズを中心に	東京大学卒業論文		26pp	2015
	佐藤大介	半樹上性ヒメネズミの個体群変動は樹上性エゾモモンガの巣箱利用に影響を及ぼすか？	帯広畜産大学修士論文		30pp	2015
	香本愛佳	エゾモモンガの巣材の利用性に関する研究―他個体が造った巣材を利用するのか?―	帯広畜産大学卒業論文		29pp	2015
	定梶さくら	北海道の山間部天然林においてヒメネズミApodemus argenteusが繁殖に用いる巣箱の周囲環境要因の解明	帯広畜産大学卒業論文		28pp	2015
	Sho Fukui	Are introduced brook trout replacing white-spotted charr through inter specific hybridization in the Sorachi River? 異種間交雑によって在来アメマスは外来カワマスに置き換わるのか	北海道大学修士論文		24pp	2015
	高橋拓史・櫻井　倫・酒井秀夫	工法の異なる林内路網の路面支持力の特徴	森林利用学会誌	29(1)	31-36	2014
	Kenji Watanabe, Masashi Murakami, Toshihide Hirao, Naoto Kamata	Species diversity estimation of ambrosia and bark beetles in temperate mixed forests in Japan based on host phylogeny and specificity	Ecological Research	29	299-307	2014
	Hiroyuki Kurokochi, Engkong Tan, Shuichi Asakawa, Chunlan Lian	Development of 18 microsatellite markers in Pieris japonica, a poisonou tree insulated from the browsing pressure of herbivores, using a next-generation sequencer	Journal of Forest Research	20	244-247	2015
	Atsushi Yamazaki and Hiroko Kawasaki	Lipomyces chichibuensis sp. Nov., isolated in Japan, and reidentification of the type strains of Lipomyces kononenkoae and Lipomyces spencermartinsiae	International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology	64	2566-2572	2014
	The Society for Research of Golden Eagle	イヌワシ合同調査報告（奥秩父山塊周辺地域）	Aquila chrysaetos	25	26-29	2014
	工藤広悦	東大秩父演習林のミノガ類－埼玉県のPsychidaeと羽化の不思議－	寄せ蛾記(埼玉昆虫談話会誌)	153	33-39	2014
	田侶敏弘	＜東京大学秩父演習林の昆虫類データベース＞東京大学秩父演習林および周辺地で記録した昆虫－1.双翅類－Ⅱ－	寄せ蛾記(埼玉昆虫談話会誌)	154	5-30	2014
	田侶敏弘	＜東京大学秩父演習林の昆虫類データベース＞東京大学秩父演習林および周辺地で記録した昆虫－アミメカゲロウ類[第3回]	寄せ蛾記(埼玉昆虫談話会誌)	155	43-51	2014
	水上久雄	埼玉県初確認の蛾1種の記録	寄せ蛾記(埼玉昆虫談話会誌)	156	33	2014
	水上久雄	東京大学秩父演習林にて2012年に採集した蛾	寄せ蛾記(埼玉昆虫談話会誌)	156	34-55	2014
	Syaiful Amri Saragih	Establishment of Quantitative real-time Polymerase Chain Reactio (qPCR) Technique for Detection and Quantification of Entomopathogenic Fungi in Soi	東京大学修士論文		123pp	2015
	水津龍耶	小規模な地表面被覆が地表徘徊性甲虫の移動に与える影響	東京大学修士論文		66pp	2015

2014年度　演習林を利用して行った論文等

	発表者全氏名	題　　目	誌　名	巻－号	頁	年
	羽井佐冴彦	枝剪定後の巻き込みおよび材変色に対する塗布剤や剪定方法の影響	東京大学修士論文		57pp	2015
※	西嶋　翔太	複雑な外来種－在来種相互作用系における生態系の管理戦略：生態系エンジニアリングおよび外来捕食者間の相互作用に注目して	東京大学博士論文		103pp	2014
	Katsumi Togashi	Effects of larval food shortage on diapause induction and adult traits in Taiwanese Monochamus alternatus alternatus	Entomologia Experimentalis et Applicata	151	34–42	2014
	Jun Shi, Nobuhito Ohte, Naoko Tokuchi, Naohiro Imamura, Miyuki Nagayama, Tomoki Oda and Masakazu Suzuki	Nitrate isotopic composition reveals nitrogen deposition and transformation dynamics along the canopy–soil continuum of a suburban forest in Japan	Rapid Communications in Mass Spectrometry	28	2539-2549	2014
	Jun Shi, Nobuhito Ohte, Naoko Tokuchi, Kazuo Isobe, Rieko Urakawa, Naohiro Imamura, Tomoki Oda and Masakazu Suzuki	Soil nitrogen transformation dynamics in a suburban forest near Tokyo Metropolitan Area under high nitrogen deposition: A case study using stable isotope tracer techniques	Bulletin of the University of Tokyo Forests	132	17-34	2015
	坂部あい	ツチガエルの幼生期の成長に関する温度特性	愛知教育大学修士論文		35pp	2015
	Masataka TAGAMI, Chikako HORIE, Toshimasa KAWAI, Ai SAKABE, and Tomohiko SHIMADA	The Mating Behavior of Cynops pyrrhogaster from Gifu and Aichi Prefectures, Central Japan, in Captivity	Current Herpetology	34(1)	12-18	2015
	糸数哲	森林の成育が水と土砂の流出に与える影響の評価に関する研究	京都大学博士論文		113pp	2015
	糸数哲・小杉賢一朗・水山高久・恩田裕一・太田岳史・藏治光一郎・田中延亮・後藤太成	森林回復が洪水流出特性に与える影響―飽和・不飽和浸透計算による解析―	平成26年度砂防学会研究発表会概要集A		86-87	2014
	岩下幸平	ナラ枯れ木に発生するハカワラタケとキノコヒモミノガ類の生活環－被害履歴を考慮した季節消長の把握－	名古屋大学卒業論文		38pp	2015
	岩下幸平･松井理生･服部力･梶村恒	ナラ枯れ木に発生するハカワラタケとキノコヒモミノガ類の生活環－被害履歴を考慮した季節消長の把握－	日本森林学会大会第126回大会学術講演集		P1B030	2015
	佐久間保彦	ニホンリスの営巣場所の選択性	東京大学修士論文		28pp	2015
	境　珠希	光環境の変化に伴う太平洋型ブナと日本海型ブナの形態面における順化応答	東邦大学卒業論文		19pp	2015
	時澤　諒	富士癒しの森研究所におけるニホンジカの生息密度推定と植生被害	東邦大学卒業論文		28pp	2015
	田中千鶴	日本海型ブナと太平洋型ブナの稚樹と成木における生理生態的特性の比較	東邦大学修士論文		63pp	2015
	Masahiro Horiuchi, Junko Endo, Norimasa Takayama, Kazutaka Murase, Norio Nishiyama, Haruo Saito, Akio Fujiwara	Impact of Viewing vs. Not Viewing a Real Forest on Physiological and Psychological Responses in the Same Setting	International Journal of Environmental Research and Public Health		19pp	2014
	田嶋晃子	The story of certain Bean（卒業制作）	東京芸術大学美術部デザイン科卒業制作		-	2014
	笠原　琢志	階段状河川における水位と流速の変動	東京大学卒業論文		48pp	2015

※は、これまで発行の年報に未掲載の論文である。2014年度の集計には反映されていない

2014年度　演習林を利用して行った論文等の数	
千葉	9
北海道	11
秩父	16
田無	7
生態水文	6
富士	5
樹芸	2

全利用者

演習林名:千葉演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	13	鴨川市有害鳥獣対策協議会				13	13	有害鳥獣捕獲	日帰り
2	4	2	日本大学　文理学部地理学科		2			2	演習林の炭窯跡の分布調査	札郷宿泊施設
3	4	3	立正大学　地球環境学部	3				3	第三紀層における岩盤の侵食と風化	札郷宿泊施設
4	4	1	東大　農・千葉演習林	4			19	23	鴨川市との共同事業「野鳥の巣箱をかけよう！」開催	日帰り
5	4	1	千葉演習林ボランティア会Abies				2	2	「野鳥の巣箱をかけよう！」サポート	日帰り
6	4	1	日本環境衛生センター	6				6	マダニ類に対する殺虫剤の実地効果試験の下見	日帰り
7	4	1	東大　農・森林植物学研究室	1				1	樹木内生菌の伝播・繁殖機構および樹体内共生機構の解明	日帰り
8	4	1	筑波大学　生命環境科学研究科持続環境学専攻			1		1	自然資源活用型ツーリズムによる地域活性化に関する研究	日帰り
9	4	1	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	1	2	2		5	森林水文研究に関する現地観測	日帰り
10	4	1	東大　農・附属演習林教育研究センター	1				1	ヒメコマツの高芽接ぎによるマツ材線虫病抵抗性ヒメコマツの種子生産の試み	日帰り
11	4	1	慶應義塾大学　経済学部生物学教室	1			1	2	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
12	4	1	茨城大学　農学部資源生物科学科	1	1			2	シバヤナギに形成される虫えいの形成誘導機構の解明	日帰り
13	4	1	日本環境衛生センター　環境生物部	3				3	マダニ類に対する殺虫剤の実地効果試験の下見	日帰り
14	4	1	東大　農・千葉演習林	5				5	千葉大学バイオ海洋センター教員との高校生ゼミナールの打ち合わせ	日帰り
15	4	7	国際石油開発帝石				42	42	地質調査の実習	日帰り
16	4	1	東大　農・森林植物学研究室	1		1		2	樹木内生菌の伝播・繁殖機構及び樹体内共生機構の解明	日帰り
17	4	1	住化グリーン				2	2	試験用のヤマビル採取	日帰り
18	4	1	ガールスカウト東京第4団				9	9	夏季事業の下見	日帰り
19	4	5	東大　農・造林学研究室	11	77	11		99	造林学実験	清澄宿泊施設
20	4	2	千葉県　環境生活部大気保全課				2	2	化学物質大気環境調査	日帰り
21	4	2	東大　新領域創成科学研究科自然環境学専攻	3	2			5	広葉樹二次林の伐採とシカ柵設備が林床植物相に与える影響	清澄宿泊施設2
22	4	2	慶應義塾大学　経済学部生物学教室	2			2	4	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	郷台宿泊施設
23	4	1	東大　農・森林利理水及び砂防工学研究室	2	1			3	森林伐採後10年間の植生成長に伴う水収支変化	日帰り
24	4	1	茨城大学　農学部資源生物科学科	1	1			2	シバヤナギに形成される虫えいの形成誘導機構の解明	日帰り
25	4	3	東大　農・森林植物学研究室	3	36	9		48	森林植物学実験の野外実習	清澄宿泊施設
26	4	1	千葉県立中央博物館	3			2	5	昆虫調査	札郷宿泊施設
27	5	1	千葉県立中央博物館	3			2	5	昆虫調査	
28	5	13	鴨川市有害鳥獣対策協議会				13	13	有害鳥獣捕獲	日帰り
29	5	3	君津市経済部農林振興課				3	3	箱わなによる有害獣捕獲を実施するため.	日帰り
30	5	3	千葉県環境生活部大気保全課				4	4	非汚染地域大気環境測定（5/1） 化学物質大気環境調査（5/19-20）	日帰り
31	5	2	立正大学　地球環境学部	2			2	4	第三紀層における岩盤の侵食と風化	札郷宿泊施設
32	5	1	筑波大学　生命環境系　菅平高原実験センター	1				1	照葉樹林天然林におけるモチノキの存在様式と樹木－種子食性昆虫－鳥類間相互作用系の解明	日帰り
33	5	1	NHKエデュケーショナル				4	4	番組作成「NHK高校講座生物基礎」	日帰り
34	5	1	東大　農・附属演習林教育研究センター	1				1	ヒメコマツの高芽接ぎによるマツ材線虫病抵抗性ヒメコマツの種子生産の試み	日帰り
35	5	1	東大　農・附属演習林			1		1	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
36	5	1	式年鳥居木曳祭実行委員会				21	21	式年鳥居木曳祭の御用木の現場視察	日帰り
37	5	4	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	5		10		15	森林流域における水文観測	清澄宿泊施設2
38	5	4	東大　農・森林経理学研究室	11	44			55	森林経理学実習	札郷宿泊施設
39	5	1	慶應義塾大学　経済学部生物学教室	1				1	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
40	5	1	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	1		1		2	森林流域における水文観測	日帰り
41	5	3	日本環境衛生センター　環境生物部環境生物課				33	33	マダニ類に対する殺虫剤の実地効力試験	清澄宿泊施設2
42	5	1	NPO法人　かわさき市民アカデミー				108	108	自然（川崎学）コース「果てなき大地の旅，森と水の世界」講座	日帰り

2014年度　全利用者（千葉演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
43	5	1	茨城大学　農学部資源生物科学科	1				1	シバヤナギに形成される虫えいの形成誘導機構の解明	日帰り
44	5	12	京都大学　大学院理学研究科地質鉱物学教室			12		12	修士研究（房総半島の応力史調査）	清澄宿泊施設2
45	5	8	千葉県君津土木事務所上総出張所				23	23	道路改良事業（公共事業）に係る動植物の環境調査 陸上動物（5/20-22） 水生動物（5/22） 哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類（5/28-30） 昆虫類（5/26-28）	日帰り
46	5	1	東大　農・森林植物学研究室	1				1	外生菌根菌の繁殖様式に関する研究 キイチゴ属樹木の繁殖様式に関する研究 樹木内生菌の伝播・繁殖機構及び樹体内共生機構の解明	日帰り
47	5	3	日本大学　文理学部地理学		3			3	演習林内の炭窯跡の分布調査	清澄宿泊施設
48	5	1	東大　農・附属演習林教育研究センター	1				1	ヒメコマツの高芽接ぎによるマツ材線虫病抵抗性ヒメコマツの種子生産の試み	日帰り
49	5	1	千葉県立中央博物館	2			1	3	昆虫調査	日帰り
50	5	1	千葉大学　理学研究科地球科学コース	1				1	千葉大学理学部地球科学科実験「地史古生物学実験」下見と資料収集	日帰り
51	5	2	日本環境衛生センター 環境生物部環境生物課				6	6	マダニ類に対する殺虫剤の実地効力試験（観察のみ）	日帰り
52	5	1	東大　農・千葉演習林	21				21	千葉演習林春の研修会	日帰り
53	5	1	千葉演習林ボランティア会Abies				2	2	春の研修会聴講 菖蒲沢観察	日帰り
54	5	1	住化グリーン　生産・開発部				1	1	ヤマビル防除剤の研究開発	日帰り
55	5	2	(有)マジックデスク				6	6	広報誌「弥生」の表紙写真撮影	清澄宿泊施設2
56	5	2	千葉県立中央博物館	8			4	12	昆虫調査	郷台宿泊施設
57	5	1	慶應義塾大学　経済学部生物学教室	1				1	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
58	5	1	大成イーアンドエル				2	2	昆虫の特性調査 日中：虫と色 夜間：虫と光	日帰り
59	6	1	京都大学　大学院理学研究科地質鉱物学教室			1		1	修士研究（房総半島の応力史調査）	
60	6	12	鴨川市有害鳥獣対策協議会				12	12	有害鳥獣捕獲	日帰り
61	6	1	君津市経済部農林振興課				1	1	箱わなによる有害獣捕獲を実施するため	日帰り
62	6	3	千葉県環境生活部大気保全課				4	4	非汚染地域大気環境調査（6/2） 化学物質大気環境調査（6/19-20）	日帰り
63	6	1	東大　農・森林植物学研究室	1	1			2	外生菌根菌の繁殖様式に関する研究 樹木内生菌の伝播・繁殖機構及び樹体内共生機構の解明	日帰り
64	6	2	千葉県立君津青葉高等学校	4			40	44	校外学習（樹木の種類とその特徴を学習し樹木に対する興味・関心を高め，その過程で起こる様々な体験を通して生きる力を育む）	清澄宿泊施設
65	6	1	日本環境衛生センター　環境生物部環境生物課	4				4	マダニ類に対する殺虫剤の実地効力試験（観察のみ）	日帰り
66	6	3	株式会社　大成イーアンドエル				6	6	昆虫の特性調査 日中：虫と色（9:00～15:00） 夜間：虫と光（18:00～21:00）	清澄宿泊施設2
67	6	1	住化グリーン株式会社				1	1	ヤマビル剤開発	日帰り
68	6	1	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	1		2		3	森林水文研究に関する現地観測	日帰り
69	6	1	日本鳥類標識協会（山階鳥類研究所協力調査員）				2	2	鳥類相，鳥類標識調査	日帰り
70	6	2	慶應義塾大学　経済学部生物学教室	2				2	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
71	6	3	東大　農・千葉演習林	39	8	3	13	63	第19回千葉演習林利用者説明会	清澄宿泊施設
72	6	1	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	2	1	1		4	森林水文研究に関する現地観測	日帰り
73	6	2	千葉演習林ボランティア会Abies				7	7	千葉演習林利用者説明会の聴講と演習林内見学	清澄宿泊施設
74	6	1	茨城大学　農学部資源生物科学科	1	1			2	シバヤナギに形成される虫えいの形成誘導機構の解明	日帰り
75	6	3	日本大学　文理学部地理学科		3			3	炭窯跡の分布調査	清澄宿泊施設
76	6	2	国立歴史民俗博物館	11				11	「歴史にみる人と自然の関係史」	清澄宿泊施設2
77	6	1	東大　農・森林植物学研究室			1		1	樹木内生菌の伝播・繁殖機構及び樹体内共生機構の解明	日帰り
78	6	1	東大　農・演習林企画部	3	27			30	教養学部全学体験ゼミナール「危険生物の知識」	日帰り
79	6	3	千葉県　君津土木事務所上総出張所				6	6	道路改良事業（公共事業）に係る動植物の環境調査（昆虫）	日帰り

2014年度　全利用者（千葉演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
80	6	1	東大　農・附属演習林			1		1	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
81	6	1	森林総合研究所　林木育種センター遺伝資源部探索収集課遺伝資源収集係	2				2	林野庁で実施している林木ジーンバンク事業の一環（ヤマモモの枝10本採集）	日帰り
82	6	1	千葉県衛生研究所医動物研究室	3				3	千葉県におけるマダニ類の生息調査及び日本紅斑熱等マダニ媒介感染症の浸透状況	日帰り
83	6	2	千葉県立中央博物館	10				10	昆虫調査	郷台宿泊施設
84	6	1	東大　農・附属演習林教育研究センター	1				1	ヒメコマツの高芽接ぎによるマツ材線虫病抵抗性ヒメコマツの種子生産	日帰り
85	6	2	宇都宮大学　農学部森林科学科	4	76	12		92	樹木学実習	清澄宿泊施設
86	6	1	千葉大学　大学院理学研究科	1				1	地震に関する電磁気現象の観測学的研究（メンテナンス）	日帰り
87	6	1	日本環境衛生センター	1			2	3	飛来昆虫に対する防虫シートの性能評価（現地試験）	清澄宿泊施設2
88	6	1	住化グリーン				1	1	ヤマビル共同研究	日帰り
89	7	1	日本環境衛生センター	1				1	飛来昆虫に対する防虫シートの性能評価（現地試験）	
90	7	14	鴨川市有害鳥獣対策協議会				16	16	有害鳥獣捕獲	日帰り
91	7	1	君津市経済部農林振興課				1	1	箱わなによる有害獣捕獲を実施するため	日帰り
92	7	12	千葉県環境生活部大気保全課				15	15	非汚染地域大気環境調査（7/1） 化学物質大気環境調査（7/8-9） ダイオキシン類大気環境調査（7/10-18）	日帰り
93	7	1	横浜国立大学　理工学部建築都市・環境系学科地球生態学EP生態学研究室		1			1	クワガタの産卵調査（下見）	日帰り
94	7	2	千葉県君津土木事務所　上総出張所				6	6	道路改良事業（公共事業）に係る動植物の環境調査	日帰り
95	7	1	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	2		1		3	森林流域における水文観測	日帰り
96	7	1	千葉演習林ボランティア会Abies				6	6	ボランティア活動（下刈り）	日帰り
97	7	2	慶應義塾大学　経済学部生物教室	2				2	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
98	7	3	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	3		6		9	森林流域における水文観測	日帰り
99	7	3	兵庫県立人と自然の博物館	3				3	実験設備の撤去作業	清澄宿泊施設
100	7	1	筑波大学　生命環境系（菅平高原実験センター）	1				1	照葉樹天然林におけるモチノキの存在様式と樹木－種子食性昆虫－鳥類間相互作用系の解明	日帰り
101	7	1	東大　農・附属演習林教育研究センター	1				1	ヒメコマツの高芽接ぎによるマツ材線虫病抵抗性ヒメコマツの種子生産の試み	日帰り
102	7	1	千葉演習林ボランティア会Abies				7	7	猪ノ川林道植物観察会（ガイド用勉強会）	日帰り
103	7	15	京都大学　大学院理学研究科地球惑星科学専攻			15		15	修士研究　外房地域の応力史	清澄宿泊施設
104	7	1	東大　農・森林経理学研究室	1				1	二段林の被害状況の確認	日帰り
105	7	3	東大　農・千葉演習林	5		24		29	持続的森林圏経営論　現地講義	清澄宿泊施設
106	7	2	千葉県立中央博物館	8				8	昆虫調査	札郷宿泊施設
107	7	4	大成イーアンドエル				8	8	昆虫の特性調査 日中：虫と色 夜間：虫と光	清澄宿泊施設2
108	7	1	(独)製品評価技術基準機構生物資源課	3				3	土壌微生物の分離と生態調査	日帰り
109	7	1	いであ　国土環境研究所				1	1	環境省請負業務（ミゾゴイ生息状況調査）	日帰り
110	7	1	東大　農・附属演習林			1		1	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
111	7	1	東大　農・森林植物学研究室			1		1	樹木内生菌の伝播・繁殖機構及び樹体内共生機構の解明	日帰り
112	7	1	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	2				2	森林伐採後10年間の植生成長に伴う水収支変化	日帰り
113	7	1	千葉大学　理学研究科地球科学コース	2	14	2		18	千葉大学理学部地球科学科実験「地史古生物学実験」	日帰り
114	7	3	千葉県君津土木事務所　上総出張所				6	6	道路改良事業（公共事業）に係る動植物の環境調査	日帰り
115	7	3	東大　農・千葉演習林	14			27	41	高校生のための森と海のゼミナール	札郷宿泊施設
116	7	3	千葉演習林ボランティア会Abies				3	3	「高校生ゼミナール」サポート	札郷宿泊施設
117	7	4	いであ株式会社　自然環境保全部				4	4	ミゾゴイ生息状況調査（環境省からの請負業務）	日帰り
118	7	3	ガールスカウト東京連盟公認自主活動グループほほえみの会				117	117	千葉演習林を利用した森林研修	清澄宿泊施設

2014年度　全利用者（千葉演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
119	7	1	東大　農・森林利用学研究室	1				1	ガールスカウト東京連盟の指導他	日帰り
120	7	1	横浜国立大学　理工学部生態学研究室		2			2	クワガタ調査（調査地の設定及び産卵用シイタケ原木設置）	日帰り
121	7	1	日本鳥類標識協会（山階鳥類研究所協力調査員）				2	2	鳥類相，鳥類標識調査	日帰り
122	8	3	京都大学　大学院理学研究科地球惑星科学専攻			3		3	修士研究　外房地域の応力史	清澄宿泊施設2
123	8	4	いであ株式会社　自然環境保全部				5	5	ミゾゴイ生息状況調査（環境省からの請負業務）	日帰り
124	8	1	ガールスカウト東京連盟公認自主活動グループほほえみの会				36	36	千葉演習林を利用した森林研修	
125	8	16	鴨川市有害鳥獣対策協議会				16	16	有害鳥獣捕獲	日帰り
126	8	1	君津市経済部農林振興課				1	1	箱わなによる有害獣捕獲を実施するため	日帰り
127	8	11	千葉県環境生活部大気保全課				14	14	非汚染地域大気環境調査（8/1） 化学物質大気環境調査（8/18-19）	日帰り
128	8	2	東大　教・附属中等教育学校				2	2	森林の荒廃と有害獣駆除の方法及びその効果	清澄宿泊施設2
129	8	1	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	1		2	1	4	森林水文に関する研究	日帰り
130	8	6	東大　理・地球惑星科学専攻	18	90	28		136	地球惑星環境学野外調査	清澄宿泊施設
131	8	3	日本大学　文理学部地理学科		3			3	千葉演習林における炭窯跡の分布調査	清澄宿泊施設
132	8	3	宇都宮大学　大学院農学研究科森林科学専攻			3		3	ヒメコマツ隔離分布集団の遺伝的多様性と近交弱勢の評価	日帰り
133	8	2	東大　農・附属演習林教育研究センター	2				2	ヒメコマツの高芽接ぎによるマツ材線虫病抵抗性ヒメコマツの種子生産の試み	日帰り
134	8	3	東大　教・附属中等教育学校生物部	12			63	75	植生毎木調査，昆虫採集，水生昆虫採集・観察など	札郷宿泊施設
135	8	1	茨城大学　農学部資源生物科学科	1	1			2	シバヤナギに形成される虫えいの形成誘導機構の解明	日帰り
136	8	2	慶應義塾大学　経済学部生物学教室	2				2	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
137	8	1	千葉県立中央博物館	4				4	ヒメコマツ調査	日帰り
138	8	4	千葉県君津土木事務所上総出張所				20	20	道路改良事業（公共事業）に係る動植物の環境調査 陸上植物調査（8/12-8/14） 魚類，底生生物，水生植物調査（8/14-8/15）	日帰り
139	8	1	いであ株式会社　自然環境保全部				2	2	ミゾゴイ生息状況調査（環境省からの請負業務）	日帰り
140	8	1	住化グリーン株式会社　生産・開発部				2	2	ヤマビル防除剤の研究開発（継続項目）	日帰り
141	8	2	千葉県立中央博物館	8				8	昆虫調査	郷台宿泊施設
142	8	1	東大　農・森林植物学研究室	1		1		2	樹木内生菌の伝播・繁殖機構及び樹体内共生機構の解明	日帰り
143	8	1	鴨川市役所　企画政策課	2			4	6	マテバシイ利用の見学	日帰り
144	8	1	茨城大学　農学部資源生物科学科	1	1			2	シバヤナギに形成される虫えいの形成誘導機構の解明	日帰り
145	8	1	東大　農・森林動物学研究室	1		1		2	分布様式の異なる近縁チョウ類の種間の遺伝的特性の比較	日帰り
146	8	6	京都大学　理学部地質学鉱物学教室	18	84	22		124	課題演習E2（治すつ調査法野外実習）	札郷宿泊施設
147	8	7	日本地質学会　関東支部（清澄FC実行委員会）	14	14	28		56	フィールド調査の継承・発展のための地質調査の基礎的訓練	清澄宿泊施設
148	8	2	京都大学　大学院理学研究科			2		2	修士研究「外房地域の応力史」	札郷宿泊施設
149	8	2	横浜国立大学　理工学部建築都市・環境系学科地球生態学ＥＰ小池研究室		4			4	クワガタの産卵調査	清澄宿泊施設2
150	8	1	東大　農・附属演習林			1		1	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
151	8	3	千葉大学　理学研究科地球科学科	12	69	6		87	地質学野外実験・地殻構造学野外実験	清澄宿泊施設
152	8	1	ＮＨＫエデュケーショナル				4	4	ＴＶ番組撮影（植物生態学）	日帰り
153	8	1	筑波大学　大学院生命環境科学研究科地球科学専攻			1		1	地質調査（修士論文研究）	日帰り
154	9	3	京都大学　大学院理学研究科			3		3	修士研究「外房地域の応力史」	清澄宿泊施設2
155	9	5	千葉大学　理学研究科地球科学科	17	248	8		273	地質学野外実験・地殻構造学野外実験	清澄宿泊施設
156	9	11	鴨川市有害鳥獣対策協議会				13	13	有害鳥獣捕獲	日帰り
157	9	1	君津市経済部農林振興課				1	1	箱わなによる有害獣捕獲を実施するため	日帰り
158	9	3	千葉県環境生活部大気保全課				4	4	非汚染地域大気環境調査（9/1） 化学物質大気環境調査（9/3-4）	日帰り
159	9	4	大成イーアンドエル				8	8	昆虫の特性調査　日中：虫と色　夜間：虫と光	清澄宿泊施設2

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
160	9	1	千葉県衛生研究所医動物研究室	3				3	千葉県におけるマダニ類の生息調査及び日本紅斑熱等マダニ媒介感染症の浸透状況	日帰り
161	9	3	日本大学　文理学部地理学科		3			3	千葉演習林における炭窯跡の分布調査	清澄宿泊施設
162	9	1	茨城大学　理学部	1				1	スズメバチ捕殺トラップの設置	日帰り
163	9	2	立正大学　地球環境科学部地理学科		8			8	房総半島の穿入蛇行について，川廻しの土地利用	札郷宿泊施設
164	9	1	東大　農・附属演習林教育研究センター	1				1	ヒメコマツの高芽接ぎによるマツ材線虫病抵抗性ヒメコマツの種子生産の試み	日帰り
165	9	2	千葉演習林ボランティア会Abies	4			10	14	お月見研修会	札郷宿泊施設
166	9	2	筑波大学　大学院生命環境科学研究科地球科学専攻（地層学研究室）			2		2	地質調査	日帰り
167	9	1	いであ自然環境保全部				2	2	ミゾゴイ生息状況調査（環境省からの請負業務）	日帰り
168	9	4	千葉大学　理学部	5	68			73	野外生態学実験（2014年度）	札郷宿泊施設
169	9	4	東大　農・千葉演習林	21	68			89	全学体験ゼミ「野生動物の保護管理」	清澄宿泊施設
170	9	2	横浜国立大学　理工学部建築都市・環境系学科地球生態学EP生態学研究室		4			4	クワガタの産卵調査	清澄宿泊施設
171	9	2	立正大学　地球環境科学部地理学科		10			10	房総半島の穿入蛇行について，川廻しの土地利用	札郷宿泊施設
172	9	6	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	20	6	10		36	森林流域における水文観測	清澄宿泊施設2
173	9	1	千葉大学　理学研究科進化系統学研究室			1		1	チビヒメフナムシの研究のための下見	日帰り
174	9	5	千葉大学　理学部地球科学科堆積学研究室		5			5	地質調査	札郷宿泊施設
175	9	2	千葉県立中央博物館	8				8	昆虫調査	札郷宿泊施設
176	9	3	千葉県　君津土木事務所上総出張所				6	6	道路改良事業（公共事業）に係る動植物の環境調査（昆虫調査）	日帰り
177	9	1	全国大学演習林協議会	47				47	全国大学演習林協議会平成26年度秋季総会現地見学会	日帰り
178	9	1	東大　農・附属演習林			1		1	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
179	9	1	本多静六博士を顕彰する会				13	13	本多静六博士ゆかりの地を研修し（巡り）理解を深め会の発展に資する	日帰り
180	9	1	千葉演習林ボランティア会Abies				6	6	試験研究補助（ドングリ拾い）	日帰り
181	10	17	鴨川市有害鳥獣対策協議会				18	18	有害鳥獣捕獲	日帰り
182	10	2	君津市経済部農林振興課				2	2	箱わなによる有害獣捕獲を実施するため.	日帰り
183	10	4	千葉県環境生活部大気保全課				6	6	非汚染地域大気環境調査（10/1, 10/31） 化学物質大気環境調査（10/2-3）	日帰り
184	10	3	千葉県　君津土木事務所上総出張所				6	6	道路改良事業（公共事業）に係る動植物の環境調査	日帰り
185	10	5	立正大学　地球環境科学部地理学科		18			18	小櫃川における穿入蛇行の成因や分布について	札郷宿泊施設
186	10	1	国立歴史民俗博物館	3				3	歴史にみる人と自然の関係史	日帰り
187	10	2	慶應義塾大学　経済学部生物学教室	3			2	5	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	郷台宿泊施設
188	10	1	東大　農・附属演習林教育研究センター	1				1	ヒメコマツの高芽接ぎによるマツ材線虫抵抗性とヒメコマツの種子生産の試み	日帰り
189	10	2	森林総合研究所　森林微生物研究領域	4				4	スギ辺材不朽の発生機構	清澄宿泊施設2
190	10	1	千葉県森林インストラクター会				7	7	ハイキングコースの下見	日帰り
191	10	1	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	2		2		4	森林流域における水文観測	日帰り
192	10	1	東大　農・千葉演習林	17	1			18	クレジット創出プロジェクト実施地におけるオンサイト勉強会	日帰り
193	10	1	住化グリーン				1	1	試験用のヤマビル採取	日帰り
194	10	2	一般社団法人日本樹木医会六期会	3			64	67	樹木医六期会千葉研修	清澄宿泊施設
195	10	6	連合王国オックスフォード大学　附属植物園	18 (18)				18	オックスフォード大学附属植物園の日本原産植物コレクションの再整備と日本特産植物の現地外保全及び日本の植物相の多様性調査	清澄宿泊施設
196	10	1	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	1		2		3	森林流域における水文観測	日帰り
197	10	22	京都大学　理学研究科			22		22	修士研究（外房地域の古応力）	清澄宿泊施設2
198	10	1	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	1		2		3	森林流域における水文観測	日帰り
199	10	1	結木の会	1			13	14	結木の会（女性林業研究グループ）の視察見学	日帰り

2014年度　全利用者（千葉演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
200	10	1	滋賀県立琵琶湖博物館	1				1	更新世広域テフラEb-Fukudaテフラの上総層群における調査	日帰り
201	10	2	千葉県　君津土木事務所上総出張所				6	6	道路改良事業（公共事業）に係る動植物の環境調査（哺乳類，爬虫類，両生類，鳥類）	日帰り
202	10	1	(一財)日本環境衛生センター	2				2	マダニ調査	日帰り
203	10	1	千葉県森林インストラクター会	1			20	21	森林インストラクター研修（新人会員・Abiesとの交流）	日帰り
204	10	1	千葉演習林ボランティア会Abies				8	8	千葉県森林インストラクター会との交流研修会	日帰り
205	10	5	静岡大学　理学研究科地球科学専攻	10	15			25	地質調査法実習	清澄宿泊施設
206	10	1	筑波大学　生命環境系	1				1	照葉樹天然林におけるモチノキの存在様式と樹木－種子食性昆虫－鳥類間相互作用系の解明	日帰り
207	10	1	東大　新領域創成科学研究科	1				1	柏キャンパス一般公開用の試料借り出し	日帰り
208	10	1	特定非営利活動法人　ちば里山センター				2	2	11月予定の研修会の打ち合わせ	日帰り
209	10	1	東大　農・森林植物学研究室			1		1	樹木内生菌の伝播・繁殖機構及び樹体内共生機構の解明	日帰り
210	10	1	千葉県　中部林業事務所	5				5	房総丘陵の森林状況の見聞など	日帰り
211	10	3	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	3		12		15	森林流域における水文観測	清澄宿泊施設2
212	10	2	東大　農・千葉演習林	43				43	平成26年度技術職員等試験研究・研修会議	清澄宿泊施設
213	10	1	茨城大学　理学部	1				1	スズメバチ捕殺トラップの回収	日帰り
214	10	1	千葉演習林ボランティア会Abies				7	7	猪ノ川林道植物観察会（フィールドガイド用勉強会）	日帰り
215	10	1	東大　農・附属演習林			1		1	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
216	10	1	式年鳥居木曳祭実行委員会				9	9	式年鳥居木曳祭の御用木伐採及び同式典に係る現地確認	日帰り
217	10	1	内浦山県民の森				8	8	平成26年度催事「紅葉ハイキング（12月9日実施予定）」下見	日帰り
218	11	7	京都大学　理学研究科			7		7	修士研究（外房地域の古応力）	清澄宿泊施設2
219	11	1	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	1		2		3	森林流域における水文観測	日帰り
220	11	17	鴨川市有害鳥獣対策協議会				19	19	有害鳥獣捕獲	日帰り
221	11	1	君津市経済部農林振興課				1	1	箱わなによる有害獣捕獲を実施するため	日帰り
222	11	1	東大　農・千葉演習林				15	15	鴨川市との共同事業「野鳥の巣箱をかけよう」	日帰り
223	11	1	千葉演習林ボランティア会Abies				4	4	野鳥の巣箱をかけようサポート	日帰り
224	11	1	東大　農・附属演習林企画部	4	5			9	全学体験ゼミナール「危険生物の知識（秋編）」	日帰り
225	11	3	日本環境衛生センター　環境生物部	17			18	35	マダニ対策実習セミナーの開催	清澄宿泊施設2
226	11	2	千葉県立中央博物館	6				6	昆虫調査	札郷宿泊施設
227	11	1	内浦山県民の森				2	2	平成26年度催事「紅葉ハイキング」下見	日帰り
228	11	1	東大　農・千葉演習林	26				26	120thリハーサル	日帰り
229	11	3	立正大学　地球環境科学部地理学科		12			12	小櫃川における穿入蛇行の成因や分布について	札郷宿泊施設
230	11	2	茨城大学　理学部	2	8	2		12	マメ科植物の窒素利用	清澄宿泊施設
231	11	1	東大　農・附属演習林企画部	1 (1)				1	Singhakumara先生による視察	日帰り
232	11	2	千葉県　君津土木事務所上総出張所				4	4	道路改良事業（公共事業）に係る動植物の環境調査（魚類及び水生植物）	日帰り
233	11	1	君津市　教育委員会文化振興課	3				3	君津市立坂畑小学校　スクールミュージアム　自然観察会(下見)	日帰り
234	11	1	横浜国立大学　理工学部建築都市・環境系学科地球生態学生態学研究室		4			4	クワガタの産卵調査	日帰り
235	11	2	東大　農・森圏管理学研究室	4	8			12	森圏管理学実習	清澄宿泊施設
236	11	1	千葉大学　大学院理学研究科	6		2		8	千葉大観測点の見学	日帰り
237	11	1	ちば里山センター		10		40	50	フィールド研修「里山の自然」	日帰り
238	11	1	東大　農・森林経理学研究室		1			1	千葉演習林における経営案の策定と実行に関する調査	日帰り
239	11	3	千葉県　環境生活部大気保全課				4	4	化学物質大気環境調査（11/11-12）非汚染地域大気環境調査（11/28）	日帰り
240	11	1	君津市　教育委員会文化振興課	4			18	22	君津市立坂畑小学校スクールミュージアム「自然観察会」	日帰り
241	11	1	東大　農・附属演習林企画部	2		11		13	生圏システム学特論　演習林実習	日帰り

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
242	11	1	内浦山県民の森				2	2	平成26年度催事「紅葉ハイキング」下見	日帰り
243	11	1	グリーン航業				2	2	平成26年度森林吸収源インベントリ情報整備事業（現地調査）（関東ブロック）	日帰り
244	11	2	立正大学　地球環境科学部	2				2	第三紀層における岩盤の侵食と風化	札郷宿泊施設
245	11	1	NHKエデュケーショナル				4	4	NHK高校講座生物基礎　番組撮影	日帰り
246	11	1	鴨川市立天津小学校	4			66	70	総合的な学習の時間「緑の教室」	日帰り
247	11	1	内浦山県民の森				30	30	内浦山県民の森催事「～紅葉の猪川渓谷～ロングハイキング」	日帰り
248	11	2	東大　工・情報図書課情報総務チーム	6			14	20	東大図書館職員有志による自然観察会	札郷宿泊施設
249	11	1	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	1		2		3	森林流域における水文観測	日帰り
250	11	1	内浦山県民の森				2	2	平成26年度催事「紅葉ハイキング」下見	日帰り
251	11	1	式年鳥居木曳祭実行委員会				10	10	式年鳥居木曳祭　伐採式の会場準備	日帰り
252	11	3	日本地質学会	6			18	24	日本地質学会「地質調査研修」	日帰り
253	11	1	千葉演習林ボランティア会Abies				4	4	朝日カルチャー受講生グループの植物観察会ガイド	日帰り
254	11	1	朝日カルチャー受講生グループ				19	19	自然教育活動の一環として演習林の環境と植物観察を行う	日帰り
255	11	2	東大　農・千葉演習林	8			2,291	2,299	秋の一般公開	日帰り
256	11	2	千葉演習林ボランティア会Abies				9	9	千葉演習林主催「秋の一般公開」サポート	日帰り
257	11	2	千葉県立中央博物館	8				8	野外展示（博物館紹介のためのブース設置）	日帰り
258	11	2	日本樹木医会千葉県支部	2			19	21	千葉演習林の概要と研究の紹介	清澄宿泊施設
259	11	1	内浦山県民の森				1	1	平成26年度催事「紅葉ハイキング」下見	日帰り
260	11	1	千葉テレビ放送				1	1	ニュース報道番組での季節関連風景収録のため	日帰り
261	12	15	鴨川市有害鳥獣対策協議会				18	18	有害鳥獣捕獲	日帰り
262	12	1	君津市　経済部農林振興課				1	1	箱わなによる有害獣捕獲を実施するため	日帰り
263	12	1	千葉大学　理・地球科学科堆積学研究室		1			1	地質調査	日帰り
264	12	1	千葉県衛生研究所　医動物研究室	3				3	千葉県におけるマダニ類の生息調査及び日本紅斑熱等マダニ類媒介感染症の浸透状況	日帰り
265	12	1	内浦山県民の森管理事務所				1	1	内浦山県民の森催事「紅葉ハイキング」下見	日帰り
266	12	1	内浦山県民の森管理事務所				2	2	内浦山県民の森催事「紅葉ハイキング」下見	日帰り
267	12	1	東大　農・千葉演習林	26				26	冬の研修会及び消防訓練	日帰り
268	12	1	東大　農・森圏管理学研究室			1		1	イチイガシの遺伝的多様性	日帰り
269	12	1	東大　農学生命科学研究科長	6				6	研究科長による千葉演習林パトロール	日帰り
270	12	1	式年鳥居木曳祭実行委員会				132	132	式年鳥居木曳祭　伐採式	日帰り
271	12	1	千葉演習林ボランティア会Abies				5	5	式年鳥居木曳祭　神木斧始祭の見学	日帰り
272	12	1	内浦山県民の森				6	6	式年鳥居木曳祭神事「神木斧始祭」見学	日帰り
273	12	1	日本大学　大学院理工学研究科地理学専攻			1		1	千葉演習林内の河川における川廻し箇所調査（下見）	日帰り
274	12	1	内浦山県民の森				34	34	内浦山県民の森催事「紅葉ハイキング」	日帰り
275	12	1	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	1		2		3	森林流域における水文観測	日帰り
276	12	1	千葉県立中央博物館	1			3	4	フロラ調査（地衣類）	日帰り
277	12	4	東大　農・森林経理学研究室	12	12			24	森林計測学実習	清澄宿泊施設
278	12	9	千葉大学　理学部地球科学科堆積学研究室		9			9	地質調査	札郷宿泊施設
279	12	1	千葉科学大学　危機管理学部動物危機管理学科	1				1	房総半島天然林における樹上性哺乳類の生息状況調査（下見）	日帰り
280	12	1	千葉県立中央博物館	1			3	4	フロラ調査（地衣類）	日帰り
281	12	1	内浦山県民の森				10	10	内浦山県民の森催事「第25回関東ふれあいの道ふれあいウォーク」下見	日帰り
282	12	3	千葉県　環境生活部大気保全課				4	4	化学物質大気環境調査（12/17-18）非汚染地域大気環境調査（12/26）	日帰り
283	12	1	東大　農・森林植物学研究室			1		1	樹木内生菌の伝播・繁殖機構及び樹体内共生機構の解明	日帰り
284	12	1	東大　農・附属演習林			1		1	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
285	12	2	東大　農・千葉演習林	18				18	車両系伐木機械特別講習	日帰り
286	12	2	千葉科学大学　危機管理学部動物危機管理学科	4	14			18	房総半島天然林における樹上性哺乳類の生息状況	日帰り

2014 年度　全利用者（千葉演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
287	12	1	千葉商科大学　人間社会学部	1				1	君津地域の農林業と地域コミュニティ	日帰り
288	12	1	内浦山県民の森				2	2	内浦山県民の森催事「清澄八山をめぐる」下見	日帰り
289	12	1	東大　農・森林経理学研究室		1			1	千葉演習林における経営案の策定と実行に関する調査	日帰り
290	1	16	鴨川市有害鳥獣対策協議会				16	16	有害鳥獣捕獲	日帰り
291	1	12	千葉県環境生活部大気保全課				15	15	ダイオキシン類大気環境調査（1/6-14） 化学物質大気環境調査（1/15-16） 非汚染地域大気環境調査（1/27）	日帰り
292	1	1	内浦山県民の森管理事務所				3	3	内浦山県民の森催事「清澄八山をめぐる」下見	日帰り
293	1	1	東大　農・附属演習林教育研究センター	1				1	ヒメコマツの高芽接ぎによるマツ材線虫病抵抗性ヒメコマツの種子生産の試み	日帰り
294	1	2	千葉県立中央博物館	2			6	8	フロラ調査（地衣類）	清澄宿泊施設
295	1	3	千葉県君津土木事務所上総出張所				6	6	道路改良事業（公共事業）に係る動植物の環境調査 水生植物，底生動物調査（1/8） 鳥類調査（1/19-20）	日帰り
296	1	1	日本森林技術協会　事業部森林情報グループ				3	3	林内環境がデジタル定角測定法の精度に与える影響	日帰り
297	1	1	房総丘陵トレイルラン＆ハイク事務局				6	6	コース下見と整備（コース上の木，枝払い）	日帰り
298	1	2	千葉科学大学　危機管理学部動物危機管理学科	2	4			6	房総半島天然林における樹上性哺乳類の生息状況	清澄宿泊施設2
299	1	1	内浦山県民の森管理事務所				33	33	内浦山県民の森催事「清澄八山をめぐる」	日帰り
300	1	1	内浦山県民の森管理事務所				34	34	内浦山県民の森催事「清澄八山をめぐる」	日帰り
301	1	2	森林総合研究所　遺伝資源部探索収集課遺伝資源収集係	4				4	林野庁で実施している林木ジーンバンク事業の一環	日帰り
302	1	1	千葉大学　理学部地球科学科堆積学研究室	1	1			2	地質調査	日帰り
303	1	1	千葉県勤労者山岳連盟				59	59	山岳連盟主催ロングハイキング（モミ・ツガ観察ハイク）	日帰り
304	1	1	慶應義塾大学　経済学部	1				1	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
305	1	2	森林総合研究所　森林管理研究領域資源解析研究室	2				2	スギの成長の地域変異・「フェノロジー仮説」の検証	日帰り
306	1	1	千葉演習林　ボランティア会Abies				2	2	Abies活動　総会と演習林を歩こうの下見	日帰り
307	1	1	東大　農・附属演習林教育研究センター	1				1	ヒメコマツの高芽接ぎによるマツ材線虫病抵抗性ヒメコマツの種子生産の試み	日帰り
308	1	1	内浦山県民の森				7	7	歩道の事前踏査	日帰り
309	1	1	房総丘陵トレイルラン・ハイク事務局				1	1	トレイルラン・ハイク実施に関する打ち合わせ	日帰り
310	2	13	鴨川市有害鳥獣対策協議会				14	14	有害鳥獣捕獲	日帰り
311	2	1	君津市経済部農林振興課				1	1	箱わなによる有害獣捕獲を実施するため	日帰り
312	2	1	千葉演習林ボランティア会Abies				6	6	Abies活動　役員会議	日帰り
313	2	1	エコ・トレード				1	1	ヤマビルに関する論文等の資料閲覧（特に山中征夫著）	日帰り
314	2	1	千葉演習林ボランティア会Abies				2	2	森林博物資料館一般公開ｻﾎﾟｰﾄ	日帰り
315	2	1	東大　農・附属演習林教育研究センター	1				1	ヒメコマツの高芽接ぎによるマツ材線虫病抵抗性とヒメコマツの種子生産の試み	日帰り
316	2	1	森林総合研究所　森林管理研究領域	1				1	スギの成長の地域変異，「フェノロジー仮説」の検証	日帰り
317	2	1	房総丘陵トレイルラン事務局				2	2	コース確認（石尊山～麻綿原区間）	日帰り
318	2	3	千葉県環境生活部大気保全課				4	4	化学物質大気環境調査（2/9-10） 非汚染地域大気環境調査（2/27）	日帰り
319	2	1	日本大学　大学院地理学専攻	1	1	1		3	炭焼窯跡調査（「歴史にみる人と自然の関係史」の一環）	日帰り
320	2	4	東大　農・千葉演習林	13	76			89	全学体験ゼミナール「房総の森と生業（なりわい）を学ぶ」	清澄宿泊施設
321	2	1	内浦山県民の森管理事務所				2	2	内浦山県民の森催事「春の石尊古道ハイク」下見	日帰り
322	2	1	森林総合研究所　森林管理研究領域資源解析研究室	1				1	スギの成長の地域変異・「フェノロジー仮説」の検証	日帰り
323	2	1	千葉県立中央博物館	1			3	4	フロラ調査（地衣類）	日帰り
324	2	1	内浦山県民の森管理事務所				3	3	内浦山県民の森催事「春の石尊古道ハイク」下見	日帰り
325	2	2	千葉科学大学　危機管理学部動物危機管理学科	2	6			8	房総半島天然林における樹上性哺乳類の生息状況	清澄宿泊施設2
326	2	1	千葉演習林ボランティア会Abies				10	10	Abies活動「モウソウチク伐採」	日帰り

2014 年度　全利用者（千葉演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
327	2	2	千葉県　君津土木事務所上総出張所				4	4	道路改良事業（公共事業）に係る動植物の環境調査（植物）	日帰り
328	2	1	東大　農・森林植物学研究室			1		1	樹木内生菌の伝播・繁殖機構及び樹体内内共生機構の解明	日帰り
329	2	1	東大　農・附属演習林教育研究センター	1				1	ヒメコマツの高芽接ぎによるマツ材線虫病抵抗性ヒメコマツの種子生産の試み	日帰り
330	2	1	東大　農・附属演習林			1		1	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
331	2	1	東大　農・造林学研究室	1				1	「造林学実験」実習地の下見・実習内容打ち合わせ	日帰り
332	2	1	東大　新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学分野			1		1	再生可能エネルギー固定価格買取制度下における間伐の検討	日帰り
333	2	1	内浦山県民の森管理事務所				2	2	内浦山県民の森催事「春の石尊古道ハイク」下見	日帰り
334	2	1	房総丘陵トレイルラン&ハイク実行委員会事務局				5	5	大会コース下見・整備	日帰り
335	3	12	鴨川市有害鳥獣対策協議会				12	12	有害鳥獣捕獲	日帰り
336	3	3	東京学芸大学　環境科学分野	3	15	6		24	地質調査法の実習	札郷宿泊施設
337	3	2	千葉県君津土木事務所上総出張所				4	4	道路改良事業（公共事業）に係る動植物の環境調査（昆虫類・両生類調査）	日帰り
338	3	1	森林総合研究所　森林管理研究領域資源解析研究室	1				1	スギの成長の地域変異「フェノロジー仮説」の検証	日帰り
339	3	3	千葉県環境生活部大気保全課				4	4	化学物質大気環境調査（3/3-4） 非汚染地域大気環境調査（3/31）	日帰り
340	3	3	房総丘陵トレイルラン&ハイク実行委員会				84	84	トレイルラン&ハイキングイベント実施	日帰り
341	3	1	千葉県立中央博物館	1				1	蘚苔類相調査	日帰り
342	3	1	千葉県森林インストラクター会				44	44	野外講座（自然観察）	日帰り
343	3	1	千葉大学　大学院理学研究科	1		1		2	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究（メンテナンス）	日帰り
344	3	1	千葉県立中央博物館	1			3	4	フロラ調査（地衣類）	日帰り
345	3	1	東大　農・森林経理学研究室		1			1	不成績造林地及び広葉樹大径木の立地調査	日帰り
346	3	2	千葉演習林ボランティア会Abies				14	14	Abies活動「総会と演習林を歩こう」	清澄宿泊施設
347	3	1	内浦山県民の森管理事務所	1	1	2	2	6	内浦山県民の森催事「春の石尊古道ハイキング」下見	日帰り
348	3	1	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	1	1	2		4	森林流域における水文観測	日帰り
349	3	1	森林総合研究所　森林管理研究領域資源解析研究室	1				1	スギの成長の地域変異，「フェノロジー仮説」の検証	日帰り
350	3	1	内浦山県民の森管理事務所				36	36	内浦山県民の森催事「春の石尊古道ハイク」	日帰り
351	3	2	千葉県立中央博物館	5			4	9	昆虫調査	札郷宿泊施設
352	3	1	千葉県立中央博物館	1				1	蘚苔類相調査	日帰り
353	3	1	千葉県衛生研究所　医動物研究室	3				3	千葉県におけるマダニ類の生息調査及び日本紅斑熱等マダニ媒介感染症の浸透状況	日帰り
354	3	1	君津市立久留里城址資料館	3			4	7	旧川越藩領の番所跡確認	日帰り
355	3	1	千葉大学大学院理学研究科	3				3	地震に関する電磁気現象の観測学的研究（観測機器増設に関する現地及び天津事務所での説明）	日帰り
356	3	1	北海道大学大学院理学研究科	2		1		3	マルチコプター搭載LCTFカメラによる樹種分類の研究	日帰り
357	3	1	千葉県立君津青葉高等学校総合学科	4			9	13	高校生による房総のヒメコマツの保全に関する研究	日帰り
358	3	1	千葉大学　大学院理学研究科	2				2	地震に関する電磁気現象の観測学的研究（機器増設についての説明）	日帰り
359	3	2	千葉科学大学　危機管理学部動物危機管理学科	2	8			10	房総半島天然林における樹上性哺乳類の生息状況調査	清澄宿泊施設2
360	3	1	京都大学　フィールド科学教育研究センター	1				1	針葉樹見本林造成のためのヒメコマツの種子提供	日帰り
361	3	1	東大　農・附属演習林			1		1	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計　6,775
利用件数　361

2014 年度　全利用者（北海道演習林）

演習林名:北海道演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	3	東京大学千葉演習林	3				3	トドマツF1雑種における由来標高が繁殖に及ぼす影響と遺伝的変異の解明	山部宿泊施設
2	4	3	森林総合研究所	3				3	カバノキ類の着花量・開花時期に関する研究調査	山部宿泊施設
3	5	12	北海道大学地球環境科学院			17		17	外来種カワマスと在来種アメマスの種間競争と交雑調査	山部宿泊施設
4	5	2	農林総合研究センター茶業研究所	2				2	茶樹の極寒冷地育種・栽培企画試験資材の撤去作業	宿泊なし
5	5	2	秩父演習林	4 (2)	2	2		8	葉食性昆虫カラマツハラアカの個体郡動態の時空間解析	山部宿泊施設
6	5	2	帯広畜産大学生命科学研究部	2	3	2	2	9	北海道の天然林においてｴｿﾞﾓﾓﾝｶﾞが巣箱を利用する環境要因に関する研究	山部宿泊施設
7	5	1	北海道演習林	4				4	森林内におけるﾈｯﾄﾜｰｸ型RTK-GNSS測量の制度評価	日帰り
8	5	2	森林総合研究所	2				2	カバノキ類の着花量・開花時期に関する研究調査	山部宿泊施設
9	5	1	富良野市立東山保育所	7			33	40	春の遠足	日帰り
10	5	6	北海道環境生活部環境局	2			80	82	北海道中央山系ヒグマ高密度生息密度の推定調査	山部宿泊施設
11	5	2	秩父演習林	2		2		4	葉食性昆虫カラマツハラアカの個体郡動態の時空間解析	山部宿泊施設
12	5	3	北海道演習林	6	21		21	48	教養学部全学体験ゼミナール「景観としての森林生態系と人間の感覚」	宿泊なし
13	6	1	東京大学教育学部附属中等教育学校	1				1	7/1～7/4の修泊研修に伴う研修計画の現地確認	宿泊なし
14	6	19	北海道環境生活部環境局				361	361	北海道中央山系ヒグマ高密度生息密度の推定調査	山部宿泊施設
15	6	1	北海道演習林	2	7		7	16	教養学部全学体験ゼミナール「景観としての森林生態系と人間の感覚」	宿泊なし
16	6	1	東京大学北海道演習林				32	32	神社山自然観察路春季一般公開	日帰り
17	6	3	北海道大学地球環境科学院			6		6	外来種カワマスと在来種アメマスの種間競争と交雑調査	山部宿泊施設
18	6	1	東京大学樹芸研究所	1				1	エゾマツの暗色雪腐れ病等の病害防除に関する研究	日帰り
19	6	3	東京大学新領域創成科学研究科	6			3	9	インターネット森林観察サイトの拡充による自然学習事業案の開発	山部宿泊施設
20	6	4	森林科学専攻森林動物学研究室	4		4		8	雑食者ﾄｹﾞﾏﾀﾞﾗｶｹﾞﾛｳ属の体色斑による陰蔽効果と渓流食物網における役割の解明	山部宿泊施設
21	6	1	富良野市生涯学習センター				22	22	富良野市ことぶき大学山部校・授業	日帰り
22	6	2	帯広畜産大学生命科学研究部	2	6	4		12	北海道の天然林においてｴｿﾞﾓﾓﾝｶﾞが巣箱を利用する環境要因に関する研究	日帰り
23	6	1	学習院大学理学部	3				3	クマゲラの営巣地ならびに行動の観察・調査	日帰り
24	6	1	北海道演習林	2				2	ナキウサギの保全に関する基礎調査	日帰り
25	6	4	北海道演習林	4				4	事務打ち合わせ	山部宿泊施設
26	6	3	東京大学北海道演習林	30			3	33	平成26年度　教室系技術職員研修	セミナーハウス
27	6	1	みちくさ部　兼　ヤドリギ研究会				2	2	十勝岳連峰南限域における森林生植物の天然分布と生態の見学	宿泊なし
28	6	4	秩父演習林	8	4			12	葉食性昆虫カラマツハラアカの個体郡動態の時空間解析	山部宿泊施設
29	7	4	東京大学教育学部附属中等教育学校	12	160			172	東京大学教育学部附属学校宿泊研修北海道コース	セミナーハウス
30	7	1	東京大学北海道演習林				27	27	大麓山ハイキング登山会	日帰り
31	7	4	附属演習林	13				13	北方針葉樹における標高適応に関わるフェノロジー形質分子遺伝機構	山部宿泊施設
32	7	4	（公財）国際緑化推進センター				60 (44)	60	バイオマス破壊調査（ＪＩＣＡ研修）	セミナーハウス
33	7	1	（独）森林総合研究所	2				2	北海道林木育種協会現地検研究会開催のため現地確認	日帰り
34	7	2	帯広畜産大学生命科学研究部	2	9	4		15	北海道の天然林においてｴｿﾞﾓﾓﾝｶﾞが巣箱を利用する環境要因に関する研究	山部宿泊施設
35	7	3	東京大学農学部森林利用学研究室	3		3	18	24	ミズナラ施業の見学	セミナーハウス
36	7	13	演習林教育研究センター			13		13	葉食性昆虫カラマツハラアカハバチの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
37	7	3	秩父演習林	3			3	6	葉食性昆虫カラマツハラアカの個体郡動態の時空間解析	山部宿泊施設
38	7	1	東北大学総合学術博物館	1	1	2		4	白亜系における高解度国際標準年代尺度とﾃﾌﾛｸﾛﾉｼﾞｰの樹立	日帰り
39	7	2	Department of Forest Science, SNU	4 (4)			4 (4)	8	Getting comprehensive information on research and education at UTokyo Hokkaido Forest	
40	7	9	北海道大学地球環境科学院			17		17	外来種カワマスと在来種アメマスの種間競争と交雑調査	山部宿泊施設

2014 年度　全利用者（北海道演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
41	7	1	北海道演習林	2				2	ナキウサギの保全に関する基礎調査	日帰り
42	7	4	秩父演習林	8				8	葉食性昆虫カラマツハラアカの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
43	7	1	北海道後志総合振興局	2			16	18	林業ｸﾞﾙｰﾌﾟ（京極林友会）の視察研修	日帰り
44	7	2	三島市長				90	90	箱根山組合新議員による林業地視察研修	
45	7	3	秩父演習林	3		3 (3)		6	葉食性昆虫カラマツハラアカの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
46	7	3	北海道環境生活部環境局				12	12	北海道中央山系ヒグマ高密度生息密度の推定調査	山部宿泊施設
47	7	3	東京大学北海道演習林				51	51	サマーサイエンスキャンプ202「森林の未来は？～森を知り、持続的な取扱を考える」	セミナーハウス
48	8	31	演習林教育研究センター			31		31	葉食性昆虫カラマツハラアカハバチの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
49	8	1	北海道大学地球環境科学院			3		3	外来種カワマスと在来種アメマスの種間競争と交雑調査	山部宿泊施設
50	8	1	北海道環境生活部環境局				3	3	北海道中央山系ヒグマ高密度生息密度の推定調査	山部宿泊施設
51	8	1	東京大学北海道演習林				17	17	サマーサイエンスキャンプ2014「森林の未来は？～森を知り、持続的な取扱を考える」	セミナーハウス
52	8	6	東京大学樹芸研究所	6	14			20	全学体験ゼミ「森に学ぶ（ふらの）」	山部宿泊施設
53	8	8	秩父演習林	16	8 (8)			24	葉食性昆虫カラマツハラアカの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
54	8	3	北海道札幌啓成高等学校	6			45	51	北海道札幌啓成高等学校ＳＳＨ道内研修Ａ（自然環境）	セミナーハウス
55	8	2	帯広畜産大学生命科学研究部	2	14	4	2	22	北海道の天然林においてｴｿﾞﾓﾓﾝｶﾞが巣箱を利用する環境要因に関する研究	山部宿泊施設
56	8	3	秩父演習林	3		3 (3)		6	葉食性昆虫カラマツハラアカの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
57	8	3	秩父演習林	3				3	葉食性昆虫カラマツハラアカの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
58	8	12	森林科学専攻森林動物学研究室	5		12		17	雑食者ﾄｹﾞﾏﾀﾞﾗｶｹﾞﾛｳ属の体色斑による陰蔽効果と渓流食物網における役割の解明	山部宿泊施設
59	8	2	北海道大学理学研究院附属地震火山研究観測センター	2	2	2		6	GPS観測により、十勝岳の火山活動に伴う地殻変動を明らかにする。	日帰り
60	8	1	同志社女子大学現代社会学部	1	18		1	20	インターンシップ２	日帰り
61	8	3	秩父演習林	3				3	葉食性昆虫カラマツハラアカの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
62	8	3	東京大学千葉演習林	3				3	トドマツF1雑種における由来標高が繁殖に及ぼす影響と遺伝的変異の解明	山部宿泊施設
63	8	1	北海道帯広農業高等学校	2			40	42	帯広農業高校　森林科学科1年　見学	日帰り
64	8	2	筑波大学大学院生命環境科	2		12		14	東京大学北海道演習射林及び周辺箇所の砂防等状況調査	セミナーハウス
65	8	1	北海道地方環境事務所				4	4	シマフクロウ保護増殖事業に係るシマフクロウ生息状況調査及び巣箱の状況調査	宿泊なし
66	8	3	演習林教育研究センター		3			3	葉食性昆虫カラマツハラアカの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
67	9	2	北海道大学理学研究院附属地震火山研究観測センター	2	2	2		6	GPS観測により、十勝岳の火山活動に伴う地殻変動を明らかにする。	日帰り
68	9	1	北海道地方環境事務所				4	4	シマフクロウ保護増殖事業に係るシマフクロウ生息状況調査及び巣箱の状況調査	宿泊なし
69	9	5	演習林教育研究センター		5			5	葉食性昆虫カラマツハラアカの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
70	10	1	東京大学北海道演習林				39	39	神社山自然観察路秋季一般公開	日帰り
71	10	2	北海道環境生活部環境局				8	8	北海道中央山系ヒグマ高密度生息密度の推定調査	山部宿泊施設
72	10	2	(株)森林環境リアライズ				6	6	森林生態系多様性基礎調査	宿泊なし
73	10	14	北海道大学地球環境科学院			32		32	外来種カワマスと在来種アメマスの種間競争と交雑調査	山部宿泊施設
74	10	2	帯広畜産大学生命科学研究部	2	6	2		10	北海道の天然林においてｴｿﾞﾓﾓﾝｶﾞが巣箱を利用する環境要因に関する研究	山部宿泊施設
75	10	4	北海道演習林	15		4		19	森林流域管理学	セミナーハウス
76	10	1	北海道演習林	1			5	6	林分施業法草創期の森林管理を伺う	日帰り
77	10	1	住友林業(株)				4	4	天然林の施業技術に関する研修	日帰り
78	10	3	秩父演習林	6				6	葉食性昆虫カラマツハラアカの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設

2014 年度　全利用者（北海道演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
79	10	8	演習林教育研究センター			8		8	葉食性昆虫カラマツハラアカハバチの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
80	10	2	東京大学総合文化研究科	2				2	北方針葉樹における標高適応に関わるフェノロジーの分子遺伝機構	山部宿泊施設
81	10	1	富良野市立樹海小学校	3			14	17	総合的な学習の時間「樹海の森へ」	日帰り
82	10	1	酪農学園とわの森三愛高校	2			10	12	道内研修	日帰り
83	10	4	東京大学新領域創成科学研究科	8			4	12	インターネット森林観察サイトの拡充による自然学習事業案の開発	山部宿泊施設
84	10	1	北海道大学農学部森林科学科		1			1	インターネット森林観察サイトの拡充による自然学習事業案の開発のライブモニタニング地点見学	
85	11	2	森林総合研究所	2				2	カバノキ類の着花量・開花時期に関する研究調査	山部宿泊施設
86	11	1	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				8	8	富良野地区における猛禽類生息状況調査	日帰り
87	12	4	東京大学父演習林	4				4	基盤ﾃﾞｰﾀ整備委員会GIS部門でのGPS指導方法の研修	山部宿泊施設
88	12	2	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				8	8	富良野地区における猛禽類生息状況調査	宿泊なし
89	1	2	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				8	8	富良野地区における猛禽類生息状況調査	宿泊なし
90	1	2	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				12	12	富良野地区における猛禽類生息状況調査	宿泊なし
91	1	1	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				6	6	富良野地区における猛禽類生息状況調査	宿泊なし
92	2	1	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				6	6	富良野地区における猛禽類生息状況調査	宿泊なし
93	2	3	東京大学千葉演習林	3				3	トドマツF1雑種における由来標高が繁殖に及ぼす影響と遺伝的変異の解明	山部宿泊施設
94	2	1	富良野市立樹海小学校	3			26	29	総合的な学習の時間「樹海の森へ」	日帰り
95	2	2	北海道地方環境事務所				6	6	シマフクロウ保護増殖事業に係るシマフクロウ生息状況調査及び巣箱の状況調査	宿泊なし
96	2	1	北海道地方環境事務所				1	1	シマフクロウ保護増殖事業に係るシマフクロウ生息状況調査及び巣箱の状況調査	日帰り
97	2	2	千葉演習林	2				2	林怯調査における測量手法の習得	山部宿泊施設
98	2	1	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				4	4	富良野地区における猛禽類生息状況調査	日帰り
99	2	4	北海道地方環境事務所				12	12	シマフクロウ保護増殖事業に係るシマフクロウ生息状況調査及び巣箱の状況調査	宿泊なし
100	2	2	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				8	8	富良野地区における猛禽類生息状況調査	宿泊なし
101	2	3	北海道演習林	129				129	教養学部全学体験ゼミナール　雪の森林に学ぶ	セミナーハウス
102	2	3	秩父演習林	3				3	葉食性昆虫カラマツハラアカの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
103	3	2	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				8	8	富良野地区における猛禽類生息状況調査	宿泊なし
104	3	6	北海道演習林	6				6	退職に伴う資料整理	山部宿泊施設
105	3	4	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				20	20	富良野地区における猛禽類生息状況調査	宿泊なし
106	3	1	筑波大学菅平高原実験研究センター	1				1	モミ属を加害するキクイムシ類の調査	日帰り
107	3	9	北海道演習林	9				9	退職に伴う資料整理	山部長期宿泊施設

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計　2,078
利用件数　107

演習林名:秩父演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
2	4	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	16		34 (3)		50	自然環境学野外総合実習	日帰り
3	4	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	2				2	サイバーフォレスト、ライブモニタリング機材メンテナンス	日帰り
4	4	9	森林科学専攻演習林教育研究センター	2		9 (9)		11	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
5	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
6	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1			2	3	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
7	4	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				1	1	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
8	4	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				1	1	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
9	4	1	特定非営利活動法人　バードリサーチ	1				1	モニタリングサイト1000　鳥類調査	日帰り
10	4	4	森林科学専攻森林利用学研究室	6	12	2		20	森林土木学実習	川俣学生宿舎（食事あり）
11	4	1	埼玉県農林総合研究センター茶業研究所	5				5	茶の山間冷涼地育種	日帰り
12	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	ミズナラ結実動態の遺伝特性	日帰り
13	4	1	千葉大学園芸学部緑地環境学科	1				1	生態系の物質循環特性に基づく緑地の「自然らしさ」の評価手法に関する研究	日帰り
14	4	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	オゾン濃度系の設置、ミヤマスカシユリの鉢の確認	日帰り
15	4	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター	1				1	シカ不採食樹木アセビ（Pieris japonica)の分布拡大に関する研究	日帰り
16	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
17	4	1	秩父宮記念三峰山博物館				1	1	野生動物調査	日帰り
18	4	2	埼玉昆虫談話会	2			8	10	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築（第3期）	川俣学生宿舎（自炊泊）
19	4	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	1		1		2	自然環境学研究２、修士研究	日帰り
20	4	1	日本女子大学理学部物質生物科学科			1		1	シダ植物カラクサシダ配偶体の成長動態解析及び微環境の長期モニタリング	日帰り
21	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
22	5	1	附属演習林企画部	1		7		8	森林生態圏管理学特論	日帰り
23	5	1	附属演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
24	5	2	早稲田大学人間科学部人間環境学科野生動物(三浦)ゼミ	4	40	2		46	野生動物生態学実習	川俣学生宿舎（食事あり）
25	5	1	東京大学工学系・情報理工学系等総務課	1			1	2	樹木観察	日帰り
26	5	2	東京大学アジア生物資源環境研究センター	2				2	シカ不採食樹木アセビ（Pieris japonica)の分布拡大に関する研究	栃本宿舎（自炊泊）
27	5	2	特定非営利活動法人　バードリサーチ	2				2	モニタリングサイト1000　鳥類調査	川俣学生宿舎（自炊泊）
28	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	1		1		2	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
29	5	1	附属演習林企画部	2				2	自動撮影カメラのメディア交換＆星野写真の撮影	日帰り
30	5	3	東京大学大学院農学生命科学研究科	3				3	ミズナラ結実動態の遺伝特性と鳥類標識調査	日帰り
31	5	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
32	5	1	埼玉県農林総合研究センター	2				2	ナラ枯れを防ぐ武蔵野の森再生・循環利用システム技術の確立	日帰り
33	5	5	森林科学専攻演習林教育研究センター			5 (5)		5	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
34	5	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				2	2	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
35	5	12	秩父演習林	10	27	34		71	サントリーシカ柵試験地土壌調査	川俣学生宿舎（食事あり）
36	5	2	秩父演習林		6			6	全学体験ゼミナール「初夏の奥秩父を巡る」現地講義	川俣学生宿舎（食事あり）
37	5	1	秩父演習林		3			3	全学体験ゼミナール「初夏の奥秩父を巡る」現地講義	川俣学生宿舎（食事あり）
38	5	1	しおじの会				1	1	野生動物に対する忌避剤の効果の調査（状況確認）	日帰り

2014 年度　全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
39	5	1	東京大学空間情報科学研究センター	1		2		3	森林景観の全方位撮影	日帰り
40	5	2	日本大学生物資源科学部森林資源科学科	1	6			7	東京大学秩父演習林における森林の更新について	栃本宿舎（自炊泊）
41	5	1	埼玉昆虫談話会	1			4	5	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築（第3期）	川俣自炊宿舎
42	5	1	秩父演習林				14	14	春のガイドツアー「カエデの見分け方を学ぶ」	日帰り
43	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
44	6	1	埼玉県農林総合研究センター	2				2	ナラ枯れを防ぐ武蔵野の森再生・循環利用システム技術の確立	日帰り
45	6	10	森林科学専攻演習林教育研究センター			10 (10)		10	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
46	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生物･環境工学専攻	4	44			48	生物・環境工学専修　平成26年度専修関連施設見学	川俣学生宿舎（食事あり）
47	6	1	秩父演習林		3			3	全学体験ゼミナール「初夏の奥秩父を巡る」現地講義	日帰り
48	6	1	日本大学生物資源科学部森林資源科学科		3			3	東京大学秩父演習林における森林の更新について	
49	6	1	千葉大学園芸学部緑地環境学科	1	2			3	生態系の物質循環特性に基づく緑地の「自然らしさ」の評価手法に関する研究	日帰り
50	6	2	特定非営利活動法人　バードリサーチ	4				4	モニタリングサイト1000　鳥類調査	川俣自炊宿舎
51	6	2	埼玉県高等学校体育連盟登山専門部	6			50	56	学校総合体育大会登山の部開催のため	日帰り
52	6	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
53	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	2	2	6		10	修士論文作成：シオジの遺伝的多様性に関する研究	栃本宿舎（自炊泊）
54	6	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科	2		6	2	10	炭素蓄積量推定に関する研究・森林景観のモバイル端末体験に関する研究	栃本宿舎（自炊泊）
55	6	1	埼玉昆虫談話会	1			4	5	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築（第3期）	日帰り
56	6	1	富士癒しの森研究所	2				2	全学体験ゼミナール「危険生物の知識」の準備と下見	日帰り
57	6	2	富士癒しの森研究所	8	60			68	全学体験ゼミナール「危険生物の知識」	川俣学生宿舎（食事あり）
58	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科	4				4	ミズナラ結実動態の遺伝特性と鳥類標識調査	日帰り
59	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科			1		1	修士論文「関東地方におけるマルグンバイ属の系統関係および基本的生態の解明」	日帰り
60	6	1	北海道大学大学院農学研究院環境資源学専攻生物生態体系学講座　昆虫体系学研究室				1	1	雌による精子の選択から生じる隠蔽された生殖的隔離：サッポロフキバッタの事例	日帰り
61	6	1	宇都宮大学農学部森林科学科森林生態学･育林学研究室	2		3		5	林冠疎開規模の異なるイヌブナ天然林の再生過程	日帰り
62	6	1	東京大学田無演習林	1				1	全身獲得抵抗性を発現させた樹木葉における内生菌の種組成	日帰り
63	6	2	秩父演習林	2	2	6		10	サントリーシカ柵試験地土壌調査	栃本宿舎（自炊泊）
64	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			3		3	森林構造が哺乳類の個体数と分布に及ぼす影響	日帰り
65	6	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科	2			2	4	インターネット森林観察サイトの拡充による自然学習授業案の開発	栃本宿舎（自炊泊）
66	6	1	埼玉県農林総合研究センター茶業研究所	6				6	茶の山間冷涼地育種	日帰り
67	6	2	早稲田大学人間科学学術院	2	2			4	野生動物の調査（シカの密度推定・リスの採餌戦略）	栃本宿舎（自炊泊）
68	6	1	埼玉県環境科学国際センター	2				2	オゾン濃度系の設置、ミヤマスカシユリの鉢の確認	日帰り
69	6	3	東邦大学理学部生物学科	3	72	3	3	81	生態学野外実習１（学部2年）	川俣学生宿舎（食事あり）
70	6	1	日本女子大学理学部物質生物科学科			1		1	シダ植物カラクサシダ配偶体の成長動態解析及び微環境の長期モニタリング	日帰り
71	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	1		1		2	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
72	6	1	北海道大学大学院農学研究院環境資源学専攻生物生態体系学講座　昆虫体系学研究室				1	1	雌による精子の選択から生じる隠蔽された生殖的隔離：サッポロフキバッタの事例	日帰り
73	6	3	日本大学生物資源科学部森林資源科学科	1	9			10	東京大学秩父演習林における森林の更新について	栃本宿舎（自炊泊）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
74	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1			1	2	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
75	6	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				1	1	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
76	6	2	埼玉昆虫談話会	4			12	16	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築（第3期）	川俣自炊宿舎
77	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科			1		1	修士論文「関東地方におけるマルグンバイ属の系統関係および基本的生態の解明」	日帰り
78	6	1	森林科学専攻演習林教育研究センター			1 (1)		1	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
79	6	1	しおじの会				2	2	野生動物に対する忌避剤の効果の調査（状況確認）	日帰り
80	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			1		1	森林構造が哺乳類の個体数と分布に及ぼす影響	日帰り
81	7	2	埼玉県立秩父農工科学高等学校	4			82	86	樹木採集実習	川俣学生宿舎（食事あり）
82	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
83	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
84	7	1	埼玉県農林総合研究センター	2				2	ナラ枯れを防ぐ武蔵野の森再生・循環利用システム技術の確立	日帰り
85	7	1	附属演習林企画部	2				2	自動撮影カメラのメディア交換&星野写真の撮影	日帰り
86	7	4	森林科学専攻演習林教育研究センター			4 (4)		4	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
87	7	1	特定非営利活動法人　バードリサーチ	2				2	モニタリングサイト1000　鳥類調査	日帰り
88	7	3	筑波大学生命環境学群生物学類	3	3	3		9	斜面崩壊地の特異的地中生節足動物相の解明	川俣自炊宿舎
89	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻	3				3	フィールド科学総論下見	日帰り
90	7	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科			2		2	炭素蓄積量推定に関する研究・森林景観のモバイル端末体験に関する研究	栃本宿舎（自炊泊）
91	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科	4				4	モニ1000森林調査，奄美大島リター調査	日帰り
92	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	2				2	例温帯の混交落葉樹林におけるブナの葉内内生菌の種構成の解明	日帰り
93	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科	2			2	4	ミズナラ結実動態の遺伝特性と鳥類標識調査	テント・幕営
94	7	1	個人				7	7	自然観察	日帰り
95	7	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
96	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科			1		1	修士論文「関東地方におけるマルグンバイ属の系統関係および基本的生態の解明」	日帰り
97	7	2	埼玉昆虫談話会	2			12	14	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築（第3期）	川俣自炊宿舎
98	7	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科			2		2	炭素蓄積量推定に関する研究・森林景観のモバイル端末体験に関する研究	栃本宿舎（自炊泊）
99	7	1	埼玉県環境科学国際センター	1		2		3	オゾン濃度系の設置、ミヤマスカシユリの鉢の確認	日帰り
100	7	4	日本大学生物資源科学部森林資源科学科	1	14			15	東京大学秩父演習林における森林の更新について	栃本宿舎（自炊泊）
101	7	3	宇都宮大学農学部森林科学科森林生態学・育林学研究室	6	9	9		24	林冠疎開規模の異なるイヌブナ天然林の再生過程	川俣学生宿舎（食事あり）
102	7	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科			1		1	森林景観のモバイル端末体験に関する研究	日帰り
103	7	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター	1				1	シカ不採食樹木アセビ（Pieris japonica)の分布拡大に関する研究	日帰り
104	7	1	早稲田大学人間科学学術院	1	1			2	野生動物の調査（シカの密度推定・リスの採餌戦略）	日帰り
105	7	2	秩父演習林				34	34	夏の公開講座「東大の森林で昆虫採集」	川俣学生宿舎（食事あり）
106	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科			1		1	修士論文「関東地方におけるマルグンバイ属の系統関係および基本的生態の解明」	日帰り
107	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	1		1		2	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
108	7	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				2	2	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
109	7	2	埼玉昆虫談話会	2			14	16	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築（第3期）	川俣学生宿舎（自炊泊）
110	7	2	秩父演習林	2		4		6	シカによる植生衰退が上位栄養段階の生物群集に及ぼす影響	日帰り

2014 年度　全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
111	7	1	秩父演習林	1		1		2	シカによる植生衰退が土壌微生物群集の多様性と機能に及ぼす影響	日帰り
112	7	2	東京大学アジア生物資源環境研究センター	2				2	シカ不採食樹木アセビ（Pieris japonica)の分布拡大に関する研究	日帰り
113	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科	4				4	モニ1000森林調査，奄美大島リター調査	日帰り
114	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
115	8	1	埼玉県農林総合研究センター	2				2	ナラ枯れを防ぐ武蔵野の森再生・循環利用システム技術の確立	日帰り
116	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	6		12		18	森林土壌学実験	川俣学生宿舎（食事あり）
117	8	2	東京都立墨田川高等学校	16			52	68	生物実習	外部宿泊
118	8	4	首都大学東京理工学研究科生命科学専攻	8	24	4		36	動物系統学野外実習	川俣学生宿舎（食事あり）
119	8	1	東京都市大学知識工学部自然科学科	5	32			37	自然科学科特別講義ＮＳ－１	日帰り
120	8	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
121	8	1	埼玉県農林総合研究センター茶業研究所	5				5	茶の山間冷涼地育種	日帰り
122	8	1	秩父演習林	1		1		2	シカによる植生衰退が土壌微生物群集の多様性と機能に及ぼす影響	日帰り
123	8	2	一般財団法人東京私立中学高等学校協会	46				46	奥秩父の自然と生物基礎「生態系」の実習	日帰り
124	8	1	東京大学田無演習林	1				1	全身獲得抵抗性を発現させた樹木葉における内生菌の種組成	日帰り
125	8	5	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境学コース	5	20			25	シカ柵試験地における樹高・実生の調査	川俣自炊宿舎
126	8	1	埼玉県環境科学国際センター	2				2	オゾン濃度系の設置、ミヤマスカシユリの鉢の確認	日帰り
127	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	冷温帯の混交落葉樹林におけるブナの葉内内生菌の種構成の解明	日帰り
128	8	1	附属演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
129	8	3	日本大学生物資源科学部森林資源科学科		9			9	東京大学秩父演習林における森林の更新について	川俣自炊宿舎
130	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科			1		1	修士論文「関東地方におけるマルグンバイ属の系統関係および基本的生態の解明」	日帰り
131	8	3	宇都宮大学農学部森林科学科森林生態学･育林学研究室	3	9			12	林冠疎開規模の異なるイヌブナ天然林の再生過程	栃本宿舎（自炊泊）
132	8	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科	2				2	インターネット森林観察サイトの拡充による自然学習授業案の開発	入川コンテナハウス1
133	8	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科			1		1	森林景観のモバイル端末体験に関する研究	日帰り
134	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	2				2	不成績造林地の取り扱い指針に関する研究	川俣学生宿舎（食事あり）
135	8	1	早稲田大学人間科学学術院	1	1			2	野生動物の調査（シカの密度推定・リスの採餌戦略）	日帰り
136	8	1	日本女子大学理学部物質生物科学科			1		1	シダ植物カラクサシダ配偶体の成長動態解析及び微環境の長期モニタリング	日帰り
137	8	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				1	1	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
138	8	1	日本鱗翅学会	1				1	荒川流域の生物調査（蝶類を対象）	日帰り
139	8	1	千葉大学園芸学部緑地環境学科	1	1	1		3	生態系の物質循環特性に基づく緑地の「自然らしさ」の評価手法に関する研究	日帰り
140	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
141	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1	1			2	キイチゴ属樹木の繁殖様式に関する研究	日帰り
142	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科			1		1	修士論文「関東地方におけるマルグンバイ属の系統関係および基本的生態の解明」	日帰り
143	8	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科			1		1	森林景観のモバイル端末体験に関する研究	日帰り
144	8	1	埼玉県立熊谷高等学校	1				1	ＳＳＨ野外実習打ち合わせおよび下見	日帰り
145	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林			1		1	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
146	8	2	埼玉昆虫談話会	2			16	18	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築（第3期）	川俣自炊宿舎
147	8	1	しおじの会				1	1	昆虫談話会への同行	日帰り
148	9	4	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	8	12	8		28	野外の植物で整理生態学的測定を行う（講義目：植物科学野外実習?)	川俣学生宿舎（食事あり）
149	9	3	筑波大学生命環境学群生物学類		3	3		6	斜面崩壊地の特異的地中生節足動物相の解明	川俣自炊宿舎
150	9	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	10				10	森林立地学会土壌調査講習会予備調査	栃本宿舎（自炊泊）

2014 年度　全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
151	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻	16		60 (8)		76	フィールド科学総論	川俣学生宿舎（食事あり）
152	9	1	附属演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
153	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
154	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科	6	42	9		57	森林植物学実験の野外実習	川俣学生宿舎（食事あり）
155	9	1	伝統工芸木炭生産技術保存会				2	2	伝統工芸，伝統工芸研磨用木炭に使用するホオノキに関する調査	日帰り
156	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			3		3	森林構造が哺乳類の個体数と分布に及ぼす影響	日帰り
157	9	4	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境情報学研究室			4		4	シカによる植生衰退が土壌微生物群集の多様性と機能に及ぼす影響	日帰り
158	9	2	秩父演習林	2		2		4	シカによる植生衰退が上位栄養段階の生物群集に及ぼす影響	テント・幕営
159	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			1		1	森林構造が哺乳類の個体数と分布に及ぼす影響	日帰り
160	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			1		1	森林構造が哺乳類の個体数と分布に及ぼす影響	日帰り
161	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			1		1	森林構造が哺乳類の個体数と分布に及ぼす影響	日帰り
162	9	3	宇都宮大学農学部森林科学科森林生態学・育林学研究室	3	9			12	林冠疎開規模の異なるイヌブナ天然林の再生過程	栃本宿舎（自炊泊）
163	9	1	森林科学専攻演習林教育研究センター			1 (1)		1	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
164	9	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
165	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属秩父演習林	1				1	森林流域からの水・土砂流出にともなう放射生核種の流出量の把握	日帰り
166	9	2	東京大学大学院農学生命科学研究科	2				2	ミズナラ結実動態の遺伝特性と鳥類標識調査	テント・幕営
167	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1	2			3	キイチゴ属樹木の繁殖様式に関する研究	日帰り
168	9	3	秩父演習林	6		3		9	シカ柵試験地における下層植生調査	栃本宿舎（自炊泊）
169	9	3	宇都宮大学農学部森林科学科森林生態学・育林学研究室	3	3	3	3	12	林冠疎開規模の異なるイヌブナ天然林の再生過程	栃本宿舎（自炊泊）
170	9	1	日本鱗翅学会	1				1	荒川流域の生物調査（蝶類を対象）	日帰り
171	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科			1		1	修士論文「関東地方におけるマルグンバイ属の系統関係および基本的生態の解明」	日帰り
172	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科	20	40	20 (8)		80	森林政策学演習および課題「山村社会における歴史と文化の価値の再考」	川俣学生宿舎（食事あり）
173	9	1	埼玉県立熊谷高等学校	4			10	14	ＳＳＨ野外実習	日帰り
174	9	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科			1		1	森林景観のモバイル端末体験に関する研究	日帰り
175	9	1	埼玉県農林総合研究センター茶業研究所	5				5	茶の山間冷涼地育種	日帰り
176	9	3	日本大学生物資源科学部森林資源科学科	1	18			19	東京大学秩父演習林における森林の更新について	川俣学生宿舎（自炊泊）
177	9	1	日本鱗翅学会	1				1	荒川流域の生物調査（蝶類を対象）	日帰り
178	9	2	東京大学大学院農学生命科学研究科	2				2	ミズナラ結実動態の遺伝特性と鳥類標識調査	テント・幕営
179	9	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科			1		1	森林景観のモバイル端末体験に関する研究	日帰り
180	9	3	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境情報学研究室			3		3	シカによる植生衰退が土壌微生物群集の多様性と機能に及ぼす影響	日帰り
181	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1	1			2	キイチゴ属樹木の繁殖様式に関する研究	日帰り
182	9	1	早稲田大学人間科学学術院	1	1			2	野生動物の調査（シカの密度推定・リスの採餌戦略）	日帰り
183	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学		1	1		2	修士論文作成：シオジの遺伝的多様性に関する研究	日帰り
184	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林			1		1	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
185	9	2	埼玉昆虫談話会				14	14	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築（第3期）	川俣自炊宿舎
186	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科			1		1	修士論文「関東地方におけるマルグンバイ属の系統関係および基本的生態の解明」	日帰り
187	9	1	秩父演習林	4				4	関東甲信越地区技術職員研修のため	川俣学生宿舎（食事あり）
188	9	2	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境情報学研究室			2		2	シカによる植生衰退が土壌微生物群集の多様性と機能に及ぼす影響	日帰り

2014 年度　全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
189	9	1	東京大学	1 (1)				1	見学	日帰り
190	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
191	10	1	埼玉県立大滝げんきプラザ	4			50	54	主催事業　大滝で遊ぼう２「荒川源流ハイク・ドラム缶ピザ作り」	日帰り
192	10	1	公営社団法人　日本マレーシア協会	1 (1)		1 (1)	2	4	秩父演習林の活動に学ぶ	日帰り
193	10	1	田無演習林	1				1	教養学部総合科目「森のエネルギーを使いこなす」下見	日帰り
194	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻	6	48	6		60	バイオマス科学実習・森林科学実習	外部宿泊
195	10	4	東京大学農学部応用生命科学過程森林生物科学専修	4	4		4	12	不成績造林地の取り扱い指針に関する研究	川俣学生宿舎（食事あり）
196	10	5	東京大学農学部応用生命科学過程森林生物科学専修		5			5	不成績造林地の取り扱い指針に関する研究	川俣自炊宿舎
197	10	4	東京大学農学部応用生命科学過程森林生物科学専修	4	4	4		12	不成績造林地の取り扱い指針に関する研究	川俣学生宿舎（自炊泊）
198	10	1	附属演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
199	10	2	秩父演習林	6				6	サワラの腐朽の発生と進行速度に関する研究	川俣学生宿舎（食事あり）
200	10	5	東京大学農学部応用生命科学過程森林生物科学専修	6	10	5		21	不成績造林地の取り扱い指針に関する研究	川俣学生宿舎（食事あり）
201	10	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	オゾン濃度系の設置、ミヤマスカシユリの鉢の確認	日帰り
202	10	2	宇都宮大学農学部森林科学科森林生態学･育林学研究室	2	4	4		10	林冠疎開規模の異なるイヌブナ天然林の再生過程	川俣学生宿舎（食事あり）
203	10	3	秩父演習林	12				12	関東甲信越地区技術職員研修のため	川俣学生宿舎（食事あり）
204	10	2	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境情報学研究室			2		2	シカによる植生衰退が土壌微生物群集の多様性と機能に及ぼす影響	日帰り
205	10	2	筑波大学生命環境学群生物学類	2	2			4	斜面崩壊地の特異的地中生節足動物相の解明	川俣自炊宿舎
206	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学			2		2	修士論文作成：シオジの遺伝的多様性に関する研究	日帰り
207	10	2	埼玉県環境科学国際センター	4				4	雁坂の環境評価	日帰り
208	10	1	森林科学専攻森林利用学研究室	1		1		2	白泰山到達補助路見学	日帰り
209	10	5	森林科学専攻演習林教育研究センター			5 (5)		5	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
210	10	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
211	10	8	The University of Oxford Botanic Garden&Harcourt Arboretum	21 (21)				21	The Japan Biodiversity Hotspot	栃本宿舎（自炊泊）
212	10	7	秩父演習林	7	27	12		46	シカ柵試験地における下層植生調査	川俣学生宿舎（自炊泊）
213	10	5	東京大学大学院農学生命科学研究科	5				5	ミズナラ結実動態の遺伝特性と鳥類標識調査	日帰り
214	10	1	埼玉県農林総合研究センター水産研究所	4				4	在来魚の精子を導入したヤマメ放流用種苗の開発	日帰り
215	10	1	東京都生物教育研究会	33				33	秩父演習林を利用した生態分野の研究会	日帰り
216	10	3	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境情報学研究室			3		3	シカによる植生衰退が土壌微生物群集の多様性と機能に及ぼす影響	日帰り
217	10	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科			1		1	炭素蓄積量推定に関する研究・森林景観のモバイル端末体験に関する研究	日帰り
218	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科			1		1	修士論文「関東地方におけるマルグンバイ属の系統関係および基本的生態の解明」	日帰り
219	10	2	早稲田大学人間科学学術院	2	2			4	野生動物の調査（シカの密度推定・リスの採餌戦略）	栃本宿舎（自炊泊）
220	10	3	日本大学生物資源科学部森林資源科学科	1	9			10	東京大学秩父演習林における森林の更新について	日帰り
221	10	3	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	9		6		15	自然環境デザインスタジオ２	川俣学生宿舎（食事あり）
222	10	2	埼玉昆虫談話会				4	4	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築（第3期）	川俣自炊宿舎

2014 年度　全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
223	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林			1		1	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
224	10	1	秩父演習林				17	17	寄付者イベント	日帰り
225	10	1	千葉大学園芸学部緑地環境学科	1	2	1		4	生態系の物質循環特性に基づく緑地の「自然らしさ」の評価手法に関す	日帰り
226	10	1	日本女子大学理学部物質生物科学科			1		1	シダ植物カラクサシダ配偶体の成長動態解析及び微環境の長期モニタリ	日帰り
227	10	1	ポーランド植木協会				36 (35)	36	日本の植物の見学	日帰り
228	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1		1		2	修士論文「関東地方におけるマルグンバイ属の系統関係および基本的生態の解明」	日帰り
229	10	1	秩父演習林				20	20	秋のガイドツアー「演習林の試験地見学」	日帰り
230	10	1	東京大学農学生命科学研究科森林環境科学専修・演習林		1			1	植物の硝酸還元酵素活性の種間・季節間差に関する研究	日帰り
231	11	1	埼玉県農林総合研究センター茶業研究所	5				5	茶の山間冷涼地育種	日帰り
232	11	2	東京大学工学系研究科	8	8	4		20	鉱物資源開発に伴う環境影響の分析および評価	川俣学生宿舎（自炊泊）
233	11	1	University of Sri Jayewardenepura	1 (1)		1 (1)		2	見学	日帰り
234	11	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
235	11	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻経理学	6	15	3		24	人工林調査	川俣学生宿舎（食事あり）
236	11	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	2		2	7	11	サイバーフォレスト・タイムトラベル～現地観察と映像で体感する秩父の森２０年間	日帰り
237	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1			2	3	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
238	11	1	農学生命科学研究科農学国際専攻国際植物材料科学研究室	1		1	1	3	熱処理条件の違いがブナ材の化学構造に及ぼす影響	日帰り
239	11	1	附属演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
240	11	6	東京大学大学院農学生命科学研究科	6				6	ミズナラ結実動態の遺伝特性と鳥類標識調査	日帰り
241	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科			1		1	修士論文「関東地方におけるマルグンバイ属の系統関係および基本的生態の解明」	日帰り
242	11	3	日本大学生物資源科学部森林資源科学科	1	18			19	東京大学秩父演習林における森林の更新について	日帰り
243	11	3	埼玉県立秩父市立影森中学校				12	12	社会体験事業による職場体験（2年生）	日帰り
244	11	7	森林科学専攻演習林教育研究センター			7 (7)		7	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
245	11	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	オゾンデータの回収，ミヤマスカシユリの鉢の回収	日帰り
246	11	1	早稲田大学人間科学学術院	1	1			2	野生動物の調査（シカの密度推定・リスの採餌戦略）	日帰り
247	11	1	伝統工芸木炭生産技術保存会				2	2	伝統工芸，伝統工芸研磨用木炭に使用するホオノキに関する調査	日帰り
248	11	3	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境情報学研究室			3		3	シカによる植生衰退が土壌微生物群集の多様性と機能に及ぼす影響	日帰り
249	11	3	森林科学専攻演習林教育研究センター			6 (3)		6	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
250	11	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				2	2	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
251	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科			1		1	修士論文「関東地方におけるマルグンバイ属の系統関係および基本的生態の解明」	日帰り
252	11	2	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境情報学研究室			2		2	シカによる植生衰退が土壌微生物群集の多様性と機能に及ぼす影響	日帰り
253	11	2	埼玉昆虫談話会				4	4	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築（第3期）	川俣学生宿舎（自炊泊）
254	11	1	秩父演習林				20	20	公開講座「水源の山を訪ねて～森林と水の研究～」	日帰り
255	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
256	12	2	田無演習林	6	34			40	教養学部総合科目「森のエネルギーを使いこなす」	川俣学生宿舎（食事あり）
257	12	14	森林科学専攻演習林教育研究センター			14 (14)		14	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り

2014 年度　全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
258	12	1	千葉大学園芸学部緑地環境学科	1	2	2		5	生態系の物質循環特性に基づく緑地の「自然らしさ」の評価手法に関する研究	日帰り
259	12	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
260	12	3	東京大学大学院農学生命科学研究科	3				3	ミズナラ結実動態の遺伝特性と鳥類標識調査	日帰り
261	12	3	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境情報学研究室			3		3	シカによる植生衰退が土壌微生物群集の多様性と機能に及ぼす影響	日帰り
262	12	3	日本大学生物資源科学部森林資源科学科	3	15			18	自動撮影カメラを用いた東京大学秩父演習林における中大型動物相の調査	栃本宿舎（自炊泊）
263	12	1	秩父演習林				2	2	秩父演習林の材を利用した商品開発の可能性の検討	日帰り
264	12	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			4		4	森林構造が哺乳類の個体数と分布に及ぼす影響	日帰り
265	12	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			3		3	森林構造が哺乳類の個体数と分布に及ぼす影響	日帰り
266	12	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				1	1	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
267	12	1	日本女子大学理学部物質生物科学科			1		1	シダ植物カラクサシダ配偶体の成長動態解析及び微環境の長期モニタリング	日帰り
268	12	2	特定非営利活動法人バードリサーチ	2				2	モニタリングサイト1000　鳥類調査	栃本宿舎（自炊泊）
269	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科			1		1	修士論文「関東地方におけるマルグンバイ属の系統関係および基本的生態の解明」	日帰り
270	12	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	オゾンデータの回収，ミヤマスカシユリの鉢の回収	日帰り
271	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科			1		1	修士論文「関東地方におけるマルグンバイ属の系統関係および基本的生態の解明」	日帰り
272	12	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科			1		1	森林景観のモバイル端末体験に関する研究	日帰り
273	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			1		1	森林構造が哺乳類の個体数と分布に及ぼす影響	日帰り
274	12	3	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境情報学研究室			3		3	シカによる植生衰退が土壌微生物群集の多様性と機能に及ぼす影響	日帰り
275	12	5	森林科学専攻演習林教育研究センター			5 (5)		5	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
276	1	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
277	1	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科			1		1	森林景観のモバイル端末体験に関する研究	日帰り
278	1	2	特定非営利活動法人　バードリサーチ	2				2	モニタリングサイト1000　鳥類調査	栃本宿舎（自炊泊）
279	1	2	特定非営利活動法人バードリサーチ	2				2	モニタリングサイト1000　鳥類調査	日帰り
280	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
281	1	3	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境情報学研究室			3		3	シカによる植生衰退が土壌微生物群集の多様性と機能に及ぼす影響	日帰り
282	1	2	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境情報学研究室			2		2	シカによる植生衰退が土壌微生物群集の多様性と機能に及ぼす影響	日帰り
283	1	1	埼玉県農林総合研究センター茶業研究所	5				5	茶の山間冷涼地育種	日帰り
284	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林			1		1	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
285	2	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
286	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
287	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
288	2	2	秩父演習林		24			24	全学体験ゼミナール「冬の奥秩父を巡る」現地講義	川俣学生宿舎（食事あり）
289	2	1	附属演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
290	2	3	日本大学生物資源科学部森林資源科学科	3	15			18	自動撮影カメラを用いた東京大学秩父演習林における中大型動物相の調査	栃本宿舎（自炊泊）
291	2	3	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境情報学研究室			3		3	シカによる植生衰退が土壌微生物群集の多様性と機能に及ぼす影響	日帰り

2014 年度　全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
292	2	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				2	2	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
293	2	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			2		2	森林構造が哺乳類の個体数と分布に及ぼす影響	日帰り
294	2	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	オゾンデータの回収，ミヤマスカシユリの鉢の回収	日帰り
295	2	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			3		3	森林構造が哺乳類の個体数と分布に及ぼす影響	影森自炊宿舎
296	2	1	森林科学専攻演習林教育研究センター			1 (1)		1	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
297	2	1	埼玉昆虫談話会				2	2	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築（第3期）	日帰り
298	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林			1		1	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
299	2	1	秩父演習林	1				1	土壌細菌相が森林の栄養塩循環に及ぼす影響に関する研究打ち合わせ	日帰り
300	2	1	埼玉県農林総合研究センター水産研究所	2				2	在来魚の精子を導入したヤマメ放流用種苗の開発	日帰り
301	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
302	3	2	秩父演習林		16			16	全学体験ゼミナール「冬の奥秩父を巡る」現地講義	川俣学生宿舎（食事あり）
303	3	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
304	3	1	首都大学東京大学院理工学研究科生命科学専攻			1		1	オオモミジの紅葉についての経過観察	日帰り
305	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			1		1	森林構造が哺乳類の個体数と分布に及ぼす影響	日帰り
306	3	3	秩父演習林	3				3	分子生物学的手法によるニホンジカの食性解析	影森自炊宿舎
307	3	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				1	1	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
308	3	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	1				1	歴史的構造物を維持するための植物性資材確保に関する研究	日帰り
309	3	1	筑波大学精鋭環境系地球環境科学専攻	1				1	乾性沈着物採取フィルターの設置	日帰り
310	3	1	筑波大学生命環境系地球環境科学専攻	1				1	乾性沈着物採取フィルターの設置，ｻﾝﾌﾟﾗｰ回収	日帰り
311	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森林圏生態学研究室			1		1	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
312	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			1 (1)		1	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
313	3	2	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境情報学研究室			2		2	シカによる植生衰退が土壌微生物群集の多様性と機能に及ぼす影響	影森自炊宿舎
314	3	3	東京大学・秩父演習林	3				3	分子生物学的手法によるニホンジカの食性解析	日帰り
315	3	1	日本女子大学理学部物質生物科学科	2				2	環境生物学実験?の夏期実習下見	日帰り
316	3	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	オゾン計の設置，ミヤマスカシユリの確認	日帰り
317	3	1	東京農工大学大学院農学研究院自然環境保全学部門	1	1			2	インターネット森林観察サイトの拡充による自然学習授業案の開発	日帰り
318	3	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	1				1	歴史的構造物を維持するための植物性資材確保に関する研究	日帰り
319	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林			1		1	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
320	3	2	埼玉昆虫談話会				4	4	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築（第3期）	日帰り
321	3	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	1				1	「サイバーフォレストライブモニタリング」のライブ気象観測メンテナンス及び森林景観データの収集	日帰り

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計　2,498
利用件数　321

2014 年度　全利用者（田無演習林）

演習林名:田無演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	西東京市　自然を見つめる会				32	32	西東京市の木　５０選の見学	日帰り
2	4	2	昆虫遺伝学研究室	5	3	8	5	21	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクヌギの育成	日帰り
3	4	1	武蔵野植物同好会				11	11	演習林の樹木観察	日帰り
4	4	2	造林学研究室	2		2		4	コンテナ苗の育苗・植栽方法の検討	日帰り
5	4	2	造林学研究室	2				2	大気の乾燥化が樹木の光合成生産に与える影響	日帰り
6	4	1	「きらっと☆シニア」編集部				8	8	地域情報誌「きらっと☆シニア」の取材のための見学	日帰り
7	4	1	（株）緑生研究所				3	3	希少猛禽類調査	日帰り
8	4	1	新日本開発工業（株）				2	2	環境調査	日帰り
9	4	2	いであ株式会社	1			2	3	猛禽類の繁殖状況確認と希少植物の移植状況確認	日帰り
10	4	5	生物多様性科学研究室				5	5	クリサキテントウおよびナミテントウの生活史形質のダイナミクスに関する研究	日帰り
11	4	2	総合文化研究科伊藤元巳研究室				2	2	共通圃場実験に基づく豪州ヒノキ複合種の形質変異の遺伝的基盤の解析	日帰り
12	4	4	演習林教育研究センター	4				4	分子マーカーを用いたミズナラとカシワの種および雑種識別法の確立	日帰り
13	4	2	東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科	2				2	安全性の高い界面活性剤を用いたスギ花粉形成抑制技術の確立	日帰り
14	4	3	演習林教育研究センター			3 (3)		3	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
15	4	10	演習林教育研究センター			10 (10)		10	分子マーカーを用いたチークの系統地理学的研究	日帰り
16	4	1	生態調和農学機構	1				1	フィールド農学基礎実習	日帰り
17	4	1	自然観察の会・杉並				20	20	自然観察	日帰り
18	4	1	自然観察の会・杉並				80	80	自然観察	日帰り
19	4	1	造林学研究室	1	6			7	森林土壌学実験野外実習	日帰り
20	4	1	筑波大学菅平高原実験センター	1			1	2	モチノキタネオナガコバチ-寄生植物間相互作用の解明	日帰り
21	4	1	森林植物学研究室		1			1	五月祭植木市	日帰り
22	4	1	一般個人見学者				65	65	見学	日帰り
23	4	2	西東京市立西原保育園	6			10	16	見学	日帰り
24	4	1	一般個人見学者				273	273	見学	日帰り
25	4	1	造林学研究室	2	14			16	造林学実験	日帰り
26	4	1	東京都建設局				10	10	都道建設予定地視察	日帰り
27	5	2	昆虫遺伝学研究室	2				2	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクヌギの育成	日帰り
28	5	1	造林学研究室	1		1		2	コンテナ苗の育苗・植栽方法の検討	日帰り
29	5	4	造林学研究室	4		1		5	大気の乾燥化が樹木の光合成生産に与える影響	日帰り
30	5	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類の繁殖状況確認と希少植物の移植状況確認	日帰り
31	5	1	練馬区立関町リサイクルセンター				30	30	区民を対象とした自然観察会の実施	日帰り
32	5	1	狭山市健康づくり推進協議会				40	40	自然観察研修	日帰り
33	5	5	演習林教育研究センター	5				5	分子マーカーを用いたミズナラとカシワの種および雑種識別法の確立	日帰り
34	5	10	演習林教育研究センター			10 (10)		10	分子マーカーを用いたチークの系統地理学的研究	日帰り
35	5	1	生態調和農学機構	1	6			7	緑地環境学実地実習	日帰り
36	5	1	東京農業大学森林経営学研究室	2 (1)	4 (4)			6	Forest and Forestry	日帰り
37	5	2	田無演習林	6	12			18	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成―子どもに伝える自然体験―」	日帰り
38	5	1	多摩六都科学館組合緑地等保全懇談会				10	10	林地視察	日帰り
39	5	2	新日本開発工業（株）				2	2	環境調査	日帰り
40	5	1	けやき歩好会				25	25	見学	日帰り
41	5	1	元気で歩こう会				30	30	樹木、草花の観察ウォーク	日帰り
42	5	1	森林植物学研究室		5			5	五月祭植木市	日帰り
43	5	1	一般個人見学者				97	97	見学	日帰り
44	5	1	西東京市立西原保育園	3			5	8	見学	日帰り
45	5	1	演習林教育研究センター	1				1	体験ゼミ（癒しの森を創る）の講義における樹種説明の材料採取	日帰り
46	5	1	森林動物学研究室	1				1	マツ材線虫病に関わる生物の研究	日帰り

2014 年度　全利用者（田無演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
47	5	1	森林動物学研究室	3	14	3		20	森林動物学実験	日帰り
48	5	2	演習林教育研究センター	1		5		6	枝剪定時の広葉樹の被覆組織の形成と塗布剤の関係	日帰り
49	5	2	東大農場・演習林の存続を願う会				60	60	定例観察会・調査会（植物）	日帰り
50	5	2	東大農場・演習林の存続を願う会				20	20	定例観察会・調査会（動物）	日帰り
51	5	2	演習林教育研究センター	2		2		4	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
52	5	1	森林植物学研究室	1				1	森林植物学実験の試料	日帰り
53	5	1	演習林教育研究センター			1		1	小規模な人為的表面被覆が地表性甲虫の移動に与える影響	日帰り
54	5	4	（株）緑生研究所				12	12	希少猛禽類調査	日帰り
55	5	1	西東京市立けやき保育園	3			37	40	園外保育	日帰り
56	5	1	一般個人見学者				335	335	見学	日帰り
57	5	1	実践学園中学校	6			64	70	中学１年　校外学習	日帰り
58	5	1	NTT東日本				1	1	旧官舎用電話線撤去工事調査	日帰り
59	5	1	東京電力武蔵野支社				1	1	旧官舎用電柱撤去工事調査	日帰り
60	5	3	秩父演習林	12				12	東京大学演習林基盤データ整備・鳥類分野	日帰り
61	6	3	造林学研究室	3		3		6	大気の乾燥化が樹木の光合成生産に与える影響	日帰り
62	6	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類の繁殖状況確認と希少植物の移植状況確認	日帰り
63	6	1	四季の会				16	16	樹木研修のため	日帰り
64	6	1	総合文化研究科伊藤元巳研究室				1	1	共通圃場実験に基づく豪州ヒノキ複合種の形質変異の遺伝的基盤の解析	日帰り
65	6	4	演習林教育研究センター	4				4	分子マーカーを用いたミズナラとカシワの種および雑種識別法の確立	日帰り
66	6	1	生態調和農学機構	1	6			7	緑地環境学実地実習	日帰り
67	6	1	筑波大学菅平高原実験センター	1			1	2	モチノキタネオナガコバチ-寄生植物間相互作用の解明	日帰り
68	6	1	田無演習林	3	6			9	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成―子どもに伝える自然体験―」	日帰り
69	6	1	田無演習林	7	6		68	81	「第24回子ども樹木博士」認定会	日帰り
70	6	1	東村山市富士見町保健推進員会				30	30	樹林散策	日帰り
71	6	1	造林学研究室	2	14			16	造林学実験	日帰り
72	6	1	森林動物学研究室	1				1	マツ材線虫病に関わる生物の研究	日帰り
73	6	3	演習林教育研究センター			3		3	枝剪定時の広葉樹の被覆組織の形成と塗布剤の関係	日帰り
74	6	2	東大農場・演習林の存続を願う会				50	50	定例観察会・調査会（植物）	日帰り
75	6	2	東大農場・演習林の存続を願う会				20	20	定例観察会・調査会（動物）	日帰り
76	6	2	演習林教育研究センター	1		2		3	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
77	6	4	演習林教育研究センター			4		4	小規模な人為的表面被覆が地表性甲虫の移動に与える影響	日帰り
78	6	1	森林理水及び砂防工学研究室			1		1	都市近郊森林における土壌中の窒素ダイナミクスに関する研究	日帰り
79	6	2	新日本開発工業（株）				2	2	環境調査	日帰り
80	6	1	西東京市立小学校教育研究会　生活科・総合の時間研究部	12				12	田無演習林の樹木や自然観察の実地研修	日帰り
81	6	4	（株）緑生研究所				12	12	希少猛禽類調査	日帰り
82	6	1	造林学研究室	1				1	フェノール性物質を介した樹木根の根圏形成機構の解明	日帰り
83	6	1	造林学研究室	1				1	造林学実験	日帰り
84	6	1	森林植物学研究室			1		1	外生菌根菌の伝播・繁殖様式の解明	日帰り
85	6	1	秋田県立大学生物資源科学部生物環境科学科	1	1			2	ヤマノイモのウィルス病の感染拡大パタンの解明	日帰り
86	6	1	田無演習林	10	1	3		14	平成26年度田無演習林利用者交流会	日帰り
87	6	1	東京消防庁西東京消防署西原出張所	9 (1)			4	13	応急処置訓練、止血法と三角巾の使い方　消防立ち入り検査	日帰り
88	6	1	一般個人見学者				9	9	見学	日帰り
89	6	1	一般個人見学者				156	156	見学	日帰り
90	7	1	昆虫遺伝学研究室	1				1	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクヌギの育成	日帰り
91	7	1	造林学研究室	1		2		3	コンテナ苗の育苗・植栽方法の検討	日帰り
92	7	4	造林学研究室	4		4		8	大気の乾燥化が樹木の光合成生産に与える影響	日帰り
93	7	3	演習林教育研究センター	3				3	分子マーカーを用いたミズナラとカシワの種および雑種識別法の確立	日帰り

2014 年度　全利用者（田無演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
94	7	1	東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科	1				1	安全性の高い界面活性剤を用いたスギ花粉形成抑制技術の確立	日帰り
95	7	3	演習林教育研究センター			3 (3)		3	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
96	7	1	筑波大学菅平高原実験センター	1			1	2	モチノキタネオナガコバチ–寄生植物間相互作用の解明	日帰り
97	7	1	造林学研究室	2	14			16	造林学実験	日帰り
98	7	5	演習林教育研究センター			5		5	枝剪定時の広葉樹の被覆組織の形成と塗布剤の関係	日帰り
99	7	2	東大農場・演習林の存続を願う会				50	50	定例観察会・調査会（植物）	日帰り
100	7	2	東大農場・演習林の存続を願う会				20	20	定例観察会・調査会（動物）	日帰り
101	7	3	演習林教育研究センター			3		3	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
102	7	15	演習林教育研究センター			15		15	小規模な人為的表面被覆が地表性甲虫の移動に与える影響	日帰り
103	7	1	森林理水及び砂防工学研究室	1		1		2	都市近郊森林における土壌中の窒素ダイナミクスに関する研究	日帰り
104	7	1	西東京市立小学校教育研究会　理科部	33				33	小学校学習指導のための教材研究	日帰り
105	7	1	東京土建一般労働組合　西東京支部　主婦の会				30	30	小学校学習指導のための教材研究	日帰り
106	7	1	西東京市立けやき保育園	3				3	園外保育	日帰り
107	7	2	（株）緑生研究所				6	6	希少猛禽類調査	日帰り
108	7	1	社会福祉法人清瀬わかば会わあーくわかば				14	14	散策および写真撮影	日帰り
109	7	1	秋田県立大学生物資源科学部生物環境科学科	1	1			2	ヤマノイモのウィルス病の感染拡大パタンの解明	日帰り
110	7	1	東京消防庁西東京消防署西原出張所	9 (1)			4	13	応急処置訓練、止血法と三角巾の使い方　消防立ち入り検査	日帰り
111	7	1	宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター	1				1	樹木の生産するストリゴラクトンの探索	日帰り
112	7	2	田無演習林	2				2	絶滅危惧植物イワウメヅルの挿木繁殖の検討	日帰り
113	7	2	新日本開発工業（株）				2	2	環境調査	日帰り
114	7	1	ゆい保育園	1				1	七夕の竹の分譲	日帰り
115	7	1	いであ株式会社				2	2	猛禽類の繁殖状況確認と希少植物の移植のモニタリング調査	日帰り
116	7	1	特定非営利活動法人かるがも花々会				9	9	午前中の散歩	日帰り
117	7	1	個人				1	1	樹木から発生する音の調査	日帰り
118	7	1	一般個人見学者				175	175	見学	日帰り
119	7	1	東村山市教育研究会理科部理科教育研究会				20	20	理科教育研究	日帰り
120	8	1	昆虫遺伝学研究室	1				1	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクヌギの育成	日帰り
121	8	4	造林学研究室	4		8		12	コンテナ苗の育苗・植栽方法の検討	日帰り
122	8	2	演習林教育研究センター	2				2	分子マーカーを用いたミズナラとカシワの種および雑種識別法の確立	日帰り
123	8	6	演習林教育研究センター			6 (6)		6	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
124	8	1	情報基盤センターネットワーク研究部門	1				1	センサ情報基盤技術に関する研究	日帰り
125	8	1	森林動物学研究室	1				1	マツ材線虫病に関わる生物の研究	日帰り
126	8	1	森林動物学研究室	3	14	3		20	森林動物学実験	日帰り
127	8	4	演習林教育研究センター			4		4	枝剪定時の広葉樹の被覆組織の形成と塗布剤の関係	日帰り
128	8	1	東大農場・演習林の存続を願う会				40	40	定例観察会・調査会（植物）	日帰り
129	8	1	東大農場・演習林の存続を願う会				10	10	定例観察会・調査会（動物）	日帰り
130	8	3	演習林教育研究センター			3		3	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
131	8	6	演習林教育研究センター			6		6	小規模な人為的表面被覆が地表性甲虫の移動に与える影響	日帰り
132	8	1	森林理水及び砂防工学研究室	1		1		2	都市近郊森林における土壌中の窒素ダイナミクスに関する研究	日帰り
133	8	1	都市計画道路田無3・4・7を考える会				30	30	公民館市民企画事業「昆虫と遊ぼう！見よう探そう！むしムシ虫のくに」での現地学習	日帰り
134	8	1	森林植物学研究室	1		1		2	外生菌根菌の伝播・繁殖様式の解明	日帰り
135	8	3	秋田県立大学生物資源科学部生物環境科学科	3	3			6	ヤマノイモのウィルス病の感染拡大パタンの解明	日帰り
136	8	2	特定非営利活動法人かるがも花々会				18	18	午前中の散歩	日帰り
137	8	1	個人				1	1	樹木から発生する音の調査	日帰り

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
138	8	2	（株）緑生研究所				6	6	希少猛禽類調査	日帰り
139	8	2	森林動物学研究室	2				2	教養学部全学一般研究ゼミナール「昆虫と節足動物の生物学」に関連した昆虫の野外実習	日帰り
140	8	1	演習林教育研究センター			1		1	発芽段階におけるマグネシウムストレスに対するシラカンバの反応	日帰り
141	8	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類の繁殖状況確認	日帰り
142	8	2	多摩六都科学館				6	6	小学生を対象とした校外学習（自然観察）プログラム（西東京市立東小学校4年生）	日帰り
143	8	1	一般個人見学者				90	90	見学	日帰り
144	9	6	造林学研究室	6		12		18	コンテナ苗の育苗・植栽方法の検討	日帰り
145	9	1	造林学研究室	1		1		2	大気の乾燥化が樹木の光合成生産に与える影響	日帰り
146	9	2	演習林教育研究センター	2				2	分子マーカーを用いたミズナラとカシワの種および雑種識別法の確立	日帰り
147	9	1	東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科	1				1	安全性の高い界面活性剤を用いたスギ花粉形成抑制技術の確立	日帰り
148	9	10	演習林教育研究センター			10 (10)		10	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
149	9	1	筑波大学菅平高原実験センター	1			1	2	モチノキタネオナガコバチ-寄生植物間相互作用の解明	日帰り
150	9	2	演習林教育研究センター			2		2	枝剪定時の広葉樹の被覆組織の形成と塗布剤の関係	日帰り
151	9	2	東大農場・演習林の存続を願う会				50	50	定例観察会・調査会（植物）	日帰り
152	9	2	演習林教育研究センター			2		2	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
153	9	3	演習林教育研究センター			3		3	小規模な人為的表面被覆が地表性甲虫の移動に与える影響	日帰り
154	9	2	西東京市立けやき保育園	6			2	8	園外保育	日帰り
155	9	2	森林植物学研究室	2		2		4	外生菌根菌の伝播・繁殖様式の解明	日帰り
156	9	1	秋田県立大学生物資源科学部生物環境科学科	1	1			2	ヤマノイモのウィルス病の感染拡大パタンの解明	日帰り
157	9	1	新領域創成科学研究科奈良研究室				1	1	希少草本植物キンラン属の生育環境条件の解明	日帰り
158	9	3	個人				3	3	樹木から発生する音の調査	日帰り
159	9	13	演習林教育研究センター			13		13	発芽段階におけるマグネシウムストレスに対するシラカンバの反応	日帰り
160	9	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類の繁殖状況確認 ノジトラノオの調査	日帰り
161	9	1	多摩六都科学館				75	75	小学生を対象とした校外学習（自然観察）プログラム（西東京市立東小学校4年生）	日帰り
162	9	1	東久留米市立西中学校				4	4	職場体験	日帰り
163	9	1	生態調和農学機構	2				2	クモ類の調査・採集	日帰り
164	9	1	個人				1	1	昆虫採集調査	日帰り
165	9	1	一般個人見学者				115	115	見学	日帰り
166	9	1	東京大学環境安全室	11				11	附属施設安全の手引き説明会	日帰り
167	10	1	昆虫遺伝学研究室	1				1	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクヌギの育成	日帰り
168	10	3	造林学研究室	3		6		9	コンテナ苗の育苗・植栽方法の検討	日帰り
169	10	4	造林学研究室	4		8		12	大気の乾燥化が樹木の光合成生産に与える影響	日帰り
170	10	2	演習林教育研究センター	2				2	分子マーカーを用いたミズナラとカシワの種および雑種識別法の確立	日帰り
171	10	1	東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科	1				1	安全性の高い界面活性剤を用いたスギ花粉形成抑制技術の確立	日帰り
172	10	4	演習林教育研究センター			4 (4)		4	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
173	10	1	情報基盤センターネットワーク研究部門	1		1		2	センサ情報基盤技術に関する研究	日帰り
174	10	1	森林動物学研究室	1				1	マツ材線虫病に関わる生物の研究	日帰り
175	10	3	演習林教育研究センター			3		3	枝剪定時の広葉樹の被覆組織の形成と塗布剤の関係	日帰り
176	10	2	東大農場・演習林の存続を願う会				50	50	定例観察会・調査会（植物）	日帰り
177	10	5	演習林教育研究センター			5		5	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
178	10	2	田無演習林	2				2	造成草地における土壌微生物群集の調査	日帰り
179	10	2	演習林教育研究センター			2		2	小規模な人為的表面被覆が地表性甲虫の移動に与える影響	日帰り
180	10	4	西東京市立田無第二中学校				17	17	職場体験学習	日帰り
181	10	5	西東京市立ひばりが丘中学校				25	25	職場体験実習活動	日帰り
182	10	1	森林植物学研究室	1		1		2	外生菌根菌の伝播・繁殖様式の解明	日帰り

2014 年度　全利用者（田無演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
183	10	1	秋田県立大学生物資源科学部生物環境科学科	1	1			2	ヤマノイモのウィルス病の感染拡大パタンの解明	日帰り
184	10	2	個人				2	2	樹木から発生する音の調査	日帰り
185	10	4	東久留米市立西中学校				16	16	職場体験	日帰り
186	10	1	西東京市立保谷小学校	8			148	156	1、2年生生活科、異学年で自然を感じ楽しく交流する。	日帰り
187	10	1	自由学園初等部1年生	1				1	生活科の授業として（東大演習林の木や草と仲良くなり秋の一日を満喫する	日帰り
188	10	1	農地環境工学研究室	1		1		2	農地・林地の根圏下への窒素流出フラックスの測定	日帰り
189	10	1	田無演習林	5		1		6	森林圏生態社会学演習	日帰り
190	10	1	国際植物材料科学研究室			3		3	竹の物理的利用方法の解明	日帰り
191	10	1	演習林教育研究センター	3 (2)				3 (2)	Balangoda Singhakumara先生による田無演習林の見学	日帰り
192	10	1	草遊会				19	19	自然観察	日帰り
193	10	1	田無演習林	1			2	3	見学	日帰り
194	10	1	個人				1	1	マツボックリの分譲（孫の学習用）	日帰り
195	10	2	ガールズ				2	2	散策	日帰り
196	10	1	西東京市立田無保育園	3			22	25	徒歩遠足、散策など	日帰り
197	10	1	いであ株式会社				1	1	希少植物の移植状況確認	日帰り
198	10	1	田無演習林	8	4		57	69	「第25回子ども樹木博士」認定会	日帰り
199	10	1	一般個人見学者				6	6	見学	日帰り
200	10	1	一般個人見学者				107	107	見学	日帰り
201	10	1	田無演習林	4				4	研究科技術職員機械ワーキンググループ講習会下見	日帰り
202	10	1	田無演習林	15			4	19	丸のこ講習	日帰り
203	11	1	造林学研究室	1		2		3	コンテナ苗の育苗・植栽方法の検討	日帰り
204	11	1	造林学研究室	1		2		3	大気の乾燥化が樹木の光合成生産に与える影響	日帰り
205	11	1	総合文化研究科伊藤元巳研究室				1	1	共通圃場実験に基づく豪州ヒノキ複合種の形質変異の遺伝的基盤の解析	日帰り
206	11	2	演習林教育研究センター	2				2	分子マーカーを用いたミズナラとカシワの種および雑種識別法の確立	日帰り
207	11	1	東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科	1				1	安全性の高い界面活性剤を用いたスギ花粉形成抑制技術の確立	日帰り
208	11	3	演習林教育研究センター			3		3	枝剪定時の広葉樹の被覆組織の形成と塗布剤の関係	日帰り
209	11	2	東大農場・演習林の存続を願う会				50	50	定例観察会・調査会（植物）	日帰り
210	11	2	東大農場・演習林の存続を願う会				20	20	定例観察会・調査会（動物）	日帰り
211	11	2	田無演習林	3			5	8	造成草地における土壌微生物群集の調査	日帰り
212	11	2	田無演習林	2				2	スエヒロタケのポプラ樹に対する病原性の検討	日帰り
213	11	1	森林理水及び砂防工学研究室			1		1	都市近郊森林における土壌中の窒素ダイナミクスに関する研究	日帰り
214	11	1	西東京市立田無第二中学校				2	2	職場体験学習	日帰り
215	11	1	個人				1	1	樹木から発生する音の調査	日帰り
216	11	1	自由学園初等部1年生	1			35	36	生活科の授業として（東大演習林の木や草と仲良くなり秋の一日を満喫	日帰り
217	11	2	農地環境工学研究室	2		2		4	農地・林地の根圏下への窒素流出フラックスの測定	日帰り
218	11	2	谷戸のびのび保育園３歳児クラス	6			40	46	遠足	日帰り
219	11	1	自由学園　最高学部（大学部）2年	1	7			8	カリキュラム上の学園特別実習　自然誌・環境グループの実習の一環 秋季の雑木林の樹木と林床の植物の様相についての観察を中心に学ぶ	日帰り
220	11	1	社会福祉法人清瀬わかば会わあーく！わかば				14	14	散策、写真撮影	日帰り
221	11	1	(株)東芝　研究開発センター　ネットワークシステムラボラトリー				6	6	森林環境における無線伝搬距離の測定	日帰り
222	11	1	ビーフェア田無保育園	5			13	18	散策	日帰り
223	11	1	新座の自然とくらしを守る市民の会				9	9	散策、写真撮影	日帰り
224	11	1	西武学園文理小学校2年生	9			55	64	秋季校外学習	日帰り
225	11	1	西東京市立田無小学校わかば学級	14			54	68	散策、秋を楽しむ	日帰り
226	11	1	西東京市立谷戸第二小学校	3			95	98	総合的な学習の時間	日帰り
227	11	1	日本大学芸術学部		1			1	課題（ドキュメンタリー）の撮影	日帰り
228	11	4	多摩六都科学館	3			75	78	小学生を対象とした校外学習（自然観察）プログラムとして	日帰り
229	11	1	田無演習林	48			15	63	リース・クラフト作り体験会	日帰り
230	11	1	一般個人見学者				134	134	見学	日帰り
231	11	1	一般個人見学者				125	125	見学	日帰り

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
232	11	2	(株)自由が丘フラワーズ				2	2	針葉樹の枝物の採集	日帰り
233	11	2	田無演習林（農学生命科学研究科技術部機械グループ）	20				20	小規模施設の機会総点検、アフターケア（点検、修理）	日帰り
234	12	1	昆虫遺伝学研究室	1				1	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクヌギの育成	日帰り
235	12	1	造林学研究室	1		2		3	大気の乾燥化が樹木の光合成生産に与える影響	日帰り
236	12	2	演習林教育研究センター	2				2	分子マーカーを用いたミズナラとカシワの種および雑種識別法の確立	日帰り
237	12	2	演習林教育研究センター			2 (2)		2	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
238	12	1	演習林教育研究センター			1		1	枝剪定時の広葉樹の被覆組織の形成と塗布剤の関係	日帰り
239	12	2	東大農場・演習林の存続を願う会				50	50	定例観察会・調査会（植物）	日帰り
240	12	2	東大農場・演習林の存続を願う会				20	20	定例観察会・調査会（動物）	日帰り
241	12	2	個人				2	2	樹木から発生する音の調査	日帰り
242	12	2	西東京市立田無保育園	6			44	50	徒歩遠足、散策など	日帰り
243	12	10	田無演習林	110	9	29 (6)	1	149	平成26年度田無演習林毎木調査	日帰り
244	12	2	大気汚染測定運動西東京連絡会				2	2	二酸化窒素測定	日帰り
245	12	2	生態調和農学機構	4				4	緑地環境学実地実習のための試料提供	日帰り
246	12	2	多摩六都科学館				103	103	小学生を対象とした校外学習（自然観察）プログラムとして	日帰り
247	12	1	一般個人見学者				86	86	見学	日帰り
248	12	1	日本国際協力センター	1			27 (26)	28	青海省訪日研修団の田無演習林の見学および解説、管理方法についての説明	日帰り
249	12	2	個人				5	5	里親希望木シリブカガシの観察	日帰り
250	12	1	株式会社交通新聞社				2	2	「散歩の達人」2月号の取材	日帰り
251	12	1	田無演習林	20				20	全国植物園協会園長会議	日帰り
252	1	1	造林学研究室	1		2		3	コンテナ苗の育苗・植栽方法の検討	日帰り
253	1	1	造林学研究室	1		1		2	大気の乾燥化が樹木の光合成生産に与える影響	日帰り
254	1	2	生態調和農学機構	4	33			37	フィールド農学基礎実習	日帰り
255	1	1	東大農場・演習林の存続を願う会				40	40	定例観察会・調査会（植物）	日帰り
256	1	1	東大農場・演習林の存続を願う会				8	8	定例観察会・調査会（動物）	日帰り
257	1	1	演習林教育研究センター			1		1	小規模な人為的表面被覆が地表性甲虫の移動に与える影響	日帰り
258	1	1	個人				1	1	樹木から発生する音の調査	日帰り
259	1	2	農地環境工学研究室	1		2		3	農地・林地の根圏下への窒素流出フラックスの測定	日帰り
260	1	3	田無演習林	19				19	平成26年度田無演習林毎木調査	日帰り
261	1	1	田無演習林（農学生命科学研究科技術部機械グループ）	4				4	小規模施設の機会総点検、アフターケア（点検、修理）	日帰り
262	1	1	都市計画道路田無3・4・7を考える会				20	20	公民館市民企画事業（市民対象の見学会）	日帰り
263	1	1	製紙科学研究室	1				1	樹木における二酸化炭素同化産物の輸送と材形成に関する研究	日帰り
264	1	1	有限会社ヒューマン福祉サービス児童ディサービス月のうさぎ				2	2	児童ディサービスの子どもたちの見学の下見	日帰り
265	1	1	一般社団法人養蜂文化情報ネットワーク				1	1	伐採木の視察	日帰り
266	1	1	生態調和農学機構	11				11	田無演習林14林班再整備計画案説明・検討	日帰り
267	1	1	アジア生物資源環境研究センター	1 (1)		1		2	大学院生の講義	日帰り
268	1	3	千葉演習林	27				27	基盤データＧＩＳ部門によるＧＩＳ指導整備研修	日帰り
269	1	1	一般個人見学者				60	60	見学	日帰り
270	2	1	造林学研究室	1		1		2	コンテナ苗の育苗・植栽方法の検討	日帰り
271	2	2	演習林教育研究センター	2				2	分子マーカーを用いたミズナラとカシワの種および雑種識別法の確立	日帰り
272	2	1	演習林教育研究センター	1		1 (1)		2	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
273	2	1	森林動物学研究室	1				1	マツ材線虫病に関わる生物の研究	日帰り
274	2	2	東大農場・演習林の存続を願う会				40	40	定例観察会・調査会（植物）	日帰り
275	2	1	東大農場・演習林の存続を願う会				10	10	定例観察会・調査会（動物）	日帰り

2014 年度　全利用者（田無演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
276	2	1	演習林教育研究センター			1		1	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
277	2	1	個人				1	1	樹木から発生する音の調査	日帰り
278	2	2	農地環境工学研究室			4		4	農地・林地の根圏下への窒素流出フラックスの測定	日帰り
279	2	1	一般社団法人養蜂文化情報ネットワーク				1	1	伐採木の視察	日帰り
280	2	1	グランジオ武蔵野　グランジオクラブ				1	1	グランジオクラブ　地域の自然とふれあい　親睦を深める	日帰り
281	2	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類の繁殖状況確認	日帰り
282	2	1	一般個人見学者				106	106	見学	日帰り
283	2	3	株式会社アズリサーチランド	6			6	12	都計道予定地地質調査（ボーリング調査）	日帰り
284	2	1	株式会社環境プロデュース（東京都環境局カラス調査委託会社）				1	1	カラス数調査	日帰り
285	3	1	造林学研究室	1				1	コンテナ苗の育苗・植栽方法の検討	日帰り
286	3	2	演習林教育研究センター	2				2	分子マーカーを用いたミズナラとカシワの種および雑種識別法の確立	日帰り
287	3	1	演習林教育研究センター			1 (1)		1	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
288	3	1	演習林教育研究センター			1		1	枝剪定時の広葉樹の被覆組織の形成と塗布剤の関係	日帰り
289	3	2	東大農場・演習林の存続を願う会	1			30	31	定例観察会・調査会（植物）	日帰り
290	3	1	東大農場・演習林の存続を願う会				10	10	定例観察会・調査会（動物）	日帰り
291	3	1	森林植物学研究室	1				1	外生菌根菌の伝播・繁殖様式の解明	日帰り
292	3	2	個人				2	2	樹木から発生する音の調査	日帰り
293	3	1	農地環境工学研究室			1		1	農地・林地の根圏下への窒素流出フラックスの測定	日帰り
294	3	1	生態調和農学機構	7				7	田無演習林14林班再整備計画案説明・検討	日帰り
295	3	1	グランジオ武蔵野　グランジオクラブ				1	1	グランジオクラブ　地域の自然とふれあい　親睦を深める	日帰り
296	3	1	東大農場・演習林の存続を願う会				10	10	平成15年度のキャンパス整備計画の演習林の見通しについて、安村先生から、お話を伺う	日帰り
297	3	1	株式会社緑生研究所				2	2	希少猛禽類調査	日帰り
298	3	1	株式会社アズリサーチランド（東京都建設局都計道地質調査委託会社）				2	2	都計道予定地地質調査（ボーリング調査）	日帰り
299	3	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類の繁殖状況確認	日帰り
300	3	1	一般個人見学者				172	172	見学	日帰り
301	3	1	生態調和農学機構	1				1	分析技術グループ研修土壌サンプル採集	日帰り

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計 5,467
利用件数　301

演習林名:生態水文学研究所

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	一般				4	4	アカヤシオ・イヌブナの現状確認	日帰り1
2	4	2	犬山研究林利用者協議会				13	13	定例自主活動（自然観察ほか）	日帰り1
3	4	2	犬山研究林利用者集会				14	14	利用者集会とアースウォッチ・ジャパン合同メンバーによるカンアオイとギフチョウ生態観察活動	日帰り1
4	4	1	愛知教育大学　教育学研究科理科教育専攻理科内容学領域			1		1	設置器具等の回収、後片付け	日帰り1
5	4	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会　定例会	日帰り1
6	4	1	生態水文学研究所	1			14	15	植樹祭に参加	日帰り1
7	4	1	シデコブシの会				29	29	シデコブシの会　GPS・コンパス講習会と総会	日帰り1
8	4	1	犬山研究林利用者協議会				4	4	ギフチョウとヒメカンアオイ生態調査活動	日帰り1
9	5	1	名城大学　農学部　生物環境科学科　環境動物学研究室	1	1			2	ナラ枯れが鳥類の営巣に及ぼす影響調査	日帰り1
10	5	1	生活協同組合　コープあいち				5	5	「森づくりの会」　森の観察会と植生調査	日帰り1
11	5	4	名城大学　農学部　生物環境科学科　環境動物学研究室			4		4	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
12	5	4	犬山研究林利用者協議会				14	14	ギフチョウとヒメカンアオイ生態調査活動	日帰り1
13	5	10	東京大学　農学生命科学研究科付属演習林	3		10 (10)		13	博士論文相談、調査地見学、樹液流センサー作成、利用者研究集会参加	赤津宿泊施設2
14	5	2	生態水文学研究所	12	7	7 (1)	2	28	「H26年度利用者研究集会・尾張東部丘陵自然環境研究者の会」参加	日帰り1
15	5	1	シデコブシの会				6	6	愛知中部水道企業団　イベント下見と打合せ	日帰り1
16	5	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	赤津研究林見学、　シデコブシの会と親睦会	日帰り1
17	5	1	シデコブシの会				9	9	犬山研究林利用者協議会　見学コース案内と親睦会	日帰り1
18	5	1	名古屋大学　生命農学研究科　森林保護学研究分野	1	1			2	ナラ枯れ木に発生する菌類とそれを利用する昆虫類の視察	日帰り1
19	5	2	南山大学総合政策学部	6	24 (10)			30	総合政策学部学外体験プログラムA	赤津宿泊施設2
20	5	1	犬山研究林利用者協議会				13	13	「犬山の森」　春のふれあい自然観察会　参加者対応	日帰り1
21	5	1	犬山市生活環境部公園緑地課				13	13	「犬山の森」　春のふれあい自然観察会	日帰り1
22	5	2	名城大学　農学部　生物環境科学科　環境動物学研究室			2		2	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
23	5	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会　定例会	日帰り1
24	6	1	名城大学　農学部　生物環境科学科　環境動物学研究室			1		1	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	日帰り1
25	6	3	東京大学　農学生命科学研究科　森林科学専攻・森林理水および砂防工学研究室	3	27			30	森林保全学実習	赤津宿泊施設2
26	6	2	東京大学　農学生命科学研究科　生態水文学研究所	2				2	研究データ等の整理と管理	日帰り1
27	6	3	東京大学教養学部	3	60			63	２０１４年度「ダムと森林」フィールドワーク	赤津宿泊施設2
28	6	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会　定例会	日帰り1
29	6	1	清水浩徳				3	3	見学の下見	日帰り1
30	6	1	名古屋大学　生命農学研究科・森林保護学研究分野	1	1	1		3	ナラ枯れ木に発生する菌類とそれを利用する昆虫類の生態調査	日帰り1
31	6	1	犬山研究林利用者協議会				4	4	田口大洞池植生調査	日帰り1
32	6	6	東京大学　農学生命科学研究科付属演習林	2		6 (6)		8	博士論文相談、調査地見学、樹液流センサー作成、	外部宿泊施設4
33	6	1	犬山研究林利用者協議会	8			3	11	演習林交換会　見学者案内	日帰り1
34	6	1	シデコブシの会				9	9	とよた森林学校「森林セミナー」イベント補助	日帰り1
35	6	1	豊田森林組合　総務課　とよた森林学校事務局				39 (1)	39	とよた森林学校「森林セミナー」	日帰り1
36	6	1	名古屋大学生命農学研究科・森林保護学研究分野	1	1			2	ナラ枯れ木に発生する菌類とそれを利用する昆虫類の生態調査	日帰り1
37	6	3	東京大学　農学生命科学研究科　生態水文学研究所	3				3	データ入力・印刷ほか	日帰り1
38	6	3	名城大学　農学部　生物環境科学科　環境動物学研究室			~~3~~		3	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
39	6	1	日本陸水学会東海支部会	3	1		4	8	森林水文学の研究内容と知見の講義	日帰り1
40	6	1	シデコブシの会				17	17	シデコブシの会　赤津植物観察	日帰り1

2014 年度　全利用者（生態水文学研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
41	6	1	犬山研究林利用者協議会				8	8	自主研修活動（固定試験地で毎木調査の勉強会）	日帰り1
42	7	1	東京大学　農学生命科学研究科　生態水文学研究所	1				1	データ入力・印刷　ほか	日帰り1
43	7	4	名古屋大学　生命農学研究科　森林保護学研究分野	3	4	3		10	ナラ枯れ木に発生する菌類とそれを利用する昆虫類の生態調査	日帰り1
44	7	3	名城大学　農学研究科　環境動物学研究室			3		3	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
45	7	24	東京大学　農学生命科学研究科付属演習林			24 (24)		24	博士論文の相談・調査地見学・樹液流センサー作成	赤津宿泊施設2
46	7	1	豊田市産業部森林課				14	14	犬山試験流域の視察	日帰り1
47	7	1	フォーラム東名21				29	29	瀬戸設楽線清掃活動	日帰り1
48	7	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会　定例会	日帰り1
49	7	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	定例自主研修活動（E,F,Gルート歩道調査と整備）	日帰り1
50	7	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会　勉強会（見学コースを歩く）	日帰り1
51	7	1	シデコブシの会				4	4	地域環境活性化協議会　イベント下見と打合せ	日帰り1
52	7	1	犬山研究林利用者協議会				4	4	定例自主活動（ふれあいコース歩道整備・９林班食餌植物見本園見学）	日帰り1
53	7	1	東京大学　生産技術研究所	1				1	観測サイトの視察	日帰り1
54	7	1	矢作川水系森林ボランティア協議会				2	2	中高生向け森の健康診断用フィールドの確認と下見	日帰り1
55	7	2	東京大学　農学生命科学研究科　生態水文学研究所	2				2	論文執筆のため	日帰り1
56	8	4	名城大学　農学研究科　環境動物学研究室			4		4	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
57	8	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会　定例会	日帰り1
58	8	1	愛知淑徳中学校・高等学校	7			79	86	愛知淑徳中学校・高等学校　夏季理科研修	日帰り1
59	8	1	名古屋大学地球水循環研究センター	5 (1)				5	生態水文学研究所内の気象・量水観測及び治山試験地の見学	日帰り1
60	8	2	名古屋大学　生命農学研究科　森林保護学研究分野		2	1		3	ナラ枯れ木に発生する菌類とそれを利用する昆虫類の生態調査	日帰り1
61	8	3	武蔵中学・高等学校	3	9		14	26	武蔵中学・高等学校　地学部実習	赤津宿泊施設2
62	8	3	生態水文学研究所	3				3	データ入力・印刷・その他	日帰り1
63	8	1	シデコブシの会				2	2	愛知中部水道企業団　イベント打合せ	日帰り1
64	8	1	シデコブシの会				7	7	愛知中部水道企業団「水」をテーマにした親子体験教室 イベント対応	日帰り1
65	8	1	愛知中部水道企業団				49	49	「水」をテーマにした親子体験教室	日帰り1
66	8	1	東京大学　工学系研究科社会基盤学専攻交通・都市・国土学研究室	1				1	３次元雨量計による降雨観測	日帰り1
67	8	5	東京大学　農学生命科学研究科付属演習林			5 (5)		5	博士論文の相談	赤津宿泊施設2
68	8	4	生態水文学研究所	4				4	論文執筆のため	日帰り1
69	8	1	犬山研究林利用者協議会				3	3	定例自主活動「自然観察・歩道整備・リーフレット編集会議」	日帰り1
70	8	1	地域環境活性化協議会				15	15	「自然との体験学習」	日帰り1
71	8	1	シデコブシの会				4	4	地域環境活性化協議会　イベント対応	日帰り1
72	8	5	東京大学　農学生命科学研究科　森林科学専攻・森林理水及び砂防工学研究室	5	23	5		33	測量学実習	赤津宿泊施設2
73	8	1	（株）三井住友銀行　法人戦略部				4	4	見学の下見・打ち合わせ	日帰り1
74	9	4	名城大学　農学部　生物環境科学科　環境動物学研究室			4		4	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
75	9	3	東京大学　農学生命科学研究科　秩父演習林	3				3	基盤データ脊椎動物分野　コウモリ相調査	赤津宿泊施設2
76	9	2	猿投の森づくりの会				11	11	プロット調査及び除伐	日帰り1
77	9	5	東京大学　農学生命科学研究科　生態水文学研究所	5				5	論文執筆のため	日帰り1
78	9	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会　定例会	日帰り1
79	9	2	名古屋大学　生命農学研究科　森林保護学研究分野		2	2		4	ナラ枯れ木に発生する菌類とそれを利用する昆虫類の生態調査	日帰り1
80	9	1	東京大学　工学系研究科社会基盤学専攻交通・都市・国土学研究室	1			2	3	３次元雨量計による降雨観測	日帰り1
81	9	1	シデコブシの会				7	7	あいち海上の森大学講座　対応	日帰り1
82	9	1	あいち海上の森センター	4			28	32	あいち海上の森大学講座「森林環境（森林の機能と水循環）、演習林見学」	日帰り1
83	9	2	犬山研究林利用者協議会				13	13	定例自主活動（歩道整備と自然観察）	日帰り1

2014 年度　全利用者（生態水文学研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
84	9	1	東京大学　農学部　環境資源科学課程　森林経理学研究室		1			1	水文学の勉強	日帰り1
85	9	2	瀬戸市役所　環境課	8			24	32	「せと環境塾2014」講座実施のため	日帰り1
86	9	1	奈良女子大学　文学部　人文社会学科地域環境学コース		1			1	瀬戸市における江戸期以降の土地利用の変遷	日帰り1
87	9	1	一般				8	8	東京大学林学科卒業50周年記念旅行	日帰り1
88	9	1	名城大学　農学部　生物環境科学科　環境動物学研究室			1		1	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
89	10	1	名城大学　農学部　生物環境科学科　環境動物学研究室			1		1	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	日帰り1
90	10	4	生態水文学研究所	4				4	論文執筆のため	日帰り1
91	10	2	猿投の森づくりの会				10	10	除間伐	日帰り1
92	10	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会　定例会	日帰り1
93	10	2	名古屋大学　生命農学研究科　森林保護学研究分野		2	2		4	ナラ枯れ木に発生する菌類とそれを利用する昆虫類の生態調査	日帰り1
94	10	2	犬山研究林利用者協議会				11	11	定例自主活動（歩道整備と自然観察）	日帰り1
95	10	2	富山大学経済学部経営法学科	2				2	森の健康診断報告会と科研研究会に出席のため	赤津宿泊施設2
96	10	2	付属演習林　富士癒しの森研究所	2				2	森林の所有と管理に関する研究会出席のため	赤津宿泊施設2
97	10	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	犬山市立南部中学校　総合学習の対応	日帰り1
98	10	1	犬山市立南部中学校				4	4	総合学習	日帰り1
99	11	1	演習林　生態水文学研究所	1				1	データ入力・印刷ほか	日帰り1
100	11	2	名古屋大学　生命農学研究科　森林保護学研究分野		2	2		4	ナラ枯れ木に発生する菌類とそれを利用する昆虫類の生態調査	日帰り1
101	11	1	独立行政法人　森林総合研究所関西支社	1				1	山地森林の流域および斜面水文観測・解析技術に関する討議	日帰り1
102	11	3	瀬戸市立光陵中学校				3	3	職場体験	日帰り1
103	11	4	名城大学　農学部　生物環境科学科　環境動物学研究室			4		4	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
104	11	1	シデコブシの会				4	4	日本山岳会東海支部「第18回森の勉強会」	日帰り1
105	11	1	公益利用法人　日本山岳会東海支部自然保護委員会				31	31	見学・観察会	日帰り1
106	11	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会　定例会	日帰り1
107	11	1	（株）三井住友銀行　法人戦力部				26	26	見学	日帰り1
108	11	1	犬山研究林利用者協議会				8	8	秋のふれあい自然観察会事前準備	日帰り1
109	11	1	犬山研究林利用者協議会				8	8	秋のふれあい自然観察会	日帰り1
110	11	1	犬山市生活環境部公園緑地課	2			17	19	秋のふれあい自然観察会	日帰り1
111	11	1	猿投の森づくりの会				6	6	間伐	日帰り1
112	11	1	尾張県民事務所環境保全課環境保全第二グループ				2	2	平成27年度地下水質調査のための井戸の確認	日帰り1
113	11	1	演習林　生態水文学研究所	6			8	14	ワークショップ「東海地方の湧水湿地の保全ー愛知県瀬戸市の穴の宮湿地に着目してー」	日帰り1
114	11	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	「木曽川流域木と水の循環システム協議会体感ツアー」対応	日帰り1
115	11	1	木曽川流域木と水の循環システム協議会				33	33	研修会「木曽川流域体感ツアー」	日帰り1
116	11	1	名古屋大学　生命農学研究科	1	34	2		37	生物環境科学基礎実験実習	日帰り1
117	11	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	「犬山市民総合大学環境部」　講座支援活動	日帰り1
118	11	1	犬山市生活環境部公園緑地課	5			33	38	「犬山市民総合大学環境部」第3回現地見学	日帰り1
119	11	1	筑波大学　生命環境科学研究科環境科学専攻	1			1	2	諸戸北郎博士功績研究	日帰り1
120	12	1	名古屋大学地球水循環センター	3		2 (2)	11 (11)	16	第２４回IHPトレーニングコース	日帰り1
121	12	1	シデコブシの会				17	17	シデコブシの会　標石を探そうツアー	日帰り1
122	12	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会　定例会	日帰り1
123	12	1	名古屋大学大学院　名古屋大学　生命農学研究科　森林保護学研究分野	0	1	1		2	ナラ枯れ木に発生する菌類とそれを利用する昆虫類の生態調査	日帰り1
124	12	1	犬山研究林利用者協議会				10	10	定例自主活動（歩道整備と自然観察）	日帰り1
125	12	1	東京大学　生態水文学研究所	1			9	10	「海岸林のクロマツを間伐しよう」イベント開催	日帰り1

2014 年度　全利用者（生態水文学研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
126	12	3	東京大学　農学生命科学研究科付属演習林			3 (3)		3	博士論文のデータ収集、樹液流センサー作成	赤津宿泊施設2
127	1	31	付属演習林生態水文学研究所（PD）	31				31	生態水文学研究所における研究に従事するため	日帰り1
128	1	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会　定例会	日帰り1
129	1	2	犬山研究林利用者協議会				12	12	定例自主活動（ふれあいゾーン歩道整備と自然観察）	日帰り1
130	1	1	シデコブシの会				12	12	赤津研究林見学コース整備	日帰り1
131	1	1	猿投の森づくりの会				4	4	間伐	日帰り1
132	1	1	名古屋大学　生命農学研究科　森林保護学研究分野		1	1		2	ナラ枯れ木に発生する菌類とそれを利用する昆虫類の生態調査	日帰り1
133	1	2	付属演習林秩父演習林	2				2	基盤データ整備委員会GIS部門　職員短期派遣	五位塚宿泊施設3
134	1	1	付属演習林　生態水文学研究所	1				1	データ入力・印刷ほか	日帰り1
135	2	28	付属演習林生態水文学研究所（PD）	28				28	生態水文学研究所における研究に従事するため	日帰り1
136	2	6	付属演習林　生態水文学研究所	6				6	データ入力・印刷　その他	日帰り1
137	2	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会　定例会	日帰り1
138	2	1	株式会社　MTS雪氷研究所				1	1	3次元雨量計の通信装置設置・設定	日帰り1
139	2	2	犬山研究林利用者協議会				10	10	定例自主活動（ふれあいゾーン歩道整備と自然観察）	日帰り1
140	2	1	名古屋大学　生命農学研究科　森林保護学研究分野		1	1		2	ナラ枯れ木に発生する菌類とそれを利用する昆虫類の生態調査	日帰り1
141	2	2	東京大学教養学部	3	35			38	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	赤津宿泊施設2
142	3	1	東京大学教養学部	2	20			22	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	日帰り1
143	3	31	附属演習林生態水文学研究所	31				31	生態水文学研究所における研究に従事するため	日帰り1
144	3	1	猿投の森づくりの会				23	23	間伐及び作業見学	日帰り1
145	3	1	猿投の森づくりの会				6	6	間伐	日帰り1
146	3	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会　定例会	日帰り1
147	3	1	附属演習林生態水文学研究所				9	9	「大学の演習林で88年間育てられた木を使った家づくり」の説明会・現地見学会	日帰り1
148	3	1	金城学院大学薬学部薬学科	1				1	H27年度の採水計画立案のための視察	日帰り1
149	3	2	犬山研究林利用者協議会				7	7	定例自主活動（ふれあいゾーン歩道整備と自然観察）	日帰り1
150	3	1	犬山研究林利用者協議会				9	9	犬山研究林シデコブシ見学会	日帰り1
151	3	2	株式会社フィールドプロ				4	4	水位計設置に関する打合せ	赤津宿泊施設2
152	3	1	名古屋大学　生命農学研究科　森林保護学研究分野		1	1		2	ナラ枯れ木に発生する菌類とそれを利用する昆虫類の生態調査	日帰り1

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計　1,642
利用件数　152

演習林名:富士癒しの森研究所

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	東大馬術部OB				2	2	馬場、馬房見学	日帰り
2	4	1	(独)物質・材料研究機構 材料信頼性評価ユニット 腐食研究所	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
3	4	1	NPO法人アースバウンダー				2	2	東京農大三高付属中学校の環境教育(4/11)プログラム実施の下見のため	日帰り
4	4	1	NPO法人アースバウンダー				1	1	東京農大三高付属中学校の環境教育(4/11)プログラム実施の下見のため	日帰り
5	4	1	NPO法人アースバウンダー	8			56	64	東京農大三高付属中学校の環境教育プログラム実施のため	日帰り
6	4	1	渋谷区教育委員会				24	24	渋谷区立小学校教職員が移動教室の実地踏査を行うため	日帰り
7	4	1	東邦大学理学部生物学科	1		1		2	シラビソの水分収支・光合成特性についての成木と稚樹の比較	日帰り
8	4	1	(独)物質・材料研究機構 材料信頼性評価ユニット 腐食研究所	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
9	4	1	富士癒しの森研究所	15			13 (1)	28	東大教職員特別ガイド「春の彩をたずねて」	日帰り
10	4	1	東京大学農学系事務部総務課人事チーム	7				7	平成26年度新規採用職員能力開発プログラムの「実地研修」にかかる施設見学のため	日帰り
11	4	3	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			3		3	採食状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
12	4	1	個人				2	2	林内見学	日帰り
13	5	1	NPO法人アースバウンダー				4	4	都立桜修館中等教育学校の環境教育プログラム下見のため	日帰り
14	5	1	NPO法人アースバウンダー	10			165	175	都立桜修館中等教育学校の環境教育プログラム実施のため	日帰り
15	5	1	特定非営利活動法人バードリサーチ	2				2	モニタリングサイト1000鳥類調査	日帰り
16	5	1	やまなし木質バイオマス協議会	1			2	3	富士癒しの森研究所における各種取り組みの視察と意見交換	日帰り
17	5	1	粟井英朗環境財団	2				2	富士癒しの森研究所における各種取り組みの視察と意見交換	日帰り
18	5	1	(独)物質・材料研究機構 材料信頼性評価ユニット 腐食研究所	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
19	5	3	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			3		3	採食状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
20	5	1	特定非営利活動法人バードリサーチ	1				1	モニタリングサイト1000鳥類調査	日帰り
21	5	1	特定非営利活動法人バードリサーチ	1				1	モニタリングサイト1000鳥類調査	日帰り
22	5	1	東邦大学・理学部・生物学科	1				1	シラビソ稚樹のシカによる幹の剥皮の影響	日帰り
23	5	1	NPO法人アースバウンダー				3	3	国立学園小学校の環境教育プログラム実施の下見のため	日帰り
24	5	1	渋谷区立上原小学校	4			35	39	小学生の移動教室　自然観察及び昼食	日帰り
25	5	1	目黒星美学園小学校	4				4	自然観察学習の現地下見	日帰り
26	5	1	NPO法人アースバウンダー	31			249	280	国立学園小学校の環境教育プログラム実施のため	日帰り
27	5	3	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			3		3	採食状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
28	5	3	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			3		3	採食状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
29	5	4	山中湖村村長				13,060	13,060	第34回スポニチ山中湖ロードレース大会に伴う会場及び職員駐車場として	日帰り
30	6	1	ドッグリゾートWoof				32	32	散策	日帰り
31	6	1	ドッグリゾートWoof				32	32	散策	日帰り
32	6	1	ドッグリゾートWoof				33	33	散策	日帰り
33	6	1	ドッグリゾートWoof				33	33	散策	日帰り
34	6	1	ドッグリゾートWoof				23	23	散策	日帰り
35	6	1	ドッグリゾートWoof				23	23	散策	日帰り
36	6	3	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			3		3	採食状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
37	6	3	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			3		3	採食状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
38	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻	4	12	6		22	フィールド科学専修森圏管理学実習	日帰り
39	6	1	渋谷区立長谷戸小学校	6	31			37	山中湖畔の見学、散策	日帰り
40	6	1	個人				4	4	写真撮影	日帰り
41	6	4	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			4		4	採食状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
42	6	3	山梨県高等学校体育連盟ヨット専門部(山梨県立吉田高等学校)				600	600	平成26年度関東高等学校ヨット大会開催のため	日帰り

2014 年度　全利用者（富士癒しの森研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
43	6	1	(独)物質・材料研究機構 材料信頼性評価ユニット 腐食研究グループ	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
44	6	1	首都大学東京都市環境科学研究科地理環境科学域			2		2	土壌断面調査地点の確認と打ち合わせ	日帰り
45	6	1	首都大学東京都市環境科学研究科地理環境科学域	3	5	5		13	山中湖周辺植生の観察と土壌断面調査手法の習得	日帰り
46	6	1	NPO法人アースバウンダー	4			2	6	武蔵野第5小学校環境教育プログラムの下見	日帰り
47	6	1	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			1		1	採食営巣状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択制に関する調査	日帰り
48	6	3	目黒星美学園小学校	33	360			393	自然観察	日帰り
49	6	3	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			3		3	採食状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択制に関する調査	日帰り
50	7	4	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			4		4	採食営巣状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択性に関する調査	日帰り
51	7	4	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			4		4	採食営巣状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
52	7	1	東邦大学理学部生物学科	1			1	2	太平洋側ブナと日本海側ブナの樹冠構造と葉の光合成特性の比較	日帰り
53	7	2	東京大学農学生命科学研究科	2	4	6		12	農学部4年生「環境設計演習」における現地実習	日帰り
54	7	1	秦野市くずはの家　えのきの会				14	14	森林及び林床植物の観察(自然観察指導員研修)	日帰り
55	7	2	東京大学農学生命科学研究科附属演習林企画部	12	158			170	総合科目「「癒しの森」を考える」	日帰り
56	7	1	(独)物質・材料研究機構 材料信頼性評価ユニット 腐食研究グループ	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
57	7	1	東京大学運動会馬術部		6			6	馬房周囲の設備点検及び合宿のための放馬止め	日帰り
58	7	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター	2	2	2		6	外生菌根菌の子実体採取	日帰り
59	7	2	東邦大学理学部生物学科	2	14	2	4	22	太平洋側ブナと日本海側ブナの樹冠構造と葉の光合成特性の比較	富士山中宿泊施設
60	7	2	（独）森林総合研究所林木育種センター遺伝資源部保存評価課特性評価研究室	2				2	ブナ産地試験地に植栽された産地の異なるブナ個体からのDNA分析用葉試料の採取	富士山中宿泊施設
61	7	1	丸山幼稚園	16			90	106	湖畔広場散策	日帰り
62	7	2	八幡幼稚園	36			134	170	自然体験学習	日帰り
63	7	1	東京大学農学生命科学研究科フィールド研究支援	1				1	国際鳥類学会議エクスカーションの現地打ち合せ	日帰り
64	7	1	モデル・ランゲージ・スタジオ				63	63	英会話スクール遠足　課外アクティビティ	日帰り
65	7	3	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			3		3	採食営巣状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
66	7	1	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室		1	1		2	ハリモミ純林調査	富士山中宿泊施設
67	7	5	東京大学農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	27			24	51	森林浴の効果に関する生理的・心理的実験の実施	富士山中宿泊施設
68	7	1	丸山幼稚園	16			59	75	湖畔広場散策	日帰り
69	8	1	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室		1	1		2	ハリモミ純林調査	日帰り
70	8	1	東京大学運動会馬術部		2			2	合宿のための機材の搬入	日帰り
71	8	17	東京大学運動会馬術部		566	17		583	合宿（競技の練習と自馬の繁養）	山中寮内藤セミナーハウス
72	8	2	(株)パイオニア　コーポレートブランド戦略部　戦略企画部				6	6	Cyberforest ライブモニタリング・システム見学	富士山中宿泊施設
73	8	1	東京農業大学陸上競技部	1	62		1	64	集団でのストレッチ	日帰り
74	8	1	個人				2	2	湖畔広場散策	日帰り
75	8	1	島田市役所総務課　（大津財産区）				12	12	大津財産区　視察研修	日帰り
76	8	1	個人				3	3	自然観察　散策	日帰り
77	8	3	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			3		3	採食営巣状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
78	8	3	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻森林動物学研究室	6	33	9		48	森林動物学実験	山中寮内藤セミナーハウス
79	8	1	東邦大学理学部生物学科	1	2			3	シカ生息密度推定(カメラトラップ、糞粒法)、シカによる植生被害調査	日帰り
80	8	1	(独)物質・材料研究機構 材料信頼性評価ユニット 腐食研究グループ	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
81	8	1	東京農工大学農学部	1			1	2	研究の下見	日帰り
82	8	1	児童養護施設　星美ホーム	8			23	31	散策及び休憩・遊び場としての利用	日帰り
83	8	1	児童養護施設　星美ホーム	8			23	31	散策及び休憩・遊び場としての利用	日帰り
84	8	1	児童養護施設　星美ホーム	8			23	31	散策及び休憩・遊び場としての利用	日帰り

2014 年度　全利用者（富士癒しの森研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
85	8	1	児童養護施設　星美ホーム	8			23	31	散策及び休憩・遊び場としての利用	日帰り
86	8	1	児童養護施設　星美ホーム	8			23	31	散策及び休憩・遊び場としての利用	日帰り
87	8	3	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			3		3	採食営巣状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
88	8	3	（独）森林総合研究所林木育種センター遺伝資源部保存評価課特性評価研究室	3				3	ブナ産地試験地に植栽された産地の異なるブナ個体からの葉形態測定のための当年枝の採取	外部宿泊施設
89	8	2	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	3	2	2		7	ハリモミ純林調査	富士山中宿泊施設
90	8	1	全国森林インストラクター神奈川(JFIK)				7	7	観察	日帰り
91	8	1	（独）森林総合研究所野生動物研究領域鳥獣生態研究室	4			86 (84)	90	国際鳥類学会議に伴うエクスカーションツアーのための自然観察	日帰り
92	8	4	東京大学農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	8	4		12	24	都留文科大学「地域資源管理・環境保全実習」の実施	富士山中宿泊施設
93	8	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	3	7			10	運動会学生との共同作業「アルバイト・ヂンスト」	日帰り
94	9	4	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			4		4	ニホンリスの営巣木と営巣場所の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
95	9	3	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			3		3	ニホンリスの営巣木と営巣場所の選択性に関する調査	
96	9	2	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			2		2	ニホンリスの営巣木と営巣場所の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
97	9	2	東京大学農学生命科学研究科附属演習林企画部	4	3			7	学生体験活動プログラム「癒しの森の森林管理」	山中寮内藤セミナーハウス
98	9	3	東京大学農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	18	6			24	全学体験ゼミ　「癒しの森を作る(夏)」　現地講義のため	山中寮内藤セミナーハウス
99	9	1	東邦大学理学部生物学科		1			1	シカ生息密度推定（カメラトラップ、糞粒法）、シカによる植生被害調査	日帰り
100	9	1	東邦大学理学部生物学科	1	19	1		21	野外基礎実習(学部1年生)	日帰り
101	9	1	(独)物質・材料研究機構材料信頼性評価ユニット腐食研究グループ	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
102	9	2	東京大学農学生命科学研究科附属演習林企画部	2	6			8	国際開発農学専修「国際開発農学実験・個別実験」	富士山中宿泊施設
103	9	4	東京大学工学系研究科社会基盤学専攻	56	216			272	工学部社会基盤学科「フィールド演習」	山中寮内藤セミナーハウス
104	9	1	野外学校FOS	2			21	23	昼食休憩	日帰り
105	9	1	個人				5	5	秋の草花観察	日帰り
106	9	5	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻自然環境形成学分野	25		100		125	大学院講義「自然環境デザインスタジオ」	山中寮内藤セミナーハウス
107	9	1	NPO法人アースバウンダー				4	4	武蔵野第5小学校の環境教育プログラムの下見	日帰り
108	9	1	個人				1	1	林内見学	日帰り
109	9	1	個人				2	2	植物観察	日帰り
110	10	2	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			2		2	ニホンリスの営巣木と営巣場所の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
111	10	1	東白川タカブ研究会				6	6	ハチの子サンプリング	日帰り
112	10	1	NPO法人アースバウンダー	10			96	106	武蔵野第5小学校の環境教育プログラム実施のため	日帰り
113	10	1	個人				18	18	林内見学	日帰り
114	10	1	東邦大学理学部生物学科	1				1	太平洋側ブナと日本海側ブナの樹冠構造と葉の光合成特性の比較	日帰り
115	10	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	26	1		18	45	東大職員特別ガイド「キノコに親しむ」	日帰り
116	10	3	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			3		3	ニホンリスの営巣木と営巣場所の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
117	10	1	聖ヨゼフ学園小学校	5			69	74	体験学習　グループ活動	日帰り
118	10	1	個人				2	2	林内見学	日帰り
119	10	1	ドックリゾート　ワフ				31	31	散策	日帰り
120	10	1	(独)物質・材料研究機構材料信頼性評価ユニット腐食研究グループ	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
121	10	1	東京大学大学院教育学部	10		25 (25)		35	教育学研究科留学生修学旅行	日帰り
122	10	2	東邦大学理学部生物学科		2	1		3	シカ生息密度推定(カメラトラップ、糞粒法、ライトセンサス)、シカによる植生被害調査	外部宿泊施設
123	10	3	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			3		3	ニホンリスの営巣木と営巣場所の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
124	10	1	ドックリゾート　ワフ				29	29	散策	日帰り

2014 年度　全利用者（富士癒しの森研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
125	10	1	ドックリゾート　ワフ				32	32	散策	日帰り
126	10	1	ドックリゾート　ワフ				31	31	散策	日帰り
127	10	2	東京大学農学生命科学研究科附属演習林企画部	12	10			22	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(秋編)」	山中寮内藤セミナーハウス
128	10	4	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			4		4	ニホンリスの営巣木と営巣場所の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
129	10	2	東京大学農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	4	8			12	都留文科大学「地域資源管理・環境保全実習」	富士山中宿泊施設
130	10	4	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			4		4	ニホンリスの営巣木と営巣場所の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
131	10	1	ドックリゾート　ワフ				29	29	散策	日帰り
132	10	1	ドックリゾート　ワフ				29	29	散策	日帰り
133	10	1	個人				4	4	造林地見学	日帰り
134	10	1	個人				3	3	散策	日帰り
135	10	1	東邦大学理学部生物学科	1				1	太平洋側ブナと日本海側ブナの樹冠構造と葉の光合成特性の比較	日帰り
136	10	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1			2	3	3Dレーザー測量デモ計測	日帰り
137	11	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	3 (3)		1	1 (1)	5	Shinghakumara先生ほか案内	日帰り
138	11	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所				16	16	公開作業日の開催	日帰り
139	11	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所				20	20	日本造園学会関東支部大会見学	日帰り
140	11	2	東京大学農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	8	6	8 (4)	4	26	ブナ産地別試験地の伐倒調査	外部宿泊施設
141	11	2	東邦大学理学部生物学科		6			6	シカ生息密度推定（カメラトラップ、糞粒法、ライトセンサス）、シカによる植生被害調査	外部宿泊施設
142	11	1	NPO法人アースバウンダー	10			103	113	ひまわり幼稚園森林体験プログラム実施	日帰り
143	11	1	NPO法人アースバウンダー				1	1	ひまわり幼稚園森林体験プログラム実施のための下見	日帰り
144	11	1	NPO法人アースバウンダー	5				5	ひまわり幼稚園森林体験プログラム実施のための下見	日帰り
145	11	2	東京大学農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	8	34			42	総合科目「森のエネルギーを使いこなす」現地講義	山中寮内藤セミナーハウス
146	11	3	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			3		3	ニホンリスの営巣木と営巣場所の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
147	11	1	スニッファー　ドッグカンパニー				3	3	救助犬ワークショップ演習林使用場所下見	日帰り
148	11	1	ドックリゾート　ワフ				48	48	散策	日帰り
149	11	1	ドックリゾート　ワフ				48	48	散策	日帰り
150	11	4	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			4		4	ニホンリスの営巣木と営巣場所の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
151	11	1	スニッファー　ドッグカンパニー				5 (2)	5	救助犬セミナー下見	日帰り
152	11	1	スニッファー　ドッグカンパニー				5 (2)	5	救助犬セミナー準備	日帰り
153	11	2	東京大学農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	2	10			12	都留文科大学「地域資源管理・環境保全実習」	富士山中宿泊施設
154	12	1	スニッファー　ドッグカンパニー				30 (2)	30	救助犬セミナー開催	日帰り
155	12	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	エゾマツにおけるコンテナ苗と裸苗の活着比較試験	日帰り
156	12	3	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			3		3	ニホンリスの営巣木と営巣場所の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
157	12	4	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			4		4	ニホンリスの営巣木と営巣場所の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
158	12	2	東京大学農学生命科学研究科附属演習林企画部	6	34			40	総合科目「森をはかる」	山中寮内藤セミナーハウス
159	12	1	東邦大学理学部生物学科		1			1	センサーカメラの回収	日帰り
160	12	1	(独)物質・材料研究機構材料信頼性評価ユニット腐食研究グループ	2				2	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
161	12	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1			19	20	甲州癒しの森コンソーシアム見学	日帰り
162	12	2	東京大学農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	10	10			20	全学体験ゼミナール「癒しの森を創る(冬)」	山中寮内藤セミナーハウス

2014 年度　全利用者（富士癒しの森研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
163	12	1	特定非営利活動法人バードリサーチ	1				1	モニタリングサイト1000鳥類調査	日帰り
164	12	2	東京大学農学生命科学研究科附属演習林企画部	4	18			22	学生体験活動プログラム「癒しの森の森林管理」	富士山中宿泊施設
165	1	1	CSIS 空間情報工学研究部門	2				2	ライブモニタリングシステムの見学	日帰り
166	1	1	(独)物質・材料研究機構 材料信頼性評価ユニット 腐食研究グループ	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
167	1	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所				36	36	薪原木販売会への参加および見学	日帰り
168	1	1	特定非営利活動法人バードリサーチ	1				1	モニタリングサイト1000鳥類調査	日帰り
169	2	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	2		1 (1)		3	富士癒しの森研究所の現地検討会(ブナ林等)	日帰り
170	2	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	11			5	16	東大教職員向け特別ガイド「冬のさんぽみち」	日帰り
171	2	1	(独)物質・材料研究機構 材料信頼性評価ユニット 腐食研究グループ	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
172	2	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	実証林生理心理データー検討会	日帰り
173	3	1	(独)物質・材料研究機構 材料信頼性評価ユニット 腐食研究グループ	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
174	3	1	東京大学農学生命科学研究科森林圏生態学研究室			1		1	ニホンリスの営巣場所の選択性に関する調査	日帰り
175	3	1	CSIS 空間情報工学研究部門	1				1	ライブモニタリングシステムの構築のため	日帰り
176	3	1	NPO法人ホールアース研究所				3	3	環境教育プラグラムサイトの見学	日帰り
177	3	1	東京大学大学院ソーシャルICT GCL育成プログラム グローバルデザインワークショップ	1				1	ソーシャルICT　グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム合宿の下見	日帰り

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計　18,344
利用件数　177

2014 年度　全利用者（樹芸研究所）

演習林名:樹芸研究所

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	2	大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	2			2	4	山地河道の水理特性解明のための調査	外部施設泊
2	4	1	浦和実業学園高校	2			37	39	熱帯植物の見学	日帰り
3	4	1	一般				1	1	温室植物見学	日帰り
4	4	1	樹芸研究所	6			10	16	第1回温室特別公開日	日帰り
5	4	1	樹芸研究所	5			20	25	第2回温室特別公開日	日帰り
6	4	1	一般				3	3	温室植物見学	日帰り
7	5	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
8	5	1	一般				4	4	温室植物見学	日帰り
9	5	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
10	5	1	（株）河村式椎茸研究所	7				7	県内産野生菌類目録作成および里山地域の希少野生菌類調査	日帰り
11	5	1	静岡県　賀茂農林事務所	7				7	見学と業務打合せ	日帰り
12	5	1	一般				1	1	水生昆虫（トンボ幼虫）の調査・研究	日帰り
13	5	1	静岡県　賀茂農林事務所				7	7	見学と業務打合せ	日帰り
14	5	1	一般				1	1	水生昆虫（トンボ幼虫）の調査・研究	日帰り
15	5	2	千葉演習林ボランティア会Abies	2			34	36	千葉演習林ボランティア会Abies　樹芸研究所研修会	スポーティア下賀茂
16	5	1	一般				18	18	温室植物見学	日帰り
17	5	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
18	5	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	6				6	基盤データ整備委員会鳥類分野の鳥類調査	加納事務所休憩施設
19	6	2	大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	2	4			6	山地河道の水理特性解明のための調査	外部施設泊
20	6	1	静岡県　賀茂農林事務所	6				6	見学と業務打合せ	日帰り
21	6	1	一般				1	1	水生昆虫（トンボ幼虫）の調査・研究	日帰り
22	6	1	一般				1	1	水生昆虫（トンボ幼虫）の調査・研究	日帰り
23	6	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
24	6	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
25	6	1	農学系事務部	5				5	研究林及び温室の見学	日帰り
26	7	1	大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1	1			2	山地河道の水理特性解明のための調査	日帰り
27	7	1	一般				1	1	水生昆虫（トンボ幼虫）の調査・研究	日帰り
28	7	1	新領域創成科学研究科自然環境学専攻	4				4	ブナ科樹木萎凋病を取り巻く菌類間相互作用の解明	日帰り
29	7	1	生物材料科学専攻森林化学研究室	1	1	1		3	ユーカリの二次代謝成分とその生成に関する研究	日帰り
30	7	1	山形大学　理学部　物質生命化学科	1		1		2	パラゴムノキのカルス誘導研究	日帰り
31	7	1	神奈川工科大学応用バイオ科学部・応用バイオ科学科	2	1			3	パラゴムノキのゴム合成酵素系の解明	日帰り
32	7	1	（株）河村式椎茸研究所				7	7	県内産野生菌類目録作成および里山地域の希少野生菌類調査	日帰り
33	7	1	樹芸研究所	5			21	26	公開講座「林業遺産・岩樟園クスノキ林を知ろう」	日帰り
34	7	1	一般				1	1	温室植物見学	日帰り
35	7	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
36	8	1	大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1	1			2	山地河道の水理特性解明のための調査	日帰り
37	8	2	神奈川工科大学応用バイオ科学部・応用バイオ科学科	2	2			4	パラゴムノキのゴム合成酵素系の解明	外部施設泊
38	8	1	一般				4	4	温室植物見学	日帰り
39	8	5	樹芸研究所	25	10			35	総合科目「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
40	8	4	樹芸研究所	24	104			128	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ・1」	スポーティア下賀茂
41	8	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
42	8	1	一般				4	4	温室植物見学	日帰り
43	9	4	樹芸研究所	34	96			130	森林実習	スポーティア下賀茂
44	9	1	伝統工芸木炭生産技術保存会	1			2	3	工芸用研磨木炭（駿河炭）原木、アブラギリに関する調査研究	日帰り
45	9	5	樹芸研究所	25	10			35	総合科目「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
46	9	4	樹芸研究所	24	100			124	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ・2」	スポーティア下賀茂
47	9	1	大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1				1	山地河道の水理特性解明のための調査	日帰り

2014 年度　全利用者（樹芸研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
48	9	4	樹芸研究所	4	24			28	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ・3」	加納事務所休憩施設
49	9	5	樹芸研究所	25	6			31	総合科目「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
50	9	4	樹芸研究所	24	96			120	全学体験ゼミナール「森に学ぶ・伊豆」	スポーティア下賀茂
51	9	1	一般				7	7	温室植物見学	日帰り
52	10	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
53	10	3	樹芸研究所	3	15		15	33	体験活動	加納事務所休憩施設
54	10	1	一般	1			1	2	「ウール染めハンドブック（仮）」でのログウッドの写真使用	日帰り
55	10	1	樹芸研究所	8			26	34	第3回温室特別公開日	日帰り
56	10	1	樹芸研究所	5			31	36	第4回温室特別公開日	日帰り
57	10	1	大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1	1			2	山地河道の水理特性解明のための調査	日帰り
58	11	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
59	11	1	一般				1	1	温室植物見学	日帰り
60	11	4	京都大学	20		2	5	27	ユーカリ応力試験	加納事務所休憩施設
61	11	2	一般				6	6	狩猟	日帰り
62	11	1	一般				3	3	温室植物見学	日帰り
63	11	3	一般				15	15	狩猟	日帰り
64	11	1	一般				4	4	温室植物見学	日帰り
65	11	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
66	11	1	静岡県賀茂農林事務所	10			19	29	森づくり大作戦「親子で体験！樹齢100年のクスノキ林の恵み」	日帰り
67	11	1	一般				5	5	狩猟	日帰り
68	12	3	神奈川工科大学応用バイオ科学部・応用バイオ科学科	3	3			6	パラゴムノキのゴム合成酵素系の解明	外部施設泊
69	12	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
70	12	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
71	12	1	一般				7	7	温室植物見学	日帰り
72	12	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
73	12	1	一般				4	4	温室植物見学	日帰り
74	12	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
75	12	3	東京大学演習林樹芸研究所	7	6		9	22	総合科目「体験活動」	加納事務所休憩施設
76	12	1	一般				5	5	狩猟	日帰り
77	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	3			1	4	熱処理条件の違いがブナの化学構造に及ぼす影響	日帰り
78	12	1	広島大学名誉教授	1				1	温室植物見学	日帰り
79	12	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
80	1	3	一般				15	15	狩猟	日帰り
81	1	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
82	1	1	一般				1	1	温室植物見学	日帰り
83	1	3	一般				15	15	狩猟	日帰り
84	1	1	伝統工芸木炭生産技術保存会	2			4	6	駿河炭原木、アブラギリに関する伐木調査研究	日帰り
85	1	1	パシフィックコンサルタンツ（株）	1			5	6	スギ、ヒノキ伐採現場の見学	日帰り
86	1	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
87	1	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
88	1	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
89	1	1	一般				3	3	温室植物見学	日帰り
90	1	1	一般				5	5	狩猟	日帰り
91	2	1	一般				5	5	狩猟	日帰り
92	2	4	大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	8			8	16	山地河道の水理特性解明	スポーティア下賀茂
93	2	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
94	2	1	一般				5	5	狩猟	日帰り
95	2	5	樹芸研究所	21	20 (5)			41	総合科目「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
96	2	4	樹芸研究所	20	48			68	全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ熱帯植物編」	スポーティア下賀茂
97	2	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
98	2	5	樹芸研究所	25	10			35	総合科目「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
99	2	4	樹芸研究所	23	72 (4)			95	全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ1」	スポーティア下賀茂
100	2	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
101	3	5	樹芸研究所	25	10			35	総合科目「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設

2014 年度　全利用者（樹芸研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
102	3	4	樹芸研究所	24	76			100	全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ2」	スポーティア下賀茂
103	3	5	樹芸研究所	5	30			35	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ・3」	加納事務所休憩施設
104	3	1	一般				1	1	温室植物見学	日帰り
105	3	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計　1,742
利用件数　105

■研修■

技術職員

研　修　名	開 催 機 関	開催月	参加人数
第14回東京大学生命科学シンポジウム	東京大学	4	1
平成26年度全学教室系技術職員研修	東京大学	6	2
第55回北海道地区中堅係員研修	人事院北海道事務局	6	1
第17回関東甲信越地区演習林等技術職員研修	東京大学	9	5
平成26年度北海道大学総合技術研究会	北海道大学	9	2
平成26年度技術職員等試験研究・研修会議	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	10	19
平成26年度中国・四国・近畿地区大学附属演習林等技術職員研修	愛媛大学	10	2
第22回東海地区農学部附属演習林技術職員研修	信州大学	11	1
第23回九州地区農学部附属演習林技術職員研修	鹿児島大学	11	3
第22回東海地区農学部附属演習林技術職員研修	信州大学	11	1
小規模施設の機械総点検研修	東京大学大学院農学生命科学研究科機械グループ	11	4
第29回東京大学理学系技術部シンポジウム	東京大学理学系技術部	11	1
第2回分析技術グループ研修「pH測定技術」	東京大学大学院農学生命科学研究科技術部分析技術グループ	3	3
第7回農学生命科学研究科技術職員研修会	東京大学農学生命科学研究科	3	24

■安全衛生■

下表のように安全・防災のための各種講習会を実施した。その他に各演習林の実情と必要性に応じ安全衛生のための定期的な会議や点検を実施，あるいは日常的な連絡・注意喚起のための態勢を整備している。

安全・防災のための講習会等

研　修　名	開催機関等	開催月	参加人数
刈り払い機安全教育	千葉県森林組合	4	1
雇い入れ時の安全衛生教育	北海道演習林	4	1
林野火災消防訓練	北海道演習林	4	4
平成26年度教育研究安全衛生マネジメントシステム説明会	農学生命研究科環境安全管理室	4	1
雇い入れ時の安全衛生教育	北海道演習林	5	1
林内作業安全講習(チェーンソー作業)	北海道演習林	5	29
利用者安全指導研修会	千葉演習林	6	42
安全運転管理者講習会	北海道旭川方面公安委員会	6	1
蜂対策講習会	北海道演習林	6	30
動物実験講習会	動物実験専門委員会	6	2
電動工具安全講習会	富士癒しの森研究所	6	4
自衛消防訓練	田無演習林 西東京消防署西原分署	6	7
環境安全講習会	環境安全研究センター	6・7	3
平成26年度機器等（遠心機、ドラフトチャンバー、オートクレーブ）取り扱い及び点検講習会	環境安全管理室	7	1
普通救命講習Ⅰ	樹芸研究所	7	9
温泉安全衛生講習	樹芸研究所	7	5
全学ゼミ安全確認	樹芸研究所	8	6
安全木登り講習	ベスト	9	2
消防訓練	北海道演習林	10	30
丸のこ講習	田無演習林	10	4
普通救命講習	北海道演習林	11	34
林内作業総合安全訓練	北海道演習林	11	24
交通安全講習会	北海道演習林	11	30
メンタルヘルス講習会	北海道演習林	11	27
防災訓練	生態調和農学機構	11	7
環境安全講習会	東京大学環境安全センター	12	1
青野地区AED講習	南伊豆町青野地区	12	2
H26共通管理部分清掃調査	樹芸研究所	12	9
安全衛生講習会	樹芸研究所	12	9
スノーモビル安全運転講習会	北海道演習林	1	23
伐木安全講習	樹芸研究所	1	8
全学ゼミ安全確認	樹芸研究所	2	5

資格取得のための講習等

研　修　名	開 催 機 関 等	開催月	参加人数
地山掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習	建災防千葉支部	5	1
「携帯用丸のこ盤」作業従事者安全教育講習	旭川地方労働基準協会	5	1
小型車両系建設機械（整地等3t未満）運転特別教育	コマツ教習所神奈川センター	5	1
車両系木材伐出機械運転業務特別教育講習会	林材業労災防止協会旭川分会	6	4
携帯用丸のこ盤を使用して作業を行うものに対する安全教育	東京労働基準協会連合会	8	1
丸鋸等取り扱い従事者特別教育	建災防千葉支部	9	2
簡易架線集材装置の運転業務特別教育	林災防千葉県支部	10	1
走行集材機械の運転業務特別教育	林災防千葉県支部	10	1
伐木等機械の運転業務特別教育	林災防千葉県支部	10	1
ベーシックツリークライマー講習会	ツリークライミングジャパン	10	1
走行集材機械の運転の業務に係る特別教育	林業・木材製造業労働災害防止協会東京支部	11	2
簡易架線集材装置の運転業務特別教育	千葉演習林	12	8
走行集材機械の運転業務特別教育	千葉演習林	12	8
伐木等機械の運転業務特別教育	千葉演習林	12	8
中型運転免許講習	下田自動車学校	12	1
玉掛け業務安全衛生教育（再教育）	旭川地方労働基準協会	3	2
伐木等の業務に係る安全衛生教育	林業・木材製造業労働災害防止協会	3	1

災害統計

2014年度は災害は24件、ヒヤリハット等は14件であった。労働時の災害として骨折が2件、ハチ刺され6件、ダニ刺されが11件あった（事故災害報告なし）、鎌による切創1件、ウルシによるかぶれが1件、小枝による左目結膜損傷が1件、工具による刺傷が1件であった。また、物損事故で重機4件、スノーモービル2件、普通車両1件があった。通勤時の災害として捻挫が1件、小槌による打撲が1件であった。

	教職員	学生	その他
重大及び休業災害（4日以上）	3		
休業災害（4日未満）			
不休災害	21		
災害合計	24件		
ヒヤリハットなど	14件		
そのうち設備災害	11件		

山火事予防活動

演習林名	名　　称	開 催 場 所	日　　程	参加人数
北海道	巡視・異常乾燥警報の発令依頼。注意喚起の幟、設置と撤去	北海道演習林一円	2014.4.21～5.31	全職員
秩父	平成26年度消火訓練（大血川管内）	秩父演習林	2014.8.28	18
秩父	平成26年度消火訓練（栃本管内）	秩父演習林	2015.1.27	21
樹芸	消防訓練	青野研究林	2015.1.21	8

■人事異動■

日付	異動	新職名	氏名	旧職名
2014.4.1	配置換	附属演習林千葉演習林　技術専門職員	鈴木　祐紀	附属演習林北海道演習林　技術専門職員
2014.4.1	配置換	附属演習林北海道演習林　技術専門職員	大石　諭	附属演習林千葉演習林　技術専門職員
2014.4.1	昇任	附属演習林企画部　技術専門員	犬飼　浩	附属演習林企画部　技術専門職員
2014.4.1	昇任	附属演習林北海道演習林　技術専門員	井口　和信	附属演習林北海道演習林　技術専門職員
2014.4.1	昇任	附属演習林北海道演習林　技術専門職員	福岡　哲	附属演習林北海道演習林　技術職員
2014.6.1	採用	附属演習林教育研究センター　助教	三浦　直子	同特任助教
2014.6.1	採用	附属演習林田無演習林　助教	竹本　周平	同特任助教
2014.7.1	配置換	経理課経費執行チーム　専門職員	幸路　英吉	総務課附属演習林北海道演習林事務室 専門職員
2014.7.1	昇任	総務課附属演習林北海道演習林事務室　主査	安部　秀明	生産技術研究所　経理課連携研究支援室企画チーム　係長
2014.11.1	配置換	附属演習林千葉演習林　技術専門職員	大石　諭	附属演習林北海道演習林　技術専門職員
2014.11.1	採用	附属演習林　特任助教	福井　大	和歌山大学地域創造支援機構　特任助教
2015.2.10	任期満了退職	附属演習林北海道演習林　学術支援職員（特定短時間）	廣田　善己	附属演習林北海道演習林　技術職員
2015.3.31	再雇用職員任期満了		廣川　俊英	附属演習林北海道演習林　技術職員
2015.3.31	再雇用職員任期満了		渡部　賢	附属演習林生態水文学研究所　技術職員
2015.3.31	再雇用職員任期満了		荒木田　きよみ	附属演習林生態水文学研究所　技術職員
2015.3.31	任期満了退職	附属演習林北海道演習林　学術支援職員（特定短時間）	延　栄一	附属演習林北海道演習林　技術職員
2015.3.31	早期退職		芝野　博文	附属演習林北海道演習林　教授
2015.3.31	早期退職		平田　雅和	附属演習林北海道演習林　技術専門職員

■予算配分と収入■

予算配分

		2013年度	単位:千円	2014年度	単位:千円
配　　分	当初配分	278,363	（繰越7,530千円含）	246,204	（前年繰越赤字749千円減額）
	追加配分、協力金等	2,859		2,383	（専攻協力金、学生経費、他）
運 営 費	小　計	281,222		248,587	
事項指定経費	市町村交付金相当額	53,356	（修正遡及分含）	42,330	
	借 地 料	7,835		7,824	（秩父・富士借地料支払）
	特殊雇用経費	5,424		5,670	（障害者雇用対策費）
	災害復旧補填	2,742	（災害復旧費補填）		
国大協保険金	H26年2月雪害			15,842	千葉+秩父3,900千円はH27配分
合　計	（当初および追加）	347,837		320,253	
収入不足戻し		-7,324		-1,947	（年度末に研究科へ返還）
指定経費残額、他口座への移算		-379		-168	
最終配分額		340,134		318,138	

予算執行

執行額	343,654	303,873	財務会計システムデータ
残額	-3,520	14,303	特別繰越要望含む
次年度への繰越額	-778	8,303	演習林全体の繰越額

収　入

林産物収入	84,986		86,702	
損害賠償金	2,321		1,549	立木補償等
土地貸付料等	14,672		15,005	電線敷地貸、宿泊施設利用費、私費分等を含む
その他収入等	2,625		1,860	刊行物販売、講習料、不用品の合計
合　計	104,604	H25経理課決算	105,116	

※特別繰越要望 （北演5,000千円、全演1,000千円）

演習林林産物収入細分表

区　分	立　木	素　材	その他			合　計
			ヒサカキ	苗　木	残材等	
千葉演習林	991.860 m^3	m^3	24 束	本	m^3	2,815,000 円
	2,801,000 円	円	14,000 円	円	円	
北海道演習林	30,055.39 m^3 ※1	995.696 m^3 ※2	束	本	m^3	85,911,104 円
	46,440,246 円 ※1	39,470,858 円	円	円	円	
生態水文学研究所	0.100 m^3	m^3	束	本	m^3	3,000 円
	3,000 円	円	円	円	円	
富士癒しの森研究所	m^3	m^3	束	本	20 m^3	59,650 円
	円	円	円	円	59,650 円	
合　計	31,047.35 m^3	995.70 m^3	24.00 束	0.00 本	20.00 m^3	88,788,754 円
	49,244,246 円	39,470,858 円	14,000 円	0 円	59,650 円	

※1　立木伐採量（立木伐採量p142のうち立木販売(28,546m^3)と冠雪被害木（1,510m^3）の合計）

※2　素材生産総括表（素材生産総括表p145の素材生産量1,007.64m^3のうち11.945m^3は購入希望がなかったため未販売）

■組織図■

企画部・教育研究センター

組織（主任職員）			配置職員（教職員）		配置職員（非常勤職員）	
演習林林長	教授	鈴木雅一				
企画部						
部長	教授	石橋整司			事務補佐員	柴田ゆう子
統括技術長	技術専門員	犬飼浩				
教育研究センター						
センター長	准教授	後藤晋	准教授	鴨田重裕(兼)	事務補佐員	小林ひとみ
			助教	前原忠		
			助教	三浦直子 2014.6.1から (2014.5.31まで特任助教)		
			特任助教	福井大 2014.11.1から		
			技術主任・技術専門職員		学術支援職員	藤原菜生子 2014.9.30まで
			技術専門職員	米道学 近澤静恵		
農学系事務部			研究支援チーム			
事務部長	奥抜義弘		副課長	森啓介		
総務課長	伊藤嘉朗		専門員	佐久間淳 2014.9.30まで		
経理課長	山本浩		特任専門職員	池田光治 2014.10.1から		
教務課長	篠田恵美					
			他事務部各係			

学生等	氏名
博士3年	梯公平
博士3年	トウェ・トウェ・ウィン
博士3年	ティラク・チェンドラティラク
修士2年	羽井佐冴彦
修士2年	宮部涼太郎
修士2年	堀田遼
修士2年	サイフル・アムリ・サラギー
修士2年	佐久間保彦
修士2年	水津龍耶
修士1年	岩城常修
修士1年	小山奈々
修士1年	山口彩花
学部4年	坪池泰生
学部4年	阿部智和
学部4年	笠原琢志
学部4年	板野功治
研究生	平林毅一郎
研究生	尹唯为
研究生	アヌット・ブランパニクパン
IPADS	サデーバ・ジャヤトゥンガ

2014 年度　組織図（千葉演習林）

千葉演習林

組織（主任職員）			配置職員（教職員）		配置職員（非常勤職員）
林長	教授	山田利博			
林長補佐	講師	廣嶋卓也			
教育研究主任	助教	久本洋子			
係長		田山勝則			
技術主任	技術専門職員	鈴木祐紀			
技術副主任	技術専門職員	鶴見康幸			
事務係	事務室係長	田山勝則（兼）			
	事務室主任	野山智			
	一般職員	根上昌久（再）	一般職員	根上昌久（再）	
宿泊管理係	一般職員	根上昌久（兼）	一般職員	根上昌久（兼）	臨時用務員　糟谷育代 特任専門職員 羽若部理會 特任専門職員 京極道子
森林管理係	技術専門職員	鶴見康幸	技術専門職員 技術職員	軽込勉 梁瀬桐子	
施設係	事務室係長	田山勝則（兼）	技術専門職員 技術専門職員 技術専門職員	鈴木祐紀（兼） 村川功雄（兼） 里見重成（兼）	
管財係	事務室係長	田山勝則（兼）			
企画調整係	技術専門職員	藤平晃司			
土木係	技術専門職員	塚越剛史	技術専門職員	阿達康眞（兼）	
試験係	助教	當山啓介			
資料管理係	講師	廣嶋卓也（兼） 2014.10.31まで	技術専門職員	三次充和	
	技術専門職員	大石諭 2014.11.1から			
清澄作業所	技術専門職員	村川功雄	技術専門職員	阿達康眞	特任専門職員 糟谷善廣 特任専門職員 富川勲 特任専門職員 加瀬清己 特任専門職員 長谷川二郎 特任専門職員 岡田康則
札郷作業所	技術専門職員	里見重成			特任専門職員 宮原はな 特任専門職員 吉田龍三 臨時用務員　糟谷育代（兼）

北海道演習林

組織（主任職員）			配置職員（教職員）		配置職員（非常勤職員）	
林長	教授	芝野博文				
林長補佐	准教授	尾張敏章				
教育研究主任	助教	坂上大翼				
専門職員		幸路英吉 2014.6.30まで				
主査		安部秀明 2014.7.1から				
技術主任	技術専門員	井口和信				
庶務係	係長	横山和宏	主任	天山学	事務補佐員	穴澤三恵子
会計係	係長	岡田教和	主任	本田貴一郎		
資産管理係	係長	米田久和				
企画調整係主任	技術専門員	井口和信（兼）	技術職員	算用子麻未		
調査資料係主任	技術専門職員	笠原久臣	技術専門職員 技術職員	中川雄治 算用子麻未（兼）	特任専門職員 特任専門職員	岡本ヒサヨ 2014.5.1から 2014.10.31まで 石﨑敏幸 2014.5.1から 2014.10.31まで
種苗造林係主任	技術専門員	岡村行治	技術専門職員 技術職員	宅間隆二 江口由典		
生産販売係主任	技術専門職員	福士憲司			特任専門職員	高橋可奈
土木生産係（土木担当）主任	技術専門職員	磯崎靖雄	技術専門職員 技術職員	大石諭 2014.10.31まで 及川希		
土木生産係（生産担当）主任	技術専門職員	平田雅和	技術職員 技術専門職員 技術職員	井上崇 高橋功一 2014.9.1から 2014.11.30まで 遠國正樹		
調査第一係主任	技術専門職員	小池征寛	技術専門職員 技術職員 技術職員 技術専門職員	渡邉良広 犬飼慎也 延栄一 （代替職員） 大川あゆ子 （育休）		
調査第二係主任	技術専門職員	岡平卓巳	技術専門職員 技術職員 技術職員 技術専門職員	高橋功一 2014.9.1から 2014.11.30除く 廣川俊英（再） 廣田善己 2015.2.10まで （代替職員） 小川瞳 2015.2.11から （育休復帰）	学術支援職員	廣田善己 2015.2.11から
試験係			教授 准教授 助教	芝野博文 尾張敏章 坂上大翼		
山部樹木園主任	技術専門職員	木村徳志	技術専門職員	福岡哲	技能補佐員 技能補佐員 技能補佐員 技能補佐員	内芝和江 2014.4.1から 2014.11.30まで 安藤佳子 2014.4.1から 2014.11.30まで 佐藤裕子 2014.4.1から 2014.11.30まで 中坪優子 2014.4.1から 2014.11.30まで
セミナーハウス 施設長		芝野博文	一般職員	横山和宏（兼）	技能補佐員 特任専門職員 特任専門職員	飯沼芳子 杉原時子 松村裕美 2014.5.1から 2014.10.31まで

2014年度　組織図（秩父演習林・田無演習林）

秩父演習林

組織(主任職員)			配置職員(教職員)		配置職員(非常勤職員)	
林長	教授	鎌田直人				
林長補佐	講師	浅野友子				
教育研究主任	講師	平尾聡秀	助教	鈴木智之		
事務室	係長	草開泰之	主任 主任	亀原弥生 渡邊幸司	特任専門職員	浅見美津子
技術主任	技術専門職員	五十嵐勇治			特任専門職員	冨沢貴志
森林管理チーム	技術専門職員	才木道雄	技術専門職員 技術専門職員	大村和也 高野充広		
利用促進チーム	技術専門職員	齋藤俊浩	技術専門職員 技術専門職員 技術職員	高徳佳絵 原口竜成 吉田弓子	特任専門職員 特任専門職員	新井容子 島崎雅美
作業所チーム	技術専門職員	丹羽悠二	技術専門職員 特任専門職員	千嶋武 木村恒太	臨時用務員 臨時用務員 特任専門職員	山中五郎 山中淑子 浅見美津子(兼)
影森苗畑	技術専門職員	五十嵐勇治(兼)				

田無演習林

組織(主任職員)			配置職員(教職員)		配置職員(非常勤職員)	
林長	講師	安村直樹				
林長補佐 教育研究主任	講師	楠本大	助教	竹本周平 2014.6.1から (2014.5.31まで 特任助教)		
技術主任	技術専門職員	栗田直明	技術専門職員	相川美絵子	技能補佐員 特任専門職員 技術補佐員	尾林文男 石浦恭子 後藤美津子

生態水文学研究所

組織（主任職員）			配置職員（教職員）		配置職員（非常勤職員）	
所長	准教授	蔵治光一郎	所長補佐	田中延亮		
気象水文土砂 過去データ管理室	准教授	蔵治光一郎	助教	田中延亮	特任専門職員 特任専門職員 特任専門職員 学術支援職員	五名美恵 2014.12.31まで 加藤敦美（兼） 加藤純子 黒木里香 2014.11.17から
教育研究主任・ 教育研究係主任	助教	田中延亮	技術専門職員	松井理生	特任研究員 特任専門職員 特任専門職員 学術支援職員	今村直広 2014.10.31まで 鎌田幸子 加藤敦美 新實夏美
事務主任	事務室係長	平野圭二			事務補佐員 事務補佐員	加藤正勝 大地泰子
技術主任・ 研究林管理係主任	技術専門職員	井上淳	技術職員 技術職員 技術職員	渡部賢 後藤太成 荒木田きよみ	技能補佐員 技能補佐員 特任専門職員 特任専門職員	波多野八重子 胡桃沢清 渡辺平和 鎌田幸子（兼）
環境安全推進者	事務室係長	平野圭二	技術専門職員	井上淳		
					農学共同研究員 2014.5.31まで 特別研究員 2014.6.1から 農学共同研究員	五名美江 五名美江 畑憲治

富士癒しの森研究所

組織（主任職員）			配置職員（教職員）		配置職員（非常勤職員）	
所長	講師	浅野友子				
所長補佐	助教	藤原章雄				
教育研究主任	助教	齋藤暖生				
技術主任	技術専門職員	村瀬一隆	技術専門職員	西山教雄	臨時用務員 特任専門職員	高村洋子 齋藤純子

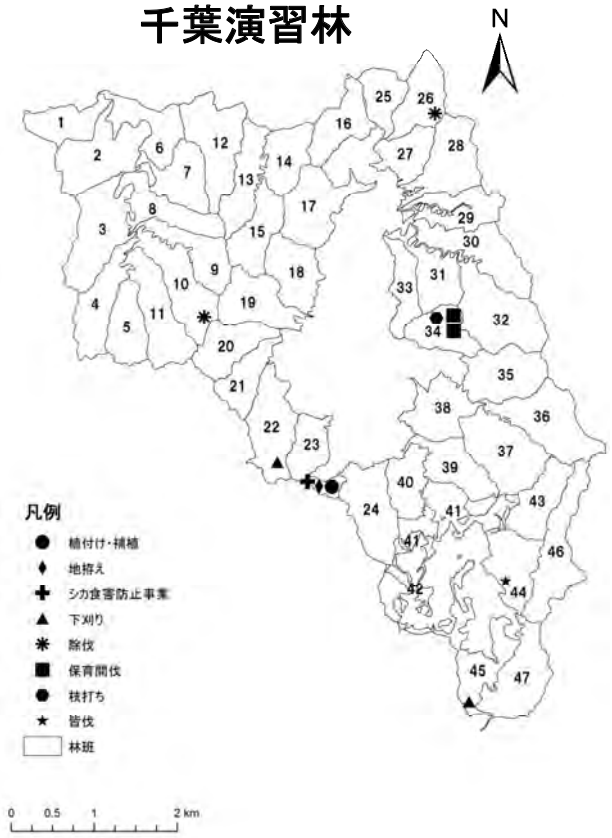
樹芸研究所

組織（主任職員）			配置職員（教職員）		配置職員（非常勤職員）	
所長	准教授	鴨田重裕				
所長補佐 教育研究係 教育研究主任	助教 助教	井上広喜 井上広喜				
事務係	（主任不在）		技術専門職員	辻良子（兼）	事務補佐員	齋藤なつみ 2014.10.1から 2015.3.31まで
技術係 技術主任	技術専門職員 教育研究支援チーム 森林管理チーム	澤田晴雄	技術専門職員 技術専門職員 技術職員	辻良子 辻和明 小林徹行	技能補佐員 学術支援職員 技能補佐員 技能補佐員	土屋福江 渡邉沙希 大島浩子 高橋誠

■管理■

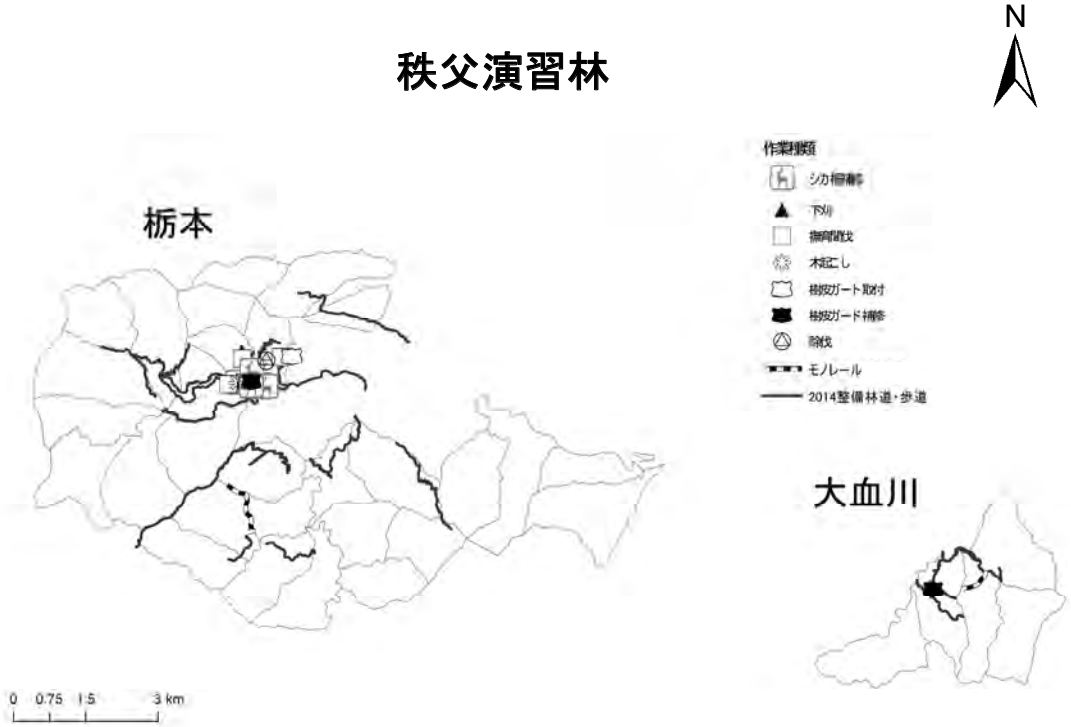
2014年度　管理業務実行位置図

千葉演習林

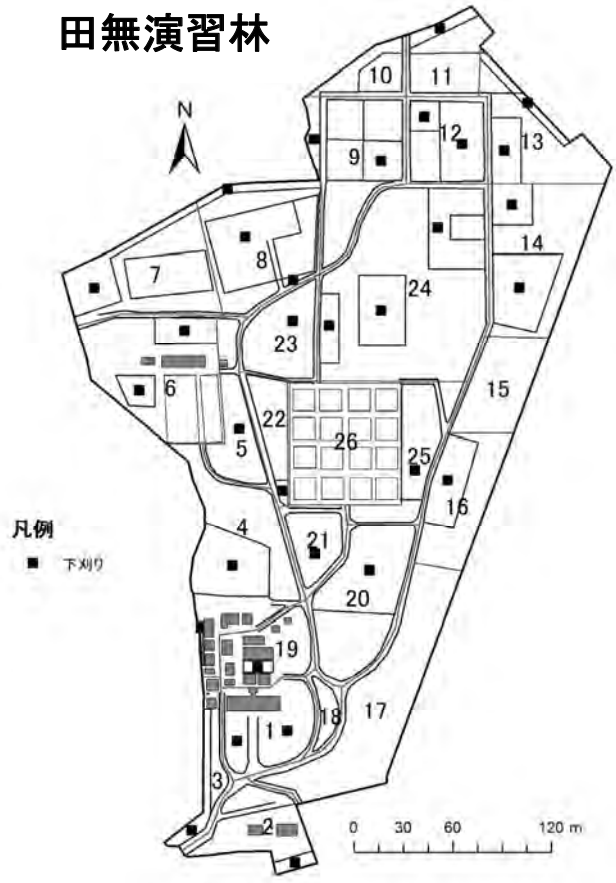


北海道演習林

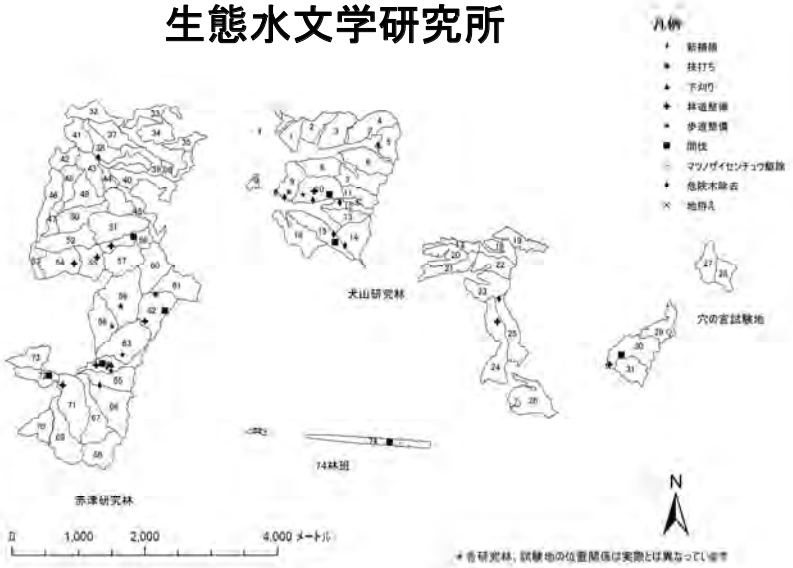
秩父演習林


N
栃本
大血川
作業種類
シカ柵補修
下刈
撫育間伐
木起こし
樹皮ガード取付
樹皮ガード補修
除伐
モノレール
2014整備林道・歩道
0 0.75 1.5 3 km

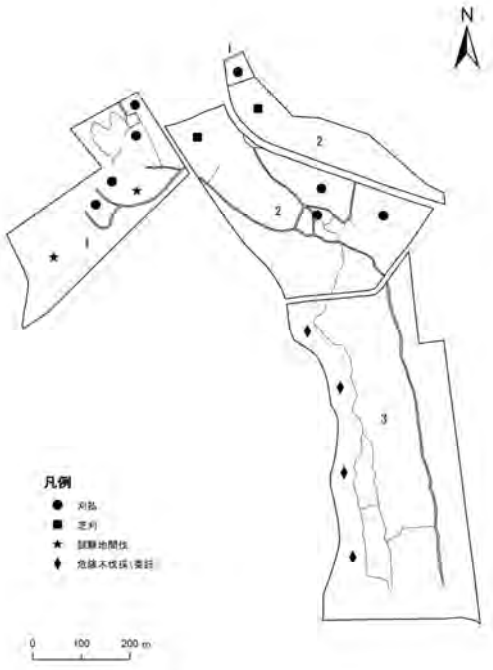
田無演習林


N
凡例
下刈り
0 30 60 120 m

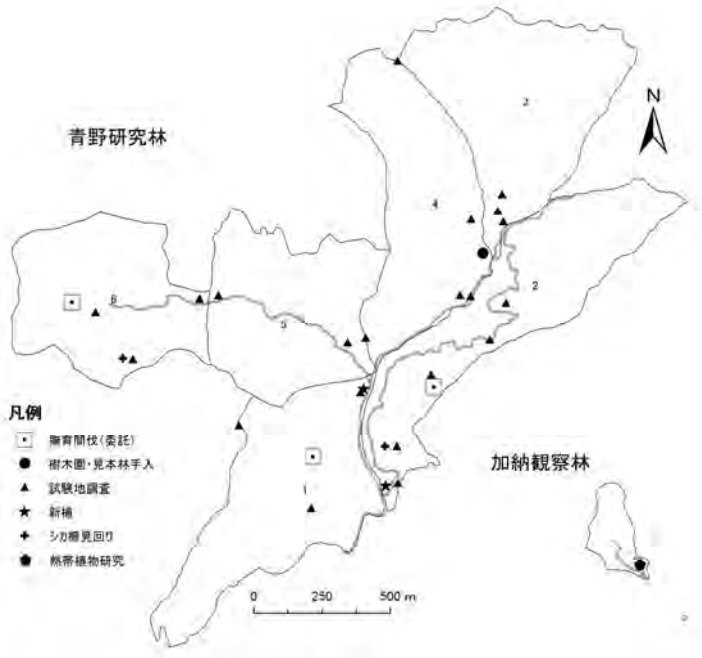
生態水文学研究所



富士癒しの森研究所



樹芸研究所



管理面積集計表

2014年4月1日現在

ha

	合計	樹林地								竹林	伐採跡地	未立木地	その他
		人工林				天然林							
		小計	針葉樹林	混交林	広葉樹林	小計	針葉樹林	混交林	広葉樹林				
千葉	2,170	858	826	17	15	1,302		377	925	1			9
北海道	22,716	3,436	3,108	137	191	18,481		15,480	3,001			643	156
秩父	5,812	767	749		18	4,986	199	778	4,009				59
田無	9	6	2	3	1	0							3
生態水文	1,292	304	302		2	949	949						39
富士	38	38	34	1	3	0							
樹芸	246	109	50		59	106			106				31
合計	32,283	5,518	5,071	158	289	25,824	1,148	16,635	8,041	1	0	643	297

※2012年度より、北海道演習林の針葉樹林は混交林へ区分した

林相別蓄積集計表

2014年4月1日現在

m^3

	計	人工林	天然林
千葉	810,611	252,212	558,399
北海道	5,028,746	668,935	4,359,811
秩父	1,462,189	360,322	1,101,867
田無	1,852	1,852	
生態水文	239,026	84,928	154,098
富士	11,462	11,462	
樹芸	74,797	51,153	23,644
合計	7,628,683	1,430,864	6,197,819

植栽樹種

本

千葉	スギ	ヒノキ	クス	
	1,652	1,599	30	
北海道	トドマツ	エゾマツ	アカエゾマツ	カラマツ(スーパーF1)
	8,308	14,042	3,695	2,130
秩父				
田無				
生態水文	スギ	ヒノキ	クス	
		790		
富士				
樹芸	ユーカリ			
	387			

立木伐採量

m^3

		主伐材積					利用間伐材積	主伐，間伐合計
		人工林		天然林		小計		
		針葉樹	広葉樹	針葉樹	広葉樹			
千葉	立木販売	857	55			912		912
	素材生産資材量							
	その他							
	合　計	857	55			912		912
北海道	立木販売			14,364	6,220	20,584	7,962	28,546
	素材生産資材量			448	1,075	1,523		1,523
	その他(冠雪被害木および治山工事に伴う支障木)	439	501	437	136	1,513		1,513
	合　計	439	501	15,249	7,431	23,620	7,962	31,582
秩父	立木販売							
	素材生産資材量							
	その他							
	合　計							
田無	立木販売							
	素材生産資材量							
	その他							
	合　計							
生態水文	立木販売							
	素材生産資材量							
	その他							
	合　計							
富士	立木販売							
	素材生産資材量							
	その他							
	合　計							
樹芸	立木販売							
	素材生産資材量							
	その他							
	合　計							
合計	立木販売	857	55	14,364	6,220	21,496	7,962	29,458
	素材生産資材量			448	1,075	1,523		1,523
	その他	439	501	437	136	1,513		1,513
	合　計	1,296	556	15,249	7,431	24,532	7,962	32,494

育林実行量

演習林名	地拵え			新植・補植その他植栽				下刈り			除伐			枝打ち			保育間伐			獣害対策(シカ柵設置など)			その他		
	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	植栽本数(本)	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考
千葉	23 C3	1.64		23 C3	1.64	3,281		22 C10a	2.58		10 C5-5	2.42		34 C4-2	0.35	ヒノキ4m	34 C4-2	1.60		23 C3	1.64				
千葉								45 C11-2	0.75		26 C7-1	0.66					34 C4-5	3.56							
北海道	46 B	0.67		14	0.10	89		12 A	13.33	請負										16 B	0.26	鼠毒餌散布	3 A	0.31	根踏み
北海道	46 C	0.82		17 A	4.00	194		12 B	11.75	〃										17 A	1.25	〃	3 B	0.64	〃
北海道	46 D	1.94		18 D	4.87	227		13 A	0.13											18 B	0.38	〃	7 A	0.12	〃
北海道	73 D	2.85	請負	46 B	0.67	830	請負	13 A	4.69	請負										18 D	2.08	〃	14	0.14	〃
北海道	92 B	17.82	〃	46 C	0.82	374	〃	13 B	4.32	〃										26 A	0.08	〃	35 D	0.84	〃
北海道	92 C	0.05	〃	46 D	0.46	550		13 B	3.14	〃										32 C	0.23	〃	40 A	5.00	〃
北海道				46 D	1.48	2436	請負	14	0.85											33 A	2.18	〃	40 B	1.50	〃
北海道				73 D	0.05	50		14	1.65	請負										33 C	3.22	〃	40 B	0.08	〃
北海道				73 D	2.80	2810	請直混在	29 D	4.21	〃										33 C	0.50	〃	71 D	0.03	〃
北海道				92 A	0.05	25		71 D	2.63	〃										33 C	1.47	〃	71 D	2.60	〃
北海道				92 B	0.21	290		72 D	2.11	〃										34 D	1.53	〃	92 A	0.61	〃
北海道				92 B	17.61	20235	請負	90 B	3.73	〃										47 B	0.34	〃	92 A	7.80	〃
北海道				92 C	0.04	35		91 B	0.24											57 C	3.65	〃	92 B	5.11	〃
北海道				92 C	0.01	30	請負	91 B	17.43	請負										68 A	0.95	〃	92 C	0.08	〃
北海道								92 A	0.59	〃										71 D	2.63	〃			
北海道								97 C	20.67											72 D	2.42	〃			
北海道																				72 D	2.11	〃			
北海道																				73 D	2.86	〃			
北海道																				74 C	1.20	〃			
北海道																				74 J	0.91	〃			
北海道																				87 C	6.70	〃			
秩父								29 い40	0.22		31 い23	1.18					28 い8	1.28		29 い1	3.40	シカ柵補修・樹皮ガード補修	29 い40	0.22	木起こし
秩父																	29 い4	4.61		29 い38	0.31	シカ柵補修			
秩父																	31 い21	3.81		29 い39	0.36	シカ柵補修			
秩父																				29 い40	0.22	シカ柵補修			
秩父																				31 い23	1.18	シカ柵補修			
秩父																				31 い21	3.81	樹皮ガード取付			
秩父																				4 い9	1.40	樹皮ガード補修			
田無								1	0.18																
田無								2	0.02																
田無								3	0.05																
田無								4	0.18	延面積															
田無								5	0.14																
田無								6	0.13	延面積															
田無								7	0.23	延面積															
田無								8	0.46	延面積															
田無								9	0.09																
田無								11	0.03																
田無								12	0.16																
田無								13	0.11																
田無								14	0.37	延面積															
田無								16	0.07																
田無								19	0.03	延面積															
田無								20	0.45	延面積															
田無								21	0.11																
田無								22	0.01																

演習林名	地拵え			新植・補植その他植栽				下刈り			除伐			枝打ち			保育間伐			獣害対策(シカ柵設置など)			その他		
	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	植栽本数(本)	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考
田無								23	0.20																
田無								24	0.31																
田無								25	0.14																
生態水文	64 い18	0.11		64 い18	0.21	790		64 い17	0.15					63 い20	0.25		64 い4	0.50							
生態水文								71 い14	0.19					63 い21	0.25		72 い8	0.50	ボランティア						
生態水文								72 い13	0.20								10 い8	2.71	愛知県保安林整備事業						
生態水文																	10 い9	2.50	〃						
生態水文																	11 い3	0.80	〃						
生態水文																	11 い4	5.30	〃						
生態水文																	10 い4	0.24	愛知県小規模治山事業						
生態水文																	10 い6	0.60	〃						
生態水文																	15 い3	0.33	〃						
生態水文																	15 い4	0.82	〃						
生態水文																	15 い6	0.41	〃						
樹芸	1 24	0.27		1 24	0.27	103	ユーカリ										1	5.58	請負	2 イ、ロ	0.59	シカ柵設置			
樹芸	2 イ、ロ	0.59		2 イ、ロ	0.59	284	ユーカリ										6	5.20	〃						
樹芸																	2 6	0.01	〃						

素材生産総括表

m^3

	素材生産資材量			素材生産量			歩留（%）		
	計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	平均	針葉樹	広葉樹
千　葉									
北海道	1,523.45	448.23	1,075.22	1,007.64	264.14	743.50	66.23	58.93	69.27
秩　父									
田　無									
生態水文									
富　士									
樹　芸									
合　計	1,523.45	448.23	1,075.22	1,007.64	264.14	743.50	66.23	58.93	69.27

土木実行総括表

m

千　葉	実行内容	林道維持	歩道維持	林道開設		
	実行数量	29,395	9,900	8.0		
北海道	実行内容	車道手入	砂利敷均し	除雪	請負草刈	
	実行数量	63,000	450	22,200	183,800	
秩　父	実行内容	林道維持	歩道維持	モノレール維持	作業道開設	
	実行数量	13,859	40,587	3,067	237	
田　無	実行内容	歩道維持				
	実行数量	20				
生態水文	実行内容	林道整備	歩道整備			
	実行数量	5,400	8,650			
富　士	実行内容	車道草刈	歩道草刈			
	実行数量	600	900			
樹　芸	実行内容	車道草刈	車道整備	歩道草刈	歩道整備	作業道整備
	実行数量	1,979	1,203	1,708	550	6,972

道路現況

m

	車道延長				歩道延長	
	林道延長	作業道延長	計	密度(m/ha)	延長	密度(m/ha)
千　葉	31,436		31,428	14.1	125,361	56.3
北海道	484,500	448,890	933,390	41.0	7,800	0.3
秩　父	11,395	6,107	17,502	3.0	181,391	31.2
田　無					1,590	176.7
生態水文	11,840	1,500	13,340	10.3	12,400	9.6
富　士	2,087		2,087	54.9	3,009	79.2
樹　芸	3,486	3,657	7,143	29.0	11,753	47.8
合　計	544,744	460,154	1,004,890		343,304	

各演習林所在地および連絡先

企画部・教育研究センター
〒113-8657
東京都文京区弥生1-1-1
電話 03-5841-5497
FAX 03-5841-5494

千葉演習林
〒299-5503
千葉県鴨川市天津770
電話 04-7094-0621
FAX 04-7094-2321

清澄作業所
〒299-5505
千葉県鴨川市清澄135
電話 04-7094-0585

札郷作業所
〒292-0537
千葉県君津市黄和田畑字前沢1442-1
電話 0439-39-3122

郷台作業所
〒292-0533
千葉県君津市折木沢字相ノ沢
電話 0439-39-3121

北海道演習林
〒079-1563
北海道富良野市山部東町9番61号
電話 0167-42-2111
FAX 0167-42-2689

セミナーハウス
〒076-0161
北海道富良野市字麓郷市街地1
電話 080-6066-8234

山部樹木園
〒079-7582
北海道富良野市字山部第一苗圃
電話 0167-39-6017

秩父演習林
〒368-0034
埼玉県秩父市日野田町1-1-49
電話 0494-22-0272
FAX 0494-23-9620

栃本作業所
〒369-1901
埼玉県秩父市大滝3450-2
電話 0494-55-0355
FAX 0494-55-0355

大血川作業所
〒369-1907
埼玉県秩父市大滝5198
電話 0494-54-1220

影森苗畑
〒369-1871
埼玉県秩父市大字下影森764
電話 0494-23-9768

生態水文学研究所
〒489-0031
愛知県瀬戸市五位塚町11-44
電話 0561-82-2371
FAX 0561-85-2838

赤津作業所
〒489-0014
愛知県瀬戸市北白坂町1-1
電話 0561-21-1185

犬山作業所
〒484-0094
愛知県犬山市塔野地字大畔178-2

富士癒しの森研究所
〒401-0501
山梨県南都留郡山中湖村山中341-2
電話 0555-62-0012
FAX 0555-62-4798

樹芸研究所
〒415-0304
静岡県賀茂郡南伊豆町加納457
電話 0558-62-0021
FAX 0558-62-3170

青野作業所
〒415-0327
静岡県賀茂郡南伊豆町青野851
電話 0558-62-0254

田無演習林
〒188-0002
東京都西東京市緑町1-1-8
電話 042-461-1528
FAX 042-461-2302

演習林年報

平成27年６月30日

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林
文京区弥生１丁目１番１号

印刷・製本　明誠企画株式会社